

コラボレーション エンドポイント ソフトウェア 9.4
2018年8月



アプリケーション プログラミング インター フェイス (API) リファレンス ガイド

Cisco Collaboration Endpoint Software 9.4

このユーザ ガイドの内容

上部メニュー バーと目次のエントリはすべてハイパーリンクになっており、クリックするだけでトピックに移動できます。

定期的にシスコの Web サイトにアクセスし、ユーザ マニュアルの更新バージョンについて確認することを推奨します。

移動先: [▶https://www.cisco.com/go/telepresence/docs](https://www.cisco.com/go/telepresence/docs)

目次

はじめに	3	フィードバックのメカニズム	48
このマニュアルについて	4	フィードバック表現	48
CE9.4 の新機能	5	端末接続	49
CE9.3 の新機能	11	HTTP XMLAPI 認証	50
CE9.2 の新機能	18	HTTP XMLAPI セッション認証	50
CE9.1 の新機能	25	ステータスと設定の取得	51
CE9.0 の新機能	31	コマンドとコンフィギュレーションの送信	51
API について	38	HTTP 経由のコーデックからのフィードバック	52
API の基礎	39	フィードバックの登録	52
API への接続	39	端末モードから XML への変換	53
パスワード	39	推奨事項と禁止事項	54
SSH	39	xConfiguration コマンド	55
DX、MX、および SX シリーズの Telnet	39	xConfiguration コマンドの説明	56
HTTP/HTTPS	39	xCommand コマンド	165
イーサネット ポート	40	xCommand コマンドの説明	166
RS-232/ シリアル接続	40	xStatus コマンド	262
ユーザ ロール	40	xStatus コマンドの説明	263
API 出力	41	付録	351
コマンドラインの使用	42	サポートされているコマンド マトリックス	352
API コマンド	42	起動スクリプト	410
その他のコマンド	42	SystemTools コマンド	411
コマンドライン ショートカット	43	接続解除原因タイプ	413
検索	43	Cisco web site 内のユーザ マニュアル	414
値のタイプと形式	43		
複数行コマンド	45		
同期 API 呼び出し	46		
イベント	47		



第 1 章

はじめに

このマニュアルについて

このマニュアルは、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアのアプリケーション プログラミング インターフェイス (API) を紹介するものであり、コマンドライン コマンドのリファレンス ガイドとして役立ちます。

このガイドでは、社内の登録済みビデオ システム (CUCM、VCS) と、シスコのクラウド サービス (Cisco Webex) に登録されるビデオ システムの API について説明します。Cisco Webex に登録されるシステムでは API のサブセットのみが使用可能であり、ローカル ユーザのユーザ ロール (integrator または roomcontrol) に応じて使用可能なコマンドが決まります。

このガイドは次の製品に適用されます:

- DX シリーズ:
 - DX70
 - DX80
- MX シリーズ:
 - MX200 G2
 - MX300 G2
 - MX700
 - MX800
- SX シリーズ:
 - SX10 Quick Set
 - SX20 Quick Set
 - SX80 コーデック
- Room シリーズ:
 - Room Kit
 - Codec Plus¹
 - Codec Pro²
 - Room 55
 - Room 55 Dual
 - Room 70
 - Room 70 G2

ユーザ マニュアルのダウンロード

ユーザマニュアルは、次の Cisco Web site からダウンロードできます。

▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs> [英語]

Cisco Webex 登録済み デバイスについては、次のサイトを参照してください。

▶ <https://collaborationhelp.cisco.com> [英語]

Cisco Web サイトでのマニュアルの検索方法については、付録の「Cisco web site 内のユーザ マニュアル」を参照してください。

¹ Room Kit Plus および Room Kit Plus Precision 60 に含まれています

² Room Kit Pro および Room Kit Pro Precision 60 に含まれています

CE9.4 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.4 (CE9.4) の新規および変更されたシステム設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.3 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

新商品

- Cisco Webex Codec Pro
- Cisco Webex Room 70 Single G2
- Cisco Webex Room 70 Dual G2
- Cisco Webex Room 55 Dual

Cisco Spark から Cisco Webex へのリブランディング (すべての製品)

Cisco Spark は Cisco Webex に名称が変更され、*Spark* と表示されるユーザ インターフェイスの要素は *Webex* へと変更されません。アクティベーション フローで今すぐに Cisco Spark ではなく登録オプションとして Cisco Webex を表示します。

以下の製品は、新たな名称を得ます。

- Cisco Spark Room Kit は Cisco Webex Room Kit
- Cisco Spark Room Kit Plus は Cisco Webex Room Kit Plus
- Cisco Spark Codec Plus は Cisco Webex Codec Plus へ
- Cisco Spark Quad Camera は Cisco Quad Camera へ
- Cisco Spark Room 55 および 70 は Cisco Webex Room 55 および 70 へ
- Cisco DX70 は Cisco Webex DX70 へ
- Cisco DX80 は Cisco Webex DX80 へ

プロキシミティ クライアントの最大数の増加

(*Codec Plus*、*Codec Pro*、*Room 55*、*Room 55 Dual*、*Room 70*、*Room 70 G2*、*Room Kit*)

プロキシミティ サービスである *ContentShare ToClients* が無効である場合、Cisco Webex Room Series デバイスは最大 30 のペアリング クライアントを同時に設定できます。*ContentShare ToClients* が有効である場合、ペアリング クライアントの制限はソフトウェアの以前のリリース内容と同じ 7 となります。

管理設定ロックダウン構成の CUCM プロビジョニング (すべての製品)

CE9.2.1 で導入された管理設定ロックダウン構成は、CUCM からプロビジョニングできるようになります。CUCM を通じて構成を行う際、設定メニュー上でお使いのデバイスの全設定について、選択のロックを同時に行うことができます。

この構成に新たなフィールドを公開するには、CUCM にデバイスパッケージが必要となる場合があります。

Cisco Webex Room Series およびレガシー MXP デバイス (*Codec Plus*、*Codec Pro*、*Room 55*、*Room 55 Dual*、*Room 70*、*Room 70 G2*、*Room Kit*) 間でのコールで H.263 を使用したコンテンツ共有のサポート

MXP および Cisco Webex Room Series 間で、H.263 コンテンツ共有が利用できるようになります。これまでの Room Series では、別のコンテンツチャネル内のコンテンツの受信または共有を行うことはできませんでした。Room Series デバイスから MXP デバイスへコンテンツを共有すると、以前のバージョンではプレゼンテーションがメイン ビデオ ストリームに合成されます。

これは、特定のシナリオでのみサポートされます。

- Room Series デバイスと MXP デバイス間の H.323 ダイレクト発信 (IP ダイアラ)。
- H.323 上の VCS に登録された MXP および SIP または H.323 のいずれかにある同一 VCS 上に登録された Room Series デバイス。VCS 上において H.323 で SIP 発信を行うには、インターワーキング オプション キーが VCS 上にインストールされている必要があることにご留意ください。

本機能に関するその他制限についての情報は、▶ [CE9 リリース ノート](#)をご参照ください。

タッチ スクリーン (DX70、DX80) からの逆光補正を有効にします。

DX70 および DX80 のメインメニューで新しい設定を有効にし、逆光補正を無効にします。これは、ユーザの背後の日光やその他の明るい光源を補正するために、センサーの明るさのレベルを上げる (オン) または下げる (オフ) 固定設定です。逆光補正によってセンサーは固定レベルに設定され、逆光に合わせて自動調整されることはありません。

デフォルトの HTTP モードを HTTP + HTTPS から HTTPS へ変更 (すべての製品)

NetworkServices HTTP モードのデフォルト値が HTTPS + HTTP から HTTPS に変更されます。これによって、デフォルト構成でのルーム デバイスのセキュリティを強化します。以前のバージョンからのアップグレードはデフォルト値を自動的に変更せず、現行の HTTP 実装の破損を回避するために HTTP + HTTPS が維持されます。

この変更は CE9.4.0 以降で実行される新しいシステムか、デバイスが CE9.4.0 上で工場出荷時の設定にリセットされている場合に表示されます。HTTP リクエストは HTTPS にリダイレクトされ、デバイスのウェブ インターフェイスへの初回訪問時に、デバイスに「安全でない接続の警告」が表示されます。ウェブ インターフェイスへと進むには、ブラウザで例外を作成する必要があります。これは、これまでに訪問したことがない、異なるブラウザを使ってウェブ インターフェイスにアクセスした場合、またはデバイスが工場出荷時の設定にリセットされている場合を除き、1 回限りの操作となります。

室内制御の更新 (すべての製品)

ホーム スクリーン上やユーザ インターフェイス上の通話中のスクリーン上で、必要な数のパネル ボタンを追加することができます。

CE9.4 でのシステム設定の変更点

新しい設定

- Audio Input Microphone [n] PhantomPower *(Codec Pro, Room 70 G2)*
- Audio Input HDMI [n] Mode *(Room 55, Codec Pro)*
- Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo *(Room 55, Codec Pro)*
- Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs *(Codec Pro)*
- Audio Output HDMI [n] Delay Mode *(Codec Pro)*
- Audio Output Line [1] OutputType *(Room 70, Room 55D)*
- Cameras Camera [1] Backlight DefaultMode *(DX70, DX80)*
- Cameras Camera [1..2] Mirror *(MX700, MX800)*
- Conference FarendMessage Mode *(すべての製品)*

削除されたコンフィギュレーション

- NetworkServices HTTP Proxy Allowed *(すべての製品)*
- Video Output Connector [2] CEC Mode *(DX70, DX80)*
- Video Output Connector [2] OverscanLevel *(DX70, DX80)*
- Video Output Connector [2] Resolution *(DX70, DX80)*

変更されたコンフィギュレーション

- Audio Output Line [1] OutputType *(Room Kit)*
 - 旧: デフォルト値: LineOut
 - 新規: デフォルト値: Loudspeaker
 - 旧: 値スペース: LineOut/Subwoofer
 - 新: 値スペース: LineOut/Loudspeaker/Recorder/Subwoofer

オーディオ ウルトラサウンド最大音量 *(MX200 G2, MX300 G2, Codec Plus, Room 70)*

- 旧: デフォルト値: 60 *(MX200 G2, MX300 G2)*
70 *(コーデックプラス, ルーム 55, ルーム 70)*
- 新: デフォルト値: 50 *(MX200 G2, MX300 G2)*
60 *(コーデックプラス, ルーム70)*
64 *(ルーム 55)*
- 旧: 設定可能値: 整数 (0 ~ 80) *(MX200 G2, MX300 G2)*
整数 (0 ~ 90) *(ルーム 55, ルーム 70)*
- 新: 設定可能値: 整数 (0 ~ 70) *(MX200 G2, MX300 G2)*
整数 (0 ~ 80) *(ルーム 70)*
整数 (0 ~ 84) *(ルーム 55)*

Network [1] DNS DNSSEC Mode *(すべての製品)*

- 旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
- 新: ユーザ ロール: ADMIN

Network [1] Speed *(すべての製品)*

- 旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
- 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices HTTP Mode *(すべての製品)*

- 旧: デフォルト値: HTTP+HTTPS
- 新: デフォルト値: HTTPS

NetworkServices SNMP CommunityName *(すべての製品)*

- 旧: ユーザ ロール: ADMIN
- 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP Host [1..3] Address *(すべて製品)*

- 旧: ユーザ ロール: ADMIN
- 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP Mode *(すべての製品)*

- 旧: ユーザ ロール: ADMIN
- 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP SystemContact *(すべての製品)*

- 旧: ユーザ ロール: ADMIN
- 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

NetworkServices SNMP SystemLocation (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN

新: ユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

UserInterface ContactInfo Type (SX10、DX70、DX80)

旧: 値スペースAuto / DisplayName / IPv4 / IPv6 / None / SipUri / SystemName

新: 値スペース: Auto / DisplayName / E164Alias / H320Number / H323Id / IPv4 / IPv6 / None / SipUri / SystemName

Video Output Connector [1] CEC Mode (SX10)

旧: デフォルト値: Off

新: デフォルト値: On

Video Output Connector [3] Resolution (SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

CE9.4 でのコマンドの変更

新しいコマンド

Audio LocalInput Add (MX700, MX800)
Audio LocalInput AddConnector (MX700, MX800)
Audio LocalInput Remove (MX700, MX800)
Audio LocalInput RemoveConnector (MX700, MX800)
Audio LocalInput Update (MX700, MX800)
Audio LocalOutput Add (MX700, MX800)
Audio LocalOutput AddConnector (MX700, MX800)
Audio LocalOutput ConnectInput (MX700, MX800)
Audio LocalOutput DisconnectInput (MX700, MX800)
Audio LocalOutput Remove (MX700, MX800)
Audio LocalOutput RemoveConnector (MX700, MX800)
Audio LocalOutput Update (MX700, MX800)
Audio LocalOutput UpdateInputGain (MX700, MX800)
Audio RemoteOutput ConnectInput (MX700, MX800)
Audio RemoteOutput DisconnectInput (MX700, MX800)
Audio RemoteOutput UpdateInputGain (MX700, MX800)
Audio Setup Clear (MX700, MX800)
Call FarEndMessage Send (すべての製品)
Provisioning RoomType Activate (SX80, MX700, MX800, Codec Pro, Room 70 G2)
Security FIPSMODE Activate (すべての製品)
Video Matrix Assign (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)
Video Matrix Reset (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)
Video Matrix Swap (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)
Video Matrix Unassign (Room Kit, Codec Pro, Room 70 G2)

削除されたコマンド

なし。

変更されたコマンド

Audio LocalInput Add (SX80)
新: Direct: On / Off

Audio LocalInput Update (SX80)
新: Direct: On / Off
旧: AGC, Channels, MixerMode, Mute, Name: 必須
新: AGC, Channels, MixerMode, Mute, Name: オプション

Audio LocalInput Update (SX80)
旧: Channels, Loudspeaker, Name: 必須
新: Channels, Loudspeaker, Name: オプション

Camera PositionSet (DX70, DX80 を除くすべての製品)
旧: ズーム: 0 ~ 8500
新: ズーム: 0 ~ 11800

Conference DoNotDisturb Activate (すべての製品)
旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Conference DoNotDisturb Deactivate (すべての製品)
旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

SystemUnit FactoryReset (すべての製品)
旧: 保持: Certificates / LocalSetup / Network / Provisioning / SerialPort / Spark
新: 保持: Certificates / LocalSetup / Network / Provisioning / SerialPort / Spark / HTTP

SystemUnit SoftwareUpgrade (すべての製品)
削除: UserName, Password

UserManagement User Modify (すべての製品)
新: Unblock: False/True

Video Selfview Set (すべての製品)
旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER
旧: OnMonitorRole: First / Second / Third / Fourth
新: OnMonitorRole: First / Second / Third / Fourth

CE9.4 のステータスの変更

新しいステータス

- Audio Input LocalInput [n] Direct (*SX80, MX700, MX800*)
- Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs (*Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D*)
- Audio Output Connectors HDMI [n] Mode (*Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D*)
- Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs (*Room Kit, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D*)
- Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode (*Codec Plus, Codec Pro, Room 55D, Room 70, Room 70 G2*)
- Audio Output MeasuredHdmiArcDelay (*すべての製品*)
- Audio Output MeasuredHdmiDelay (*すべての製品*)
- Audio Output ReportedHdmiCecDelay (*すべての製品*)
- Cameras Camera [n] LightingConditions (*Room Kit, Room 55, Codec Plus, Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D*)
- Cameras Camera [n] Position Lens (*Codec Pro, Room 70, Room 70 G2, Room 55D*)
- Network [n] IPv6 LinkLocalAddress (*すべての製品*)
- RoomPreset [n] Defined (*DX70 および DX80 を除くすべての製品*)
- RoomPreset [n] Description (*DX70 および DX80 を除くすべての製品*)
- RoomPreset [n] Type (*DX70 および DX80 を除くすべての製品*)
- SystemUnit Hardware TemperatureThreshold (*SX80, SX20, SX10, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, DX70, X80*)

削除されたステータス

なし。

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type (*すべての製品*)

新: 値スペース : SparkActivationRequired および SparkConnectivity の削除

ビデオ モニター (*すべての製品*)

旧: 値スペース : Dual / DualPresentationOnly / Single / Triple / TriplePresentationOnly

新: 値スペース : Dual / DualPresentationOnly / Single / Triple / TriplePresentationOnly / Quadruple

Video Output Connector [n] MonitorRole (*すべての製品*)

旧: 値スペース : First / InternalSetup / PresentationOnly / Recorder / Second / Third

新: 値スペース : First / InternalSetup / PresentationOnly / Recorder / Second / Third / Fourth

Video Selfview OnMonitorRole (*すべての製品*)

旧: 値スペース : First / Second / Third

新: 値スペース : First / Second / Third / Fourth

CE9.3 の新機能

ここでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン 9.3 (CE9.3) の新規および変更されたシステム設定の概要と、新機能および改善点について、CE9.2 と比較して説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

設定とカスタム要素のバックアップ/復元 (すべての製品)

設定およびカスタム情報をバックアップ ファイル バンドル (zip) に含めることができます。以下の要素のいずれかをバンドルに含めるかを選択できます。

- ブランディング画像
- マクロ
- お気に入り
- サインイン パナー
- 室内制御パネル
- 設定 (すべてまたはサブセット)

以前のソフトウェア バージョンでは、設定のみのバックアップが可能でした。

バックアップ ファイルは、ビデオ システムの Web インターフェイスから手動で復元できますが、Cisco UCM または TMS などを使用して複数のビデオ システムにプロビジョニングできるように、バックアップ バンドルを一般化することもできます。

バックアップと復元機能は、ビデオ システムの Web インターフェイスの [メンテナンス (Maintenance)] > [バックアップと復元 (Backup and Restore)] の下にあります。

カスタム要素のプロビジョニング (すべての製品)

上記のバックアップ バンドルは、Cisco UCM または TMS を使用して、多数のビデオ システムにプロビジョニングできます。複数のビデオ システム用のバックアップ バンドルを作成するときは、デバイス固有の情報を削除することが重要です。バンドルにデバイス固有の情報を含めると、ビデオ システムへの疎通性がなくなることもあります。

システム固有でないバックアップ バンドルをプロビジョニングすることにより、たとえば、マクロ、ブランディング情報、および室内制御パネルを含む、ビデオ システムのセットアップを、複数のビデオ システムにコピーすることができます。

現在、Cisco UCM によるプロビジョニングでは、設定は復元されず、その他のカスタム情報のみが復元されます。TMS は、バックアップ バンドルに含まれるすべてのものを復元します。

プロビジョニングの詳細については、リリース ノートを参照してください。

室内制御の更新 (すべての製品)

室内制御機能に、次の機能が追加されました。

- 最大で合計 20 パネルにボタンを追加できます。ボタンは、パネル タイプに応じて、ユーザ インターフェイスのホーム画面または通話中画面に表示されます。
- 従来どおり、グローバル パネル (常時利用可能)、通話中パネル (通話中のみ利用可能)、外部発信パネル (通話中でない場合のみ利用可能) の 3 種類の室内制御パネルがあります。グローバル パネルへのエントリ ポイントは、ステータス バー (ユーザ インターフェイスの右上隅) から削除されました。それに代えて、グローバル パネルを開くボタンが、ホーム画面と通話中画面の両方に追加されました。さらにそれぞれの画面には、外部発信のみパネルを開くボタンと、通話中のみパネルを開くボタンが追加されました。
- スタンドアロンのトリガー ボタンを作成することができます。このボタンは、ユーザ インターフェイス上のパネルを開かずに、イベントを直接トリガーするボタンです。

室内制御エディタには、以下の機能も追加されました。

- いくつかの新しいアイコンが利用できます。
- 室内制御のボタンの色を選択できる、色のセット。
- テキスト要素をダブルクリックすると、テキストを直接編集できます。
- 室内制御の XML ファイルをエディタにドラッグアンドドロップできます。

室内制御の詳細については、室内制御のガイド/カスタマイズガイド [英語] を参照してください

▶ <https://www.cisco.com/go/in-room-control-docs>

ISDN リンクのサポート (すべての製品)

ソフトウェア バージョンが IL1.1.7 である ISDN Link は、CE9.3.0 をサポートするすべてのビデオ システムでサポートされます。

従来どおり、自動ペアリング (ビデオ システムが ISDN Link を自動的に検出する) を使用する場合、ビデオ システムで IPv6 を有効にする必要があります。

ワンボタン機能のスヌーズ (すべての製品)

ワンボタン機能 (OBTP) による会議のリマインダが表示されたときに、5 分後に再表示されるようにスヌーズさせることができます。スヌーズの時間を変更することはできません。通常リマインダは、通話中で、スケジュールされた会議が開始される場合に表示されます。会議が終了するまで、リマインダが表示されるたびに、5 分間スヌーズできます。

画面ステータスのモニタリングと制御 (SX10)

SX10 は、Room シリーズのビデオ システムと同様の CEC (コンシューマ エレクトロニクス制御) の動作をするようになりました。

ビデオ システムは CEC を使用して、システム自体がスタンバイ モードになると画面をスタンバイ モードに設定し、ビデオ システム自体がスタンバイ モードから復帰すると、画面を起動して正しいビデオ入力を選択します。画面からの CEC 情報は、ビデオ システムのステータスに含まれます。この場合、画面も CEC をサポートし、関連情報をビデオ システムに送信する必要があります。

CEC は、デフォルトではビデオ システムで無効になっています。Video Output Connector [1] CEC Mode 設定で有効化する必要があります。

発信前のコール レートの調整 (すべての製品)

[検索またはダイヤル (Search or Dial)] フィールドへの入力を開始するとすぐに、ダイアログを開いてカスタム コール レートを選択できます。以前のリリースでは、この機能は、ディレクトリからエントリを選択するときだけに使用できました。

カスタム コール レートを選択しない場合は、[会議のデフォルトコール レート (Conference Default Call Rate)] 設定で指定されているレートが設定されます。

着信音の選択と着信音の音量の調整 (すべての製品)

ユーザ インターフェイスの設定メニューから、着信音を選択し、着信音の音量を調整することができます。以前のリリースでは、これは Web インターフェイスから行われました。

延期されたアップグレードの再開 (すべての製品)

ソフトウェア アップグレードの通知を受け取ったら、[今すぐアップグレード (Upgrade now)] または [延期 (Postpone)] を選択することができます。アップグレードを延期した場合には、必要なときに、ユーザ インターフェイスの [設定 (Settings)] > [このデバイスについて (About this device)] メニューからアップグレードを再開できます。以前のように 6 時間待つ必要はなくなりました。

手動でアップグレードを再開しない場合、アップグレードは 6 時間後に自動的に開始されます。

システム情報がユーザ インターフェイスに公開されることの防止 (すべての製品)

重要なシステム情報がユーザ インターフェイスに公開されないようにすることができます。次のような情報を公開されないようにすることができます。

- IP アドレス (ビデオ システム、タッチ コントローラ、UCM/ VCS レジストラ)
- MAC アドレス
- シリアル番号
- ソフトウェア バージョン

この機能を有効にするには、次を行う必要があります。

- 管理者権限を持つすべてのユーザに、パスフレーズを設定する必要があります
- [ユーザインターフェイス設定メニューモード (UserInterface SettingsMenu Mode)] を [ロック (Locked)] に設定する必要があります
- [ユーザインターフェイスセキュリティモード (UserInterface Security Mode)] を [強 (Strong)] に設定する必要があります

また、この機能により、タッチ コントローラの接続を切断するとき IP アドレスがスクリーンに表示されなくなります。

アクセシビリティ: 着信時の画面の点滅 (すべての製品)

システムが着信コールを受信すると、画面とタッチ コントローラが赤色と薄灰色で点滅するように、ビデオ システムを設定できます。

この機能は主に聴覚が不自由なユーザが着信コールに気づきやすくするようにしています。

この機能はデフォルトでは無効化されているため、[着信コール通知アクセシビリティ (Accessibility IncomingCallNotification)] 設定で有効にする必要があります。

DX70 および DX80 でのセルフビューのミラー

ビデオ システムを設定して、実際に相手に見えるように、または自分自身を鏡で見るように、セルフビューを表示することができます。[ビデオ セルフビュー ミラード (Video Selfview Mirrored)] 設定を使います。これまで、ミラード セルフビューは、Android ソフトウェアを実行している Cisco DX デバイスでのみ利用できました。

ミラーリングは、セルフビューの画像にのみ適用され、相手に送信されるビデオには影響しません。

1 冊の共通 API ガイド

すべての API 情報を、すべての製品を対象とした 1 つの API ガイドにまとめました。これは、製品ごとに 1 冊の API ガイドが用意されていた以前のリリースとは対照的です。

CE9.3 でのシステム設定の変更点

新しい設定

Audio KeyClickDetector Attenuate (*Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70*)
Audio KeyClickDetector Enabled (*Room Kit, Codec Plus, Room 55, Room 70*)
Cameras Camera [1..3] AssignedSerialNumber (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Backlight DefaultMode (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Brightness DefaultLevel (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Brightness Mode (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Focus Mode (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Gamma Level (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Gamma Mode (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Mirror (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Whitebalance Level (*Codec Plus, Room 70*)
Cameras Camera [3] Whitebalance Mode (*Codec Plus, Room 70*)
Network [1] DNS DNSSEC Mode (*すべての製品*)
NetworkServices HTTP Proxy PACUrl (*すべての製品*)
SystemUnit CrashReporting Mode (*すべての製品*)
SystemUnit CrashReporting URL (*すべての製品*)
UserInterface Accessibility IncomingCallNotification (*すべての製品*)
UserInterface Security Mode (*すべての製品*)
Video Selfview Mirrored (*DX70/DX80*)

削除されたコンフィギュレーション

Provisioning HttpMethod (*すべての製品*)

変更されたコンフィギュレーション

NetworkServices HTTP Proxy Allowed (*すべての製品*)
旧: デフォルト値: True
新: デフォルト値: False
NetworkServices HTTP Proxy Mode (*すべての製品*)
旧: 値スペース: Manual/Off
新: 値スペース: Manual/Off/PACUrl/WPAD
Proximity Mode (*Room 70*)
旧: デフォルト値: Off
新: デフォルト値: On
Standby WakeupOnMotionDetection (*Room 70*)
旧: デフォルト値: Off
新: デフォルト値: On
Video Input Connector[2] Name (*Room 55*)
旧: デフォルト値: "PC 1 (HDMI)"
新: デフォルト値: ""
Video Input Connector[3] Name (*Room 55*)
旧: デフォルト値: "PC 2 (HDMI)"
新: デフォルト値: ""
Video Input Connector[1] CEC Mode (*Room 70*)
旧: 値スペース: Off/On
新: 値スペース: On

CE9.3 でのコマンドの変更

新しいコマンド

- Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop (すべての製品)
- Bookings NotificationSnooze (すべての製品)
- HttpFeedback Enable (すべての製品)
- Macros Macro RemoveAll (すべての製品)
- Provisioning Service Fetch (すべての製品)
- Standby ResetHalfwakeTimer (すべての製品)
- UserInterface Branding Clear (すべての製品)
- UserInterface Extensions Panel Clicked (すべての製品)
- UserInterface Extensions Panel Remove (すべての製品)
- UserInterface Extensions Panel Save (すべての製品)
- Video CEC Output KeyClick (SX10)
- Video CEC Output SendActiveSourceRequest (Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)
- Video Matrix Assign (Codec Plus)
- Video Matrix Reset (Codec Plus)
- Video Matrix Swap (Codec Plus)
- Video Matrix Unassign (Codec Plus)

削除されたコマンド

- Provisioning StartUpgrade (すべての製品)

変更されたコマンド

Audio Sound Play (すべての製品)

旧: Sound : Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp

新: Sound : Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp / StartListening

Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play (すべての製品)

新: Loop : On/Off

ダイヤル (DX70, DX80)

旧: CallRate : 64 ~ 3072

新: CallRate : 64 ~ 6000

ダイヤル (すべての製品)

新: TrackingData : 0 ~ 255

Macros Macro Save (Codec Plus, DX70, DX80, MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room 55, Room 70, Room Kit, SX20, SX80)

新: Transpile : True/False

Peripherals List (すべての製品)

新: タイプ : デフォルト : All

SystemUnit ProductPlatform Set (Codec Plus, Room 70)

旧: プラットフォーム : ROOM70D/ROOM70S

新: プラットフォーム : ROOM70D/ROOM70S/ROOM55D

UserInterface Extensions Widget Action (すべての製品)

旧: WidgetId : 0..40

新: WidgetId : 0..255

UserInterface Extensions Widget SetValue (すべての製品)

旧: WidgetId: 0..40

新: WidgetId: 0..255

UserInterface Extensions Widget UnsetValue (すべての製品)

旧: WidgetId: 0..40

新: WidgetId: 0..255

Video Matrix Assign (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix Reset (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix Swap (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Matrix Unassign (MX200 G2, MX300 G2, MX800, MX700, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

CE9.3 のステータスの変更

新しいステータス

- Audio Input KeyClick Attenuate *(Codec Plus, Codec Plus, Room 55, Room 70)*
- Audio Input KeyClick Detected *(Code Plus, Room 55, Room 70, Room Kit)*
- Audio Input KeyClick Detected *(Code Plus, Room 55, Room 70, Room Kit)*
- HttpFeedback [n] Statu *(すべての製品)*
- Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason *(すべての製品)*
- Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL *(すべての製品)*
- Provisioning RoomType *(MX700, MX800, SX80)*
- Provisioning Software UpgradeStatus Urgency *(すべての製品)*
- Video Output Monitor [n] FirmwareVersion *(Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)*
- Video Output Monitor [n] ModelName *(Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)*
- Video Output Monitor [n] Position *(Codec Plus, Room 55, Room Kit)*
- Video Output Monitor [n] SerialNumber *(Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)*
- Video Output Monitor [n] Temperature *(Codec Plus, Room 55, Room 70, Room Kit, SX10)*

削除されたステータス

- MediaChannels Call [n] Channel [n] Netstat Drop *(すべての製品)*
- USB Device [n] Stat *(SX20)*
- USB Device [n] Type *(SX20)*

変更されたステータス

- Cameras Camera [n] Flip *(Codec Plus, MX700, MX800, Room 70, SX10, SX20, SX80)*
 - 旧: String
 - 新規: Off/On
- Diagnostics Message [n] Type *(すべての製品)*
 - 旧: ANATOnVCS / AbnormalCallTermination / AudiolnternalSpeakerDisabled / AudioPairingInterference / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingTokenDecode / CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility /

- CameraDetected / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / CaptivePortalDetected / CertificateExpiry / ConfigurationFile / ContactInfoMismatch / ControlSystemConnection / DefaultCallProtocolRegistered / ECRreferenceDelay / EthernetDuplexMatches / FanStatus / FirstTimeWizardNotCompleted / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasActiveCallProtocol / HasValidReleaseKey / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / IpCameraStatus / LockDown / MediaBlockingDetected / MediaPortRangeNegative / MediaPortRangeOdd / MediaPortRangeOverlap / MediaPortRangeTooSmall / MediaPortRangeValueSpace / MicrophoneReinforcement / MicrophonesConnected / MonitorDelay / NTPStatus / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / PlatformSanity / PresentationSourceSelection / PresenterTrack / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / RoomControl / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPListenPortAndRegistration / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SipIplceAndAnatConflict / SipOrH323ButNotBothEnabled / SoftwareUpgrade / SparkActivationRequired / SparkConnectivity / SpeakerTrackEthernetConnection / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / TCPMediaFallback / TLSVerifyRequiredCerts / TemperatureCheck / TouchPanelConnection / TurnBandwidth / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputSignalQuality / VideoInputStability / VideoPortRangeNegative / VideoPortRangeOdd / VideoPortRangeTooSmall / VideoPortRangeValueSpace / WifiCARrequired / ActiveMacros / AudioECRefDelay

- 新: ANATOnVCS / AbnormalCallTermination / AudiolnternalSpeakerDisabled / AudioPairingInterference / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingTokenDecode / CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / CameraDetected / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / CaptivePortalDetected / CertificateExpiry / ConfigurationFile / ContactInfoMismatch / ControlSystemConnection / DefaultCallProtocolRegistered / ECRreferenceDelay / EthernetDuplexMatches / FanStatus / FirstTimeWizardNotCompleted / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasActiveCallProtocol / HasValidReleaseKey / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / IpCameraStatus / LockDown / MediaBlockingDetected / MediaPortRangeNegative / MediaPortRangeOdd / MediaPortRangeOverlap / MediaPortRangeTooSmall / MediaPortRangeValueSpace / MicrophoneReinforcement / MicrophonesConnected / MonitorDelay / NTPStatus / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / PlatformSanity / PresentationSourceSelection / PresenterTrack / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / RoomControl

/ SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPListenPortAndRegistration
/ SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected
/ SipPceAndAnatConflict / SipOrH323ButNotBothEnabled / SoftwareUpgrade /
SparkActivationRequired / SparkConnectivity / SpeakerTrackEthernetConnection /
SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection
/ SpeakerTrackVideoInputs / TCPMediaFallback / TLSVerifyRequiredCerts
/ TemperatureCheck / TouchPanelConnection / TurnBandwidth /
UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera
/ VideoInputSignalQuality / VideoInputStability / VideoPortRangeNegative /
VideoPortRangeOdd / VideoPortRangeTooSmall / VideoPortRangeValueSpace /
WifiCARRequired / HTTPFeedbackFailed / HdmiCecModeNoSound / MacrosRuntimeStatus /
MicrophoneOverloaded / SparkOffline / UltrasoundConfigSettings

CE9.2 の新機能

このセクションでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョンCE9.1と比較して、9.2 (CE9.2) での新しいシステム設定および変更されたシステム設定の概要、および新機能と改善点について説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

マクロ フレームワーク (SX10 を除くすべての製品)

マクロ フレームワークにより、ユーザおよびインテグレータは、個々の顧客の要件に合うように、JavaScript のマクロを記述して、シナリオを自動化したり、エンドポイントの動作をカスタマイズしたりすることができます。

イベント/ステータス変更のリスニング、コマンドの実行や設定の自動化、室内制御機能のローカル制御機能の提供といった強力な機能とマクロを組み合わせることで、カスタム セットアップに多くの可能性を生み出します。

わずかな時間ビデオ システムを応答不可にするなど、マイナーな動作変更をマクロによって簡単に実現できます。設定を自動的にリセットする、特定の日の特定の時間に呼び出しを行う、状況の変化に応じて警告やヘルプ メッセージを発行するといったことも行えます。

ビデオ システムの Web インターフェイスから、いくつかのサンプル マクロが用意されているマクロ エディタを利用できます。

HDCP サポート (ルーム 55)

ビデオ システムの 2 番目の HDMI 入力 (コネクタ 3) が HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 保護コンテンツをサポートするように設定することができます。このため Google ChromeCast、AppleTV、または HDTV デコーダなどのデバイスを接続してビデオ システムの画面を再利用できます。通話中にこの種のコンテンツを共有することはできません。

HDCP をサポートするようにコネクタを設定すると、この種類のコンテンツのために予約されます。これは通話中に特定のコネクタの内容を共有することは、ラップトップからの非保護内容であってもできないことを意味します。

ブランディングとハーフウェイクのカスタマイズ (SX10 を除くすべての製品)

独自のテキストと画像をアップロードして、ハーフウェイク状態とアウェイク状態の両方のスクリーンとユーザ インターフェイスの表示をカスタマイズできます。

ハーフウェイク状態では、次のことができます。

- ・ スクリーンとユーザ インターフェイスに背景ブランド イメージを追加します。
- ・ スクリーン右下隅とユーザ インターフェイスのロゴを追加します。

アウェイク状態では、次のことができます。

- ・ スクリーン右下隅とユーザ インターフェイスのロゴを追加します。
- ・ スクリーン左下隅にラベルとメッセージを追加します (ユーザ インターフェイスには追加しない)。

ソース構成 (DX70、DX80、および SX10 を除くすべての製品)

1 つの画像への入力ソースを最大 4 つ構成することができます (コーデックで利用できる入力ソースの数によって異なります)。これは、メイン ビデオ ストリームでコールの遠端に送信されるイメージです。ソース構成は API 経由でのみ有効にできるので、ユーザ インターフェイスの拡張機能をマクロと組み合わせて作成し、オンデマンドで構成を制御することをお勧めします。

この機能によって、TC ソフトウェア用の TC コンソール アプリケーションによって提供されていた機能の一部が置き換えられます。

HTTP プロキシのサポート(すべての製品)

シスコのクラウド サービスである Cisco Spark にビデオ システムを登録する場合は、HTTP プロキシを経由するようにビデオ システムをセットアップできます。

ユーザ インターフェイス機能 (すべての製品)

- ・ 設定パネルが再構成されています。
- ・ ユーザ インターフェイス (Touch 10 またはオンスクリーン) の設定パネルは、そのビデオ システムの管理者パスワードで保護できます。パスワードが空白の場合、誰でも [設定 (Settings)] にアクセスし、システムを工場出荷時設定にリセットすることができます。
- ・ ユーザ インターフェイスでロシア語を選択した場合は、ロシア語のキーボードとラテン語文字セットのキーボードを選択できます。
- ・ アラビア語とヘブライ語がユーザ インターフェイスに追加されています。またローカライズされたキーボードも含まれています。
- ・ IEEE 802.1 x の基本設定が、ユーザ インターフェイスの設定パネルに追加されています。

Cisco TelePresence Precision 60 カメラのサポート (コーデックプラス)

Cisco TelePresence Precision 60 のカメラをコーデックプラスに接続できます。複数のカメラを使用する場合は、カメラ コントロール ケーブルのスイッチが必要です。Precision 60 がコーデックに接続されている唯一のカメラ タイプである場合、人数のカウント機能はサポートされません。

Cisco Spark Quad Cameraのサポート (SX80)

Cisco Spark Quad Camera を SX80 に接続できます。Quad カメラではコーデックの HDMI 入力の 1 つのみを使用しますが、SpeakerTrack 60 カメラでは 2 つ使用することに注意してください。Quad カメラを使用すると人数カウント機能 (通話中) も使用できます。

ホワイトボードへのスナップ機能のサポート (SX80、MX700/MX800、ルームキット、ルームキットプラス、ルーム 55、ルーム 70)

スピーカートラック機能のあるカメラを備えたすべての製品 (SX80 と Cisco TelePresence Speaker Track 60 カメラまたは Cisco Spark Quad camera、デュアルカメラが装備された MX700/MX800、ルームキット、ルームキットプラス、ルームキット 55、Room 70) でホワイトボードへのスナップ機能を使用できるようになりました。

ビデオ システムがホワイトボードの近くで話している人を検出すると、カメラのビューがホワイトボード領域に切り替わります。Touch 10 ユーザ インターフェイスの設定パネルのウィザードでは、機能を設定したり、ホワイトボード領域の場所を定義したりするのに役立ちます。

ブリーフィング ルーム モード (SX80、MX700/MX800)

すでに TC ソフトウェアに導入されているブリーフィング ルームの機能が改良されました。室内制御フレームワークは、関連付けられたユーザ インタフェース要素を作成するために使用します。

MX700/MX800: 以前と同じく、ブリーフィング ルームはデュアルカメラ システムでのみサポートされています。また、Precision 60 カメラと合計 3 つの画面が必要です。

SX80: ブリーフィング ルームは、スピーカートラック カメラ、Precision 60 カメラ、および 3 つの画面が接続されている場合のみサポートされています。スピーカートラック カメラには、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 または Cisco Spark Quad カメラのいずれかを利用できます。

USB のシリアルポート接続のサポート (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55、ルーム 70)

USB (Type A) をシリアル (D-Sub 9) アダプタに接続して、ビデオ システム API にアクセスすることができます。シスコでは、UC232R 10 USB to RS232 (FTDI) アダプタをお勧めします。

CMS ホスト会議でのリモート参加者のミュートとミュート解除 (アクティブ コントロール) (すべての製品)

ビデオ システムが CMS (2.1 以降) 会議のアクティブ コントロールに対応している場合、ユーザ インターフェイスの参加者リストからリモート参加者をミュートしたり、ミュート解除したりできます (この機能が CMS でも有効になっている必要があります)。

ソフトウェア バージョン CE9.2 を実行しているビデオ システムは、直接ミュート解除されません。このようなビデオ システムをリモートでミュート解除しようとする、ローカルで音声をミュート解除するようユーザに求めるメッセージが画面上に表示されます。

カスタム入力プロンプトの API コマンド (すべての製品)

ユーザ インターフェイスに入力プロンプトを表示できる `xCommand UserInterface Message TextInput *` という API コマンドが導入されました。表示コマンドを発行すると、カスタムテキスト、ユーザ用のテキスト入力フィールド、送信ボタンを備えたプロンプトが、ユーザ インターフェイス上に表示されます。たとえば、終了したコールの後にフィードバックを残すようにユーザに求めることができます。ユーザの入力タイプ (単一行のテキスト、数値、パスワード、または PIN コード) を指定できます。

このプロンプトは API でのみ有効にできます。このため、これをマクロ (SX10 では使用できません) およびカスタム ユーザ インターフェイス パネル (または自動トリガー イベント) と組み合わせることをお勧めします。

API 経由での証明書のアップロード (すべての製品)

ASCII PEM 形式の証明書は、複数行の API コマンドを使用して直接インストールできます (`xCommand Security Certificates CA Add` または `xCommand Security Certificates Services Add`)。これまでのように、証明書を Web インターフェイスからビデオ システムにアップロードすることもできます。

ユーザ管理用 API コマンド (すべての製品)

API コマンド (`xCommand UserManagement User *`) を使用してユーザ アカウントを直接作成し、管理することができます。これまでのように、これをビデオ システムのユーザ インターフェイスから行うこともできます。

室内制御のプレビュー モード (すべての製品)

室内制御エディタには、新しいプレビュー モードがあります。仮想タッチ ユーザ インターフェイスでは、デザインがユーザ インターフェイスでどのように見えるかを確認できます。ユーザ インターフェイスは対話型で、機能をテストすることができます。テストでは、ビデオ システムに実際のイベントが生成され、サードパーティ製の制御システムまたはマクロを使用して作成したすべての機能をトリガーすることができます。右ペインのコンソールには、対話する際のウィジェット値と、制御システムのフィードバック メッセージの両方が表示されます。

Intelligent Proximity の変更点 (すべての製品)

Cisco Proximity を使用して 1 つ以上のクライアントがシステムとペアになっていることを通知するプロキシミティ インジケータが画面 (中央右側) に表示されます。Proximity が有効になっているときに常に表示されていたこれまでのインジケータ (左上) は削除されました。

ユーザ インターフェイスから Proximity サービスを無効にすることができなくなりました。

超音波設定が [周辺機器 (Peripherals)] > [ペアリング (Pairing)] > [超音波 (Ultrasound)] から [オーディオ (Audio)] > [超音波 (Ultrasound)] に移動されました。

コール サービスを変更する際の初期設定への自動リセット (デバイスの有効化) (すべての製品)

ユーザ インターフェイスを使用して、デバイスを有効にする方法を変更すると (例: VCS から Cisco UCM)、ビデオ システムによって自動で工場出荷時設定にリセットされて再起動されます。これにより、新しいサービス向けにビデオ システムをプロビジョニングするときに設定の競合が回避されます。

API からプロビジョニングを変更しても、ビデオ システムは自動では工場出荷時設定にリセットされません。

音声とその他のメディアで別個の RTP ポート範囲のサポート (すべての製品)

オーディオが他のメディアと異なる RTP ポート範囲を使用するようにビデオ システムを設定できます。これらの 2 つの範囲は重複できません。デフォルトでは、すべてのメディアは同じ RTP ポート範囲を使用します。

CE9.2 での設定の変更点

新しい設定

オーディオ入力 HDMI [n]モード (コーデックプラス)

オーディオ入力 HDMI[n] 非アクティブビデオでビデオ協会のミュート (ルームキット、コーデックプラス)

オーディオ出力内部スピーカーモード (ルーム 55)

Audio Ultrasound MaxVolume (すべての製品)

Cameras Camera[1..2] Focus Mode (MX700/MX800)

統合カメラの追加

カメラスピーカートラックホワイトボードモード (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

Macros AutoStart (SX10 を除くすべての製品)

Macros Mode (SX10 を除くすべての製品)

NetworkServices HTTP Proxy Allowed (すべての製品)

NetworkServices HTTP Proxy LoginName (すべての製品)

NetworkServices HTTP Proxy Mode (すべての製品)

NetworkServices HTTP Proxy Password (すべての製品)

NetworkServices HTTP Proxy Url (すべての製品)

Standby WakeupOnMotionDetection (すべての製品)

UserInterface CustomMessage (すべての製品)

UserInterface OSD HalfwakeMessage (すべての製品)

UserInterface SettingsMenu Mode (すべての製品)

ビデオ入力コネクタ[n] CEC モード (ルームキット、コーデックプラス、ルーム55)

ビデオ入力コネクタ[n] HDCP モード (ルーム 55)

削除されたコンフィギュレーション

Conference MultiStream Mode (SX10, DX70/DX80)

変更されたコンフィギュレーション

Audio Input MicrophoneMode (DX70/DX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN

新: ユーザロール: アドミン、インテグレータ

音声入力マイク[n]レベル (ルームキット、ルーム 55)

旧: 値スペース: 0 ~ 36

新: 設定可能値: 0 ~ 26

カメラ カメラ[n]フォーカスモード (SX80, MX700/MX800, コーデックプラス)

旧: 値スペース: Auto/Manual

新: 設定可能値: オート/オートリミット/マニュアル

カメラスピーカートラッククローズアップ (SX80, MX700/MX800, ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザロール: アドミン、インテグレーター、ユーザ

Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

UserInterface Language (すべての製品)

新: Arabic および Hebrew が値スペースに追加されました。

UserInterface OSD Output (RoomKit)

旧: デフォルト値: 1

新: デフォルト値: オート

ビデオ入力コネクタ[2] 名前 (コーデックプラス、ルーム 55)

旧: デフォルト値: PC (HDMI1)

新: デフォルト値: PC 1 (HDMI)

ビデオ入力コネクタ[3] 名前 (コーデックプラス、ルーム 55)

旧: デフォルト値: PC (HDMI2)

新: デフォルト値: PC 2 (HDMI)

ビデオ出力コネクタ[1] 解像度 (MX200G2/MX300G2, DX70/DX80, ルーム 55)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Video Selfview OnCall Mode (RoomKit)

旧: デフォルト値: Off

新: デフォルト値: On

CE9.2 でのコマンドの変更点

新しいコマンド

- カメラスピーカートラックホワイトボード位置を有効にする (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- カメラスピーカートラックホワイトボード位置を合わせる (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- カメラスピーカートラックホワイトボード距離の設定 (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- カメラスピーカートラックホワイトボード収納位置 (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- Macros Log Clear (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Log Get (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Activate (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Deactivate (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Get (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Remove (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Rename (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Roles Set (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Macro Save (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Runtime Restart (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Runtime Start (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Runtime Status (SX10 を除くすべての製品)
- Macros Runtime Stop (SX10 を除くすべての製品)
- Message Send (すべての製品)
- Security Certificates CA Add (すべての製品)
- Security Certificates CA Delete (すべての製品)
- Security Certificates CA Show (すべての製品)
- Security Certificates Services Activate (すべての製品)
- Security Certificates Services Add (すべての製品)
- Security Certificates Services Deactivate (すべての製品)
- Security Certificates Services Delete (すべての製品)
- Security Certificates Services Show (すべての製品)

Standby Halfwake (すべての製品)

- システムユニット製品プラットフォームのセット (SX80、MX700/MX800、コーデックプラス)
- UserInterface Branding Delete (SX10 を除くすべての製品)
- UserInterface Branding Get (SX10 を除くすべての製品)
- UserInterface Branding Updated (SX10 を除くすべての製品)
- UserInterface Branding Upload (SX10 を除くすべての製品)
- UserInterface Extensions Widget Action (すべての製品)
- UserInterface Message TextInput Clear (すべての製品)
- UserInterface Message TextInput Display (すべての製品)
- UserManagement User Add (すべての製品)
- UserManagement User Delete (すべての製品)
- UserManagement User Get (すべての製品)
- UserManagement User List (すべての製品)
- UserManagement User Modify (すべての製品)
- ビデオ CEC 入力キークリック (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- ビデオ CEC 出力キークリック (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

削除されたコマンド

- ユーザインターフェース OSD キークリック (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- ユーザインターフェース OSD キープレス (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)
- ユーザインターフェース OSD キーリリース (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

変更されたコマンド

- Audio Microphones Mute (すべての製品)
 - 旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR、USER
 - 新: ユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Audio Microphones ToggleMute (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Microphones Unmute (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Sound Play (すべての製品)

旧: Sound: Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp
 新: Sound: Alert / Bump / Busy / CallDisconnect / CallInitiate / CallWaiting / Dial / KeyInput / KeyInputDelete / KeyTone / Nav / NavBack / Notification / OK / Pairing / PresentationConnect / Ringing / SignIn / SpecialInfo / TelephoneCall / VideoCall / VolumeAdjust / WakeUp
 旧: ユーザ ロール: インテグレータ、ユーザ
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio Sound Stop (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio SoundsAndAlerts Ringtone List (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Audio SpeakerCheck (MX700/MX800)

旧: ボリューム: 整数 (1 ~ 10)
 新: ボリューム: 整数 (1 ~ 30)

Call Disconnect (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

カメラポジションリセット (SX80, SX20, SX10, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800, コーデック
 プラス)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Camera PositionSet (DX70/DX80 を除くすべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER
 追加: レンズ: ワイド/センター/左/右

Camera Ramp (DX70/DX80 を除くすべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras PresenterTrack ClearPosition (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras PresenterTrack Set (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras PresenterTrack StorePosition (SX80, MX700/MX800)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start (SX80, MX700/MX800, RoomKit, Codec Plus, Room
 55)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop (SX80, MX700/MX800, RoomKit, Codec Plus, Room
 55)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER
 新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition (SX80, MX700/MX800)

Removed: Camera
 追加: カメラ ID: 整数 (1 ~ 7)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition (SX80, MX700/MX800)

Removed: Camera
 追加: Camerald: 整数 (1 ~ 7)

Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition (SX80, MX700/MX800)

Removed: Camera
 追加: Camerald: 整数 (1 ~ 7)

ダイヤル (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

Peripherals HeartBeat (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, ROOMCONTROL, USER

新: ユーザロール: ユーザロール: アドミン、インテグレーター、ルームコントロール、ユーザ

SystemUnit Boot (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

SystemUnit FirstTimeWizard Stop (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

UserInterface Extensions List (すべての製品)

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

新: ユーザロール: アドミン、インテグレーター、ルームコントロール、ユーザ

UserInterface Message Prompt Display (すべての製品)

追加: Duration: 整数 (0 ~ 3600)

ビデオ入力セットメインビデオソース (SX80, SX20, MX200G2/MX300G2, DX70/DX80, MX700/MX800, ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

追加: Layout: Equal / PIP

旧: ユーザ ロール: INTEGRATOR, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

CE9.2 でのステータスの変更点

新しいステータス

オーディオ入力コネクタマイク[n] Ec 基準遅延 (ルームキット)

カメラ カメラ[n] 検出コネクタ (SX80, SX20, SX10, MX700/MX800, コーデックプラス)

カメラ カメラ[n] ポジションレンズ (SX80, MX700/MX800, コーデックプラス)

カメラスピーカートラックアクティブコネクタ (SX80, MX700/MX800, ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

ビデオ入力コネクタ[n] 接続デバイス CEC[n] 論理アドレス (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] LogicalAddress (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice ScreenSize (すべての製品)

削除されたステータス

ビデオ入力コネクタ[n] 接続デバイス CEC[n] パワーコントロール (ルームキット、コーデックプラス、ルーム 55)

Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector (SX80, MX700/MX800)

Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector (SX80, MX700/MX800)

変更されたステータス

Diagnostics Message[n] Type (すべての製品)

値スペースから削除: CamerasDetectedNoItr / UdpPortRangeViolation

設定可能値に追加: CameraDetected / CertificateExpiry / MacrosRuntimeStatus / MediaPortRangeNegative / MediaPortRangeOdd / MediaPortRangeOverlap / MediaPortRangeTooSmall / MediaPortRangeValueSpace / MicrophonesConnected / SparkActivationRequired / VideoPortRangeNegative / VideoPortRangeOdd / VideoPortRangeTooSmall / VideoPortRangeValueSpace / UltrasoundConfigSettings

Video Input MainVideoSource (すべての製品)

旧: 値スペース: 整数

新: 設定可能値: 1 / 2 / 3 / 4 / 構成される

CE9.1 の新機能

このセクションでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョンCE9.0と比較して、9.1 (CE9.1) での新しいシステム設定および変更されたシステム設定の概要、および新機能と改善点について説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

CMS ベースの会議でのデュアル スクリーン エクスペリエンスと アクティブ コントロール (DX70/DX80, SX10, SX20, MX200/MX300 以外のすべての製品)

デュアル スクリーンのビデオ システムでは、CMS ベースの会議でビデオ用の画面を両方とも利用できます。ビデオ システムは、2 つのトランスコードされたビデオ ストリームを受信し、1 つのコンテンツ ストリームは CMS からのもので、両方の画面を使用してストリームをレンダリングします。

アクティブ コントロールを有効にすると、すべてのミーティング参加者と参加者の現在のアクティビティ ステータス (ミュート、共有、アクティブ スピーカーなど) を示す参加者リストを取得できます。レイアウト選択パネルを使用して、タッチ インターフェイスからシームレスにレイアウトを変更できます。

新しいウェイクアップ エクスペリエンス (すべての製品)

SX10/DX70: ハーフウェイクのみ

その他の製品: ハーフウェイクおよびスタンバイ、モーション検知付き

新しいウェイクアップ エクスペリエンスでは、ハーフウェイク状態が導入されています。この状態は、システムを緩やかに起動し、起動方法について、ユーザに対してより良いガイダンスを提供します。

モーション検知ウェイクアップが有効な場合、誰かが室内に入るとシステムは自動的にハーフウェイク状態になります。また、ユーザが Cisco Proximity クライアントとシステムをペアリングしたときにもこの状態で起動します。(DX70 でも同様です)

Bluetooth ヘッドセットのサポート (DX70, DX80)

Bluetooth ヘッドセットをビデオ システムで使用できます。ヘッドセットは HFP (Hands Free Protocol) をサポートする必要があります。ユーザ インターフェースの Bluetooth ペアリング モードで、Bluetooth を有効化してビデオ システムを設定することができます。

ワイヤレス ネットワーク用の EAP 認証フレームワークのサポート (DX70, DX80, Room Kit)

ビデオ システムは、WPA-PSK と WPA2-PSK に加えて、Wi-Fi 接続用に WPA-EAP 認証フレームワークをサポートするようになりました。全部で次の方式がサポートされています。

- Open
- WPA-PSK (AES)
- WPA2-PSK (AES)
- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- EAP-FAST
- PEAP
- EAP-MSCHAPv2
- EAP-GTC

ルーム分析のための追加機能 (SX10, DX70, DX80 を除くすべての製品)

室内の人の存在を検知: ビデオ システムは、人が室内にいるかどうかを検出する機能を備えています。この機能には超音波が使用されており、部屋が使用されているかどうかのみを判断し、部屋にいた人物の記録は保持されません。

人数カウント (Room Kit, Codec Plus, Room 55 のみ): 通話中、およびセルフビュー画像の表示中に、ビデオシステムは室内にいる人の数をカウントします。通話時以外でも人数をカウントするようにビデオ システムを設定できますが、ビデオ システムがスタンバイ状態のときは人数をカウントできません。室内にいた人物の記録を保持することはなく、顔の数だけを検知します。

ネットワーク ポート 2 は無効にできます (DX70、DX80)

ビデオ システムの 2 番目のネットワーク ポートを介して、コンピュータをネットワークに接続することができます。この場合、ビデオ システムとコンピュータの両方をサポートするために、ネットワーク コンセントは 1 つしか必要ありません。

セキュリティ上の理由から、公共の環境でビデオ システムを使用する場合は、このネットワーク ポートを無効にすることをお勧めします。これにより、第三者がビデオ システムを介してコンピュータをネットワークに接続するのを防ぐことができます。

CE9.1 でのシステム設定の変更点

新しい設定

Cameras Camera Framerate (*Room Kit*)

NetworkPort [2] Mode (*DX70, DX80*)

RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall (*Room Kit*)

RoomAnalytics PeoplePresenceDetector (*MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX20, SX80*)

削除されたコンフィギュレーション

なし。

変更されたコンフィギュレーション

Conference DefaultCall Rate (*MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX20, SX80*)

旧: デフォルト値: 3072

新: デフォルト値: 6000

Conference MultiStream Mode (*MX700, MX800, Room Kit, SX80*)

旧: 値スペース: Off, デフォルト値: Off

新: 設定可能値: オート/オフ, デフォルト値: オート

Network[1] IEEE8021X Password (*すべての製品*)

旧: 値スペース: 文字列 (0, 32)

新: 値スペース: 文字列 (0, 50)

Peripherals Profile TouchPanels (*SX80, Room Kit*)

旧: デフォルト値: NotSet

新: デフォルト値: 最小値 1

Video Input Connector [n] PresentationSelection (*すべての製品*)

旧: 設定可能値: 自動共有/手動/接続時 (*MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, ルームキット, SX10, SX20, SX80*)

旧: 値スペース: AutoShare/Desktop/Hidden/Manual/OnConnect (*DX70, DX80*)

新: 値スペース: AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect (*すべての製品*)

Video Output Connector [1..2] MonitorRole (*Room Kit*)

旧: デフォルト値: Connector [1]: First, Connector [2]: Second

新: デフォルト値: Auto

CE9.1 でのシステム コマンドの変更点

新しいコマンド

SystemUnit FirstTimeWizard Stop (すべての製品)

UserInterface Extensions Set (すべての製品)

削除されたコマンド

Camera PositionReset (Room Kit)

Camera TriggerAutofocus (Room Kit)

変更されたコマンド

Audio Select (DX70、DX80)

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: 内部/ヘッドセット Bluetooth /ヘッドセット USB /ヘッドセットアナログ/ハンドセット USB

Audio Volume Decrease (DX70、DX80)

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume Increase (DX70、DX80)

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume Set (DX70、DX80)

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

Audio Volume SetToDefault (DX70、DX80)

旧: デバイス: Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

新: デバイス: Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HandsetUSB

ダイヤル (DX70、DX80)

旧: CallRate: 整数 (64 ~ 6000)

新: 通話料金: 整数 (64 ~ 3072)

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start (MX700、MX800、Room Kit、SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: アドミン、ユーザ

Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop (MX700、MX800、Room Kit、SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

新: ユーザ ロール: ADMIN、USER

Presentation Start (Room Kit)

旧: ConnectorID: 整数 (0 ~ 65534)

新: コネクタ ID: 整数 (1 ~ 2)

旧: プレゼンテーションのソース: 整数 (0 ~ 65534)

新: プレゼンテーションのソース: 整数 (1 ~ 2)

Presentation Stop (Room Kit)

旧: PresentationSource: 整数 (0 ~ 65534)

新: PresentationSource: 整数 (1 ~ 2)

SystemUnit FactoryReset (すべての製品)

旧: Keep: LocalSetup/Network/Spark/Provisioning

新: キープ: ローカルセットアップ/ネットワーク/スパーク/プロビジョニング/シリアルポート/証明書 (使用されていません)

CE9.1 でのシステム ステータスの変更点

新しいステータス

Audio Output Connectors Line ConnectionStatus (*Room Kit*)
 Audio Output Connectors Line ConnectionStatus (*Room Kit*)
 Audio Devices Bluetooth ActiveProfile (*DX70, DX80*)
 Audio VolumeHeadsetBluetooth (*DX70, DX80*)
 RoomAnalytics PeopleCount Current (*Room Kit*)
 RoomAnalytics PeoplePresence (*SX20, SX80, Room Kit, MX200, MX300, MX700, MX800*)
 SystemUnit Software OptionKeys Encryption (*SX20, Room Kit, DX70, DX80*)
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType (*Room Kit*)
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name (*Room Kit*)
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus (*Room Kit*)
 Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId (*Room Kit*)

削除されたステータス

Cameras Camera [n] Flip (*Room Kit*)
 Cameras Camera [n] HardwareID (*Room Kit*)
 Cameras Camera [n] MacAddress (*DX70, DX80, Room Kit*)
 Cameras Camera [n] Position Focus (*Room Kit*)
 Cameras Camera [n] SerialNumber (*Room Kit*)
 Cameras Camera [n] SoftwareID (*Room Kit*)
 Video Input Source [n] TmdsClockPresent (*Room Kit*)

変更されたステータス

Diagnostics Message Type (*すべての製品*)

旧: 設定可能値: CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / ConfigurationFile / DefaultCallProtocolRegistered / EthernetDuplexMatches / FanStatus / PresenterTrack / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasValidReleaseKey / IpCameraStatus / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack

/ ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / LockDown / RoomControl / MediaBlockingDetected / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / NTPStatus / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SiplceAndAnatConflict / SIPListenPortAndRegistration / TCPMediaFallback / TemperatureCheck / TLSVerifyRequiredCerts / TouchPanelConnection / ControlSystemConnection / TurnBandwidth / UdpPortRangeViolation / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputStability / VideoInputSignalQuality / SparkConnectivity / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / SpeakerTrackEthernetConnection / ANATOnVCS / ECReterenceDelay / AudioECRefDelay / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingInterference / AudioPairingTokenDecode / AudiolnternalSpeakerDisabled / AbnormalCallTermination / HasActiveCallProtocol / SipOrH323ButNotBothEnabled / PresentationSourceSelection / SoftwareUpgrade / PlatformSanity / ContactInfoMismatch / MicrophoneReinforcement / FirstTimeWizardNotCompleted / CaptivePortalDetected / MonitorDelay
新: 設定可能値: CAPFOperationState / CTLInstallation / CUCMVendorConfigurationFile / CallProtocolDualStackConfig / CallProtocolIPStackPlatformCompatibility / CallProtocolVcsProvisioningCompatibility / Camerald / CameraPairing / CameraSerial / CameraSoftwareVersion / CameraStatus / CamerasDetected / CamerasDetectedNoIr / ConfigurationFile / DefaultCallProtocolRegistered / EthernetDuplexMatches / FanStatus / PresenterTrack / H320GatewayStatus / H323GatekeeperStatus / HasValidReleaseKey / IpCameraStatus / IPv4Assignment / IPv6Assignment / IPv6Mtu / ISDNLinkCompatibility / ISDNLinkIpStack / ITLInstallation / InvalidSIPTransportConfig / LockDown / RoomControl / MediaBlockingDetected / NetLinkStatus / NetSpeedAutoNegotiated / NetworkQuality / NTPStatus / OSDVideoOutput / OutputConnectorLocations / ProvisioningDeveloperOptions / ProvisioningStatus / SIPEncryption / SIPListenPortAndOutboundMode / SIPProfileRegistration / SIPProfileType / SelectedVideoInputSourceConnected / SiplceAndAnatConflict / SIPListenPortAndRegistration / TCPMediaFallback / TemperatureCheck / TLSVerifyRequiredCerts / TouchPanelConnection / ControlSystemConnection / TurnBandwidth / UdpPortRangeViolation / UltrasoundSpeakerAvailability / ValidPasswords / VideoFromInternalCamera / VideoInputStability / VideoInputSignalQuality / SparkConnectivity / SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly / SpeakerTrackMicrophoneConnection / SpeakerTrackVideoInputs / AudioECRefDelay / AudioPairingNoise / AudioPairingRate / AudioPairingSNR / AudioPairingInterference / AudioPairingTokenDecode / AudiolnternalSpeakerDisabled / AbnormalCallTermination / HasActiveCallProtocol / SipOrH323ButNotBothEnabled / PresentationSourceSelection / SoftwareUpgrade / PlatformSanity / ContactInfoMismatch / MicrophoneReinforcement / FirstTimeWizardNotCompleted / CaptivePortalDetected / MonitorDelay / WifiCARequired

Standby State (すべての製品)

旧: 値スペース: Standby/EnteringStandby/Off

新: 設定可能値: 待機/待機に入る/ハーフウェイク/オフ

CE9.0 の新機能

このセクションでは、シスコ コラボレーション エンドポイント ソフトウェア バージョン CE8.3と比較して、9.0 (CE9.0)での新しいシステム設定および変更されたシステム設定の概要、および新機能と改善点について説明します。

詳細については、次のソフトウェア リリース ノートを読むことをお勧めします。

▶ <https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/telepresence-quick-set-series/products-release-notes-list.html>

新機能および改善点

更新されたユーザ インターフェイス

Touch 10 のユーザ インターフェイス、画面上のユーザ インターフェイス、統合タッチ画面のユーザ インターフェイスが更新されました。ホーム画面上のメイン メニュー項目は、より目立つアクティビティで置き換えられました。

画面上に表示されるメニューに合わせて、一部の設定が Touch 10の詳細設定メニューから削除されました。

モーション検知ウェイクアップ

モーション検知ウェイクアップでは、会議室に入ってくる人を検出し、システムを自動的に起動します。この機能を有効にするには、次の設定を有効にする必要があります。

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection

この機能が有効なときに、システムを手動でスタンバイ状態に設定することはできません。

室内制御エディタの更新

室内制御エディタが更新されて外観が新しくなり、ロジックと使い勝手が改善された、より効率的なコントロール インターフェイスになりました。さらに、新しい方向パッド ウィジェットと室内制御シミュレータが追加されています。

言語サポートの追加

画面上の表示と Touch コントローラ メニューに、ポルトガル語 (ポルトガル) のサポートが追加されました。

その他の変更

- ・ HTTPS クライアント証明書のサポートが追加されました。
- ・ プレゼンテーション ケーブルを抜くと、すぐにプレゼンテーション共有が停止します。

CE9.0 でのシステム設定の変更点

新しい設定

- Cameras SpeakerTrack Closeup (MX700, X800, SX80)
- NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion (すべての製品)
- NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity (すべての製品)
- NetworkServices UPnP Mode (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

削除されたコンフィギュレーション

- Audio Microphones PhantomVoltage (MX200 G2, MX300 G2, SX20)

変更されたコンフィギュレーション

- Cameras Camera [n] * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

- Cameras SpeakerTrack * (MX700, MX800, SX80)

旧: ユーザ ロール: ADMIN, USER

新: ユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

- Conference MultiStream Mode (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX20, SX80)

旧: 値スペース: Auto/Off

新: 設定可能値: オフ

- UserInterface Language (すべての製品)

新: 値スペースに Portuguese が追加されました。

INTERATOR ユーザ ロールによる xConfigurations

新しいユーザ ロール INTEGRATOR が、CE9.0 で導入されました。これは、次の設定に追加されています。

- Audio DefaultVolume (すべての製品)
- オーディオ入力 HDMI [n] * (MX700, MX800, SX80)
- オーディオ入力回線[n] * (MX700, MX800, SX20, SX80)
- オーディオ入力マイク[n] * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)
- オーディオマイクの補強* (MX700, MX800, SX80)

オーディオマイクをミュートに有効する (すべての製品)

Audio Output HDMI [n] * (SX80)

オーディオ出力回線[n] * (MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

オーディオ音声とアラート* (すべての製品)

Cameras Camera [n] * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

Cameras SpeakerTrack * (MX700, MX800, SX80)

会議のデフォルト通話料金 (すべての製品)

会議はデフォルトタイムアウトを邪魔しない (すべての製品)

GPIO ピン[n] モード (MX700, MX800, SX80)

周辺機器プロファイル * (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, SX10, SX20, SX80)

シリアルポートのボーレート (MX700, MX800, X20, SX80)

シリアルポートモード (すべての製品)

待機 * (DX70, DX80, MX200 G2, MX300 G2, SX10, SX20, SX80)

待機ブートアクション (MX700, MX800)

待機コントロール (MX700, MX800)

待機遅延 (MX700, MX800)

待機 待機アクション (MX700, MX800)

待機 ウェイクアップアクション (MX700, MX800)

システムユニット名 (すべての製品)

タイムゾーン (すべての製品)

ユーザインターフェイス OSD 出力 (すべての製品)

ビデオ入力コネクタ[n]カメラ制御カメラ ID (すべての製品)

ビデオ入力コネクタ[n]カメラ制御モード (すべての製品)

ビデオ入力コネクタ[n]入力ソースタイプ (すべての製品)

ビデオ入力コネクタ[n]名前 (すべての製品)

Video Input Connector [n] PresentationSelection (すべての製品)

Video Input Connector [n] Quality (すべての製品)

Video Input Connector [n] Visibility (すべての製品)

ビデオ モニター (すべての製品)

Video Output Connector [n] CEC Mode *(すべての製品)*

Video Output Connector [n] MonitorRole *(MX700、MX800、SX20、SX80)*

Video Output Connector [n] Resolution *(すべての製品)*

Video Presentation DefaultPIPPosition *(すべての製品)*

Video Selfview Default * *(すべての製品)*

Video Selfview OnCall * *(すべての製品)*

<path> * は、<path> で始まるすべての設定に変更が適用されることを意味します。

CE9.0 でのシステム コマンドの変更

新しいコマンド

Audio Microphones ToggleMute (すべての製品)
Audio Volume ToggleMute (すべての製品)
Audio Sound Play (すべての製品)
Audio Sound Stop (すべての製品)
Cameras AutoFocus Diagnostics Start (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
SystemUnit SignInBanner Clear (すべての製品)
SystemUnit SignInBanner Get (すべての製品)
SystemUnit SignInBanner Set (すべての製品)
Video Output Monitor Backlight Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Brightness Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Blue Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Green Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Red Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Color Select (MX700, MX800)
Video Output Monitor Contrast Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor CSC Select (MX700, MX800)
Video Output Monitor Gamma Set (MX700, MX800)
Video Output Monitor Reset (MX700, MX800)
Video Output Monitor Sharpness Set (MX700, MX800)

変更されたコマンド

SystemUnit FactoryReset (すべての製品)
新: Keep:LocalSetup/Network/Spark/Provisioning

INTERATOR ユーザ ロールのある xCommand

Audio Microphones Mute (すべての製品)

オーディオマイクミュートの切り替え (すべての製品)
オーディオマイクのミュートを解除する (すべての製品)
オーディオサウンドプレイ (すべての製品)
オーディオサウンドと着信音リスト (すべての製品)
オーディオサウンドと着信音プレー (すべての製品)
オーディオサウンドを停止する (すべての製品)
カメラオートフォーカス診断開始 (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
カメラオートフォーカス診断停止 (MX700, MX800, Room Kit, SX80)
Cameras PresenterTrack ClearPosition (SX80, MX700, MX800)
Cameras PresenterTrack Set (SX80, MX700, MX800)
Cameras PresenterTrack StorePosition (SX80, MX700, MX800)
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start (SX80, MX700, MX800)
周辺機器コネクタ (すべての製品)
Peripherals List (すべての製品)
Standby Activate (すべての製品)
Standby Deactivate (すべての製品)
SystemUnit Boot (すべての製品)
UserInterface Extensions Clear (すべての製品)
UserInterface Extensions List (すべての製品)
UserInterface Extensions Widget SetValue (すべての製品)
UserInterface Extensions Widget UnsetValue (すべての製品)
UserInterface Message Alert Clear (すべての製品)
UserInterface Message Alert Display (すべての製品)
UserInterface Message Prompt Clear (すべての製品)
UserInterface Message Prompt Display (すべての製品)
UserInterface Message Prompt Response (すべての製品)
UserInterface Message TextLine Clear (すべての製品)
UserInterface Message TextLine Display (すべての製品)
UserInterface Presentation ExternalSource Add (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource List (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource Remove (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource Select (すべての製品)

UserInterface Presentation ExternalSource State Set (すべての製品)

UserManagement User Passphrase Change (すべての製品)

Video Input SetMainVideoSource (DX70、DX80、MX200 G2、MX300 G2、MX700、MX800、SX20、SX80)

CE9.0 でのシステム ステータスの変更

新しいステータス

Cameras PresenterTrack Availability (MX700, MX800, SX80)

Cameras PresenterTrack PresenterDetected (MX700, MX800, SX80)

Cameras PresenterTrack Status (MX700, MX800, SX80)

Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name (すべての製品)

Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId (すべての製品)

変更されたステータス

Diagnostics Message [n] Type (すべての製品)

旧: CAPFOperationState, CTLInstallation, CUCMVendorConfigurationFile, CallProtocolDualStackConfig, CallProtocolIPStackPlatformCompatibility, CallProtocolVcsProvisioningCompatibility, Camerald, CameraPairing, CameraSerial, CameraSoftwareVersion, CameraStatus, CamerasDetected, ConfigurationFile, DefaultCallProtocolRegistered, EthernetDuplexMatches, FanStatus, PresenterTrack, H320GatewayStatus, H323GatekeeperStatus, HasValidReleaseKey, IpCameraStatus, IPv4Assignment, IPv6Assignment, IPv6Mtu, ISDNLinkCompatibility, ISDNLinkIpStack, ITLInstallation, InvalidSIPTransportConfig, LockDown, RoomControl, MediaBlockingDetected, NetLinkStatus, NetSpeedAutoNegotiated, NetworkQuality, NTPStatus, OSDVideoOutput, OutputConnectorLocations, ProvisioningStatus, SIPEncryption, SIPListenPortAndOutboundMode, SIPProfileRegistration, SIPProfileType, SelectedVideoInputSourceConnected, SiplceAndAnatConflict, TCPMediaFallback, TemperatureCheck, TLSVerifyRequiredCerts, TouchPanelConnection, ControlSystemConnection, TurnBandwidth, UdpPortRangeViolation, UltrasoundSpeakerAvailability, ValidPasswords, VideoFromInternalCamera, VideoInputStability, SparkConnectivity, SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly, SpeakerTrackMicrophoneConnection, SpeakerTrackVideoInputs, SpeakerTrackEthernetConnection, ANATOnVCS, ECRferenceDelay, AudioECRefDelay, AudioPairingNoise, AudioPairingRate, AudioPairingSNR, AudioPairingInterference, AudioPairingTokenDecode, AudioInternalSpeakerDisabled, AbnormalCallTermination, HasActiveCallProtocol, SipOrH323ButNotBothEnabled, PresentationSourceSelection, SoftwareUpgrade, PlatformSanity, ContactInfoMismatch, MicrophoneReinforcement

新: CAPFOperationState, CTLInstallation, CUCMVendorConfigurationFile, CallProtocolDualStackConfig, CallProtocolIPStackPlatformCompatibility, CallProtocolVcsProvisioningCompatibility, Camerald, CameraPairing, CameraSerial, CameraSoftwareVersion, CameraStatus, CamerasDetected, ConfigurationFile, DefaultCallProtocolRegistered, EthernetDuplexMatches, FanStatus, PresenterTrack, H320GatewayStatus, H323GatekeeperStatus, HasValidReleaseKey, IpCameraStatus, IPv4Assignment, IPv6Assignment, IPv6Mtu, ISDNLinkCompatibility, ISDNLinkIpStack, ITLInstallation, InvalidSIPTransportConfig, LockDown, RoomControl,

MediaBlockingDetected, NetLinkStatus, NetSpeedAutoNegotiated, NetworkQuality, NTPStatus, OSDVideoOutput, OutputConnectorLocations, ProvisioningDeveloperOptions, ProvisioningStatus, SIPEncryption, SIPListenPortAndOutboundMode, SIPProfileRegistration, SIPProfileType, SelectedVideoInputSourceConnected, SiplceAndAnatConflict, SIPListenPortAndRegistration, TCPMediaFallback, TemperatureCheck, TLSVerifyRequiredCerts, TouchPanelConnection, ControlSystemConnection, TurnBandwidth, UdpPortRangeViolation, UltrasoundSpeakerAvailability, ValidPasswords, VideoFromInternalCamera, VideoInputStability, VideoInputSignalQuality, SparkConnectivity, SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly, SpeakerTrackMicrophoneConnection, SpeakerTrackVideoInputs, SpeakerTrackEthernetConnection, ANATOnVCS, ECRferenceDelay, AudioECRefDelay, AudioPairingNoise, AudioPairingRate, AudioPairingSNR, AudioPairingInterference, AudioPairingTokenDecode, AudioInternalSpeakerDisabled, AbnormalCallTermination, HasActiveCallProtocol, SipOrH323ButNotBothEnabled, PresentationSourceSelection, SoftwareUpgrade, PlatformSanity, ContactInfoMismatch, MicrophoneReinforcement, FirstTimeWizardNotCompleted, CaptivePortalDetected, MonitorDelay

INTERATOR ユーザ ロールのある xStatus

Audio Input Connectors Microphone[n] ConnectionStatus (MX200 G2, MX300 G2, SX10, SX20)

Audio Microphones Mute (すべての製品)

Audio Output Connectors Line[n] DelayMs (すべての製品)

Audio Volume (すべての製品)

Call[n] FacilityServiceId (すべての製品)

Call[n] ReceiveCallRate (すべての製品)

Call[n] TransmitCallRate (すべての製品)

Cameras Camera[n] Capabilities Options (すべての製品)

Cameras Camera[n] Connected (すべての製品)

Cameras Camera[n] Flip (MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] MacAddress (DX70, DX80, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] Manufacturer (すべての製品)

Cameras Camera[n] Model (すべての製品)

Cameras Camera[n] Position Focus (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] Position Pan (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] Position Tilt (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] Position Zoom (MX200 G2, MX300 G2, MX700, MX800, Room Kit, SX10, SX20, SX80)

カメラカメラ[n] シリアル番号 (DX70, DX80, MX700, MX800, ルームキット, SX10, SX20, SX80)

Cameras Camera[n] SoftwareID (すべての製品)

Cameras PresenterTrack Availability (MX700, MX800, SX80)

Cameras PresenterTrack PresenterDetected (MX700, MX800, SX80)

Cameras PresenterTrack Status (MX700, MX800, SX80)

Cameras SpeakerTrack Availability (MX700, MX800, Room Kit, SX80)

Cameras SpeakerTrack LeftCamera VideoInputConnector (MX700, MX800, SX80)

Cameras SpeakerTrack RightCamera VideoInputConnector (MX700, MX800, SX80)

Cameras SpeakerTrack Status (MX700, MX800, SX80)

Conference DoNotDisturb (すべての製品)

Conference Presentation CallId (すべての製品)

Conference Presentation LocalInstance[n] SendingMode (すべての製品)

Conference Presentation LocalInstance[n] Sources (すべての製品)

Conference Presentation Mode (すべての製品)

GPIO Pin[n] State (MX700, MX800, SX80)

Peripherals ConnectedDevice[n] HardwareInfo (すべての製品)

Peripherals ConnectedDevice[n] ID (すべての製品)

Peripherals ConnectedDevice[n] Name (すべての製品)

Peripherals ConnectedDevice[n] SoftwareInfo (すべての製品)

Peripherals ConnectedDevice[n] Status (すべての製品)

Peripherals ConnectedDevice[n] Type (すべての製品)

Peripherals ConnectedDevice[n] UpgradeStatus (すべての製品)

Standby State (すべての製品)

SystemUnit State NumberOfActiveCalls (すべての製品)

SystemUnit State NumberOfInProgressCalls (すべての製品)

Time SystemTime (すべての製品)

UserInterface Extensions Widget[n] Value (すべての製品)

UserInterface Extensions Widget[n] WidgetId (すべての製品)

Video ActiveSpeaker PIPPosition (すべての製品)

Video Input Connector[n] Connected (すべての製品)

Video Input Connector[n] SignalState (すべての製品)

Video Input Connector[n] SourceId (すべての製品)

Video Input Connector[n] Type (すべての製品)

Video Input Source[n] ConnectorId (すべての製品)

Video Input Source[n] FormatStatus (すべての製品)

Video Input Source[n] FormatType (すべての製品)

Video Input Source[n] Resolution Height (すべての製品)

Video Input Source[n] Resolution RefreshRate (すべての製品)

Video Input Source[n] Resolution Width (すべての製品)

Video Output Connector[n] Connected (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] DeviceType (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] Name (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] PowerControl (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] PowerStatus (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice CEC[n] VendorId (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice Name (すべての製品)

Video Output Connector[n] ConnectedDevice PreferredFormat (すべての製品)

Video Selfview FullscreenMode (すべての製品)

Video Selfview Mode (すべての製品)

Video Selfview OnMonitorRole (すべての製品)

Video Selfview PIPPosition (すべての製品)



第 2 章

API について

API の基礎

この章では、コーデック API でサポートされるメカニズムが概説されます。

API へのアクセス方法、コマンド ラインの使用方法、および API 各部の用途を知ることができます。また、コーデックで利用可能なフィードバック機能の使用方法も記載されています。

API は主に次の 4 つのグループから構成されています。

- コマンド
- 構成
- ステータス
- イベント

これらの 4 つのグループは階層的に構造化されており、関連機能を容易に見つけることができます。次の章で、すべてのコマンド、設定およびステータスの完全な一覧を確認できます。

注: コマンドは、コーデックがサードパーティのシステムと対話する方法に影響を与える可能性がある値を返します。これらはリリースごとに変更され、文書化されていません。

API への接続

コーデック API にアクセスするには、いくつかの方法があります。選択する方法に関係なく、API の構造は同じです。用途に最も適した接続方法を選択してください。開始する前に、さまざまな方法についてこの項で確認してください。有効化する前に追加の設定変更が必要になる場合もあります。

次の設定は、パスワードを除き Web インターフェイスの [システム設定 (System configuration)] メニューまたはコマンド ライン インターフェイスから設定できます。例はすべて、コマンドライン インターフェイス用です。

パスワード

ビデオ システムは完全な資格情報を持つデフォルトのユーザ アカウントに提供されます。ユーザ名は admin です。初期段階ではデフォルト ユーザにパスワードが設定されていません。

システム設定へのアクセスを制限するために、管理者ユーザにパスワードを設定する必要があります。さらに、同様のクレデンシャルを持つ他のユーザ用のパスワードを設定する必要があります。

パスワードは、コーデックの Web インターフェイス上で設定できます。Web ブラウザを開き、アドレス バーにビデオ システムの IP アドレスを入力してサインインします。右上隅のユーザ名をクリックし、ドロップダウン メニューから [パスワードの変更 (Change password)] を選択します。

SSH

SSH は安全な TCP/IP 接続であり、コーデックのデフォルトでは有効になっています。無効にできます。SSH 経由で API にアクセスするには、PuTTY などの SSH クライアントが必要です。

```
xConfiguration NetworkServices SSH Mode:
<Off/On>
```

DX、MX、および SX シリーズの Telnet

Telnet は、TCP/IP 規格におけるシリアル プロトコルと同じものだと見なすことができます。デフォルトでは、Telnet は無効になっています。Telnet を使用してコーデックに接続する前に、有効にする必要があります。

Telnet サービスを有効にするには、コーデックで次の設定を行います。この設定の変更にはデバイスの再起動は必要ありませんが、有効になるまでに時間がかかる場合があります。

```
xConfiguration NetworkServices Telnet Mode:
<Off/On>
```

HTTP/HTTPS

HTTP/HTTPS はコネクションレス プロトコルなので、永続的接続はありません。HTTP を介して API と通信するには、複数の方法があります。

HTTP および HTTPS サービスを有効または無効にするには、コーデックで次の設定を行います。

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode:
<Off, HTTP+HTTPS, HTTPS>
```

接続中 (Connecting)

API を調べるには、Web ブラウザでコーデックの IP アドレスまたはホスト名を入力します。Web インターフェイスのメニュー セレクションから、[\[統合 \(Integration\)\]](#) > [\[開発者 API \(Developer API\)\]](#) で API のドキュメントを確認できます。HTTP POST および GET メソッドは、コマンドを実行して、コーデックからフィードバックを取得するために使用されます。これはこのドキュメントの [「HTTP の使用」ページ 50](#)で説明されています。

イーサネット ポート

メイン ネットワーク ポート - ネットワーク ポート 1 - は常に LAN 接続用に予約されています。¹ これはすべてのビデオ システムに適用されます。

シスコのビデオ システムの一部には複数のネットワーク ポートが備わっています。追加のポートは、カメラ、Touch 10 などの周辺機器に使用できます。

このようなネットワークポートに接続されているデバイスはコーデックからローカル IP アドレスを取得するため、企業ネットワークには接続されていません。

- シスコ デバイスには、169.254.1.41 から 169.254.1.240 の範囲 (DHCP) でのダイナミック IP アドレスが割り当てられます。
- シスコ以外のデバイスには、ダイナミック IP アドレス (DHCP) : 169.254.1.30 を割り当てることができます。

注: シスコ以外のデバイスでダイナミック IP アドレスを取得できるのは、一度に 1 つだけです。

- さらに、シスコ以外のデバイスには、169.254.1.241 ~ 169.254.1.254 の範囲の静的 IP アドレスを割り当てることができます。

この方法は、SSH を使用してコーデックに接続する場合にも使用できます。このケースでは、IP アドレス 169.254.1.1 を使用できます。

パワーオーバーイーサネット (PoE)

次の製品には、PoE を提供する 1 つ以上のイーサネットポートがあります。

- Codec Plus、Room 55、Room 55 Dual、Room 70 (Touch コントローラ シンボル  が付いています。)
- Codec Pro、Room 70 G2 (2 ポート: 1 つのポートには Touch コントローラ シンボル  が付いており、もう 1 つのポートは「PoE」と示されています。)

RS-232/ シリアル接続 ²

製品によっては、コーデックには、シリアル通信用に USB または標準的な COM ポートのいずれかがあります。これは、IP アドレス、DNS、またはネットワークなしで使用できます。シリアル接続は、デフォルトで許可されます。

`xConfiguration SerialPort Mode: <Off/On>`

詳細については、製品の『管理者ガイド』を参照してください。

ボー レートその他のシリアル ポート パラメータ

シリアル ポートは 115200 bps、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビットを使用します。デフォルトのボー レートは 115200 bps に設定されています。

SX20 はこの例外であり、シリアル ポートは 38400 bps、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビットを使用します。デフォルトのボー レートは 38400 bps に設定されています。

コーデックは多くのフィードバックを提供できます。したがって、この速度以上の接続を維持して停滞を防止することをお勧めします。

MX700、MX800、SX20、SX80、および Room シリーズでは、必要な場合、ボー レートを変更できます。

`xConfiguration SerialPort BaudRate`

初期ブート シーケンスで、コーデックは、設定されたボー レートに関係なく、38400 bps のボー レートを使用します。

ログインとパスワード

シリアル接続に、ログインを必須とするかどうかを選択できます。セキュリティ上の理由から、パスワード入力要求はデフォルトでオンになっていますが、オフにすることもできます。

`xConfiguration SerialPort LoginRequired: <Off/On>`

ユーザ ロール

1 つのユーザ アカウントは、1 つのユーザ ロールまたは複数の組み合わせを保持できます。デフォルトの admin ユーザなどの、フルアクセス権を持つユーザ アカウントは、ADMIN、USER、AUDIT の各役割も持つ必要があります。

これらはユーザ ロールです。

ADMIN: このロールを持つユーザは、新規ユーザの作成、ほとんどの設定の変更、通話、および連絡先リストの検索ができます。このユーザは監査証明書のアップロードもセキュリティ監査設定の変更も行えません。

USER: このロールを持つユーザはコールの発信と連絡先リストの検索が可能です。このユーザは呼び出し音量の調整や時刻と日付の表示形式の変更など、いくつかの設定を変更できます。


AUDIT: このロールを持つユーザは、セキュリティ監査の設定の変更および監査証明書のアップロードが可能です。

RoomControl: このロールを持つユーザは、室内制御を作成できます。このユーザは、室内制御エディタおよび対応する開発ツールにアクセスできます。

INTEGRATOR: このロールを持つユーザは、高度な AV シナリオを設定し、ビデオ システムをサードパーティの機器と統合するために必要な設定、コマンド、およびステータスにアクセスできます。このようなユーザは、室内制御も作成できます。

Cisco Webex 登録済のシステム

ビデオ システムがシスコのクラウド サービス (Cisco Webex) に登録されている場合は、INTEGRATOR ユーザ ロールと ROOMCONTROL ユーザ ロールを持つローカル ユーザだけを利用できます。

¹ ビデオ システムによっては、ネットワーク ポート 1 に番号 1 とネットワーク シンボル  のいずれか、または両方が付いています。

² DX70、DX80、Room 55 Dual、および Room 70 では使用できません。

API 出力

xPreference は RS-232, Telnet および SSH セッションの優先順位を設定するために使用されます。

出力モードは次のとおりです。

ターミナル: 回線ベースの制御システムで使用する回線ベース出力

XML: XML を理解する制御システムで使用する XML 出力。

JSON: JSON 形式は Web ベースのシステムと統合する際に便利です。

デフォルトの出力モードは **ターミナル** です。これを変更するには、各セッションのプリファレンスを個別に定義する必要があります。このガイドでの例は端末モードです。

出力モードを XML に設定するには、次のコマンドを発行します。

```
xPreferences outputmode xml
```

terminal モードに戻すには、次のコマンドを発行します。

```
xPreferences outputmode terminal
```

例: 端末モードのコマンド

```
xCommand Audio Volume Set Level: 50
```

例: XML モードのコマンド

```
<Command>
  <Audio>
    <Volume>
      <Set command="True">
        <Level>50</Level>
      </Set>
    </Volume>
  </Audio>
</Command>
```

コマンドラインの使用

ヘルプ

すべてのサポートされているトップ レベルのコマンドのリストを取得するには、RS-232、Telnet または SSH を使用してビデオ システムに接続した後に、`?` または `help` を入力します (例 1)。

Bye

`bye` コマンドを入力すると、コマンドライン インターフェイスが閉じます。

API コマンド

xConfiguration

設定は、システム名やネットワーク設定などのシステム設定です。これらはブートしても維持されます。
ページの [▶「構成」ページ 44](#)。

xCommand

コマンドは、番号をダイヤルする、電話帳を検索するといったアクションの実行をコーデックに指示します。
ページの [▶「コマンド」ページ 44](#)。

xStatus

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入出力ソースなどのコーデックの現在の状態が含まれます。
ページの [▶「ステータス」ページ 44](#)。

xFeedback

`xFeedback` コマンドは、設定およびステータス階層のどの部分を監視するか指定するために使用されます。フィードバックは指定された RS 232、Telnet または SSH セッションでのみ発行されます。複数のセッションでコーデックに接続する場合は、セッションごとに個々のフィードバックを定義する必要があります。[▶「フィードバックのメカニズム」ページ 48](#)ページの「フィードバック メカニズム」を参照してください。

例 1:

`?`

- ユーザ コマンド -

```

help          xcommand      xconfiguration  xevent         xfeedback
xgetxml       xdocument     xpreferences    xtransaction   xstatus
bye           echo           log              systemtools
[OK]
```

xPreferences

`xPreferences` コマンドは RS-232、Telnet および SSH セッションの優先順位を設定するために使用されます。
ページの [▶「API 出力」ページ 41](#)。

Echo <on/off>

Echo が `On` に設定されている場合は、コマンドライン インターフェイスにテキストを入力すると、キー入力の内容が表示されます。

Echo が `Off` に設定されている場合は、コマンドライン インターフェイスにテキストを入力しても、ユーザ入力は表示されません。

xEvent

`xEvent` コマンドは、フィードバックに使用可能なイベントに関する情報を返します。[「イベント」ページ 47](#)「イベント」を参照してください。

xGetxml

`xGetxml` 要求は、要求にアタッチされるロケーション パラメータに基づいて XML ドキュメントを返します。表現式と一致する要素 (またはドキュメント全体) が返されます。[▶「フィードバックのメカニズム」ページ 48](#)ページの「フィードバック メカニズム」を参照してください。

その他のコマンド

systemtools

`systemtools` コマンドは、管理統制および診断用のコマンド ライン ツールのセットです。このコマンドをシスコ テクニカル サポートと併用することで、高度なトラブルシューティングを行うことができます。Systemtools は、プログラミング API の一部ではありません。
ページの [▶「SystemTools コマンド」ページ 411](#)。

Log

`log` コマンドは、詳細ログを有効にするために使用されます。これはシステムをデバッグする場合にのみ使用されます。

コマンドライン ショートカット

クライアントでサポートされていれば、使用できる時間節約になるショートカットがいくつかあります。

- コマンドおよび引数を完了するにはタブ補完。
- コマンド履歴内を移動するための↑↓キー。
- <CTRL-a>: 行の先頭にジャンプします。
- <CTRL-e>: 行の最後にジャンプします。
- <CTRL-r>: コマンド履歴をインクリメンタル検索します。
- <CTRL-w>: 現在の行を消去します。

検索

// を使用して、ステータスまたは設定の階層のどこでも要素を検索できます (例 1)。

また、複数の // を組み合わせることもできます (例 2)。

注: 検索のショートカットは API の検査ではうまく機能しますが、アプリケーションでは使用すべきではありません。新しいファームウェア リリースにアップグレードするときは、コマンドの曖昧さを回避するために、完全なパスを常に使用することを推奨します。

例 1:

OUT および HDMI で始まる単語を含むすべての設定をリストします。

```
xconfiguration //out//hmdi
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 1 Mode: On
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Level: 0
*c xConfiguration Audio Output HDMI 2 Mode: Off
** end
```

例 2:

入力と出力の両方について、接続されたソースすべての解像度 (幅) を取得します。

```
xStatus //vid//res//wid
*s Video Input Source 1 Resolution Width: 1920
*s Video Input Source 2 Resolution Width: 0
*s Video Input Source 3 Resolution Width: 0
*s Video Input Source 4 Resolution Width: 0
*s Video Output Connector 1 Resolution Width: 1920
*s Video Output Connector 2 Resolution Width: 1280
*s Video Output Connector 3 Resolution Width: 1280
** end
```

値のタイプと形式

システムは次の値タイプをサポートしています。

- **整数値:**<x..y>
整数入力の有効範囲を定義します。x = 最小値、y = 最大値。
- **リテラル値:**<X/Y/..Z>
特定の設定で使用可能な値を定義します。
- **文字列値:**<S: x, y>
この設定の有効な入力が、最短 x 文字、最長 y 文字の文字列であることを定義します。文字列には、さらに形式と長さを指定するルールも定義できます。

スペースを含む入力値は、引用符で囲む必要があります。

設定の値と、スペースを含むコマンドは、引用符で囲む必要があります。スペースを含まない値には引用符は不要です。

例:

```
正: xCommand dial number: "my number contains spaces"
正: xCommand dial number: 12345
誤: xCommand dial number: my number contains spaces
```

大文字と小文字の区別

すべてのコマンドは、大文字と小文字を区別しません。次のすべてのコマンドが正常に機能します。

```
XCOMMAND DIAL NUMBER: foo@bar.org
xcommand dial number: foo@bar.org
xCommand Dial Number: foo@bar.org
```

コマンド

コマンドは、番号をダイヤルする、電話帳を検索するといったアクションの実行をコーデックに指示します。すべてのコマンドは、プレフィックス `xCommand` から始まり、その後にコマンド パスが続きます。

コマンド ラインで `xCommand ?` と入力すると、最上位コマンドがすべて一覧表示されます。

コマンドとそのパラメータの全リストを表示するには、コマンドラインで `xCommand ??` と入力します。

コマンドの引数はキーと値のペアです。

`xCommand` を発行する場合、コマンドは 1 つの引数と 1 つの必須パラメータという構成になります。このドキュメントでは、必須パラメータとオプション パラメータの両方を含む、すべての `xCommand` のコマンドの使用について説明します。オプションパラメータはカッコで囲みます。

例:

```
xCommand Dial Number: 123
```

`xCommand` はコマンド プレフィックスです。実行されるコマンドは Dial です。

この例には、1 つの引数 (Number: 123) が含まれています。Number はキーで、123 はその値です。キーと値のペアは、「:」で区切ります。

構成

設定は、起動後も維持されるシステム設定です。コマンドと同様に、設定も階層的に構成されます。

コマンド ラインで `xConfiguration ?` と入力すると、最上位のコンフィギュレーションがすべて一覧表示されます。

`xConfiguration ??` と入力すると、コンフィギュレーションとその設定可能値が一覧表示されます。

`xConfiguration` と入力すると、すべてのコンフィギュレーションとその現在の値がすべて一覧表示されます。一部の設定だけをリストするには、`xConfiguration` の後に、設定パスの 1 つ以上のパスを書き込みます。

例: H323 エイリアス ID を設定します

タイプ:

```
xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID:
"changed@company.com"
```

例: H323 エイリアス ID を取得します

タイプ:

```
xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID
```

結果:

```
*c xConfiguration H323 Profile 1 H323Alias ID:
"changed@company.com"

**end
```

ステータス

ステータスには、接続されたコール、ゲートキーパー登録のステータス、接続された入出力ソースなどのコーデックの現在の状態が含まれます。

コマンド ラインで `xStatus ?` と入力すると、すべての最上位のステータスが一覧表示されます。

`xStatus` と入力すると、すべてのステータスとその現在の値が一覧表示されます。

ステータスの一部だけをリストするには、`xstatus` の後に、ステータス パスの該当部分 (address expression) を書き込みます。

```
xStatus <address expression>
```

複数行コマンド

複数行コマンドは、単一行コマンドよりも多くのデータを入力としてサポートするコマンドです。これらのコマンドの一般的な使用法は、室内制御の定義、ブランディング画像 (base64 エンコード)、マクロ、ウェルカム バナー、およびセキュリティ証明書のプロビジョニングを許可することです。

複数行コマンドを発行するには、他の XAPI コマンドと同様に発行を開始します。ただし、コマンドを入力したら、API を入力モードに設定します。このモードでは、その後に API で発行されたものはすべて、そのコマンドへの入力として扱われます (改行を含む)。次に、このコマンドで予想される入力フォーマットに従って、このコマンドへのペイロードを入力します。

入力したら、改行 ("\\n") と、ピリオドと改行 (".\\n") を含む別の行で、終了します。するとコマンドが実行され、コマンドが正常に実行されたかどうかに応じて、コマンドの結果が OK または ERROR で表示されます。

複数行の入力フォーマットを必要とするコマンドは、このマニュアルのコマンドの説明で、そのように記されています。

複数行コマンドは、このマニュアルの xCommand の概要セクションで、複数行として記されています。

例: ウェルカム バナー テキストを設定する

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set
Hello!
This is the second line of text.
This is the third.
Thank you!
.
OK
*r SignInBannerSetResult (status=OK):
** end
```

同期 API 呼び出し

API は非同期で動作します。つまり、コマンドの応答がコマンドの発行順序と同じ順序で戻るとは保証されません。またコーデックは、要求と応答の間のフィードバックを返すことがあります。これは、システムの変更により、ステータス変更やイベントの形式で返されます。

アプリケーションによっては、要求を応答と一致させることが重要な場合があります。このため、API は応答のタグ付けのメカニズムをサポートしています。

このメカニズムは、xcommand、xconfiguration、xstatus の、すべてのコマンド タイプで機能します。このメカニズムの一般的な用途は、アプリケーションにコマンド キューを作成し、コーデックに送信されるすべてのコマンドに一意的 ID を割り当てることです。その後、リスナーは、コーデックからのすべてのフィードバックをリッスンし、応答の ID をコマンド キューの対応する ID と照合します。これにより、元の要求と特定の応答を一致させることができます。

例:

```
xcommand Video Layout Add | resultId="mytag_1"
[OK]
*r VideoLayoutAddResult (status=OK):
LayoutId: 1
** resultId: "mytag_1"
** end
```

XML モードでは、属性として resultId がトップレベルの XmlDocument タグに追加されます。

```
xgetxml /Configuration/Video/Layout/Scaling | resultId="mytag_2"
<XmlDoc resultId="mytag_2">
<Configuration item="1">
  <Video item="1">
    <Layout item="1">
      <Scaling item="1" valueSpaceRef="...">Off</Scaling>
    </Layout>
  </Video>
</Configuration>
</XmlDoc>
```

イベント

Event は、フィードバックに使用できるイベントに関する情報を返します。この概要では、API で使用可能なイベントについていくつかの例を示します。

サポートされるイベントの概要を取得するには、`?`、`??` または `help` を `xEvent` の後に入力します。

- `xEvent ?` 最上位のイベントを一覧表示します。
- `xEvent ??` 利用可能なすべてのイベントを一覧表示します。
- `xEvent help` [最上位のイベントを一覧表示します](#)

イベントの結果はコーデックの状態に応じて異なります。

例 1: 発信コールの表示

発信コールの表示は、発信コールがダイヤルされようとしているときに報告されるイベントです。コールが割り当てられている CallId を返します。

```
*e OutgoingCallIndication CallId: x
** end
```

例 2: コールの切断

コールの切断は、通話が切断されたときに報告されるイベントです。接続されたコールの CallId と、コールの切断の理由を返します。

```
*e CallDisconnect CallId: x CauseValue: 0
CauseString: "" CauseType: LocalDisconnect
OrigCallDirection: "outgoing"
** end
```

例 3: コールの成功

コールの成功は、コールが正常に接続されたとき、つまり、すべてのチャンネルが稼働し確立されている場合に報告されるイベントです。

```
*e CallSuccessful CallId: 132 Protocol: "h223"
Direction: "outgoing" CallRate: 768 RemoteURI:
"h223:integratorHQ@company.com" EncryptionIn:
"Off" EncryptionOut: "Off"
** end
```

例 4: FECC アクション リクエスト

FECC アクション リクエストは、相手先が FECC コマンドを送信している場合に報告されるイベントです。

```
*e FeccActionInd Id: 132 Req: 1 Pan: 1 PanRight:
1 Tilt: 0 TiltUp: 0 Zoom: 0 ZoomIn: 0 Focus: 0
FocusIn: 0 Timeout: 300 VideoSrc: 0 m: 0
** end
```

例 5: TString メッセージの受信

TString メッセージの受信は、相手先が TString メッセージを送信した場合に報告されるイベントです。

```
*e TString CallId: 132 Message: "ee"
** end
```

例 6: SString メッセージの受信

SString メッセージの受信は、相手先が SString メッセージを送信した場合に報告されるイベントです。

```
*e SString String: "ee" Id: 132
** end
```

フィードバックのメカニズム

同期されたアプリケーションとコーデック間の状態を確実に維持できるソリューションを構築するには、コーデックの状態の変更を報告する通知システムを設定できます。

API は次の通知をサポートしています。

- コンフィギュレーションの変更
- ステータスの変更
- イベント通知

これらの通知は、明示的にコーデックに送信するように指示しない限り、送信されません。フィードバック式を登録することによって、フィードバックをサブスクライブできます。フィードバック式を登録する方法は、使用している接続方式に応じて異なります。

HTTP を使用する場合は、フィードバックの処理方法がこの項の説明と若干異なります。詳細については、「[HTTP 経由のコーデックからのフィードバック](#)」ページ 52」を参照してください。

警告: コーデックから非常に大量のフィードバックが返されることがあります (特に、コールが接続後に切断された場合)。必要なフィードバックのみをサブスクライブしてください。

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスのフィードバックを取得するように登録しないでください。これにより、制御アプリケーションに処理するには多すぎるデータが提供され、応答が遅くなったり予期しない動作が起こる可能性があります。

フィードバック表現

フィードバックの登録に使用される表現は、XPath 言語の派生言語です。XML/JSON ドキュメントからノードを選択する方法を XPath 言語で記述します。CE ソフトウェアには、3 つの主要なフィードバック ドキュメントが含まれています。

ドキュメント	API コマンド	パス
ステータス	xStatus	/ステータス
設定 (Configuration)	xConfiguration	/設定 (Configuration)
イベント	xEvent	/イベント

フィードバックの登録に使用する構文は次のとおりです。
xFeedback register <path>

xFeedback register /Status を発行して、すべてのステータスのフィードバックを取得するように登録しないでください。

コンフィギュレーションの変更は頻繁には生じない可能性が高いので、xFeedback register /Configuration を使用して、すべてのコンフィギュレーションの変更を取得するように登録するほうが安全です。

いくつかの例を検討することにより、フィードバック表現を構築する際にこの情報を活用する方法を理解できます。表現式を検証する簡単な方法は、ブラウザで <http://<ip-address>/getxml?location=path> を指定するか、端末から xgetxml <path> を実行して、その出力がフィードバックを必要とするノードと一致するかどうかを確認することです。

例 1: マイクのミュート状態

端末での照会

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Status/Audio/Microphones/Mute
```

例 2: すべてのビデオ入力コネクタの名前

端末での照会

```
xConfiguration Video Input Connector Name
*c xConfiguration Video Input Connector 1 Name:
  "NameA"
*c xConfiguration Video Input Connector 2 Name:
  "NameB"
*c xConfiguration Video Input Connector 3 Name:
  "NameC"
*c xConfiguration Video Input Connector 4 Name:
  "NameD"
*c xConfiguration Video Input Connector 5 Name:
  "NameE"
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Configuration/Video/Input/
Connector/Name
```

例 3: ビデオ入力コネクタ 3 の名前

端末での照会

```
xConfiguration Video Input Connector 3 Name
*c xConfiguration Video Input Connector 3 Name:
  "NameC"
** end
```

同等のフィードバック表現式

```
xFeedback register /Configuration/Video/Input/
Connector[@item='3']/Name
```


端末接続

フィードバックのサブスクリプションの管理

フィードバック表現を登録、一覧表示、および登録解除するには、コマンド `xFeedback` とその対応するサブ コマンドを使用します。

登録された表現は、現在のアクティブな接続に対してのみ有効です。2 つの Telnet セッションを開き、1 つのセッションでフィードバックを取得するために登録した場合、もう 1 つのセッションではフィードバックを受信しません。これは、セッションから切断した場合、再接続後にすべての表現を再度登録する必要があることも意味します。

最大 38 個の表現を登録できます。

フィードバック出力

フィードバックの出力は、`xConfiguration` および `xStatus` コマンドを使用してシステムに問い合わせを行ったときに取得するものと全く同じものです。たとえば、コマンド ラインで `xStatus Standby Active` コマンドを発行した場合、結果は次のようになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

ステータスの変更に関するフィードバックについて登録した場合、システムがスタンバイ モードに移行したときに取得するフィードバックも全く同じになります。

```
*s Standby Active: On
** end
```

これは、デバイスに対してプログラミングを行う場合、1 つの形式を処理するだけでよいことを意味します。

例: フィードバックのサブスクリプションの管理

A: フィードバック表現式の登録

```
入力: xFeedback register /Status/Audio
結果: ** end
      OK
```

```
入力: xFeedback register /Event/CallDisconnect
結果: ** end
      OK
```

```
入力: xFeedback register /Configuration/Video/
      MainVideoSource
結果: ** end
      OK
```

B: 現在登録されている表現式の一覧表示

```
入力: xFeedback list
結果: /Configuration/Video/MainVideoSource
      /Event/CallDisconnect
      /Status/Audio
      ** end
      OK
```

C: フィードバック表現式の登録解除

```
入力: xFeedback deregister /Event/CallDisconnect
結果: ** end
      OK
```

```
入力: xFeedback deregister /Status/Audio
結果: ** end
      OK
```

D: 新しいフィードバック表現式の一覧表示。

```
入力: xFeedback list
結果: /Configuration/Video/MainVideoSource
      ** end
      OK
```

HTTP の使用

コーデックは、HTTP および HTTPS 経由のコマンドおよび設定の送信をサポートしています。この方法で設定とステータスを取得することもできます。このインターフェイスは、コマンド ラインと同じ API を公開しますが、形式は XML です。

HTTP XMLAPI 認証

XMLAPI へのアクセスでは、ユーザは HTTP 基本アクセス認証を使い、「ADMIN」ロールを持つユーザとして認証される必要があります。認証されていない要求により、基本アクセス認証チャレンジを含む 401 HTTP 応答が返されます。HTTP 基本アクセス認証を使う方法は、使用している HTTP ライブラリやツールによって異なります。

アプリケーションが API を介して複数のコマンドを発行する場合は、セッション認証を使用することを強くお勧めします（下記参照）。標準の基本認証は、要求ごとに完全な再認証を行うため、アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

HTTP XMLAPI セッション認証

API 要求のたびにユーザ名とパスワードの組み合わせを使って認証を行うと、場合によっては大きな遅延が発生することがあります。これを緩和するため、API はセッション ベースの認証メカニズムをサポートしています。

セッションを開くには、基本アクセス認証を使用して `http://<ip-address>/xmlapi/session/begin` への POST を発行します。応答により、SessionId の Cookie が設定され、これを後続の要求で使用できます。

API セッション認証を使用する場合、使用後に明示的にセッションを閉じることが重要です。利用できる同時セッションの数は限られており、セッションは自動的にタイムアウトしないため、明示的にセッションを閉じない場合、デバイスで利用できるセッションの数がなくなる場合があります。

URL チート シート

次の表には、HTTP を介して API にアクセスする際に使用される主な URL が含まれています。

方法	URL	説明
GET	<code>http://<ip-address>/status.xml</code>	完全なステータス ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/configuration.xml</code>	完全なコンフィギュレーション ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/command.xml</code>	完全なコマンド ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/valuespace.xml</code>	完全な値スペース ドキュメント
GET	<code>http://<ip-address>/getxml?location=<path></code>	パスに基づいてドキュメントを取得
POST	<code>http://<ip-address>/putxml</code>	HTTP 本文の設定とコマンド

例: HTTP XMLAPI セッションの開始

要求:

```
POST /xmlapi/session/begin HTTP/1.1
Authorization: Basic <Base64 encoded authentication string>
```

応答:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54; Path=/; HttpOnly
```

このセッションは、システムの同時セッションの制限にカウントされます。

セッションが開かれると、後続の要求に SessionId の Cookie が提供されます。これは、ツール/ライブラリによっては、自動的に行われます。

例: HTTP XMLAPI セッションを使用する

要求:

```
GET /configuration.xml HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

応答:

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx/1.8.0
Content-Type: text/xml; charset=UTF-8
Content-Length: 43549
Connection: keep-alive
<?xml version="1.0"?>
<Configuration product="Cisco Codec"
version="ce8.2.0" apiVersion="4"> ...
</Configuration>
```

使用後にセッションを閉じるには、提供された Cookie を使って、`http://<ip-address>/xmlapi/session/end` に POST を発行し、

例: HTTP XMLAPI セッションを閉じる

要求:

```
POST /xmlapi/session/end HTTP/1.1
Cookie: SessionId=f08102c8ce5aaf8fba23a7238cc2ef464b990e18bfbb7fb048820c0e28955c54
```

応答:

```
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx/1.8.0
Connection: keep-alive
Set-Cookie: SessionId=; Max-Age=0; Path=/; HttpOnly
```

ステータスと設定の取得

例 1: コーデックのすべてのステータス エントリを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status
```

例 2: コーデックのオーディオ ステータスのみを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Status/Audio
```

例 3: コーデックのすべてのコンフィギュレーションを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/Configuration
```

例 4: コーデックのすべてのビデオ コンフィギュレーションを取得する。

```
http://<ip-address>/getxml?location=/
Configuration/Video
```

コマンドとコンフィギュレーションの送信

HTTP POST の使用

コンフィギュレーションやコマンドをコーデックに送信する場合は、HTTP ヘッダーの Content-Type が text/xml ([Content-Type: text/xml](#)) に設定されていることが重要です。POST の本文には XML コンテンツを含める必要があります。

例 1: システム名を変更する。

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type: text/xml
```

```
<Configuration>
  <SystemUnit>
    <Name>newName</Name>
  </SystemUnit>
</Configuration>
```

例 2: カメラ位置の設定

要求

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type: text/xml
```

```
<Command>
  <Camera>
    <PositionSet command="True">
      <CameraId>1</CameraId>
      <Pan>200</Pan>
      <Tilt>200</Tilt>
    </PositionSet>
  </Camera>
</Command>
```

応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: text/xml
Content-Length: 91
```

```
<?xml version="1.0"?>
<Command>
<CameraPositionSetResult item="1" status="OK"/>
</Command>
```

HTTP 経由のコーデックからのフィードバック

API の状態の変更 (ステータス、イベント、コンフィギュレーションの更新) についての http フィードバック メッセージ (WebHook と呼ばれます) を、デバイスが投稿するように設定できます。HTTP Post フィードバック メッセージは、指定された ServerURL に送信されます。イベントを XML または JSON のいずれの形式で送信するかを選択できます。最大 15 個のフィードバック表現を登録して、API の複数の部分の変更を登録できます。

フィードバックの登録

登録用のコマンドは xCommand HttpFeedback Register です。このコマンドの構文とその引数についてはこの項で説明します。

HttpFeedback Register 構文:

```
xCommand HttpFeedback Register
FeedbackSlot: <1..4>
ServerUrl(r): <S: 1, 2048>
Format: <XML/JSON>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
Expression: <S: 1, 255>
```

HttpFeedback Register の引数:

FeedbackSlot: コーデックでは、HTTP フィードバックを要求する最大 4 スロットのサーバを登録できます。それらの 1 つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) は表現式の登録に FeedbackSlot 3 を使用するので、TMS を使用している環境では FeedbackSlot 3 の使用を避けてください。

ServerUrl: コーデックで HTTP フィードバック メッセージの送信先となる HTTP サーバの URL。

Format: HTTP サーバからのフィードバックのフォーマットを XML または JSON に設定します。

表現 1 ~ 15: ステータス、コンフィギュレーション、またはイベント XML ドキュメントのどの部分をモニタするかを XPath 式で指定します。1 ~ 15 の XPath 式を指定できます。

フィードバックを受信する表現を登録します。表現式の形式の詳細については、「[フィードバックのメカニズム](#)」ページ 48 「フィードバック メカニズム」の項を参照してください。

例: コンフィギュレーションの変更、イベントの切断、コール ステータスの変更に関するフィードバックを登録します。

```
POST /putxml HTTP/1.1
Content-Type: text/xml

<Command>
  <HttpFeedback>
    <Register command="True">
      <FeedbackSlot>1</FeedbackSlot>
      <ServerUrl>http://127.0.0.1/
        myhttppostsripturl</ServerUrl>
      <Format>XML</Format>
      <Expression item="1">/Configuration</
        Expression>
      <Expression item="2">/Event/
        CallDisconnect</Expression>
      <Expression item="3">/Status/Call</
        Expression>
    </Register>
  </HttpFeedback>
</Command>
```

フィードバック出力

コーデックが登録済み HTTP サーバに変更について通知する場合、本文にはポーリング時と同じ XML が含まれています。しかし、1 つのわずかな違いがあります。ルート ノードには、通知の発信元となるコーデックを指定する子を含む識別ノードが含まれます。これは、1 つの HTTP サーバ URI を使って複数のコーデックを処理できることを意味します。

例: 音量の変更

```
<Configuration xmlns="http://www.company.com/XML/
  CUIL/2.0">
  <Identification>
    <SystemName>My System Name</SystemName>
    <MACAddress>00:00:de:ad:be:ef</MACAddress>
    <IPAddress>192.168.1.100</IPAddress>
    <ProductType>Cisco Codec</ProductType>
    <ProductID>Cisco Codec SX80</ProductID>
    <SWVersion>CE8.3.0.199465</SWVersion>
    <HWBoard>101401-5 [08]</HWBoard>
    <SerialNumber>PH0000000</SerialNumber>
  </Identification>
  <Audio item="1">
    <Volume item="1">60</Volume>
  </Audio>
</Configuration>
```

端末モードから XML への変換

コマンドの変換

XML コマンドは端末コマンドと同じ構造を保持しますが、階層の説明に親子関係を使用します。この構造は以下の例で確認できます。

例 1: コールを設定する。

Terminal

```
xCommand Dial Number: "12345" Protocol: H323
```

XML

```
<Command>
  <Dial command="True">
    <Number>12345</Number>
    <Protocol>H323</Protocol>
  </Dial>
</Command>
```

例 2: ボリューム レベルの割り当て

Terminal

```
xCommand Audio Volume Set Level: 50
```

XML

```
<Command>
  <Audio>
    <Volume>
      <Set command="True">
        <Level>50</Level>
      </Set>
    </Volume>
  </Audio>
</Command>
```

コンフィギュレーションの変換

xConfiguration から XML への変換はコマンドと同様ですが、アレイにインデックスを指定するための特別な属性項目 = "NN" が追加されます。

例: ビデオ入力コネクタ 2 の入力ソース タイプを設定する。

Terminal

```
xConfiguration Video Input Connector 2
InputSourceType: camera
```

XML

```
<Configuration>
  <Video>
    <Input>
      <Connector item="2">
        <InputSourceType>camera</
InputSourceType>
      </Connector>
    </Input>
  </Video>
</Configuration>
```

推奨事項と禁止事項

ここでは、Cisco DX、MX、SX、および Room シリーズの API をプログラミングする際のベストプラクティスについて説明します。

リモコン コントロール エミュレーションを回避する

xCommand UserInterface OSD Key Click コマンドおよび xCommand UserInterface OSD Key Press コマンドは、使用しないことを強くお勧めします。これらのコマンドを API で使用することは可能ですが、ダイレクト コマンドを使用することをお勧めします。ダイレクト コマンドを使用すると、統合環境で下位互換性を確保できるからです。オンスクリーンディスプレイではなく、コードックに対してプログラムしてください。

完全なコマンドを使用する

プログラミングする際は必ず完全なコマンドを使用しなければなりません。つまり、xconf vid ではなく、xConfiguration Video を使用する必要があります。ショートカットは、コマンド ライン上の API の検索に使用できますが、プログラミングには使用できません。これは、追加のコマンドが API に追加されると、あいまいなコードが生じる可能性があるためです。

不要なフィードバックに登録しないでください

あまりに多くのフィードバックを登録すると、制御アプリケーションで輻輳が発生する可能性があります。フィードバックの量は現在のバージョンでは問題ありませんが、フィードバックの量が今後のリリースで増加する可能性があります。

第 3 章

xConfiguration コマンド

xConfiguration コマンドの説明

この章では、xConfiguration コマンドの完全なリストを確認できます。例では、デフォルト値または値の例のいずれかを示します。

マニュアルの更新バージョンがないか、定期的に Web サイトにアクセスすることを推奨します。

移動先: <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

Audio 設定	61	xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode.....	72
xConfiguration Audio DefaultVolume	61	xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode	73
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level.....	61	xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Gain.....	73
xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode	62	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs.....	73
xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	62	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode	74
xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer ID.....	63	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level.....	74
xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer Mode.....	63	xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode	75
xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	63	xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode	75
xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource	64	xConfiguration Audio Output Line [n] Channel	76
xConfiguration Audio Input Line [n] Channel	64	xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs.....	76
xConfiguration Audio Input Line [n] Level.....	65	xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode	77
xConfiguration Audio Input Line [n] Mode	65	xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID.....	77
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode.....	66	xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode.....	77
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation	66	xConfiguration Audio Output Line [n] Level.....	78
xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction.....	67	xConfiguration Audio Output Line [n] Mode	78
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID	67	xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType.....	79
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode	67	xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone.....	79
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level	68	xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume	79
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode.....	68	xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume	80
xConfiguration Audio Input Microphone [n] Type	69		
xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower	69	Cameras 設定	80
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo.....	70	xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber.....	80
xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource	70	xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	81
xConfiguration Audio Input MicrophoneMode	71	xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode.....	81
xConfiguration Audio KeyClickDetector Attenuate.....	71	xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	82
xConfiguration Audio KeyClickDetector Enabled	72	xConfiguration Cameras Camera [n] Flip.....	82
xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled.....	72	xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode	83

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode	83	H.323 設定	97
xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level	84	xConfiguration H323 Authentication Mode	97
xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror	84	xConfiguration H323 Authentication LoginName	97
xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode	85	xConfiguration H323 Authentication Password	97
xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level	85	xConfiguration H323 CallSetup Mode	98
xConfiguration Cameras Camera Framerate	86	xConfiguration H323 Encryption KeySize	98
xConfiguration Cameras Preset TriggerAutofocus	86	xConfiguration H323 Gatekeeper Address	98
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode	87	xConfiguration H323 H323Alias E164	98
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup	87	xConfiguration H323 H323Alias ID	99
xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode	88	xConfiguration H323 NAT Mode	99
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	88	xConfiguration H323 NAT Address	100
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	89	Macros 設定	100
xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	89	xConfiguration Macros Mode	100
xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	90	xConfiguration Macros AutoStart	101
Conference 設定	90	Network 設定	101
xConfiguration Conference AutoAnswer Mode	90	xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode	101
xConfiguration Conference AutoAnswer Mute	91	xConfiguration Network [n] DNS Domain Name	102
xConfiguration Conference AutoAnswer Delay	91	xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address	102
xConfiguration Conference DefaultCall Protocol	91	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode	103
xConfiguration Conference DefaultCall Rate	92	xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify	103
xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout	92	xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate	104
xConfiguration Conference Encryption Mode	92	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity	104
xConfiguration Conference FarEndControl Mode	93	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password	104
xConfiguration Conference FarEndMessage Mode	93	xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity	105
xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate	93	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5	105
xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate	94	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls	106
xConfiguration Conference MaxTotalReceiveCallRate	94	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls	106
xConfiguration Conference MaxTotalTransmitCallRate	95	xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap	107
xConfiguration Conference MultiStream Mode	95	xConfiguration Network [n] IPStack	107
GPIO 設定	96	xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment	108
xConfiguration GPIO Pin [n] Mode	96	xConfiguration Network [n] IPv4 Address	108
		xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway	108

xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask.....	109	xConfiguration NetworkServices NTP Mode.....	121
xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment.....	109	xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address.....	121
xConfiguration Network [n] IPv6 Address.....	110	xConfiguration NetworkServices SIP Mode.....	121
xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway.....	110	xConfiguration NetworkServices SNMP Mode.....	122
xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions.....	110	xConfiguration NetworkServices SNMP Host [n] Address.....	122
xConfiguration Network [n] MTU.....	110	xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName.....	123
xConfiguration Network [n] QoS Mode.....	111	xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact.....	123
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio.....	111	xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation.....	123
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video.....	112	xConfiguration NetworkServices SSH Mode.....	123
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data.....	112	xConfiguration NetworkServices Telnet Mode.....	124
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling.....	113	xConfiguration NetworkServices UPnP Mode.....	124
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6.....	113	xConfiguration NetworkServices WelcomeText.....	125
xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP.....	114		
xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow.....	114	Peripherals 設定.....	125
xConfiguration Network [n] Speed.....	115	xConfiguration Peripherals Profile Cameras.....	125
xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode.....	115	xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems.....	126
xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId.....	116	xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels.....	126
NetworkPort 設定.....	116	Phonebook 設定.....	127
xConfiguration NetworkPort [n] Mode.....	116	xConfiguration Phonebook Server [n] ID.....	127
		xConfiguration Phonebook Server [n] Type.....	127
NetworkServices 設定.....	117	xConfiguration Phonebook Server [n] URL.....	127
xConfiguration NetworkServices CDP Mode.....	117		
xConfiguration NetworkServices H323 Mode.....	117	Provisioning 設定.....	128
xConfiguration NetworkServices HTTP Mode.....	117	xConfiguration Provisioning Connectivity.....	128
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName.....	118	xConfiguration Provisioning ExternalManager Address.....	128
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password.....	118	xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress.....	128
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode.....	118	xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol.....	129
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url.....	119	xConfiguration Provisioning ExternalManager Path.....	129
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl.....	119	xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain.....	129
xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion.....	119	xConfiguration Provisioning Mode.....	130
xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity.....	119	xConfiguration Provisioning LoginName.....	130
xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate.....	120	xConfiguration Provisioning Password.....	130
xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate.....	120		

Proximity 設定	131	xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection	139
xConfiguration Proximity Mode.....	131	xConfiguration Standby PowerSave	139
xConfiguration Proximity Services CallControl	131	SystemUnit 設定	140
xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients	131	xConfiguration SystemUnit Name	140
xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients.....	132	xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode.....	140
RoomAnalytics 設定	132	xConfiguration SystemUnit CrashReporting Url.....	140
xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	132	Time 設定	141
xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	133	xConfiguration Time TimeFormat.....	141
SerialPort 設定	133	xConfiguration Time DateFormat	141
xConfiguration SerialPort Mode.....	133	xConfiguration Time Zone.....	141
xConfiguration SerialPort BaudRate.....	134	xConfiguration Time WorkDay Start.....	143
xConfiguration SerialPort LoginRequired.....	134	xConfiguration Time WorkDay End	143
SIP 設定	134	xConfiguration Time WorkWeek FirstDayOfWeek	143
xConfiguration SIP Authentication UserName	134	xConfiguration Time WorkWeek LastDayOfWeek	143
xConfiguration SIP Authentication Password.....	134	UserInterface 設定	144
xConfiguration SIP DefaultTransport	135	xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	144
xConfiguration SIP DisplayName	135	xConfiguration UserInterface ContactInfo Type.....	144
xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate.....	135	xConfiguration UserInterface CustomMessage.....	145
xConfiguration SIP Ice Mode.....	135	xConfiguration UserInterface KeyTones Mode.....	145
xConfiguration SIP ListenPort	136	xConfiguration UserInterface Language	145
xConfiguration SIP Proxy [n] Address	136	xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage	145
xConfiguration SIP Turn Server.....	136	xConfiguration UserInterface OSD Output.....	146
xConfiguration SIP Turn UserName	136	xConfiguration UserInterface Security Mode.....	146
xConfiguration SIP Turn Password.....	137	xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode.....	147
xConfiguration SIP URI.....	137	UserManagement 設定	147
Standby 設定	137	xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter	147
xConfiguration Standby BootAction.....	137	xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group	148
xConfiguration Standby Control.....	138	xConfiguration UserManagement LDAP Attribute	148
xConfiguration Standby Delay.....	138	xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN	148
xConfiguration Standby StandbyAction	138	xConfiguration UserManagement LDAP Encryption	148
xConfiguration Standby WakeupAction.....	138	xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion	149

xConfiguration UserManagement LDAP Mode	149	xConfiguration Video Input Connector [n] Quality	156
xConfiguration UserManagement LDAP Server Address	150	xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility	157
xConfiguration UserManagement LDAP Server Port	150	xConfiguration Video Monitors	157
xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	150	xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode	158
Video 設定	151	xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole	159
xConfiguration Video DefaultMainSource	151	xConfiguration Video Output Connector [n] OverscanLevel	159
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Camerald	151	xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution	160
xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode	152	xConfiguration Video Presentation DefaultSource	161
xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode	152	xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode	161
xConfiguration Video Input Connector [n] DviType	153	xConfiguration Video Selfview Default Mode	162
xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode	153	xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole	162
xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType	154	xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition	163
xConfiguration Video Input Connector [n] Name	154	xConfiguration Video Selfview Mirrored	163
xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution	155	xConfiguration Video Selfview OnCall Mode	163
xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection	155	xConfiguration Video Selfview OnCall Duration	164

Audio 設定

xConfiguration Audio DefaultVolume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

スピーカーのデフォルト音量を定義します。ビデオ システムのスイッチをオンにするか再起動すると、音量がこの値に設定されます。実行中に音量を変更するには、ユーザ インターフェイスのコントロールを使用します。また、API コマンド (xCommand Audio Volume) を使用して、ビデオ システムの稼働中に音量を変更したり、デフォルト値にリセットしたりすることもできます。

使用方法:

xConfiguration Audio DefaultVolume: DefaultVolume

説明:

DefaultVolume:

整数 (0 ~ 100)

範囲: 1 ~ 100 の値を選択します。これは、-34.5 dB ~ 15 dB の範囲内の 0.5 dB 単位に相当します。0 に設定すると、音声が入ります。

デフォルト値:

50

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Level: Level

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3 [*SX80*]

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro*]

範囲: 2 ~ 3 シングル カメラ システム用、3 ~ 3 デュアル カメラ システム用 [*MX700/MX800/MX800D*]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタの音声を有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] Mode: Mode

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3 [*SX80*]

範囲: 2 ~ 3 シングル カメラ システム用、3 ~ 3 デュアル カメラ システム用 [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 3 [*CodecPlus*]

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro*]

範囲: 1 ~ 2 [*Room55*]

Mode:

Off/On

Off: HDMI 入力 で音声を無効にします。

On: HDMI 入力 で音声を有効にします。

デフォルト値:

On [*MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55*]

HDMI [1 ~ 2]: *Off* *HDMI* [3]: *On* [*SX80*]

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定を使用して、このプレゼンテーション ソースが現在画面上に表示されていない場合、またはプレゼンテーション ソースが接続されている間常に音声を再生する場合 音声再生を停止するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:

MuteOnInactiveVideo

説明:

n: HDMI 入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3 [*SX80*]

範囲: 2 ~ 3 シングル カメラ システム用、3 ~ 3 デュアル カメラ システム用 [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 3 [*CodecPlus*]

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro*]

範囲: 1 ~ 2 [*Room55*]

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: 音声は、プレゼンテーション ソースが接続されている間、ローカルおよび相手先に対して常に再生されます。HDMI 入力ソースを指定する必要はありません。

On: 音声は、接続されているプレゼンテーション ソースが画面上に表示されている間、ローカルおよび相手先に対して再生されます。

デフォルト値:

On [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus Room55*]

HDMI[1-2]: *Off* *HDMI*[3-5]: *On* [*CodecPro*]

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer ID

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ライン入力に接続されたオーディオ ソースのイコライザ ID を選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザ ID を設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ライン入力に接続されたオーディオ ソースに関するイコライザ モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

Off/On

Off: イコライザなし。

On: ライン入力に接続されているオーディオ ソースのイコライザを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オーディオ ソースをビデオ入力コネクタ上のビデオ ソースに関連付けることができ、ビデオ ソースが提供されるかどうかに応じて音声の再生/ミュートを決定できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:

MuteOnInactiveVideo

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX20*]

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: オーディオ ソースはビデオ ソースに関連付けられません。ビデオ ソースが提供されるか否かに関係なく、音声はローカルおよび相手先で再生されます。

On: オーディオ ソースはビデオ ソースに関連付けられます。関連付けられたビデオ ソースが提供されると、音声は再生されます (ローカルおよび相手先で)。ビデオ ソースが表示されない場合、音声はミュートされます。

デフォルト値:

line [1, 2]: On Line [3, 4]: Off [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

On [*SX20*]

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力コネクタ上でビデオ ソースにオーディオ ソースを関連付けることができます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource:
VideoInputSource

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX20*]

VideoInputSource:

1/2/3/4/5 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

1/2 [*SX20*]

オーディオ ソースに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

デフォルト値:

line [1, 2]: 4 *Line* [3, 4]: 1 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

2 [*SX20*]

xConfiguration Audio Input Line [n] Channel

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ライン入力のオーディオ ソースがモノラル信号であるか、マルチチャンネル信号の一部であることを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Channel: Channel

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Channel:

Left/Mono/Right

Left: 音声ライン入力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: 音声ライン入力信号はモノラル信号です。

Right: 音声ライン入力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

Left

xConfiguration Audio Input Line [n] Level

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ラインの入力コネクタのゲインを設定します。接続しているオーディオ送信元の出カレベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、22 dBu です。

例: オーディオ ソースの最大出力レベルが 8 dBu の場合、ゲインの設定は $22 \text{ dBu} - 8 \text{ dBu} = 14 \text{ dB}$ にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Level: Level

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Level:

整数 (0 ~ 24)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

10

xConfiguration Audio Input Line [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

音声入力ラインのモードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Line [n] Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン入力を識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

Off/On

Off: 音声ライン入力を無効にします。

On: 音声ライン入力をイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

エコー キャンセラは、音声環境で検出された変更があると、室内の音声特性に合わせて継続的に自己調整を行います。音声条件に大幅な変更を加えた場合は、エコー キャンセラの再調整に 1 ~ 2 秒かかることがあります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 2 ~ 2 [*SX10*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room Kit Room 55*]

Mode:

Off/On

Off: エコー コントロールをオフにします。外部のエコー キャンセラもしくは再生機器が使われている場合に推奨します。

On: エコー コントロールをオンにします。一般的には相手先で自らの音声がかえらないようにするために、オンに設定することが推奨されます。選択すると、エコー キャンセレーションは常にアクティブになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

システムには室内の残響を減らす組み込みの信号処理が備わっています。残響除去を使用するには、Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation: Dereverberation

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 2 ~ 2 [*SX10*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room Kit Room 55*]

Dereverberation:

Off/On

Off: 残響除去をオフにします。

On: 残響除去をオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

システムにはノイズ リダクションが組み込まれており、これにより、定常的なバックグラウンド ノイズ (空調システム、冷却ファンなどのノイズ) が軽減されます。さらに、ハイ パス フィルタ (ハムフィルタ) により、非常に低い周波数のノイズが軽減されます。ノイズ リダクションを使用するには、Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode を有効にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction:

NoiseReduction

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 2 ~ 2 [SX10]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 3 [Room Kit Room 55]

NoiseReduction:

Off/On

Off: ノイズ リダクションをオフにします。

On: ノイズ リダクションをオンにします。低周波ノイズがある場合、推奨されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク入りに接続されたソースのイコライザ ID を選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザ ID を設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク入りに接続されたソースのイコライザ モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

Mode:

Off/On

Off: イコライザなし。

On: マイク入りに接続されているソースのイコライザを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクの入力コネクタのゲインを設定します。接続しているオーディオ送信元の出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

ゲインの設定が高すぎる場合、オーディオ信号がクリップされます。ゲインの設定が低すぎる場合、オーディオの信号対雑音比が低下します。ただし、通常はクリッピングよりも望ましい結果が得られます。

通常、未処理の音声信号は信号レベルが大幅に変動するため、十分な信号のヘッドルームを取れるようにすることが非常に重要だということに注意してください。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、製品によって次のように異なります。-18 dBu (SX10、SX20、MX200G2/MX300G2、Room Kit、Codec Plus、Room 55、Room 70、Room 55 Dual)、22 dBu (SX80、MX700/MX800)、24 dBu (Codec Pro、Room 70 G2)。

例: マイクの最大出力レベルが -44 dBu で、SX80 に接続されている場合、ゲインの設定は 22 dBu - (-44 dBu) = 66 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Level: Level

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 2 ~ 2 [SX10]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 3 [MX200G2/MX300G21 Room Kit Room 55]

Level:

整数 (0 ~ 26) [RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (0 ~ 24) [SX10 SX20 MX200G2/MX300G2]

整数 (0 ~ 70) [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

14 [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

17 [SX10]

58 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク コネクタで音声を無効または有効にします。

SX10、MX200G2、MX300G2、Room Kit、Room 55: Microphone [1] は、ビデオ システムの内蔵マイクです。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 2 [SX10 SX20]

範囲: 1 ~ 3 [Room Kit Codec Plus Room 55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 1 [MX200G2/MX300G2]

Mode:

Off/On

[オフ (Off)]: 音声入力マイクのコネクタを無効にします。

[オン (On)]: 音声入力マイクのコネクタを有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Type

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクのコネクタは、エレクトレット タイプのマイク向けです。マイクのコネクタはラインまたはマイクモードに設定できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] Type: Type

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

タイプ:

Line/Microphone

Microphone: 48 V ファントム電圧があって、プレ増幅がオンの場合は、Microphone を選択します。

Line: 標準バランス ライン入力がある場合は、Line を選択します。ファントム電圧およびプレ増幅はオフになっています。

デフォルト値:

マイク

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower

適用対象: *CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイク入力でファントム電源 (48 V +/- 1 V) を使用するかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] PhantomPower: PhantomPower

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

PhantomPower:

Off/On

Off: マイク入力でファントム電源を無効にします。ファントム電源を必要としない機器 (外部ミキサーなど) に接続する場合は、この設定を使用します。

On: マイク入力でファントム電源を有効にします。Cisco Table Microphone や Cisco 天井マイクを含め、ファントム電源を必要とするマイクに直接接続する場合は、この設定を使用します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

マイクをビデオ入力コネクタのビデオ ソースに関連付けることができます。さらに、ビデオ ソースが提供されるか否かに応じて、音声再生するかミュートにするかを決定できます。デフォルトでは、音声はミュートされません。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo:
MuteOnInactiveVideo

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

MuteOnInactiveVideo:

Off/On

Off: ビデオ ソースが関連付けられていません。

On: ビデオ ソースは関連付けられており、関連ビデオ ソースが表示されない場合は、音声はミュートになります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オーディオ ソースに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource:
VideoInputSource

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

VideoInputSource:

1/2/3/4/5

オーディオ ソースに関連付けるビデオ入力コネクタを選択します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は DX80 のみに適用されます。

DX80 では両方の脚にマイクが搭載されています。マイク モードを Focused に設定すると、マイクを組み合わせて音声感度が高くなります。その結果、室内のノイズが聞こえなくなり、ビデオ システムの正面に座った人の声がよく聞こえるようになります。システムの正面に座っていない人の声は聞こえなくなります。

マイクロフォン モードを Wide に設定すると、システムは他のシステムと同様に動作します。横に座っている人の声が聞こえるようになり、また室内のノイズもより聞こえるようになります。

話者が 1 人のみの場合、Focused モードを使用することをお勧めします。システムの前で複数の人が話す場合は Wide モードを使用してください。

使用方法:

xConfiguration Audio Input MicrophoneMode: MicrophoneMode

説明:

MicrophoneMode:

Focused/Wide

Focused: 音声感度を中央に集中させ、ビデオ システムの正面にない音源からの音声を抑えます。

Wide: デフォルトのマイク動作で、通常の音声感度です。

デフォルト値:

Wide

xConfiguration Audio KeyClickDetector Attenuate

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ システム (コーデック) がキーボードからのクリック ノイズを検出し、マイク信号を自動的に減衰させることができます。キー入力のノイズが他の参加者の邪魔をする可能性があるため、会議出席者がキーボードで入力を開始するときにはこの機能が便利です。参加者がキーボードで入力しながら話す場合、マイクの信号は減衰しません。[オーディオ キー クリック デテクタ有効化 (Audio KeyClickDetector Enabled)] 設定が On に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio KeyClickDetector Attenuate: Attenuate

説明:

減衰:

Off/On

Off: マイクの信号の減衰は無効です。

On: キーボードのクリック ノイズが検出された場合、システムによりマイクの信号が減衰されます。音声または音声とキーボードのクリックが併せて検出された場合、マイクの信号は減衰されません。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio KeyClickDetector Enabled

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ システム (コーデック) がキーボードからのクリック ノイズを検出し、マイク信号を自動的に減衰させることができます。キー入力のノイズが他の参加者の邪魔をする可能性があるため、会議出席者がキーボードで入力を開始するときにはこの機能が便利です。マイクの信号の減衰を有効にするには、[オーディオ キー クリック ディテクタ減衰 (Audio KeyClickDetector Attenuate)] を On にします。

使用方法:

xConfiguration Audio KeyClickDetector Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

Off/On

Off: キー クリックの検出は無効です。

On: システムによりキーボードからクリック ノイズが検出されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ システムでのマイク ミュートの動作を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Microphones Mute Enabled: Enabled

説明:

Enabled:

True/InCallOnly

True: 音声ミュートが使用可能になります。

InCallOnly: 音声ミュートはデバイスがコール中の場合にだけ使用できます。アイドル状態のときは、マイクロフォンをミュートにできません。これは、外部の電話サービス/音声システムがコーデックで接続され、コーデックがコール中でないときに使用可能にする場合に便利です。InCallOnly に設定されたとき、音声システムが誤ってミュートにされることを防止できます。

デフォルト値:

True

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

各マイクでマイク補強モードを個別に設定します。Mode = On のすべてのマイクからの信号がミックスされ、選択した MicrophoneReinforcement 出力に送信されます。Audio MicrophoneReinforcement Output Line Mode 設定も参照してください。

使用方法:

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode: Mode

説明:

n: マイク入力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 8

Mode:

Off/On

On: マイクの信号が、相手先に加えて、選択した MicrophoneReinforcement 出力にも送信されます。

Off: マイクの信号は相手先のみ送信されます。選択した MicrophoneReinforcement 出力には送信されません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

各ライン出力でマイクの補強モードを個別に設定します。Mode = On の場合、通常の出力信号に外部マイク機器のミックス音声を加えられてライン出力されます。Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone Mode 設定も参照してください。

使用方法:

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode: Mode

説明:

n: マイク出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

Off/On

On: この出力により、相手先の音声、ローカル プレゼンテーションの音声、およびマイク補強ミックスが送信されます。

Off: この出力により、相手先の音声とローカル プレゼンテーションの音声を送信されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Gain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

選択した MicrophoneReinforcement 出力に送信されるミックス済みマイク信号に適用されるゲイン (dB)。

使用方法:

xConfiguration Audio MicrophoneReinforcement Gain: Gain

説明:

Gain:

整数 (-54 ~ 15)

ローカル出力に送信する必要があるマイク信号のレベルを調整するために、このゲインを使用します。値 -54 はオフであることを意味し、マイクから出力に信号は供給されません。

デフォルト値:

-54

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs

適用対象: *CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

リップ同期を実現するには、各 HDMI ライン出力で、他の接続デバイス (TV、外付けスピーカーなど) の遅延に合わせた追加の遅延を設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output HDMI [n] Delay Mode 設定での定義に従い、一定の遅延になるか、外部モニターで測定または報告された遅延に相対的な遅延になります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs: DelayMs

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 3

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode

適用対象: *CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声 HDMI 出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、一定のミリ秒数か、検出された遅延または外部モニタで報告された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Delay Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 3

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、検出された遅延または外部モニタで報告された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は、顕出された遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

Fixed

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level

適用対象: *SX80 Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 入力コネクタのゲインを設定します。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Level: Level

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [*Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX80*]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode

適用対象: *SX80 CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDMI 出力コネクタの音声チャンネルを有効にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output HDMI [n] Mode: Mode

説明:

n: HDMI 出力を識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX80*]

Mode:

Auto/Off/On [*CodecPro Room70G2*]

Off/On [*SX80*]

[自動 (Auto)]: 自動 (Auto) 設定は Codec Pro、Room 70 G2 にのみ適用されます。

すべてのコネクタが自動に設定されていて、Quad Camera が使用中の場合、音声はカメラで再生されます。さらに、1 つまたは複数の画面がコーデックに接続されている場合、音声はカメラで再生され、システムは HDMI 出力 1、2、または 3 に接続されている最初の利用可能な画面で遅延を測定します。コーデックが画面に信号を送信し、画面がその信号を ARC (Audio Return Channel) に送信します。この遅延測定値を使用して、カメラ上の音声は画面上のビデオと同期されます (リップ同期)。ARC を使用する画面には Consumer Electronics Control (CEC) が使用されます。

すべてのコネクタが [自動 (Auto)] に設定されていて、Quad Camera が使用可能な場合、システムは HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3 の順に再生を試し、最初に成功した画面で音声を再生します。音声は画面で再生されるため、遅延測定は実行されません。同期 (リップ同期) は必要ありません。

Quad Cameraの利用条件: Quad Camera からカメラ制御 (イーサネット) が、コーデックのカメラ制御コネクタ (イーサネット 2 または 3) のいずれかを介して LAN に接続されている必要があります。カメラの HDMI 出力は、ARC (Audio Return Channel) 出力コネクタである、コーデックのカメラ入力 (HDMI 1) に接続されている必要があります。また、対応する Video Input Connector [n] CEC Mode が On に設定されていることも必要です。Audio Output InternalSpeaker Mode を On に設定する必要があります。

[オフ (Off)]: HDMI 出力での音声チャンネルを無効にします。Codec Pro、Room 70 G2: 遅延測定は行われません。

[オン (On)]: HDMI 出力での音声チャンネルを有効にします。

デフォルト値:

Room 70 G2 Dual: HDMI 1, 2: On HDMI 3: Auto

Room 70 G2 Single: HDMI 1: On HDMI 2, 3: Auto [*Room70G2*]

Auto [*CodecPro*]

HDMI 1: On HDMI 2: Off [*SX80*]

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode

適用対象: *MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムの内蔵スピーカーを使用するかどうかを定義します。

Codec Plus、Codec Pro: この設定を適用するには、Cisco Quad Camera にコーデックが接続されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output InternalSpeaker Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: ビデオ システムの統合スピーカーを無効にします。

On: ビデオ システムの統合スピーカーを有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

音声ライン出力がモノラル信号またはマルチチャンネル信号の一部のいずれであるかを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Channel: Channel

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

Channel:

Left/Mono/Right

Left: 音声ライン出力信号はステレオ信号の左チャンネルです。

Mono: オーディオライン出力信号はモノラル信号です。

Right: 音声ライン出力信号はステレオ信号の右チャンネルです。

デフォルト値:

Line[1,3,5]: Left Line[2,4,6]: Right

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

リップ シンクを実現するために、他の接続されているデバイス (たとえば、TV、外部スピーカー) の遅延と釣り合う追加の遅延を各音声ライン出力に設定できます。ここで設定する遅延は、Audio Output Line [n] Delay Mode 設定での定義に従い、固定であるか、HDMI 出力の遅延に対して相対的です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay DelayMs: DelayMs

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20*]

DelayMs:

整数 (0 ~ 290)

遅延 (ミリ秒)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

Audio Output Line [n] Delay DelayMs 設定を使用すると、音声ライン出力に遅延を追加できます。追加される遅延は、固定のミリ秒数か、(接続済み TV に通常備わっている) HDMI 出力で検出された遅延に対して相対的なミリ秒数です。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Delay Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20*]

Mode:

Fixed/RelativeToHDMI

Fixed: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、固定のミリ秒数になります。

RelativeToHDMI: 出力に追加される遅延 (DelayMs) は、HDMI 出力で検出された遅延に対して相対的になります。実際の遅延は HDMI の遅延 + DelayMs です。Audio Output Connectors Line [n] DelayMs ステータスにより、実際の遅延がレポートされます。

デフォルト値:

既定 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

RelativeToHDMI [*SX10 SX20 CodecPro Room70G2*]

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

出力ラインに接続されたオーディオ ソースのイコライザ ID を選択します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer ID: ID

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

ID:

整数 (1 ~ 8)

イコライザ ID を設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

出力ラインに接続されたオーディオ ソースのイコライザ モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Equalizer Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6

Mode:

Off/On

Off: イコライザなし。

On: 音声出力ラインのイコライザを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Audio Output Line [n] Level

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70/Room55D Room70G2*
 必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ラインの出力コネクタのゲインを設定します。接続されているデバイスのオーディオ出力レベルに合わせて、ゲインを調整する必要があります。ゲインは、1 db ずつ調整できます。

0 dB のゲインの最大入力レベルは、製品によって次のように異なります。22 dBu (SX80、MX700/MX800)、8 dBu (Room 70、Room 55 Dual)、18 dBu (Codec Pro、Room 70 G2)。

例: オーディオ デバイスの最大出力レベルが 10 dBu で、SX80 に接続されている場合、ゲインの設定は 10 dBu - 22 dBu = -12 dB にしてください。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Level: Level

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*Room70/Room55D*]

Level:

整数 (-24 ~ 0)

範囲: デシベル (dB) 単位でゲインを選択します。

デフォルト値:

-10 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

0 [*CodecPro Room70/Room55D Room70G2*]

xConfiguration Audio Output Line [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

音声ライン出力のモードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] Mode: Mode

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 6 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*RoomKit Room70/Room55D*]

Mode:

Off/On

Off: 音声ライン出力を無効にします。

On: 音声ライン出力を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType

適用対象: *RoomKit Room70/Room55D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

出力タイプは、接続デバイスに一致するように設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Audio Output Line [n] OutputType: OutputType

説明:

n: 音声ライン出力を示す固有の ID。

範囲: 1 ~ 1

OutputType:

LineOut/Loudspeaker/Recorder/Subwoofer [RoomKit]

LineOut/Loudspeaker/Recorder [Room70/Room55D]

Loudspeaker: スピーカーがライン出力に接続されている場合、スピーカーを使用します。このモードでのコネクタ出力レベルは、音量のマスターコントロールと、システムサウンドすべて（着信音、webex アシスタントなど）を含めた出力信号に従って設定されます。

録画機能が回線の出力に接続されている場合は、よく: 使用記録します。このモードでは出力レベルは固定され、システム音は含まれません。音声にはローカルでのプレゼンテーション ソース、ローカルのマイク、およびあらゆる遠隔ソースが含まれます。

Subwoofer: サブウーファーがライン出力に接続されている場合、サブウーファーを使用します。このモードでは、低音はライン出力に送信され、それ以外のオーディオ信号は内蔵スピーカーで再生されます。

LineOut: 他のデバイスのライン出力を使用します。このモードでは、内蔵スピーカーはフルレンジのオーディオを再生します。出力レベルは固定され、システム音声は含まれません。音声にはローカルでのプレゼンテーション ソースおよびあらゆる遠隔ソースが含まれます。

デフォルト値:

Loudspeaker [RoomKit]

LineOut [Room70/Room55D]

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

着信コールに使用する着信音を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone: RingTone

説明:

RingTone:

Sunrise/Mischief/Ripples/Reflections/Vibes/Delight/Evolve/Playful/Ascent/Calculation/Mellow/Ringer

リストから着信音を選択します。

デフォルト値:

Sunrise

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

着信コールの着信音量を定義します。

使用方法:

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume: RingVolume

説明:

RingVolume:

整数 (0 ~ 100)

範囲: 値は 5 刻みで 0 ~ 100 (-34.5 dB ~ 15 dB) になります。音量 0 = オフです。

デフォルト値:

50 [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

40 [MX200G2/MX300G2]

30 [MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、Intelligent Proximity 機能に適用されます。超音波のペアリング メッセージの最大音量を設定します。

使用方法:

xConfiguration Audio Ultrasound MaxVolume: MaxVolume

説明:

MaxVolume:

整数 (0 ~ 90) [*SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70G2*]

整数 (0 ~ 70) [*SX10 MX200G2/MX300G2 RoomKit*]

整数 (0 ~ 80) [*Room70/Room55D Room70G2*]

DX80: 整数 (0 ~ 90) *DX70*: 整数 (0 ~ 60) [*DX70/DX80*]

整数 (0 ~ 84) [*Room55*]

値は指定の範囲内から選択します。0 に設定すると、超音波がオフになります。

デフォルト値:

70 [*SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPro Room70G2*]

60 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

50 [*MX200G2/MX300G2*]

DX80: 70 *DX70*: 60 [*DX70/DX80*]

64 [*Room55*]

Cameras 設定

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラ ID は、Camera [n] の数字 n です。デフォルトでは、カメラ ID はカメラに自動的に割り当てられます。EDID 情報がカメラからコーデックに送信されない場合、カメラ ID は再起動後に保持されません。これは、コーデック (ビデオ システム) の再起動時にカメラが新しいカメラ ID を取得する可能性があることを意味します。

コーデックが複数のカメラから EDID 情報を受信しない構成を考慮するには、Cameras Camera AssignedSerialNumber 設定を使用する必要があります。この設定は、カメラ ID をカメラのシリアル番号に関連付けることでカメラにカメラ ID を割り当てられるようにします。この設定はコーデックが工場出荷時の状態にリセットされるまで維持されます。

コーデックが EDID 情報を受信しない一般的な状況として、3G SDI を使用して Cisco TelePresence Precision 60 カメラを接続する場合、Cisco TelePresence Precision 40 (Cisco TelePresence PrecisionHD 1080p4xS2) カメラを接続する場合、EDID 情報を送信しない HDMI リピータを使用する場合があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber: "AssignedSerialNumber"

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

AssignedSerialNumber:

String (0, 20)

カメラのシリアル番号。

デフォルト値:

""

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D
CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このコンフィギュレーションは、逆光補正をオンまたはオフにします。逆光補正は、部屋の中で人物の背後に強い光がある場合に役立ちます。逆光補正がないと、こちらの画像が相手に非常に暗い状態で見えてしまいます。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode: DefaultMode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

DefaultMode:

Off/On

Off: カメラの逆光補正をオフにします。

On: カメラの逆光補正をオンにします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus
CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラの明るさモードを定義します。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Mode:

Auto/Manual

Auto: カメラの明るさはシステムによって自動的に設定されます。

Manual: カメラの明るさの手動設定を有効にします。明るさのレベルは、Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

明るさのレベルを定義します。カメラの明るさモード Cameras Camera [n] Brightness Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel: DefaultLevel

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

DefaultLevel:

整数 (1 ~ 31)

明るさレベル。

デフォルト値:

20

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

フリップ モード (垂直フリップ) を使用すると、画像を上下反転できます。フリッピングは、セルフビュー および遠端に送信されるビデオの両方に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Flip: Flip

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 CodecPro*]

範囲: 2 ~ 7 シングル カメラ システム用、3 ~ 7 デュアル カメラ システム用 [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20*]

Flip:

Auto/Off/On [*SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro*]

Auto [*SX10*]

Auto: 上下逆にマウントされたことをカメラが検出すると、画像が自動的に反転します。上下逆にマウントされたかどうかをカメラが自動的に検出できない場合、画像は変更されません。

Off: 画像を通常の方法で画面に表示します。

On: 画像を上下反転させて表示します。この設定は、カメラが上下逆にマウントされたが、マウント方向を自動的に検出できない場合に使用されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus
CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラのフォーカス モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Focus Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 CodecPro Room70G2]

範囲: 2 ~ 7 シングル カメラ システム用、3 ~ 7 デュアル カメラ システム用 [MX700/MX800/
MX800D]

範囲: 1 ~ 1 [SX10 SX20 MX200G2/MX300G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Mode:

Auto/AutoLimited/Manual [SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus]

Auto/Manual [CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

Auto: オート フォーカスの動作は製品によって異なります。Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の場合、およびコーデック (SX80 または Codec Plus) と一緒に Cisco Quad Camera を使用する場合、通話がつながった時点、およびビューが変更された後にカメラがシングル ショット オート フォーカスを行います。Cisco TelePresence Precision 40 または Cisco TelePresence PrecisionHD 12x カメラを備えた SX10、SX20、MX200 G2、MX300 G2、および SX80 の場合、通話が接続されたとき、またはパン、チルト、ズームが行われたときに、カメラはシングル ショット オート フォーカスを行います。MX700/MX800 で、コーデック (SX80 または Codec Plus) を備えた Cisco TelePresence Precision 60 カメラを使う場合、カメラは連続オート フォーカスを行います。この場合、通話がつながったとき、パン、チルト、ズームが行われたとき、またカメラが風景の変化を識別したときに、オート フォーカスが実行されます。

AutoLimited: このモードは、MX700 / MX800 で、コーデック (SX80 または Codec Plus) を備えた Cisco TelePresence Precision 60 カメラを使う場合にのみ適用されます。ほとんどの場合、このモードはオート フォーカスと同様に動作します。AutoLimited により、フォーカスを合わせようとし続ける可能性を減らすことができます。問題となる状況は、コントラストがない、またはコントラストが低い広い場所です。たとえば装飾のない壁、または部分的に空白のあるホワイトボードなどもこのおそれがあります。オート フォーカスと比べて、このモードを使用する方が、背景にフォーカスが合う可能性が高まります。

Manual: オート フォーカスをオフにし、カメラの焦点を手動で調整します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro
Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は、ガンマ補正を有効にします。ガンマは、画像ピクセルとモニタの明るさとの間の関係を表します。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX20 MX200G2/MX300G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

Mode:

Auto/Manual

Auto: 自動がデフォルトであり、推奨設定です。

Manual: 手動モードではガンマ値はガンマ レベル設定で変更されます。Cameras Camera [n] Gamma Level を参照してください。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ガンマ レベルを設定して、使用するガンマ修正テーブルを選択できます。この設定は、明るさの設定を変更しても十分な結果が得られない困難な光条件に役立つことがあります。カメラのガンマ モード `Cameras Camera [n] Gamma Mode` を `[手動 (Manual)]` に設定する必要があります。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Gamma Level: Level

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Level:

整数 (0 ~ 7)

ガンマ レベルを定義します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ミラー モード (水平反転) を使用して画面の画像を反転できます。ミラーリングは、セルフビューおよび遠端に送信されるビデオの両方に適用されます。スピーカー トラッキングがオンのときはミラーリングが自動的に無効になります。

ビデオシステムに Cisco Quad Camera がある場合は適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Mirror: Mirror

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 CodecPro Room70G2*]

範囲: 2 ~ 7 シングル カメラ システム用、3 ~ 7 デュアル カメラ システム用 [*MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Mirror:

Auto/Off/On [*SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*]

Off/On [*MX200G2/MX300G2*]

Auto: 上下逆にマウントされたことをカメラが検出すると、画像が自動的に反転します。上下逆にマウントされたかどうかをカメラが自動的に検出できない場合、画像は変更されません。MX700/MX800 カメラ: 常に他人から見えているように画像を表示します。

Off: 他人から見えている自分のように画像を表示します。MX200 G2、MX700/MX800 統合カメラ: 鏡に映っている自分のように画像を表示します。

On: 鏡に映っている自分のように画像を表示します。MX200 G2、MX700/MX800 カメラ: 他人から見えているように画像を表示します。

デフォルト値:

Auto [*SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*]

MX300G2: Off MX200G2: On [*MX200G2/MX300G2*]

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus
CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

カメラのホワイト バランス モードを定義します。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Mode: Mode

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Mode:

Auto/Manual

Auto: カメラはカメラのビューに合わせて常にホワイト バランスを調整します。

Manual: カメラのホワイトバランスの手動設定を有効にします。ホワイト バランスのレベルは Cameras Camera [n] Whitebalance Level 設定を使用して設定します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus
CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ホワイトバランスのレベルを定義します。Cameras Camera [n] Whitebalance Mode を [手動 (Manual)] に設定する必要があります。

Cisco Quad Camera および Room 55 Dual、Room 70、Room 70 G2 の一体型カメラには適用されません。これらのカメラは部屋の明るさの状態に基づいて自動的に調整します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera [n] Whitebalance Level: Level

説明:

n: カメラを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 7 [*SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 1 [*SX10 SX20 MX200G2/MX300G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

Level:

整数 (1 ~ 16)

ホワイトバランスのレベル。

デフォルト値:

1

xConfiguration Cameras Camera Framerate

適用対象: *RoomKit Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN

デフォルトとして、カメラは 1 秒あたり 30 フレームを出力します。これにより、通常の帯域と照明条件であってもクローズアップと広い視野両方の画像の品質が良くなります。条件がさらに良い場合、カメラから 1 秒あたり 60 フレームの出力となり、全般的に良い品質となる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Cameras Camera Framerate: Framerate

説明:

Framerate:

30/60

30: カメラは、1 秒あたり 30 フレームを出力します。

60: カメラは 1 秒あたり 60 フレームを出力します。

デフォルト値:

30

xConfiguration Cameras Preset TriggerAutofocus

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

現在位置 (パン、チルト)、ズームおよびフォーカスはプリセットで保存されます。この設定を使用して、カメラを再フォーカスするか、プリセットで保存されたフォーカス値を使用するかどうかを指定します。

使用方法:

xConfiguration Cameras Preset TriggerAutofocus: TriggerAutofocus

説明:

TriggerAutofocus:

Auto/Off/On

Auto: プリセットを選択しない場合に、カメラの種類に応じてカメラを再フォーカスするかどうかを指定します。

Off: プリセットで保存されたフォーカス値が使用されます。プリセットを選択する場合、カメラは再フォーカスしません。

On: プリセットを選択する場合、カメラは再フォーカスします。プリセットで保存されたフォーカス値が上書きされる可能性があります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スピーカー トラッキングのサポートでカメラを使用する場合のみ、この設定が適用されます。

Cisco Quad Camera: スピーカー トラッキングは自動カメラ フレーミングを使用し、室内の人数に基づいて最適なカメラ表示を選択します。クアッド カメラは、2 台のカメラで構成され、通話中のスピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラ: デュアル カメラ アセンブリは、2 台のカメラで構成され、アクティブ スピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。異なるスイッチング モードについては、「Cameras SpeakerTrack TrackingMode」を参照してください。

内蔵スピーカー トラック カメラ付きシステム (Room Kit, Room 55, Room 55 Dual, Room 70, Room 70 G2): スピーカー トラッキングは自動カメラ フレーミングを使用し、室内の人数に基づいて最適なカメラ表示を選択します。カメラは、通話中のスピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。

デュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えた MX700/MX800: デュアル カメラ アセンブリは、2 台のカメラで構成され、アクティブ スピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。異なるスイッチング モードについては、「Cameras SpeakerTrack TrackingMode」を参照してください。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: [Mode](#)

説明:

[Mode](#):

Auto/Off

Auto: スピーカーのトラッキングはオンです。システムは室内の人々を検出し自動的に最適なカメラ フレーミングを選択します。ユーザはタッチ コントローラのカメラ制御パネルでスピーカー トラックのオンとオフをすぐに切り替えることができます。

Off: スピーカー トラッキングがオフになります。Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラ、またはデュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えたMX700/MX800 を使う場合、2 台のカメラは個別のカメラとして動作します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの SpeakerTrack モードが Auto に設定されている場合のみ、この設定が適用されます。

室内の人が話すと、システムがその人を検出し、最適なカメラフレーミングを選択します。これはクローズ アップといい、室内のすべての人を含まない場合があります。室内のすべての人を常に表示しておきたい場合、クローズ アップ機能をオフにできます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Closeup: [Closeup](#)

説明:

[Closeup](#):

Auto/Off

Auto: システムは話す人にズームインします。

Off: システムは、室内のすべての人が常にカメラのフレームに入るように維持されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スピーカーのトラッキング アルゴリズムは、2 つのモード (高速なモードと低速なモード) の変更に応じて変わります。このモードは、カメラのビューが新しいスピーカーに移行するタイミングを決定します。

SX80、Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラを使用している場合に Cameras SpeakerTrack Mode が Auto に設定されている場合にのみ適用されます。

MX700、MX800: この設定は、デュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えたシステムを使用し、Cameras SpeakerTrack Mode が Auto に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack TrackingMode: TrackingMode

説明:

TrackingMode:

Auto/Conservative

Auto: 通常トラッキング モードです。

Conservative: カメラのビューは、通常モードよりも遅いタイミングで新しいスピーカーに移行します。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

個々のカメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出するか、それとも手動で設定するかを定義します。コーデックがカメラから EDID 情報を受信しない状況では、手動設定を選択する必要があります。通常、これは、EDID 情報を送信しない HDMI リピータを使用する場合にあてはまります。

SX80、Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラがコーデック (ビデオシステム) に接続されている場合にのみ適用されます。

MX700、MX800: このバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual [SX80 CodecPro Room70G2]

Auto: カメラが接続されているビデオ入力を自動的に検出します。

Manual: カメラが接続されているビデオ入力を手動で定義します。Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft および Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight 設定を使用します。

デフォルト値:

Auto [SX80 CodecPro Room70G2]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SpeakerTrack 60 の左側のカメラが接続されているビデオ入力の数値を定義します。

SX80、Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラがコーデック (ビデオ システム) に接続されている場合にのみ適用されます。さらに、Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode を Manual に設定する必要があります。

MX700、MX800: このバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft: [CameraLeft](#)

説明:

CameraLeft:

整数 (1 ~ 5) [*SX80 CodecPro Room70G2*]

有効なビデオ入力の番号を設定します。たとえば、左側のカメラがビデオ入力 1 に接続されている場合は、1 に設定します。

デフォルト値:

1 [*SX80 CodecPro Room70G2*]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

SpeakerTrack 60 の右側のカメラが接続されているビデオ入力の数値を定義します。

SX80、Codec Pro: この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 カメラがコーデック (ビデオ システム) に接続されている場合にのみ適用されます。さらに、Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode を Manual に設定する必要があります。

MX700、MX800: このバージョンでは適用されません。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight: [CameraRight](#)

説明:

CameraRight:

整数 (1 ~ 5) [*SX80 CodecPro Room70G2*]

有効なビデオ入力の番号を設定します。たとえば、右側のカメラがビデオ入力 2 に接続されている場合は、2 に設定します。

デフォルト値:

2 [*SX80 CodecPro Room70G2*]

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/
Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ホワイトボードへのスナップ機能はスピーカー トラッキング機能の拡張です。そのため、スピーカー トラッキングをサポートするカメラが必要になります。プレゼンタがホワイトボードの横に立っている場合、Snap to Whiteboard が有効になっていると、カメラはプレゼンタとホワイトボードの両方をキャプチャします。この機能が無効の場合、プレゼンタのみがキャプチャされます。ホワイトボードへのスナップ機能はタッチ コントローラまたは Web インターフェイスで設定されます。

SX80、Codec Plus、Codec Pro: 接続されたカメラがスピーカー トラッキングをサポートしている場合のみ適用されます。

MX700、MX800: システムがデュアル カメラ (スピーカー トラッキング) を備えている場合のみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: Snap to Whiteboard 機能は無効です。

On: Snap to Whiteboard 機能は有効です。

デフォルト値:

Off

Conference 設定

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

自動応答モードを定義します。コールに応答する前に数秒間待機する場合は Conference AutoAnswer Delay 設定を使用し、コールに応答するときにマイクをミュートする場合は Conference AutoAnswer Mute 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: システムのユーザ インターフェイスから手動で着信コールに応答できます。

On: 通話中でない限り、システムが自動的に着信コールに応答します。常に手動で、通話中の着信コールの応答や拒否が行えます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

着信コールに自動応答する場合にマイクをミュートにするかどうかを定義します。AutoAnswer Mode が有効にされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Mute: Mute

説明:

Mute:

Off/On

Off: 着信コールはミュートにされません。

On: 着信コールは自動的に応答されるときミュートにされます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムによって自動的に応答される前に着信コールがどれくらい待つ必要があるかを定義します (秒単位)。AutoAnswer Mode が有効にされている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Conference AutoAnswer Delay: Delay

説明:

Delay:

Integer (0..50)

自動応答遅延 (秒単位)。

デフォルト値:

0

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムからコールを発信するときに使用するデフォルトのコール プロトコルを定義します。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

Auto/H320/H323/Sip/Spark

Auto: 使用可能なプロトコルに基づいた通信プロトコルの自動選択をイネーブルにします。複数のプロトコルが使用可能な場合、優先順位は次の通りです: 1) SIP、2) H323、3) H320。システムが登録を実行できない場合、自動選択により H323 が選択されます。

H320: すべてのコールが H.320 コールとしてセットアップされます (Cisco TelePresence ISDN リンクとともに使用している場合のみ)。

H323: すべてのコールが H.323 コールとして設定されます。

SIP: すべてのコールが SIP コールとして設定されます。

Spark: Webex 登録済みシステムのために予約されています。使用しません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Conference DefaultCall Rate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

システムからコールを発信するときに使用するデフォルトのコール レートを定義します。

使用方法:

xConfiguration Conference DefaultCall Rate: Rate

説明:

Rate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80 SX10]

デフォルトのコール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

3072 [DX70/DX80 SX10]

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定はサイレント セッションのデフォルト期間、つまり着信コールが拒否され、不在履歴として登録される時間を決定します。セッションは、ユーザ インターフェイスを使用して早期に終了できます。

使用方法:

xConfiguration Conference DoNotDisturb DefaultTimeout: DefaultTimeout

説明:

DefaultTimeout:

整数 (1 ~ 1440)

応答不可セッションが自動的にタイムアウトするまでの分数 (最大 1440 分 = 24 時間)。

デフォルト値:

60

xConfiguration Conference Encryption Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

会議の暗号化モードを定義します。会議が開始されると、数秒間画面に鍵と「Encryption On」または「Encryption Off」という文字が表示されます。

SX20 以外のすべての製品: 注: 暗号化オプション キーがビデオ システムにインストールされていない場合、暗号化モードは常に Off になります。

SX20: 注: CE-NC ソフトウェア (暗号なし) がビデオ システムにインストールされている場合、暗号化モードは常に Off になります。

使用方法:

xConfiguration Conference Encryption Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On/BestEffort

Off: システムは、暗号化を使用しません。

On: システムは、暗号化されたコールだけを許可します。

BestEffort: システムは暗号化を可能な限り使用します。

> ポイント ツー ポイント コール: 遠端システムで暗号化 (AES-128) がサポートされている場合、コールは暗号化されます。そうでない場合は、コールは暗号化なしで送信されます。

> MultiSite コール: 暗号化されたマルチサイト会議を実現するためには、すべてのサイトが暗号化をサポートしている必要があります。そうでない場合は、会議は暗号化されません。

デフォルト値:

BestEffort

xConfiguration Conference FarEndControl Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート側 (遠端) にこちら側のビデオ ソースの選択とローカル カメラの制御 (パン、チルト、ズーム) を許可するかどうか決定できます。

使用方法:

xConfiguration Conference FarEndControl Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 相手先はこちら側のビデオ ソースの選択やローカル カメラの制御 (パン、チルト、ズーム) を許可されません。

On: 遠端はこちら側のビデオ ソースの選択とローカル カメラの制御 (パン、傾斜、ズーム) を許可します。カメラの制御とビデオ ソースの選択は、こちら側でも通常どおり可能です。

デフォルト値:

On

xConfiguration Conference FarEndMessage Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータ送信の許可状況を切り替えます。SIP コールでのみ動作します。この設定は、遠隔メッセージ送信コマンドの xCommand のコール使用を有効化または無効化します。

使用方法:

xConfiguration Conference FarEndMessage Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: 2 つのコーデック間でメッセージ送信を行うことはできません。

On: ポイントツーポイント通話で 2 つのコーデック間のメッセージ送信を行うことができます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

コールの発信または受信時に使用する最大受信ビット レートを定義します。これは個別のコールの最大ビット レートです。すべての同時アクティブ コールに集約した最大レートを設定するには、Conference MaxTotalReceiveCallRate 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxReceiveCallRate: MaxReceiveCallRate

説明:

MaxReceiveCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [*SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*]

整数 (64 ~ 3072) [*DX70/DX80 SX10*]

最大受信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [*SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*]

3072 [*DX70/DX80 SX10*]

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

コールの発信または受信時に使用する最大送信ビット レートを定義します。これは個別のコールの最大ビット レートです。すべての同時アクティブ コールに集約した最大レートを設定するには、Conference MaxTotalTransmitCallRate 設定を使用します。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTransmitCallRate: MaxTransmitCallRate

説明:

MaxTransmitCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80 SX10]

最大送信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

3072 [DX70/DX80 SX10]

xConfiguration Conference MaxTotalReceiveCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

受信全体の最大許容ビット レートを定義します。

この設定は、ビデオ システム内蔵の MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合に適用されます。ビット レートは任意の時点におけるすべてのアクティブ コール間で均等に分割されます。これは、誰かがマルチポイント会議に参加または退出するとき、またはコールが保留 (中断) されるか再開されるときに個々のコールが適切に高速化または低速化されることを意味します。個々のコールの最大受信ビット レートは、Conference MaxReceiveCallRate 設定により定義されます。

DX70, DX80, SX10: この製品は、同時に複数のコールをサポートしないため、合計送信帯域は 1 つのコールの送信ビット レートと同じになります (参照: Conference MaxReceiveCallRate 設定)。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTotalReceiveCallRate: MaxTotalReceiveCallRate

説明:

MaxTotalReceiveCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (64 ~ 15000) [CodecPro Room 70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80 SX10]

最大受信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

15000 [CodecPro Room70G2]

3072 [DX70/DX80 SX10]

xConfiguration Conference MaxTotalTransmitCallRate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

送信全体の最大許容ビット レートを定義します。

この設定は、ビデオ システム内蔵の MultiSite 機能 (オプション) を使用してマルチポイントのビデオ会議をホストする場合に適用されます。ビット レートは任意の時点におけるすべてのアクティブ コール間で均等に分割されます。これは、誰かがマルチポイント会議に参加または退出するとき、またはコールが保留 (中断) されるか再開されるときに個々のコールが適切に高速化または低速化されることを意味します。個々のコールの最大送信ビット レートは、Conference MaxTransmitCallRate 設定により定義されます。

DX70、DX80、SX10: この製品は、同時に複数のコールをサポートしないため、合計送信帯域は 1 つのコールの送信ビット レートと同じになります (参照: Conference MaxTransmitCallRate 設定)。

使用方法:

xConfiguration Conference MaxTotalTransmitCallRate: MaxTotalTransmitCallRate

説明:

MaxTotalTransmitCallRate:

整数 (64 ~ 6000) [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

整数 (64 ~ 15000) [CodecPro Room70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80 SX10]

最大送信コール レート (kbps)。

デフォルト値:

6000 [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

15000 [CodecPro Room70G2]

3072 [DX70/DX80 SX10]

xConfiguration Conference MultiStream Mode

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムでは、電話会議のマルチ ストリーム ビデオをサポートしています。

使用方法:

xConfiguration Conference MultiStream Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off [SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Off [SX20 MX200G2/MX300G2]

Auto: 電話会議インフラストラクチャがマルチストリーム機能をサポートしている場合は、マルチストリームが使用されます。最低限必要なバージョン: CMS 2.2、CUCM 11.5、VCS X8.7。

Off: マルチストリームが無効になります。

デフォルト値:

Auto [SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Off [SX20 MX200G2/MX300G2]

GPIO 設定

xConfiguration GPIO Pin [n] Mode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

4 つの GPIO のピンは個別に設定されます。状態は、xStatus GPIO Pin [1..4] State により取得できません。デフォルトの PIN 状態は High (+12 V) です。ピンは、出力としてアクティブ化すると、0 V (低) に設定され、非アクティブ化すると、+12 V (高) に設定されます。ピンを入力としてアクティブ化するには、ピンの電圧を 0 V に下げる必要があり、非アクティブ化するには、電圧を +12 V に上げる必要があります。

使用方法:

xConfiguration GPIO Pin [n] Mode: Mode

説明:

n: GPIO ピン番号。

範囲: 1 ~ 4

Mode:

InputAcceptAllCalls/InputDisconnectAllCalls/InputMuteMicrophones/InputNoAction/OutputAllCallsEncrypted/OutputInCall/OutputManualState/OutputMicrophonesMuted/OutputPresentationOn/OutputStandbyActive

InputAcceptAllCalls: ピンがアクティブになると、すべての着信コールを受け入れる xCommand Call Accept コマンドが発行されます。

InputDisconnectAllCalls: ピンがアクティブになると、すべてのコールを切断する xCommand Call Disconnect コマンドが発行されます。

InputMuteMicrophones: ピンがアクティブになると、マイクがミュートになります。非アクティブになると、マイクがミュート解除されます。

InputNoAction: ピン状態は設定できますが、操作は行われません。

OutputAllCallsEncrypted: すべての通話が暗号化されるとピンがアクティブになり、複数の通話が暗号化されないと非アクティブになります。

OutputInCall: 通話中の場合はピンがアクティブになり、通話中でない場合は非アクティブになります。

OutputManualState: ピン状態を xCommand GPIO ManualState Set PinX: High/Low により設定できます。それぞれ、+12 V または 0 V に設定されます。

OutputMicrophonesMuted: マイクがミュートされるとピンがアクティブ化され、ミュート解除されると非アクティブ化されます。

OutputPresentationOn: プレゼンテーションがアクティブになるとピンがアクティブ化され、プレゼンテーションが非アクティブのときは非アクティブ化されます。

OutputStandbyActive: システムがスタンバイ モードになると PIN が有効化され、スタンバイ モ

ードが終了すると無効化されます。

デフォルト値:

[InputNoAction]

H.323 設定

xConfiguration H323 Authentication Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 プロファイルの認証モードを定義します。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: システムは H.323 ゲートキーパーに対して自身の認証を試行せずに、通常の登録を試みます。

On: 認証が必要なことを H.323 ゲートキーパーから示されると、システムはゲートキーパーに対して自身の認証を試みます。コーデックとゲートキーパーの両方で、H323 Authentication LoginName と H323 Authentication Password の設定を定義する必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 Authentication LoginName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムは認証のために、H.323 ゲートキーパーに H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを送信します。認証はコーデックから H.323 ゲートキーパーへの単方向の認証です。つまり、システムはゲートキーパーに認証されます。認証が不要であることを H.323 ゲートキーパーが示している場合でも、システムは登録を試行します。[H.323 認証モード (H.323 Authentication Mode)] がイネーブルになっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 50)

認証ログイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 Authentication Password

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムは認証のために、H.323 ゲートキーパーに H323 認証ログイン名と H323 認証パスワードを送信します。認証はコーデックから H.323 ゲートキーパーへの単方向の認証です。つまり、システムはゲートキーパーに認証されます。認証が不要であることを H.323 ゲートキーパーが示している場合でも、システムは登録を試行します。[H.323 認証モード (H.323 Authentication Mode)] がイネーブルになっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Authentication Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 50)

認証パスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 CallSetup Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 コールを確立するときにゲートキーパーとダイレクト コールのどちらを使用するかを定義します。ダイレクト H.323 コールは、H323 CallSetup Mode が Gatekeeper に設定されている場合も発信できます。

使用方法:

xConfiguration H323 CallSetup Mode: Mode

説明:

Mode:

Direct/Gatekeeper

Direct: IP アドレスに直接ダイヤルすることによってのみ、H.323 コールを発信できます。

[ゲートキーパー (Gatekeeper)]: システムは、H.323 コールを発信するためにゲートキーパーを使用します。このオプションを選択する場合は、H323 Gatekeeper Address も設定する必要があります。

デフォルト値:

Gatekeeper

xConfiguration H323 Encryption KeySize

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

Advanced Encryption Standard (AES) 暗号化キーの確立時に使用する Diffie-Hellman キー交換方式の最小または最大のキー サイズを定義します。

使用方法:

xConfiguration H323 Encryption KeySize: KeySize

説明:

KeySize:

Max1024bit/Min1024bit/Min2048bit

Max1024bit: 最大サイズは 1024 ビットです。

Min1024bit: 最小サイズは 1024 ビットです。

Min2048bit: 最小サイズは 2048 ビットです。

デフォルト値:

Min1024bit

xConfiguration H323 Gatekeeper Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ゲートキーパーの IP アドレスを定義します。H323 CallSetup Mode を Gatekeeper に設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration H323 Gatekeeper Address: "Address"

説明:

Address:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 H323Alias E164

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 エイリアス E.164 は、H.323 ゲートキーパーに設定された番号計画に従ってシステムのアドレスを定義します。E.164 エイリアスは電話番号と同じであり、アクセス コードと結合される場合もあります。

使用方法:

xConfiguration H323 H323Alias E164: "E164"

説明:

E164:

文字列 (0, 30)

H.323 Alias E.164 のアドレス。使用できる文字は、0 ~ 9、*、# です。

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 H323Alias ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

H.323 エイリアス ID を定義します。この ID は、H.323 ゲートキーパーでシステムのアドレス指定に使用され、コール リストに表示されます。

使用方法:

xConfiguration H323 H323Alias ID: "ID"

説明:

ID:

文字列 (0、49)

H.323 エイリアス ID。例:"firstname.lastname@company.com", "My H.323 Alias ID"

デフォルト値:

""

xConfiguration H323 NAT Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ファイアウォール トラバーサル テクノロジーは、ファイアウォール障壁を通過するセキュアなパスを作成し、外部のビデオ会議システムに接続されたときの音声/ビデオ データの正しい交換を可能にします (IP トラフィックが NAT ルータを通過する場合)。注: NAT は、ゲートキーパーとの組み合わせでは動作しません。

使用方法:

xConfiguration H323 NAT Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Off/On

Auto: H323 NAT アドレスと実際の IP アドレスのどちらをシグナリングに使用するかをシステムが決定します。これにより、LAN 上のエンドポイント、または WAN のエンドポイントにコールを発信できるようになります。H323 NAT アドレスが間違っているか設定されていない場合、実際の IP アドレスが使用されます。

Off: システムは、実際の IP アドレスをシグナリングします。

On: システムは、Q.931 および H.245 内にある実際の IP アドレスの代わりに、設定された H323 NAT アドレスをシグナリングします。NAT サーバ アドレスは、スタートアップ メニューに [My IP Address: 10.0.2.1] と表示されます。H323 NAT アドレスが間違っているか設定されていない場合、H.323 コールは設定できません。

デフォルト値:

Off

xConfiguration H323 NAT Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

NAT 対応ルータの外部/グローバル IP アドレスを定義します。ルータに送信されるパケットは、システムにルーティングされます。ゲートキーパーに登録されている場合は NAT を使用できないことに注意してください。

ルータで、次のポートはシステムの IP アドレスにルーティングする必要があります。

- * ポート 1720
- * ポート 5555-6555
- * ポート 2326-2487

使用方法:

xConfiguration H323 NAT Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

Macros 設定

xConfiguration Macros Mode

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロによって、ビデオ エンドポイントの一部を自動化することができる JavaScript コードのスニペットを記述できます。このようにしてカスタム動作を作成します。デフォルトではマクロの使用は無効化されていますが、最初にマクロ エディタを開くときにコーデックでのマクロ使用を有効にするかどうか確認を求められます。コーデックのマクロの使用を手動で有効にする場合や、完全に無効にする場合は、この設定を使用します。マクロ エディタ内でのマクロの使用を無効にすることができます。ただし、コーデックがマクロをリセットするたびにマクロが自動的に再度有効化されるため、マクロの実行は常時無効にはなりません。

使用方法:

xConfiguration Macros Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: このビデオ システム上でのマクロの使用を完全に無効にします。

On: このビデオ システム上でのマクロの使用を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Macros AutoStart

適用対象: *DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのマクロは、マクロ ランタイムに呼び出され、ビデオ エンドポイントにおいてシングル プロセスで実行します。デフォルトでは実行されている必要がありますが、手動での停止と開始を選択することができます。自動開始が有効化されている場合、ビデオ システムを再起動するときにランタイムは自動的に再度開始します。

使用方法:

xConfiguration Macros AutoStart: AutoStart

説明:

AutoStart:

Off/On

Off: ビデオ システムの再起動後、マクロ ランタイムは自動的に開始しません。

On: ビデオ システムの再起動後、マクロ ランタイムが自動的に開始します。

デフォルト値:

On

ネットワーク コンフィギュレーション

xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張 (DNSSEC) は、DNS の拡張セットです。署名されたゾーンの DNS の応答を認証するために使用されます。署名されていないゾーンを引き続き許可します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS DNSSEC Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張を無効にします。

On: ドメイン ネーム システム セキュリティ拡張を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

DNS ドメイン名は非修飾名に追加されるデフォルトのドメイン名サフィックスです。

例: DNS ドメイン名が「company.com」で、ルックアップする名前が「MyVideoSystem」の場合、DNS ルックアップ「MyVideoSystem.company.com」になります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS Domain Name: "Name"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Name:

文字列 (0, 64)

DNS ドメイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

DNS サーバのネットワーク アドレスを定義します。最大 3 つまでのアドレスを指定できます。ネットワーク アドレスが不明の場合、管理者またはインターネット サービス プロバイダーに問い合わせます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] DNS Server [m] Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

m: DNS サーバを識別するインデックス。最大 3 台の DNS サーバが許可されます。

範囲: 1 ~ 3

Address:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムは、イーサネット ネットワークに認証済みネットワーク アクセスを提供するために使用される、ポート ベースのネットワーク アクセス コントロールによって、IEEE 802.1X LAN ネットワークに接続できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Off/On

Off: 802.1X 認証が無効になります。

On: 802.1X 認証が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

TLS を使用する場合の、ローカル CA リストの証明書に対する IEEE802.1x 接続のサーバ側証明書の検証です。CA リストはビデオ システムにアップロードする必要があります。これは、Web インターフェイスから実行できます。

この設定は、Network [1] IEEE8021X Eap Tls が有効 (On) の場合にのみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X TlsVerify: TlsVerify

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

TlsVerify:

Off/On

Off: Off に設定する場合、ローカル CA リストに対するサーバ側 X.509 証明書を確認せずに、TLS 接続が許可されます。これは、コーデックに CA リストがアップロードされていない場合、選択する必要があります。

On: On に設定する場合、すべての TLS 接続のローカル CA リストに対して、サーバ側 X.509 証明書が検証されます。有効な証明書を持つサーバだけが許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

IEEE802.1x 接続中の、秘密キーと証明書のペアを使用した認証。認証 X.509 証明書は、ビデオ システムにアップロードされている必要があります。これは、Web インターフェイスから実行できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate: UseClientCertificate

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

UseClientCertificate:

Off/On

Off: Off に設定した場合、クライアント側の証明書は使用されません (サーバ側のみ)。

On: On に設定した場合、クライアント (ビデオ システム) はサーバと相互認証 TLS ハンドシェイクを実行します。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

802.1X 認証用のユーザ名を定義します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Identity: "Identity"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Identity:

文字列 (0, 64)

802.1X 認証用のユーザ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

802.1X 認証用のパスワードを定義します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Password: "Password"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

パスワード:

文字列 (0, 50)

802.1X 認証用のパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

802.1X 匿名 ID 文字列は、別のトンネリングされた ID をサポートする EAP-PEAP および EAP-TTLS などの EAP (Extensible Authentication Protocol) タイプとともに、非暗号化 ID として使用されます。設定された場合、匿名 ID は最初の (非暗号化) EAP ID 要求に使用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity: "AnonymousIdentity"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

AnonymousIdentity:

文字列 (0、64)

802.1X 匿名 ID 文字列。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

MD5 (メッセージダイジェスト アルゴリズム 5) モードを定義します。これは、共有秘密に依存するチャレンジ ハンドシェイク認証プロトコルです。MD5 は弱いセキュリティです。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Md5: Md5

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Md5:

Off/On

Off: EAP-MD5 プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-MD5 プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

TTLS (トンネル方式トランスポート層セキュリティ) モードを定義します。クライアント証明書の要件なしで LAN クライアントを認証します。Funk Software および Certicom によって開発されました。通常 Agere Systems、Proxim および Avaya でサポートされます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Ttls: Ttls

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Ttls:

Off/On

Off: EAP-TTLS プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-TTLS プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

IEEE802.1x 接続用の EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) の使用をイネーブルまたはディセーブルにします。RFC5216 で定義された EAP-TLS プロトコルは最もセキュアな EAP 標準の 1 つと見なされています。LAN クライアントは、クライアント証明書を使用して認証されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Tls: Tls

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Tls:

Off/On

Off: EAP-TLS プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-TLS プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

PEAP (Protected Extensible Authentication Protocol) モードを定義します。クライアント証明書の要件なしで LAN クライアントを認証します。Microsoft、シスコと RSA Security により開発されました。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IEEE8021X Eap Peap: Peap

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Peap:

Off/On

Off: EAP-PEAP プロトコルはディセーブルになります。

On: EAP-PEAP プロトコルが有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] IPStack

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムのネットワーク インターフェイスで IPv4、IPv6、またはデュアル IP スタックを使用する必要がある場合に選択します。注: この設定を変更した後、反映されるまでに 30 秒間待つ必要があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPStack: IPStack

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

IPStack:

デュアル (Dual) /IPv4/IPv6

Dual: Dual に設定すると、ネットワーク インターフェイスは両方の IP バージョンで同時に動作することができ、また、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を同時に持つことができます。

IPv4:[IPv4] に設定すると、システムのネットワーク インターフェイスで IPv4 が使用されます。

IPv6:[IPv6] に設定すると、システムのネットワーク インターフェイスで IPv6 が使用されます。

デフォルト値:

Dual

xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムが IPv4 アドレス、サブネット マスク、およびゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。この設定は IPv4 ネットワーク上のシステムにのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Assignment: Assignment

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Assignment:

静的 (Static) /DHCP

Static: アドレスは、Network IPv4 Address、Network IPv4 Gateway、Network IPv4 SubnetMask の各設定 (静的アドレス) を使用して手動で設定する必要があります。

DHCP: システム アドレスは DHCP サーバによって自動的に割り当てられます。

デフォルト値:

DHCP

xConfiguration Network [n] IPv4 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムのスタティック IPv4 ネットワーク アドレスを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv4 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 Gateway: "Gateway"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Gateway:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

IPv4 ネットワークのサブネット マスクを定義します。Network IPv4 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv4 SubnetMask: "SubnetMask"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

SubnetMask:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムが IPv6 アドレスおよびデフォルト ゲートウェイ アドレスを取得する方法を定義します。この設定は IPv6 ネットワーク上のシステムにのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 Assignment: Assignment

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Assignment:

静的 (Static) /DHCPv6/Autoconf

Static: コーデックおよびゲートウェイの IP アドレスは、Network IPv6 Address および Network IPv6 Gateway の各設定を使用して手動で設定する必要があります。NTP アドレスや DNS サーバ アドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバから取得する必要があります。Network IPv6 DHCPOption 設定は、どの方法を使用するかを決定します。

DHCPv6: オプションを含むすべての IPv6 アドレスは、DHCPv6 サーバから取得されます。詳細については RFC3315 を参照してください。Network IPv6 DHCPOption 設定は無視されます。

Autoconf: IPv6 ネットワーク インターフェイスの IPv6 ステータス自動設定をイネーブルにします。詳細については RFC4862 を参照してください。NTP アドレスや DNS サーバ アドレスなどのオプションは、手動で設定するか、または DHCPv6 サーバから取得する必要があります。Network IPv6 DHCPOption 設定は、どの方法を使用するかを決定します。

デフォルト値:

[Autoconf]

xConfiguration Network [n] IPv6 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムのスタティック IPv6 ネットワーク アドレスを定義します。Network IPv6 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用できます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 Address: "Address"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Address:

文字列 (0, 64)

ネットワーク マスクを含む有効な IPv6 アドレス。例: 2001:DB8::/48

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

IPv6 ネットワーク ゲートウェイ アドレスを定義します。この設定は、Network IPv6 Assignment が Static に設定されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 Gateway: "Gateway"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Gateway:

文字列 (0, 64)

有効な IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

DHCPv6 サーバから一連の DHCP オプション (NTP および DNS サーバ アドレスなど) を取得します。

使用方法:

xConfiguration Network [n] IPv6 DHCPOptions: DHCPOptions

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

DHCPOptions:

Off/On

Off: DHCPv6 サーバからの DHCP オプションの取得を無効にします。

On: 選択した DHCP オプションのセットの DHCPv6 サーバからの取得をイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration Network [n] MTU

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

イーサネット MTU (最大伝送ユニット) サイズを定義します。MTU サイズは、ネットワーク インフラストラクチャでサポートする必要があります。IPv4 の場合、最小サイズは 576 で、IPv6 の場合、最小サイズは 1280 です。

使用方法:

xConfiguration Network [n] MTU: MTU

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

MTU:

Integer (576..1500)

MTU の値を設定します (バイト単位)。

デフォルト値:

1500

xConfiguration Network [n] QoS Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

QoS (Quality of Service) は、ネットワーク内のオーディオ、ビデオおよびデータの優先順位を操作するメソッドです。QoS 設定はインフラストラクチャでサポートされている必要があります。DiffServ (ディファレンシエーテッド サービス) は、ネットワーク トラフィックの分類と管理を行い、現代的 IP ネットワークに QoS を提供するためにシンプルかつスケーラブルで粗粒度のメカニズムを指定する、コンピュータ ネットワーキング アーキテクチャです。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

オフ (Off) /Diffserv

Off: QoS メソッドは使用されません。

Diffserv: QoS モードを Diffserv に設定すると、Network QoS Diffserv Audio、Network QoS Diffserv Video、Network QoS Diffserv Data、Network QoS Diffserv Signalling、Network QoS Diffserv ICMPv6、および Network QoS Diffserv NTP の各設定を使用してパケットの優先順位が付けられます。

デフォルト値:

[Diffserv]

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で音声パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。音声に推奨されるクラスは、10 進数値 32 と等しい CS4 です。これを確認するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Audio: Audio

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Audio:

Integer (0..63)

IP ネットワークでの音声パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。IP ネットワーク内でビデオ パケットに持たせる優先順位を定義します。プレゼンテーション チャネル (共有コンテンツ) 上のパケットも、ビデオ パケットのカテゴリに属します。パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。ビデオに推奨されるクラスは、10 進数値 32 と等しい CS4 です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Video: Video

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Video:

Integer (0..63)

IP ネットワークでのビデオ パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。IP ネットワーク内でデータ パケットに持たせる優先順位を定義します。パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。データに対する推奨値は 0 (ベスト エフォート) です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Data: Data

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Data:

Integer (0..63)

IP ネットワークでのデータ パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。IP ネットワーク内でリアルタイム処理に不可欠 (時間依存) であると考えられるシグナリング パケットに持たせる優先順位を定義します。パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。シグナリングに推奨されるクラスは、10 進数値 24 と等しい CS3 です。これを確認するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv Signalling: Signalling

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Signalling:

Integer (0..63)

IP ネットワークでの信号パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。IP ネットワーク内で ICMPv6 パケットに持たせる優先順位を定義します。パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。ICMPv6 に対する推奨値は 0 (ベスト エフォート) です。これを確認するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv ICMPv6: ICMPv6

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

ICMPv6:

Integer (0..63)

IP ネットワークでの ICMPv6 パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、Network QoS Mode が Diffserv に設定されている場合にのみ有効になります。

IP ネットワーク内で NTP パケットに持たせる優先順位を定義します。

パケットのプライオリティは、0 ~ 63 です。数字が大きいほど、優先順位が高くなります。NTP に対する推奨値は 0 (ベスト エフォート) です。これを確認するには、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ここで設定された優先順位は、パケットがローカル ネットワークの管理者によって制御されるネットワークを出るときに上書きされる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] QoS Diffserv NTP: NTP

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

NTP:

Integer (0..63)

IP ネットワークでの NTP パケットの優先順位を設定します。数値が大きいほど、優先順位が高くなります。0 は「ベスト エフォート」を意味します。

デフォルト値:

0

xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート アクセスで HTTP、HTTPS、SSH、Telnet からコーデックに許可する IP アドレス (IPv4/IPv6) を定義します。

ネットワーク マスク (IP 範囲) は <ip address>/N で指定されます。ここで N は IPv4 では 1 ~ 32 の範囲および IPv6 では 1 ~ 128 の範囲を表します。/N は最初の N ビットがセットされたネットワークマスクの共通インジケータです。たとえば 192.168.0.0/24 は、192.168.0 で開始するどのアドレスとも一致します。これらはアドレスの最初の 24 ビットだからです。複数の IP アドレスはスペースで区切られます。

Telnet は、SX シリーズ、MX シリーズ、および DX70/DX80 のみサポートされます。

使用方法:

xConfiguration Network [n] RemoteAccess Allow: "Allow"

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Allow:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

デフォルト値:

""

xConfiguration Network [n] Speed

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

イーサネット リンクの速度を定義します。デフォルト値では、ネットワークとネゴシエートして自動的に速度が設定されます。このため、デフォルト値は変更しないことをお勧めします。自動ネゴシエーションを使用しない場合、選択した速度を、ネットワーク インフラストラクチャの最も近いスイッチがサポートしているか確認してください。

使用方法:

xConfiguration Network [n] Speed: Speed

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Speed:

Auto/10half/10half/100half/100half [SX10]

Auto/10half/10full/100half/100full/1000full [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Auto: リンク速度を自動でネゴシエートします。

10half: 10 Mbps 半二重に強制リンクします。

10full: 10 Mbps 全二重に強制リンクします。

100half: 100 Mbps 半二重に強制リンクします。

100full: 100 Mbps 全二重に強制リンクします。

1000full: 1 Gbps 全二重に強制リンクします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

VLAN 音声モードを定義します。Cisco UCM (Cisco Unified Communications Manager) をプロビジョニング インフラストラクチャとして使用している場合、VLAN Voice Mode が Auto に自動的に設定されます。NetworkServices CDP Mode 設定が Off になっている場合は、Auto モードは機能しないことに注意してください。

使用方法:

xConfiguration Network [n] VLAN Voice Mode: Mode

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: Cisco Discovery Protocol (CDP) が使用可能な場合は、音声 VLAN に ID を割り当てます。CDP を使用できない場合、VLAN はイネーブルになりません。

Manual: VLAN ID は、Network VLAN Voice VlanId の設定を使用して手動で設定されます。CDP を使用できる場合、手動設定値は、CDP によって割り当てられた値によって却下されます。

Off: VLAN はイネーブルになりません。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

VLAN 音声 ID を定義します。この設定は、ネットワーク VLAN 音声モード が Manual に設定されている場合にだけ有効になります。

使用方法:

xConfiguration Network [n] VLAN Voice VlanId: VlanId

説明:

n: ネットワークを識別するインデックス。

範囲: 1 ~ 1

VlanId:

Integer (1..4094)

VLAN 音声 ID を設定します。

デフォルト値:

1

NetworkPort 設定

xConfiguration NetworkPort [n] Mode

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムには、2 つのネットワーク ポートがあります。最初のネットワーク ポートは、ビデオ システムをイーサネット LAN に接続するためのものです。2 番目のネットワーク ポート (コンピュータ ネットワーク ポートとも呼ばれる) により、ビデオ システムを介してコンピュータをイーサネット LAN に接続できます。このように、ビデオ システムとコンピュータの両方をサポートするためにネットワーク コンセントは 1 つしか必要ありません。

公共の環境でビデオ システムを使用する場合は、ユーザがビデオのシステムを介してネットワークにコンピュータを接続するを防ぐために、このネットワーク ポートを無効にすることをお勧めします。

この設定への変更を反映させるには、ビデオ システムを再起動する必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkPort [n] Mode: Mode

説明:

n: ネットワーク ポートを識別する一意の ID。

範囲: 2 ~ 2

Mode:

Off/On

Off: コンピュータ ネットワーク ポートは無効です。

On: コンピュータ ネットワーク ポートは使用可能です。

デフォルト値:

On

NetworkServices 設定

xConfiguration NetworkServices CDP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

CDP (Cisco Discovery Protocol) デーモンを有効または無効にします。CDP を有効にすると、エンドポイントは特定の統計情報とデバイス ID を CDP 対応スイッチにレポートします。CDP を無効にする場合、Network VLAN Voice Mode: Auto 設定は機能しません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices CDP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: CDP デーモンは無効です。

On: CDP デーモンはイネーブルです。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices H323 Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムでの H.323 コールの受発信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices H323 Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: H.323 コールの発信と受信の可能性をディセーブルにします。

On: H.323 コールの発信と受信の可能性を有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP または HTTPS (セキュア HTTP) プロトコルによるビデオ システムへのアクセスを許可するか否かを指定します。ビデオ システムの Web インターフェイスは HTTP または HTTPS を使用することに注意してください。この設定を Off にすると、Web インターフェイスを使用できなくなります。

セキュリティの強化 (Web サーバから返されるページと要求の暗号化/暗号化解除) が必要な場合、HTTPS のみを許可します。

注: 以前のソフトウェア バージョンから CE9.4 (以降) にアップグレードされ、アップグレード後に工場出荷時の設定にリセットされていない状態で提供されるビデオシステムについて、デフォルト値は HTTP + HTTPS となります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/HTTP+HTTPS/HTTPS

Off: HTTP や HTTPS によるビデオ システムへのアクセスを禁止します。

HTTP+HTTPS: HTTP と HTTPS の両方によるビデオ システムへのアクセスを許可します。

HTTPS: HTTPS によるビデオ システムへのアクセスを許可し、HTTP によるアクセスを禁止します。

デフォルト値:

HTTPS (CE9.4 では HTTP+HTTPS から HTTPS に変更)

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

これは、HTTP プロキシへの認証に使われるクレデンシャルのユーザ名部分です。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 80)

認証ログイン名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

これは、HTTP プロキシへの認証に使われるクレデンシャルのパスワード部分です。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 64)

認証パスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Cisco Webex の HTTP プロキシを手動でセットアップすることができます。自動設定 (PACUrl)、完全自動 (WPAD)、またはオフにしておくことができます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Mode: Mode

説明:

Mode:

Manual/Off/PACUrl/WPAD

Manual: ネットワーク サービス HTTP プロキシ URL 設定にプロキシ サーバのアドレスを入力します。必要に応じて、ネットワーク サービス HTTP プロキシ ログイン名/パスワード設定に HTTP プロキシのログイン名とパスワードを追加します。

Off: HTTP プロキシ モードがオフになっています。

PACUrl: HTTP プロキシは自動構成です。ネットワーク サービス HTTP プロキシ PACUrl 設定で PAC (プロキシ自動設定) スクリプトの URL を入力する必要があります。

WPAD: WPAD (Web プロキシ自動検出) を使用して、HTTP のプロキシは完全に自動化され、かつ自動構成されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP プロキシ サーバの URL を設定します。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が手動に設定されている必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy Url: "Url"
```

説明:

URL:

文字列 (0, 255)

HTTP プロキシ サーバの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL を設定します。[ネットワーク サービス HTTP プロキシ モード (NetworkServices HTTP Proxy Mode)] が PACUrl に設定されている必要があります。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTP Proxy PACUrl: "PACUrl"
```

説明:

PACUrl:

文字列 (0, 255)

PAC (プロキシ自動構成) スクリプトの URL。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可する TLS (Transport Layer Security) プロトコルの最低バージョンを設定します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion: MinimumTLSVersion
```

説明:

MinimumTLSVersion:

TLsv1.1/TLsv1.2

TLsv1.1: TLS バージョン 1.1 以降のサポート。

TLsv1.2: TLS バージョン 1.2 以降のサポート。

デフォルト値:

TLsv1.1

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP Strict Transport Security ヘッダーにより、Web サイトからブラウザに対して、サイトを HTTP を使用してロードすることを避け、サイトへの HTTP を使用したアクセスはすべて HTTPS リクエストに自動変換する必要があることを通知します。

使用方法:

```
xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity:
```

StrictTransportSecurity

説明:

StrictTransportSecurity:

Off/On

Off: HTTP Strict Transport Security 機能が無効になります。

On: HTTP Strict Transport Security 機能が有効になります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムが外部 HTTPS サーバ (電話帳サーバや外部マネージャなど) に接続すると、このサーバはビデオ システムに対して自身を識別する証明書を示します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate:
VerifyServerCertificate

説明:

VerifyServerCertificate:

Off/On

Off: サーバ証明書を確認しません。

On: サーバ証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されていることを確認するようシステムに要求します。これには、信頼できる CA のリストがシステムに事前にアップロードされている必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムが HTTPS クライアント (Web ブラウザなど) に接続すると、クライアントは自分自身を識別するためにビデオ システムに証明書を提示するように要求されることがあります。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate:
VerifyClientCertificate

説明:

VerifyClientCertificate:

Off/On

Off: クライアント証明書を確認しません。

On: 信頼できる認証局 (CA) によって署名された証明書を提示するようクライアントに要求します。これには、信頼できる CA のリストがシステムに事前にアップロードされている必要があります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices NTP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) は、リファレンス タイム サーバにシステムの時刻と日付を同期するために使用されます。時間の更新のために、タイム サーバに定期的に照会します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Mode: Mode

説明:

Mode:

Auto/Manual/Off

Auto: システムは時間を参照するために NTP サーバを使用します。デフォルトでは、サーバのアドレスはネットワークの DHCP サーバから取得されます。DHCP サーバを使用しない場合や、DHCP サーバが NTP サーバのアドレスを提供しない場合は、NetworkServices NTP Server [n] Address 設定で指定された NTP サーバ アドレスが使用されます。

Manual: システムは、NetworkServices NTP Server [n] Address 設定で指定された NTP サーバを使って時間を参照します。

Off: システムは NTP サーバを使用しません。NetworkServices NTP Server [n] Address 設定は無視されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

NetworkServices NTP Mode が Manual に設定された場合、および NetworkServices NTP Mode が Auto に設定されアドレスが DHCP サーバから提供されない場合に使用される NTP サーバのアドレスです。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices NTP Server [n] Address: "Address"

説明:

n: NTP サーバを識別する一意の ID。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

"0.tandberg.pool.ntp.org"

xConfiguration NetworkServices SIP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムでの SIP コールの受発信を可能にするかどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SIP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SIP コールの発信と受信の可能性をディセーブルにします。

On: SIP コールの発信と受信の可能性を有効にします。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices SNMP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ネットワーク管理システムでは、管理上の対応を補償する条件についてネットワーク接続デバイス（ルータ、サーバ、スイッチ、プロジェクトなど）をモニタするために SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）が使用されます。保証の管理上の注意使用されます。SNMP は、システム コンフィギュレーションを説明する管理対象システム変数の形式で管理データを公開します。これらの変数は、その後照会でき（ReadOnly に設定）、管理アプリケーションによって設定できる場合もあります（ReadWrite に設定）。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP Mode: Mode

説明:

Mode:

オフ (Off) / 読み取り専用 (ReadOnly) / 読み書き (ReadWrite)

Off: SNMP ネットワーク サービスを無効にします。

ReadOnly: SNMP ネットワーク サービスを照会のみイネーブルにします。

ReadWrite: SNMP ネットワーク サービスの照会とコマンドの両方をイネーブルにします。

デフォルト値:

ReadOnly

xConfiguration NetworkServices SNMP Host [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

最大 3 つの SNMP マネージャのアドレスを定義します。

システムの SNMP エージェント（コーデック内）は、システム ロケーションやシステム接点についてなど、SNMP マネージャ（PC プログラムなど）からのリクエストに応答します。SNMP トラップはサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP Host [n] Address: "Address"

説明:

n: SNMP ホストを識別します。最大 3 台の SNMP ホストが許可されます。

範囲: 1 ~ 3

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ネットワーク サービス SNMP コミュニティの名前を定義します。SNMP コミュニティ名は SNMP 要求を認証するために使用されます。SNMP 要求は、コーデックの SNMP エージェントから応答を受け取るため、パスワード (大文字と小文字を区別) を持つ必要があります。デフォルトのパスワードは「public」です。Cisco TelePresence 管理スイート (TMS) がある場合、同じ SNMP コミュニティがそこで設定されていることを確認する必要があります。注: SNMP コミュニティのパスワードは大文字と小文字が区別されます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP CommunityName: "CommunityName"

説明:

CommunityName:

文字列 (0, 50)

SNMP コミュニティ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ネットワーク サービス SNMP システムの連絡先の名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemContact: "SystemContact"

説明:

SystemContact:

文字列 (0, 50)

SNMP システムの連絡先の名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ネットワーク サービス SNMP システム ロケーションの名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SNMP SystemLocation: "SystemLocation"

説明:

SystemLocation:

文字列 (0, 50)

SNMP システムの場所の名前です。

デフォルト値:

""

xConfiguration NetworkServices SSH Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SSH (セキュア シェル) プロトコルは、コーデックとローカル コンピュータ間でのセキュアな暗号化通信を提供できます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices SSH Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: SSH プロトコルは無効になります。

On: SSH プロトコルはイネーブルになります (デフォルト)。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices Telnet Mode

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

Telnet は、インターネットまたはローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続で使用されるネットワーク プロトコルです。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices Telnet Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: Telnet プロトコルは無効になります。これが出荷時の設定です。

On: Telnet プロトコルはイネーブルになります。

デフォルト値:

Off

xConfiguration NetworkServices UPnP Mode

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

UPnP (ユニバーサル プラグアンドブレイ) を完全に無効にするか、ビデオ システムがオンになった後または再起動した後に、短時間だけ UPnP を有効にします。

デフォルトでは、ビデオ システムをオンにするか再起動すると、UPnP が有効になります。その後、NetworkServices UPnP Timeout の設定で定義されたタイムアウト時間が経過すると、UPnP は自動的に無効になります。ビデオ システムの web インターフェイスを使用して、タイムアウトを設定します。

UPnP が有効になると、ビデオ システムはネットワーク上での自身のプレゼンスをアダプタイズします。このアダプタイズによって、タッチ コントローラはビデオ システムを自動的に検出できるようになります。タッチ コントローラとペアリングするために、手動でビデオ システムの IP アドレスを入力する必要はありません。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices UPnP Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: UPnP は無効になります。ビデオ システムは自身のプレゼンスをアダプタイズしないため、タッチ コントローラをビデオ システムとペアリングするためにはビデオ システムの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

On: UPnP は有効になります。ビデオ システムはタイムアウト期間が経過するまで、自身のプレゼンスをアダプタイズします。

デフォルト値:

On

xConfiguration NetworkServices WelcomeText

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

SSH または Telnet 経由でコネクタにログインする際に、ユーザに表示する情報を選択します。
Telnet は、SX シリーズ、MX シリーズ、および DX70/DX80 でのみサポートされます。

使用方法:

xConfiguration NetworkServices WelcomeText: WelcomeText

説明:

WelcomeText:

Off/On

Off: ようこそテキストは次のとおりです: ログインに成功しました (Login successful)

On: ようこそテキストは次のとおりです:<システム名>; ソフトウェア バージョン; ソフトウェアのリリース日; ログインに成功しました (Login successful)

デフォルト値:

On

Peripherals 設定

xConfiguration Peripherals Profile Cameras

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ システムに接続されることが予想されるタッチ パネルの数を定義します。この情報はビデオ システムの診断サービスで使用します。接続されたカメラの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile Cameras: Cameras

説明:

Cameras:

NotSet/Minimum1/0/1/2/3/4/5/6/7

NotSet: カメラの確認は実行されません。

Minimum1: 1 台のカメラがビデオ システムに接続されている必要があります。

0 ~ 7: ビデオ システムに接続する予定のカメラの数を選択します。

デフォルト値:

Minimum1

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

サードパーティ制御システム (Crestron、AMX など) をビデオ システムに接続する予定かどうかを定義します。この情報はビデオ システムの診断サービスで使われます。接続された制御システムの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。サードパーティ制御システムは 1 つのみサポートされるので注意してください。

1 に設定する場合、xCommand Peripherals Pair コマンドおよび HeartBeat コマンドを使用して、制御システムからビデオ システムにハートビートを送信する必要があります。これが失敗すると、室内制御拡張により、ビデオ システムが制御システムへの接続を失ったことを示す警告が表示されます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile ControlSystems: [ControlSystems](#)

説明:

[ControlSystems](#):

1/NotSet

1: 1 つのサードパーティ制御システムをビデオ システムに接続する必要があります。

NotSet: サードパーティ制御システムの検査は実行されません。

デフォルト値:

NotSet

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ システムに接続する予定のシスコ タッチ コントローラの数を変更します。この情報はビデオ システムの診断サービスで使われます。接続されたタッチ コントローラの数がこの設定に一致しない場合、診断サービスによって不一致がレポートされます。

使用方法:

xConfiguration Peripherals Profile TouchPanels: [TouchPanels](#)

説明:

[TouchPanels](#):

設定されていない (NotSet) / 最小 1 (Minimum1) / 0/1/2/3/4/5

NotSet: タッチ パネル チェックは実行されません。

Minimum1: 少なくとも 1 台のシスコ タッチコントローラがビデオ システムに接続されている必要があります。

0 ~ 5: ビデオ システムへの接続が予想されるタッチ コントローラの数を選択します。公式にサポートされるシスコ タッチ コントローラは、1 台のみであることに注意してください。

デフォルト値:

NotSet [SX10 SX20]

Minimum1 [SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Phonebook 設定

xConfiguration Phonebook Server [n] ID

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

外部電話帳の名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] ID: "ID"

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

ID:

文字列 (0, 64)

外部の電話帳の名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration Phonebook Server [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

電話帳サーバの種類を選択します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] Type: Type

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

タイプ:

Off/CUCM/Spark/TMS/VCS

Off: 電話帳を使用しません。

CUCM: 電話帳が Cisco Unified Communications Manager 上に配置されます。

Spark: 電話帳が Cisco Webex クラウドサービス内に配置されます。

TMS: 電話帳が Cisco TelePresence Management Suite サーバ上に配置されます。

VCS: 電話帳が Cisco TelePresence Video Communication Server 上に配置されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Phonebook Server [n] URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

外部電話帳サーバのアドレス (URL) を定義します。

使用方法:

xConfiguration Phonebook Server [n] URL: "URL"

説明:

n: 電話帳サーバを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1

URL:

文字列 (0, 255)

外部電話帳サーバの有効なアドレス (URL)。

デフォルト値:

""

Provisioning 設定

xConfiguration Provisioning Connectivity

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

この設定は、プロビジョニング サーバからの内部または外部の設定を要求するかどうかを、デバイスが検出する方法を制御します。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Connectivity: Connectivity

説明:

Connectivity:

Internal/External/Auto

Internal: 内部コンフィギュレーションを要求します。

External: 外部コンフィギュレーションを要求します。

Auto: 内部または外部のコンフィギュレーションを要求するかどうかを自動的に NAPTR クエリーを使用して検出します。NAPTR の応答に「e」フラグがある場合、外部コンフィギュレーションが要求されます。それ以外の場合、内部コンフィギュレーションが要求されます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムの IP アドレスまたは DNS 名を定義します。外部マネージャのアドレス (およびパス) が設定されている場合、システムはスタートアップ時にこのアドレスにメッセージを送信します。このメッセージを受信すると、結果として外部マネージャ/プロビジョニング システムはそのユニットにコンフィギュレーション/コマンドを返すことができます。

CUCM または TMS プロビジョニングを使用する場合、外部マネージャ アドレスを自動的に提供するために DHCP サーバをセットアップできます (TMS には DHCP オプション 242、CUCM には DHCP オプション 150)。プロビジョニング 外部マネージャアドレス で設定されたアドレスは、DHCP によって提供されるアドレスを上書きします。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントが Cisco Unified Communications Manager (CUCM) でプロビジョニングされており、代替 CUCM が冗長性に利用可能な場合にのみ使用できます。代替 CUCM のアドレスを定義します。主な CUCM が使用できない場合、エンドポイントは代替 CUCM でプロビジョニングされます。主な CUCM が再び使用可能になると、エンドポイントはこの CUCM によってプロビジョニングされます。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager AlternateAddress: "AlternateAddress"

説明:

AlternateAddress:

文字列 (0, 64)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムに要求を送信する際に、HTTP (非セキュアな通信) または HTTPS (セキュアな通信) のどちらのプロトコルを使用するかを定義します。

選択したプロトコルは、NetworkServices HTTP Mode の設定で有効になっている必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Protocol: Protocol

説明:

Protocol:

HTTPS/HTTP

HTTPS: HTTPS を介してリクエストを送信します。

HTTP: HTTP を介してリクエストを送信します。

デフォルト値:

HTTP

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムへのパスを定義します。いくつかの管理サービスが同じサーバに存在する、つまり同じ外部マネージャのアドレスを共有する場合、この設定が必要です。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Path: "Path"

説明:

パス:

文字列 (0, 255)

外部のマネージャ システムまたはプロビジョニング システムへの有効なパス。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

VCS プロビジョニング サーバの SIP ドメインを定義します。

使用方法:

xConfiguration Provisioning ExternalManager Domain: "Domain"

説明:

ドメイン:

文字列 (0, 64)

有効なドメイン名。

デフォルト値:

" "

xConfiguration Provisioning Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

プロビジョニング システム (外部マネージャ) を使用してビデオ システムを設定できます。これにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のビデオ システムを同時に管理することができます。この設定により、使用するプロビジョニング システムの種類を選択します。プロビジョニングは、オフに切り替えることも可能です。詳細については、プロビジョニング システムのプロバイダー/担当者にお問い合わせください。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Auto/CUCM/Edge/Spark/TMS/VCS

Off: ビデオ システムはプロビジョニング システムによって設定されません。

Auto: DHCP サーバでセットアップされる対象としてプロビジョニング サーバが自動的に選択されます。

CUCM: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からビデオ システムにコンフィギュレーションをプッシュします。

Edge: CUCM (Cisco Unified Communications Manager) からビデオ システムにコンフィギュレーションをプッシュします。システムは Collaboration Edge インフラストラクチャを介して CUCM に接続します。Edge を越えて登録するには、暗号化オプションキーがビデオ システムにインストールされている必要があります。

Spark: Cisco Webex クラウド サービスからビデオ システムに設定をプッシュします。

TMS: TMS (Cisco TelePresence Management System) からビデオ システムにコンフィギュレーションをプッシュします。

VCS: VCS (Cisco TelePresence Video Communication Server) からビデオ システムにコンフィギュレーションをプッシュします。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration Provisioning LoginName

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

これは、プロビジョニング サーバによるビデオ システムの認証で使用されるクレデンシャルのユーザ名部分です。この設定は、プロビジョニング サーバが要求する場合、使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning LoginName: "LoginName"

説明:

LoginName:

文字列 (0, 80)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration Provisioning Password

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

これは、指定サーバとのビデオ システムの認証に使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。この設定は、プロビジョニング サーバが要求する場合、使用する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Provisioning Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 64)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

Proximity 設定

xConfiguration Proximity Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ システムが超音波ペアリング メッセージを発信するか否かを決定します。

ビデオ システムが超音波を発信すると、Proximity クライアントはビデオ システムが近くにあることを検知できます。クライアントを使用するには、少なくとも 1 つの Proximity サービスをイネーブルにする必要があります (Proximity Services 設定を参照)。一般的に、すべてのプロキシミティ サービスを有効にすることをお勧めします。

使用方法:

xConfiguration Proximity Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

[オフ (Off)]: ビデオ システムは超音波を発しないため、Proximity サービスを使用できません。

[オン (On)]: ビデオ システムが超音波を発し、Proximity クライアントはビデオ システムに近接していることを検出できます。有効になっているプロキシミティ サービスを使用できます。

デフォルト値:

On [MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit Room55 Room70G2]

Off [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 CodecPlus CodecPro]

Room 55 Dual: Off Room 70: On [Room70/Room55D]

xConfiguration Proximity Services CallControl

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Proximity クライアントで基本的なコール制御機能を有効または無効にします。この設定を有効にすると、Proximity クライアントを使用してコールを制御できます (ダイヤル、ミュート、音量、コールの終了など)。このサービスはモバイル デバイス (iOS および Android) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services CallControl: CallControl

説明:

CallControl:

イネーブル/ディセーブル

Enabled: Proximity クライアントからのコール制御が有効になります。

Disabled: Proximity クライアントからのコール制御が無効になります。

デフォルト値:

無効

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

クライアントからのコンテンツ共有を有効または無効にします。この設定を有効にすると、ビデオ システムで無線によって Proximity クライアントからコンテンツを共有できます (ラップトップ画面の共有など)。このサービスはラップトップ (OS X および Windows) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services ContentShare FromClients: FromClients

説明:

FromClients:

イネーブル/ディセーブル

Enabled: Proximity クライアントからのコンテンツ共有が有効になります。

Disabled: Proximity クライアントからのコンテンツ共有が無効になります。

デフォルト値:

Enabled

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

Proximity クライアントに対するコンテンツ共有を有効または無効にします。有効にすると、Proximity クライアントはビデオ システムからプレゼンテーションを受け取ります。詳細を拡大して、以前のコンテンツを表示し、スナップショットを作成できます。このサービスはモバイル デバイス (iOS および Android) でサポートされます。この設定が機能するには、Proximity Mode を On にする必要があります。

使用方法:

xConfiguration Proximity Services ContentShare ToClients: [ToClients](#)

説明:

[ToClients](#):

イネーブル/ディセーブル

Enabled: Proximity クライアントに対するコンテンツ共有が有効になります。

Disabled: Proximity クライアントに対するコンテンツ共有が無効になります。

デフォルト値:

無効

RoomAnalytics 設定

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

顔検出を使用して、ビデオ システムが室内にいる人の人数を特定できます。デフォルトでは、システムは通話中のときまたはセルフ ビューに画像を表示したときのみ人数を数えます。

Codec Plus: コーデックに Cisco Quad Camera が接続されている場合にのみ適用されます。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall: [PeopleCountOutOfCall](#)

説明:

[PeopleCountOutOfCall](#):

Off/On

Off: ビデオ システムは、システムが通話中のときまたはセルフ ビューがオンするときのみ、人数を数えます。

On: ビデオ システムは、ビデオ システムがスタンバイ モードでない限り、人数を数えます。セルフ ビューがオフであっても、これは非通話中の人数を含みます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector

適用対象: SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ システムは、人が室内に存在しているかどうかを確認し、その結果を [室内在室分析 (RoomAnalytics PeoplePresence)] のステータスにレポートすることができます。この機能は、超音波に基づいています。室内に人が存在しているかどうかを検出するには最短で 2 分かかり、空室になったあとにステータスを変更するには最長 2 分かかかる可能性があります。

使用方法:

xConfiguration RoomAnalytics PeoplePresenceDetector: PeoplePresenceDetector

説明:

PeoplePresenceDetector:

Off/On

Off: ビデオ システムのステータスに、室内に人が存在しているかどうかは表示されません。

On: ビデオ システムのステータスに、室内に人が存在しているかどうかが表示されます。

デフォルト値:

Off

SerialPort 設定

xConfiguration SerialPort Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

シリアル ポートを有効/無効にします。

使用方法:

xConfiguration SerialPort Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: シリアル ポートを無効にします。

On: シリアル ポートをイネーブルにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration SerialPort BaudRate

適用対象: *SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

シリアル ポートに、ボー レート (データ送信レート、ビット/秒) を設定します。

シリアル ポートの他の接続パラメータは次の通りです。データ ビット: 8。パリティ: なし。ストップ ビット: 1。フロー制御: なし。

使用方法:

xConfiguration SerialPort BaudRate: BaudRate

説明:

BaudRate:

115200 [RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

9600/19200/38400/57600/115200 [SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D]

リストされているボー レート (bps) からボー レートを選択します。

デフォルト値:

115200 [SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

38400 [SX20]

xConfiguration SerialPort LoginRequired

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

シリアル ポートに接続するときにログインが必要かどうかを定義します。

使用方法:

xConfiguration SerialPort LoginRequired: LoginRequired

説明:

LoginRequired:

Off/On

Off: ユーザはログインせずに、シリアル ポート経由でコーデックにアクセスできます。

On: シリアル ポート経由でコーデックに接続するときに、ログインが必要です。

デフォルト値:

On

SIP 設定

xConfiguration SIP Authentication UserName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは、SIP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのユーザ名部分です。

使用方法:

xConfiguration SIP Authentication UserName: "UserName"

説明:

UserName:

文字列 (0, 128)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Authentication Password

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

これは、SIP プロキシへの認証に使用されるクレデンシャルのパスワード部分です。

使用方法:

xConfiguration SIP Authentication Password: "Password"

説明:

Password:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP DefaultTransport

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

LAN で使用するトランスポート プロトコルを選択します。

使用方法:

xConfiguration SIP DefaultTransport: *DefaultTransport*

説明:

DefaultTransport:

Auto/TCP/Tls/UDP

TCP: システムはデフォルトの転送方法として常に TCP を使用します。

UDP: システムはデフォルトの転送方法として常に UDP を使用します。

Tls: システムはデフォルトの転送方法として常に TLS を使用します。TLS 接続の場合、SIP CA リストをビデオ システムにアップロードできます。このような CA リストがシステムにない場合は匿名の Diffie Hellman が使用されます。

Auto: システムは、TLS、TCP、UDP の順序でトランスポート プロトコルを使用して接続を試みます。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration SIP DisplayName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

これを設定した場合、着信コールは、SIP URI ではなく、表示名を報告します。

使用方法:

xConfiguration SIP DisplayName: "*DisplayName*"

説明:

DisplayName:

文字列 (0、550)

SIP URI の代わりに表示する名前。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ICE プロトコルでは、どのメディア ルートを使用するかについて結論に達するための時間が必要です (最大でコールの最初の 5 秒)。この期間中に、この設定での定義に従い、ビデオ システムのメディアがデフォルト候補に送信されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Ice DefaultCandidate: *DefaultCandidate*

説明:

DefaultCandidate:

Host/Rflx/Relay

Host: メディアをビデオ システムのプライベート IP アドレスへ送信します。

Rflx: TURN サーバから見えるビデオ システムのパブリック IP アドレスにメディアを送信します。

Relay: TURN サーバで割り当てられた IP アドレスおよびポートにメディアを送信します。

デフォルト値:

Host

xConfiguration SIP Ice Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ICE (Interactive Connectivity Establishment、RFC 5245) は、最適なメディア パスを検出するために、ビデオ システムで使用できる NAT トラバーサル ソリューションです。そのため、音声とビデオの最短ルートがビデオ システム間で常に確保されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Ice Mode: *Mode*

説明:

Mode:

Auto/Off/On

Auto: TURN サーバが提供されている場合は ICE が有効になり、提供されていない場合は ICE が無効になります。

Off: ICE が無効になります。

On: ICE が有効になります。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration SIP ListenPort

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオンまたはオフにします。オフにした場合、エンドポイントは SIP レジストラ (CUCM または VCS) を介してのみ到達可能になります。

使用方法:

xConfiguration SIP ListenPort: ListenPort

説明:

ListenPort:

Off/On

Off: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオフにします。

On: SIP TCP/UDP ポートでの着信接続のリッスンをオンにします。

デフォルト値:

On

xConfiguration SIP Proxy [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

プロキシ アドレスは発信プロキシに手動で設定されたアドレスです。完全修飾ドメイン名、または IP アドレスを使用することが可能です。デフォルト ポートは、TCP および UDP の場合は 5060 ですが、もう 1 ポート準備できます。

使用方法:

xConfiguration SIP Proxy [n] Address: "Address"

説明:

n: プロキシを識別するインデックス (最大 4 つのプロキシを定義できます)。

範囲: 1 ~ 4

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または DNS 名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn Server

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

TURN (Traversal Using Relay NAT) サーバのアドレスを定義します。これはメディア リレー フォールバックとして使用され、また、エンドポイント固有のパブリック IP アドレスを検出するためにも使用されます。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn Server: "Server"

説明:

Server:

文字列 (0, 255)

推奨する形式は DNS SRV レコード (例: _turn._udp.<ドメイン>) ですが、有効な IPv4 または IPv6 アドレスも指定できます。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn UserName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

TURN サーバへのアクセスに必要なユーザ名を定義します。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn UserName: "UserName"

説明:

UserName:

文字列 (0, 128)

有効なユーザ名。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP Turn Password

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

TURN サーバへのアクセスに必要なパスワードを定義します。

使用方法:

xConfiguration SIP Turn Password: "Password"

説明:

パスワード:

文字列 (0, 128)

有効なパスワード。

デフォルト値:

""

xConfiguration SIP URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

SIP URI (Uniform Resource Identifier) は、ビデオ システムの識別に使用されるアドレスです。URI が登録され、SIP サービスによりシステムへの着信コールのルーティングに使用されます。SIP URI 構文は RFC 3261 で定義されています。

使用方法:

xConfiguration SIP URI: "URI"

説明:

URI:

文字列 (0, 255)

SIP URI の構文に準拠しているアドレス (URI)。

デフォルト値:

""

Standby 設定

xConfiguration Standby BootAction

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

コーデックの再起動後のカメラの位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby BootAction: BootAction

説明:

BootAction:

None/DefaultCameraPosition/RestoreCameraPosition

None: アクションはありません。

RestoreCameraPosition: ビデオ システムを再起動すると、カメラは再起動前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition: ビデオ システムを再起動すると、カメラは工場出荷時のデフォルトの位置に移動します。

デフォルト値:

DefaultCameraPosition [SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

RestoreCameraPosition [SX10 SX20]

xConfiguration Standby Control

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

システムがスタンバイ モードに移行するか否かを定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby Control: Control

説明:

Control:

Off/On

Off: システムはスタンバイ モードを開始しません。

On: Standby Delay がタイムアウトになると、システムはスタンバイ モードになります。Standby Delay を適切な値に設定する必要があります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Standby Delay

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スタンバイ モードに入る前に、システムがアイドル モードのまま経過する時間の長さ (分単位) を定義します。[スタンバイ制御 (Standby Control)] が有効である必要があります。

使用方法:

xConfiguration Standby Delay: Delay

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

スタンバイ遅延 (分単位) を設定します。

デフォルト値:

10

xConfiguration Standby StandbyAction

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

スタンバイ モードに入るときのカメラ位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby StandbyAction: StandbyAction

説明:

StandbyAction:

なし (None) / プライバシー位置 (PrivacyPosition)

None: アクションはありません。

PrivacyPosition: ビデオ システムがスタンバイになると、プライバシー保護のためカメラは横向きになります。

デフォルト値:

PrivacyPosition

xConfiguration Standby WakeupAction

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

スタンバイ モードを抜けるときのカメラ位置を定義します。

使用方法:

xConfiguration Standby WakeupAction: WakeupAction

説明:

WakeupAction:

None/RestoreCameraPosition/DefaultCameraPosition

None: アクションはありません。

RestoreCameraPosition: ビデオ システムがスタンバイではなくなると、カメラはスタンバイ前の位置に戻ります。

DefaultCameraPosition: ビデオ システムがスタンバイではなくなると、カメラは工場出荷時のデフォルトの位置に移動します。

デフォルト値:

RestoreCameraPosition

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

動体検知自動ウェイク アップは、人が室内に入ってきたときに検知する機能です。この機能は、超音波での検知に基づいており、この機能を動作させるには [近接モード設定 (Proximity Mode setting)] がオンである必要があります。

使用方法:

xConfiguration Standby WakeupOnMotionDetection: [WakeupOnMotionDetection](#)

説明:

[WakeupOnMotionDetection:](#)

Off/On

Off: 動体検知ウェイクアップは無効です。

On: 人は部屋に入ってくると、システムが自動的にスタンバイからウェイクアップします。DX70 および SX10 には適用されません。

デフォルト値:

On [MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit Room55 Room70G2]

Off [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 CodecPlus CodecPro]

Room 55 Dual: Off Room 70: On [Room70/Room55D]

xConfiguration Standby PowerSave

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定を使用すると、就業外時間中のビデオ システムの電力消費を削減できます。省電力モードは、通常のスタンバイ モードを拡張したものです。

ビデオ システムが省電力モードになると、ビデオ システムの一部のモジュール (たとえば、内蔵カメラ) にも電力が供給されます。コーデックおよびタッチ コントローラは、通常のスタンバイ時と同様に動作します。タッチ パネルをタップすると、ビデオ システムは省電力モードから復帰します。

通常のスタンバイから復帰するよりも、省電力モードからビデオ システムが復帰する方が時間がかかります。これは、カメラを起動する必要があるためです。ただちに通話できますが、カメラの起動プロセスが完了するまで、ビデオは発信できません。

使用方法:

xConfiguration Standby PowerSave: [PowerSave](#)

説明:

[PowerSave:](#)

Never/OutsideOfficeHours

Never: ビデオ システムは省電力モードには移行せず、通常のスタンバイにのみ移行します。

OutsideOfficeHours: ビデオ システムは就業外時間中に省電力モードに移行します。次の設定を使用して、就業時間を指定する必要があります: Time WorkWeek FirstDayOfWeek、Time WorkWeek LastDayOfWeek、Time WorkDay Start、および Time WorkDay End。

デフォルト値:

なし (Never)

SystemUnit 設定

xConfiguration SystemUnit Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システム名を定義します。コーデックが SNMP エージェントとして機能している場合に、システム名は DHCP リクエストでホスト名として送信されます。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit Name: "Name"

説明:

Name:

文字列 (0、50)

システム名を定義します。

デフォルト値:

""

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システム (コーデック) がクラッシュすると、システムは解析のために [シスコ自動クラッシュレポートツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] (ACR) ヘログを自動的に送信できます。ACR ツールは、シスコの内部使用のみであり、お客様は利用できません。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: ACR ツールにログは送信されません。

On: ACR ツールにログは自動的に送信されます。

デフォルト値:

Off [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D]

On [RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Url

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システム (コーデック) がクラッシュすると、システムは解析のために [シスコ自動クラッシュレポートツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] (ACR) ヘログを自動的に送信できます。ACR ツールは、シスコの内部使用のみであり、お客様は利用できません。

使用方法:

xConfiguration SystemUnit CrashReporting Url: "Url"

説明:

URL:

文字列 (0、255)

[シスコ自動クラッシュレポートツール (Cisco Automatic Crash Report tool)] の URL。

デフォルト値:

"" [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D]

"acr.cisco.com" [RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Time 設定

xConfiguration Time TimeFormat

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

時刻の形式を定義します。

使用方法:

xConfiguration Time TimeFormat: TimeFormat

説明:

TimeFormat:

24H/12H

24H: 24 時間の時間フォーマットを設定します。

12H: 12 時間 (AM/PM) の時間フォーマットを設定します。

デフォルト値:

[24H]

xConfiguration Time DateFormat

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

日付の形式を定義します。

使用方法:

xConfiguration Time DateFormat: DateFormat

説明:

DateFormat:

DD_MM_YY/MM_DD_YY/YY_MM_DD

DD_MM_YY: 2010 年 1 月 30 日は「30.01.10」と表示されます。

MM_DD_YY: 2010 年 1 月 30 日は「01.30.10」と表示されます。

YY_MM_DD: 2010 年 1 月 30 日は「10.01.30」と表示されます。

デフォルト値:

[DD_MM_YY]

xConfiguration Time Zone

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ビデオ システムが物理的に存在する地域のタイム ゾーンを設定します。値スペースの情報は、tz データベース (別名: IANA タイムゾーン データベース) から取得しています。

使用方法:

xConfiguration Time Zone: Zone

説明:

Zone:

アフリカ/アビジャン、アフリカ/アクラ、アフリカ/アディスアベバ、アフリカ/アルジェ、アフリカ/アスマラ、アフリカ/アスマラ、アフリカ/バマコ、アフリカ/バンギ、アフリカ/バンジュール、アフリカ/ビサウ、アフリカ/ブランタイア、アフリカ/ブラザビル、アフリカ/ブジュンブラ、アフリカ/カイロ、アフリカ/カサブランカ、アフリカ/セウタ、アフリカ/コナクリ、アフリカ/ダカール、アフリカ/ダルエスサラーム、アフリカ/ジブチ、アフリカ/ドゥアラ、アフリカ/アイウン、アフリカ/フリータウン、アフリカ/ガボローネ、アフリカ/ハラレ、アフリカ/ヨハネスブルク、アフリカ/ジュバ、アフリカ/カンバラ、アフリカ/ハルツーム、アフリカ/キガリ、アフリカ/キンシャサ、アフリカ/ラゴス、アフリカ/リーブルビル、アフリカ/ロメ、アフリカ/ルアンダ、アフリカ/ルブンバシ、アフリカ/ルサカ、アフリカ/マラボ、アフリカ/マプト、アフリカ/マセール、アフリカ/ムババーネ、アフリカ/モガディシュ、アフリカ/モンロヴィア、アフリカ/ナイロビ、アフリカ/ンジャメナ、アフリカ/ニアメイ、アフリカ/ヌアクショット、アフリカ/ワガドゥグ、アフリカ/ポルトノボ、アフリカ/サントメ・プリンシペ、アフリカ/ティンブクトゥ、アフリカ/トリポリ、アフリカ/チュニス、アフリカ/ウィントフック、アメリカ/アダック、アメリカ/アンカレッジ、アメリカ/アンギラ、アメリカ/アンティグア、アメリカ/アラグアイーナ、アメリカ/アルゼンチン/ブエノスアイレス、アメリカ/アルゼンチン/カタマルカ、アメリカ/アルゼンチン/コモドロー・リバダビア、アメリカ/アルゼンチン/コルドバ、アメリカ/アルゼンチン/フフイ、アメリカ/アルゼンチン/ラ・リオージャ、アメリカ/アルゼンチン/メンドーサ、アメリカ/アルゼンチン/リオ・ガレゴス、アメリカ/アルゼンチン/サルタ、アメリカ/アルゼンチン/サンファン、アメリカ/アルゼンチン/サンルイス、アメリカ/アルゼンチン/トゥクマン、アメリカ/アルゼンチン/ウシュアイア、アメリカ/アルバ、アメリカ/アスンシオン、アメリカ/アディコカン、アメリカ/アトーチャ、アメリカ/バヒア、アメリカ/バヒア・バンデラス、アメリカ/バルバドス、アメリカ/ベレン、アメリカ/ベリーズ、アメリカ/ブランサルトン、アメリカ/ボア・ビスタ、アメリカ/ボゴタ、アメリカ/ボイシ、アメリカ/ブエノスアイレス、アメリカ/ケンブリッジベイ、アメリカ/カンボグランデ、アメリカ/カンクーン、アメリカ/カラカス、アメリカ/カタマルカ、アメリカ/カイエン、アメリカ/ケイマン、アメリカ/シカゴ、アメリカ/チワワ、アメリカ/コーラル・ハーバー、アメリカ/コルドバ、アメリカ/コスタリカ、アメリカ/クレストン、アメリカ/クイアバ、アメリカ/キュラソー、アメリカ/デンマルクシオン、アメリカ/ドーソン、アメリカ/ドーンソングリーク、アメリカ/デンバー、アメリカ/デトロイト、アメリカ/ドミニカ、アメリカ/エドモントン、アメリカ/エイルネペ、アメリカ/エルサルバドル、アメリカ/エンセナダ、アメリカ/フォート・ネルソン、アメリカ/フォート・ウェイン、アメリカ/フォルタレザ、アメリカ/グレース・米、アメリカ/ゴットホープ、アメリカ/グース・ベイ、アメリカ/グランドターク、アメリカ/グレナダ、アメリカ/グアダルーベ、アメリカ/グアテマラ、アメリカ/グアヤキル、アメリカ/ガイアナ、アメリカ/ハリファクス、アメリカ/ハバナ、アメリカ/エルモシージョ、アメリカ/インディアナ/インディアナポリス、アメリカ/インディアナ/ノックス、アメリカ/インディアナ/マレンゴ、アメリカ/インディアナ/ピーターズバーグ、アメリカ/インディアナ/テルシティ、アメリカ/インディアナ/ヴィンペイ、アメリカ/インディアナ/ヴァンセンズ、アメリカ/インディアナ/ウィナマク、アメリカ/インディアナ/ポリス、アメリカ/イヌヴィック、アメリカ/イカルイト、アメリカ/ジャマイカ、アメリカ/ファイ、アメリカ/ジュノー、アメリカ/ケンタッキー/ルイビル、メリ

カ/ケンタッキー/モンティチェロ、アメリカ/ノックス、アメリカ/クラレンダイク、アメリカ/ラパス、アメリカ/リマ、アメリカ/ロサンゼルス、アメリカ/ルイビル、アメリカ/ローワー・プリンシズ、アメリカ/マセイオ、アメリカ/マナグア、アメリカ/マナウス、アメリカ/マリゴ、アメリカ/マルティニーク、アメリカ/マタモロス、アメリカ/マサトラン、アメリカ/メンドーサ、アメリカ/メノミニ、アメリカ/メリダ、アメリカ/メトラカッタラ、アメリカ/メキシコシティ、アメリカ/ミクロン島、アメリカ/モンクトン、アメリカ/モントレー、アメリカ/モンテビデオ、アメリカ/モンテリオール、アメリカ/モンセラート、アメリカ/ナッソー、アメリカ/ニューヨーク、アメリカ/ニビゴン、アメリカ/ノーム、アメリカ/ノローニヤ、アメリカ/ノースダコタ/ビューラ、アメリカ/ノースダコタ/センター、アメリカ/ノースダコタ/ニュー・セラム、アメリカ/オジナガ、アメリカ/パナマ、アメリカ/パングナータング、アメリカ/パラマリボ、アメリカ/フェニックス、アメリカ/ポルトーブランド、アメリカ/ポートオブスペイン、アメリカ/ポルト・アクレ、アメリカ/ポルト・ヴェーリョ、アメリカ/プエルトリコ、アメリカ/レイニエリバー、アメリカ/ランキン・インレット、アメリカ/レシフェ、アメリカ/レジーナ、アメリカ/レゾリュート、アメリカ/リオ・ブランコ、アメリカ/ロサリオ、アメリカ/サンタイザベル、アメリカ/サンタレム、アメリカ/サンチアゴ、アメリカ/サントドミンゴ、アメリカ/サンパウロ、アメリカ/スコールスビーサンド、アメリカ/シブロック、アメリカ/氏とか、アメリカ/サン・バルテルミー島、アメリカ/セント・ジョーンズ、アメリカ/セントクリストファー・ネイビス、アメリカ/セントルシア、アメリカ/セント・トーマス、アメリカ/サン・ヴィンセント、アメリカ/スウィフトカレント、アメリカ/テグシガルバ、アメリカ/スーリー、アメリカ/サンダーベイ、アメリカ/ティファナ、アメリカ/トロント、アメリカ/トルトラ、アメリカ/バンクバー、アメリカ/バージン、アメリカ/ホワイトハウス、アメリカ/ウィニベグ、アメリカ/ヤクタート、アメリカ/イエローナイフ、南極/クエーシー、南極/デービス、南極/デュモン・デュルヴィル、南極/マックオーリー、南極/モーンソン、南極/マクマルド、南極/パーマー、南極/ロゼラ、南極/南極点、南極/昭和、南極/トロール、南極/ポストーク、北極/ロングイェールビーン、アジア/アデン、アジア/アルマトイ、アジア/あんまん、アジア/アナティル、アジア/アクトウ、アジア/アクトベ、アジア/アシガバート、アジア/アシガバート、アジア/バグダッド、アジア/バーレーン、アジア/バクー、アジア/バンコク、アジア/バルナウル、アジア/バイルート、アジア/ビシュケク、アジア/ブルネイ、アジア/カルカッタ、アジア/チタ、アジア/チョイバルサン、アジア/重慶、アジア/重慶、アジア/コロンボ、アジア/ダッカ、アジア/ダマスカス、アジア/ダッカ、アジア/ディリ、アジア/ドバイ、アジア/ドゥシャンベ、アジア/ガザ、アジア/ハルビン、アジア/ヘブロン、アジア/ホーチミンシティ、アジア/香港、アジア/ホブド、アジア/イルクーツク、アジア/イスタンブール、アジア/ジャカルタ、アジア/ジャヤプラ、アジア/エルサレム、アジア/カブール、アジア/カムチャッカ、アジア/カラチ、アジア/カシユガル、アジア/カトマンズ、アジア/カトマンズ、アジア/ハンドウイガ、アジア/コルカタ、アジア/クラスノヤルスク、アジア/クアラルンプール、アジア/クチン、アジア/クウェート、アジア/マカオ、アジア/マカオ、アジア/マガン、アジア/マカッサル、アジア/マニラ、アジア/マスカット、アジア/モスコシア、アジア/ノヴォズネツク、アジア/ノヴォシビルスク、アジア/オムスク、アジア/オラル、アジア/ブノンペン、アジア/ボンティアナック、アジア/平壤、アジア/カタール、アジア/クズロルダ、アジア/ラングーン、アジア/リヤド、アジア/サイゴン、アジア/サハリン、アジア/サマルカンド、アジア/ソウル、アジア/上海、アジア/シンガポール、アジア/スレドネコリムスク、アジア/台北、アジア/タシケント、アジア/トビリシ、アジア/テヘラン、アジア/テルアビブ、アジア/ティンブー、アジア/ティンブー、アジア/東京、アジア/トムスク、アジア/ウジュンパンダ、アジア/ウランバートル、アジア/ウランバートル、アジア/ウルムチ、アジア/ウスチ=ネラ、アジア/ヴィエンチャン、アジア/ウラジオストク、アジア/ヤクーツク、アジア/エカテリンブルク、アジア/エレバン、大西洋/アゾレス諸島、大西洋/バミュダ諸島、大西洋/カナリア諸島、大西洋/カーボベルデ、大西洋/フェロー諸島、大西洋/フェロー諸島、大西洋/ヤンマイエン島、大西洋/マデイラ島、大西洋/レイキャビク、大西洋/南ジョージア、大西洋/セントヘレナ、大西洋/スタンレー、オーストラリア/ACT、オーストラリア/アデレード、オーストラリア/ブリスベン、オーストラリア/ブローケンヒル、オーストラリア/キャンベラ、オーストラリア/カリー、オーストラリア/ダーウィン、オーストラリア/ユークラ、オーストラリア/ホバート、オーストラリア/LHI、オーストラリア/リンデマン、オーストラリア/ロード・ハウ、オーストラリア/メルボルン、オーストラリア/NSW、オーストラリア/ノース、オーストラリア/パース、オーストラリア/クイーンズランド、オーストラリア/サウス、オーストラリア/シドニー、オーストラリア/タスマニア、オーストラリア/ヴィクトリア、オー

ストラリア/ウエスト、オーストラリア/ヤンコウイナ、ブラジル/アクレ、ブラジル/デ・ノローニヤ、ブラジル/イースト、CET、CST6CDT、カナダ/アトランティック、カナダ/セントラル、カナダ/イーストサスカチュワン、カナダ/イースタン、カナダ/マウンテン、カナダ/ニューファンドランド、カナダ/パシフィック、カナダ/サスカチュワン、カナダ/ユーコン、チリ/コンチネンタル、チリ/イースター島、キューバ、EET、EST、EST5EDT、エジプト、Eire、その他/GMT、その他/GMT+0、その他/GMT+1、その他/GMT+10、その他/GMT+11、その他/GMT+12、その他/GMT+2、その他/GMT+3、その他/GMT+4、その他/GMT+5、その他/GMT+6、その他/GMT+7、その他/GMT+8、その他/GMT+9、その他/GMT-0、その他/GMT-1、その他/GMT-10、その他/GMT-11、その他/GMT-12、その他/GMT-13、その他/GMT-14、その他/GMT-2、その他/GMT-3、その他/GMT-4、その他/GMT-5、その他/GMT-6、その他/GMT-7、その他/GMT-8、その他/GMT-9、その他/GMT0、その他/グリニッジ、その他/UCT、その他/UTC、その他/ユニバーサル、その他/ズールー、ヨーロッパ/アムステルダム、ヨーロッパ/アンドラ、ヨーロッパ/アストラハン、ヨーロッパ/アテナ、ヨーロッパ/ベルファスト、ヨーロッパ/ベルグラー、ヨーロッパ/ベルリン、ヨーロッパ/プラティスラヴァ、ヨーロッパ/ブリュッセル、ヨーロッパ/ブカレスト、ヨーロッパ/ブダペスト、ヨーロッパ/ビュージンゲン、ヨーロッパ/キシノウ、ヨーロッパ/コペンハーゲン、ヨーロッパ/ダブリン、ヨーロッパ/ジブラルタル、ヨーロッパ/ガンジー、ヨーロッパ/ヘルシンキ、ヨーロッパ/マン島、ヨーロッパ/イスタンブール、ヨーロッパ/ジャージー、ヨーロッパ/カリニングラード、ヨーロッパ/キエフ、ヨーロッパ/キロフ、ヨーロッパ/リスボン、ヨーロッパ/リュブリヤナ、ヨーロッパ/ロンドン、ヨーロッパ/ルクセンブルク、ヨーロッパ/マドリッド、ヨーロッパ/マルタ、ヨーロッパ/マリエハムン、ヨーロッパ/ミンスク、ヨーロッパ/モナコ、ヨーロッパ/モスクワ、ヨーロッパ/ニコシア、ヨーロッパ/おスロー、ヨーロッパ/パリ、ヨーロッパ/ポドゴリツァ、ヨーロッパ/プラハ、ヨーロッパ/リガ、ヨーロッパ/ローマ、ヨーロッパ/サマラ、ヨーロッパ/サンマリノ、ヨーロッパ/サラエボ、ヨーロッパ/シンフェロポリ、ヨーロッパ/スコピエ、ヨーロッパ/ソフィア、ヨーロッパ/ストックホルム、ヨーロッパ/タリン、ヨーロッパ/ティラーナ、ヨーロッパ/ティラスポリ、ヨーロッパ/ウリヤノフスク、ヨーロッパ/ウージュホロド、ヨーロッパ/ファドゥーツ、ヨーロッパ/パチカン、ヨーロッパ/ウーゲン、ヨーロッパ/ヴィリニウス、ヨーロッパ/ヴォルゴグラード、ヨーロッパ/ワルシャワ、ヨーロッパ/ザグレブ、ヨーロッパ/ザボリージャ、ヨーロッパ/チュリッヒ、英国、英国/GMT、GMT+0、GMT-0、GMT0、グリニッジ、HST、香港、アイスランド、インド洋/アンタナナリボ、インド洋/チャゴス、インド洋/クリスマス諸島、インド洋/ココス、インド洋/コモロ諸島、インド洋/ケルゲレン諸島、インド洋/マヘ島、インド洋/モルディブ、インド洋/モーリシャス諸島、インド洋/マヨット、インド洋/レユニオン、イラン、イスラエル、ジャマイカ、日本、ケゼリン、リビア、MET、MST、MST7MDT、メキシコ/バハノルテ、メキシコ/バハスル、メキシコ/一般、NZ、NZ-CHAT、ナバホ、PRC、PST8PDT、太平洋/アピア、太平洋/オークランド、太平洋/ブーゲンビル、太平洋/チャタム、太平洋/チューク諸島、太平洋/イースター島、太平洋/エファテ島、太平洋/エンダーベリー島、太平洋/ファカオフォ島、太平洋/フィジー、太平洋/フナフティ島、太平洋/ガラパゴス諸島、太平洋/ガンビア、太平洋/ガダルカナル、太平洋/グアム、太平洋/ホノルル、太平洋/ジョンストン、太平洋/クリスミアスイ、太平洋/コスラエ、太平洋/ケゼリン、太平洋/マジロ、太平洋/マルキーズ諸島、太平洋/ミッドウェー島、太平洋/ナウル、太平洋/ニウエ、太平洋/ノーフォーク、太平洋/ヌメア、太平洋/パゴパゴ、太平洋/パラオ、太平洋/ピトケアン、太平洋/ボンペイ、太平洋/ボナベ、太平洋/ポートモレスビー、太平洋/ラロトンガ、太平洋/サイパン、太平洋/サモア、太平洋/タヒチ、太平洋/タラワ、太平洋/トンガツ、太平洋/トラック、太平洋/ウェーキ、太平洋/ウォリス、太平洋/ヤップ、ポーランド、ポルトガル、ROC、ROK、シンガポール、トルコ、UCT、米国/アラスカ、米国/アリゾナ、米国/アリゾナ、米国/セントラル、米国/東インドアナ、米国/イースタン、米国/ハワイ、米国/インディアナスターク、米国/ミシガン、米国/マウンテン、米国/パシフィック、米国/パシフィックニュー、米国/サモア、UTC、ユニバーサル、W-SU、WET、ズールー

リストからタイムゾーンを選択します。

デフォルト値:
Etc/UTC

xConfiguration Time WorkDay Start

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek、Time WorkWeek LastDayOfWeek、Time WorkDay Start、および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkDay Start: "Start"

説明:

Start:

文字列 (5, 5)

24 時間表記を使用した就業開始時刻。

デフォルト値:

"07: 00"

xConfiguration Time WorkDay End

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek、Time WorkWeek LastDayOfWeek、Time WorkDay Start、および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkDay End: "End"

説明:

End:

文字列 (5, 5)

24 時間表記を使用した就業終了時刻。

デフォルト値:

"18: 00"

xConfiguration Time WorkWeek FirstDayOfWeek

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek、Time WorkWeek LastDayOfWeek、Time WorkDay Start、および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkWeek FirstDayOfWeek: FirstDayOfWeek

説明:

FirstDayOfWeek:

Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday

就業が開始される曜日。

デフォルト値:

Monday

xConfiguration Time WorkWeek LastDayOfWeek

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Time WorkWeek FirstDayOfWeek、Time WorkWeek LastDayOfWeek、Time WorkDay Start、および Time WorkDay End 設定を使用できます。これにより、通常の就業時間がいつであるか指定でき、それにより就業外時間も決まります。

Standby PowerSave 設定を使用してセットアップされる省電力モードを使用する場合、就業外時間が判明している必要があります。

使用方法:

xConfiguration Time WorkWeek LastDayOfWeek: LastDayOfWeek

説明:

LastDayOfWeek:

Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday/Saturday/Sunday

就業が終了する曜日。

デフォルト値:

Friday

UserInterface 設定

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画面表示を強調した着信コールの通知を利用できます。画面とタッチ 10 は約 1 秒ごと (1.75 Hz) に赤と白に点滅し、聴覚が不自由なユーザが着信コールに気づきやすくするようにしています。システムが通話中の場合、進行中の通話の妨げになるため画面は点滅しません、その代わりに、通常の通知が画面とタッチパネルに表示されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Accessibility IncomingCallNotification:
IncomingCallNotification

説明:

IncomingCallNotification:

AmplifiedVisuals/Default

AmplifiedVisuals: ビデオ システムが着信したときに画面とタッチパネル上での画面表示の強調を有効にします。

Default: スクリーンとタッチパネル上での通知を使用したデフォルトの動作を有効にします。

デフォルト値:

デフォルト

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザ インターフェイスに表示する連絡先情報の種類を選択します。

使用方法:

xConfiguration UserInterface ContactInfo Type: Type

説明:

タイプ:

Auto/DisplayName/E164Alias/H323Number/H323Id/IPv4/IPv6/None/SipUri/SystemName

Auto: 他のシステムがこのシステムに到達するためにダイヤルする必要があるアドレスを表示します。アドレスはデフォルトのコール プロトコルおよびシステム登録によって異なります。

None: どのようなコンタクト情報も表示しません。

IPv4: システムの IPv4 アドレスを示します。

IPv6: システムの IPv6 アドレスを示します。

H323Id: システムの H.323 ID を表示します (H323 H323Alias ID の設定を参照)。

H323Number: 連絡先情報としてシステムの H.323 番号を表示します (Cisco TelePresence ISDN リンクを使用している場合のみサポート)。

E164Alias: 連絡先情報としてシステムの H.323 E164 エイリアスを表示します (H323 H323Alias E164 の設定を参照)。

SipUri: システムの SIP URI を表示します (SIP URI の設定を参照する)。

SystemName: システム名を表示します (SystemUnit Name の設定を参照する)。

DisplayName: システムの表示名を表示します (SIP DisplayName の設定を参照する)。

デフォルト値:

Auto

xConfiguration UserInterface CustomMessage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

アウェイク モードのとき、スクリーンの下部左側にカスタム メッセージを表示することができます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface CustomMessage: "CustomMessage"

説明:

CustomMessage:

文字列 (0、128)

カスタム メッセージを追加します。カスタム メッセージを削除するには空の文字列を追加します。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ユーザ インターフェイスでテキストまたは数値を入力する際に、キーボード クリック音 (キー トーン) を再生するようにシステムを設定できます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface KeyTones Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: キー トーンは再生されません。

On: キー トーンがオンになります。

デフォルト値:

Off [DX70/DX80]

On [SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

xConfiguration UserInterface Language

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ユーザ インターフェイスで使用される言語を選択します。該当する言語がサポートされていない場合、デフォルトの言語 (英語) が使用されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Language: Language

説明:

Language:

Arabic/Catalan/ChineseSimplified/ChineseTraditional/Czech/Danish/Dutch/English/EnglishUK/Finnish/French/FrenchCanadian/German/Hebrew/Hungarian/Italian/Japanese/Korean/Norwegian/Polish/Portuguese/PortugueseBrazilian/Russian/Spanish/SpanishLatin/Swedish/Turkish

リストから言語を選択します。

デフォルト値:

英語

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

カスタム メッセージは、システムが起動中の状態のとき、メインスクリーンの中央に表示できます。カスタム メッセージは、ビデオ システムの使用開始方法の指示を与えるデフォルト メッセージに置き換えられません。カスタム メッセージを追加せずにデフォルト メッセージを削除することもできます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD HalfwakeMessage: "HalfwakeMessage"

説明:

HalfwakeMessage:

文字列 (0、128)

カスタム メッセージ。空の文字列: デフォルト メッセージを復元します。空白のみ: メッセージは一切表示されません。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserInterface OSD Output

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

オンスクリーン用の情報とインジケータ (OSD) を表示するモニタを定義します。ビデオ システムがリモート制御で制御されている場合、この画面にスクリーン メニューも表示されます。

使用方法:

xConfiguration UserInterface OSD Output: Output

説明:

出力:

1 [SX10 Room55]

Auto/1/2 [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room70/Room55D]

Auto/1/2/3 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

Auto [DX70/DX80]

Auto: 内蔵画面があるシステムの場合、画面に表示される情報とインジケータが内蔵画面に送信されます。システムに 2 つの内蔵画面がある場合は、左側のモニタが使用されます。

内蔵画面のないシステムの場合、システムは、ビデオ出力に接続されたモニタを検出し、最初に接続されたモニタに画面表示用の情報とインジケータを送信します。マルチモニタを設定して、システムをオンにする前にすべてのモニタを接続した場合、オンスクリーン用の情報とインジケータは番号が最も小さいビデオ出力に送信されます。ビデオ出力の番号は、出力コネクタ 1 (HDMI 1) から始まります。

1 ~ n: システムは画面に表示される情報とインジケータを、指定した出力に送信します。システムの出カコネクタ n にオンスクリーン用の情報とインジケータを送信するには、n を選択します。

内蔵画面があるシステムの場合、最も低い数値が内蔵画面を示します。

デフォルト値:

1 [SX10 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room55 Room70G2]

Auto [DX70/DX80 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room70/Room55D]

xConfiguration UserInterface Security Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

この設定では、重要なシステム情報 (例、ビデオ システムの連絡先情報や IP アドレス、タッチ コントローラ、および UCM/VCS レジストラ) がユーザ インターフェイス (ドロップダウン メニューと設定パネル) で公開されるのを防ぐことができます。設定パネルに移動するとこのような情報は非表示になっていないので注意してください。

管理者権限を持たない人に連絡先情報、IP アドレス、MAC アドレス、シリアル番号およびソフトウェアのバージョンを絶対に公開しない場合は、[ユーザ インターフェイス設定メニュー モード (UserInterface SettingsMenu Mode)] を [ロック (Locked)] に設定します。また、管理者権限を持つすべてのユーザ アカウントにパスワードを設定することも必要です。

使用方法:

xConfiguration UserInterface Security Mode: Mode

説明:

Mode:

Normal/Strong

Normal: IP アドレスやその他のシステムの情報がユーザ インターフェイスに表示されます。

Strong: 連絡先情報および IP アドレスは、ユーザ インターフェイス (ドロップダウン メニューと設定パネル) に表示されません。

デフォルト値:

標準

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ユーザ インターフェイス (Touch 10 またはオンスクリーン) の設定パネルは、そのビデオ システムの管理者パスワードで保護できます。このパスワードが空白の場合、誰でも設定メニューの設定にアクセスできます (例、システムを初期設定へリセット)。認証を有効にすると、認証を必要とするすべての設定に南京錠のアイコンが表示されます。設定を選択するときに、管理者のユーザ名とパスフレーズを入力するよう求められます。認証が必須でない設定には、南京錠のアイコンが表示されません。

使用方法:

xConfiguration UserInterface SettingsMenu Mode: Mode

説明:

Mode:

Locked/Unlocked

Locked: 管理者のユーザ名とパスフレーズによる認証が必要です。

Unlocked: 認証は必要ありません。

デフォルト値:

Unlocked

UserManagement 設定

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

どのユーザに管理者権限を付与する必要があるか決定するために LDAP フィルタが使用されます。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタをつねに設定する必要があります。LDAP 管理者フィルタは優先されるため、ユーザ管理 LDAP 管理者フィルタが設定されている場合、ユーザ管理 LDAP 管理者グループ設定は無視されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Filter: "Filter"

説明:

Filter:

文字列 (0、1024)

この文字列の構文については、LDAP の仕様を参照してください。例: "(|(memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)(sAMAccountName=username))"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

この AD (Active Directory) グループのメンバーには、管理者権限が付与されます。この設定は、memberOf: 1.2.840.113556.1.4.1941:=<group name> の短縮形です。

LDAP 管理者グループまたは LDAP 管理者フィルタをつねに設定する必要があります。LDAP 管理者フィルタが優先されるため、ユーザ管理 LDAP 管理者フィルタが設定されている場合であっても、ユーザ管理 LDAP 管理者グループ設定は無視されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Admin Group: "Group"

説明:

Group:

文字列 (0, 255)

AD グループの識別名。例:"CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Attribute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定のユーザ名にマップするために使用する属性。設定しない場合、sAMAccountName が使用されます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Attribute: "Attribute"

説明:

Attribute:

文字列 (0, 255)

属性名。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

検索を開始するエントリの識別名 (ベース)。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP BaseDN: "BaseDN"

説明:

BaseDN:

文字列 (0, 255)

ベースの識別名。例:"DC=company, DC=com"

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムと LDAP サーバとの間の通信を保護する方法を定義します。ポート番号は、UserManagement LDAP Server Port 設定を使用してポート番号をオーバーライドできます。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Encryption: Encryption

説明:

Encryption:

LDAPS/None/STARTTLS

LDAPS: TLS (Transport Layer Security) を使用してポート 636 上で LDAP サーバに接続します。

None: ポート 389 上の LDAP サーバに接続します (暗号化なし)。

STARTTLS: ポート 389 上の LDAP サーバに接続し、次に STARTTLS を送信して TLS 暗号化を有効にします。

デフォルト値:

LDAPS

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

許可する TLS (Transport Layer Security) プロトコルの最低バージョンを設定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP MinimumTLSVersion: *MinimumTLSVersion*

説明:

MinimumTLSVersion:

TLSv1.0/TLSv1.1/TLSv1.2

TLSv1.0: TLS バージョン 1.0 以上をサポートします。

TLSv1.1: TLS バージョン 1.1 以上をサポートします。

TLSv1.2: TLS バージョン 1.2 以上をサポートします。

デフォルト値:

TLSv1.2

xConfiguration UserManagement LDAP Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムは、ユーザ名とパスワードを保存および検証するための中心的な場所として LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバの使用をサポートしています。この設定を使用して、LDAP 認証を使用するかどうかを設定します。実装は、Microsoft Active Directory (AD) サービスでテスト済みです。

LDAP モードをオンにする場合、設定に合わせたユーザ管理 LDAP 設定の構成を確認してください。いくつかの例を示します。

例 1:

- ユーザ管理 LDAP モード: On
- ユーザ管理 LDAP アドレス:"192.0.2.20"
- ユーザ管理 LDAP ベース DN:"DC=company, DC=com"
- ユーザ管理 LDAP 管理グループ:"CN=admin group, OU=company group, DC=company, DC=com"

例 2:

- ユーザ管理 LDAP モード: On
- ユーザ管理 LDAP アドレス:"192.0.2.20"
- ユーザ管理 LDAP ベース DN:"DC=company, DC=com"
- ユーザ管理 LDAP 管理フィルタ:"(| (memberof=CN=admin group, OU=company groups, DC=company, DC=com)(sAMAccountName=username))"

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Mode: *Mode*

説明:

Mode:

Off/On

Off: LDAP 認証は使用不可です。

On: LDAP 認証は許可されます。

デフォルト値:

Off

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

LDAP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Server Address: "Address"

説明:

アドレス:

文字列 (0, 255)

有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名。

デフォルト値:

""

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

LDAP サーバに接続するポートをオンに設定します。0 に設定した場合は、選択したプロトコルのデフォルトを使用します (「UserManagement LDAP Encryption 設定」を参照する)。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP Server Port: Port

説明:

ポート:

整数 (0 ~ 65535)

LDAP サーバのポート番号。

デフォルト値:

0

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

ビデオ システムが LDAP サーバに接続すると、サーバは、その証明書を提示することで、ビデオ システムにサーバ自体の身元を示します。この設定を使用して、ビデオ システムでサーバ証明書を検証するかどうかを決定します。

使用方法:

xConfiguration UserManagement LDAP VerifyServerCertificate:

VerifyServerCertificate

説明:

VerifyServerCertificate:

Off/On

Off: ビデオ システムは LDAP サーバの証明書を検証しません。

On: ビデオ システムは、LDAP サーバの証明書が信頼できる認証局 (CA) によって署名されているか必ず検証します。システムにアップロードする信頼できる CA の一覧に、その CA を事前に追加する必要があります。ビデオ システムの Web インターフェイスを使用して、信頼できる CA の一覧を管理します (詳細については、管理者ガイドを参照する)。

デフォルト値:

On

Video 設定

xConfiguration Video DefaultMainSource

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

発信を開始する際にデフォルトのメイン ビデオ ソースとして使用されるビデオ入力ソースを定義します。

使用方法:

xConfiguration Video DefaultMainSource: DefaultMainSource

説明:

DefaultMainSource:

1/2/3/4/5/6 [CodecPro]

1/2/3/4 [SX80 MX700/MX800/MX800D Room70G2]

1/2 [SX20]

1 [DX70/DX80 SX10]

1/2/3 [MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

デフォルトのメイン ビデオ ソースとして使用されるソースを設定します。

デフォルト値:

1

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

カメラ ID は、ビデオ入力に接続されているカメラの一意的 ID です。

複数のカメラを備えたシステムでは、xStatus Camera API コマンドを使用して、さまざまなカメラの ID を表示できます。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl CameraId: CameraId

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit]

範囲: 1 ~ 5 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

CameraId:

コネクタ n: 1/2/3/4/5/6/7 [CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ n: 1 [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

コネクタ 1、2、3、4: 1/2/3/4/5/6/7 コネクタ 5: 1 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

複数のカメラを備えたシステムの場合は、カメラの ID を選択します。1 台のカメラを備えたシステムでは、値は固定されており、変更できません。

デフォルト値:

コネクタ n: n [CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ n: 1 [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

コネクタ n: n コネクタ 5: 1 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このビデオ入力コネクタに接続されているカメラを制御するかどうかを定義します。一部のコネクタでは制御できません (Off のみを選択できます)。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CameraControl Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

範囲: 1 ~ 2 [*DX70/DX80 SX20 RoomKit*]

範囲: 1 ~ 5 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 1 ~ 4 [*MX200G2/MX300G2*]

Mode:

コネクタ 1、2、3、4、5: Off/On コネクタ 6: On [*CodecPro Room70G2*]

コネクタ n: Off/On [*CodecPlus Room70/Room55D*]

コネクタ n: Off [*DX70/DX80*]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2、3、4: Off [*MX200G2/MX300G2*]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2、3: Off [*SX10 Room55*]

コネクタ 1: Off/On コネクタ 2: Off [*SX20 RoomKit*]

コネクタ 1、2、3、4: Off/On コネクタ 5: Off [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

Off: カメラ制御をディセーブルにします。

On: カメラ制御をイネーブルにします。

デフォルト値:

コネクタ n: On [*CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*]

コネクタ n: Off [*DX70/DX80*]

コネクタ 1: On コネクタ 2、3、4: Off [*MX200G2/MX300G2*]

コネクタ 1: On コネクタ 2、3: Off [*SX10 Room55*]

コネクタ 1: On コネクタ 2: Off [*SX20 RoomKit*]

コネクタ 1、2、3: On コネクタ 4、5: Off [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力 (HDMI) は、Consumer Electronics Control (CEC) をサポートします。この設定を有効にすると、接続デバイスの情報 (デバイスの種類やデバイス名) がビデオ システム ステータスで使用可能になります (ビデオ入力コネクタ [n] 接続デバイス CEC [n])。ただし、接続デバイスは CEC もサポートすることが条件となります。

カメラのスピーカーから音声がなくなるため、Cisco クワッド カメラがある場合はコネクタの CEC のスイッチを切らないでください。CEC は、コーデックからカメラに音声を送信するために使用されるチャンネルである HDMI ARC (オーディオ リターン チャンネル) に必要です。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] CEC Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room 55*]

範囲: 2 ~ 2 [*Room Kit*]

Mode:

コネクタ n: Off/On [*RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2*]

コネクタ 1: On その他のコネクタ: Off/On [*Room70/Room55D*]

Off: CEC が無効です。

On: CEC が有効になります。

デフォルト値:

On

xConfiguration Video Input Connector [n] DviType

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

公式 DVI 規格は、デジタル信号とアナログ信号の両方をサポートします。ほとんどの場合、デフォルトの AutoDetect 設定で信号がアナログ RGB かデジタルかを検出できます。ただし DVI-I ケーブルを使用した場合 (これらのケーブルはアナログとデジタル両方の信号を伝送できます)、まれに自動検出に失敗することがあります。この設定により、AutoDetect を上書きし、正しい DVI ビデオ入力を選択できます。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] DviType: DviType

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 4 ~ 4 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 2 [*SX20 MX200G2/MX300G2*]

DviType:

AutoDetect/Digital/AnalogRGB/AnalogYPbPr

AutoDetect: 信号がアナログ RGB かデジタルかを自動的に検出するには、AutoDetect に設定します。

Digital: アナログとデジタルの両方のピンを持つ DVI-I ケーブルを使用し、AutoDetect が失敗する場合、Digital に設定すると DVI ビデオ入力を強制的に Digital にします。

AnalogRGB: アナログとデジタルの両方のピンを持つ DVI-I ケーブルを使用し、AutoDetect が失敗する場合、AnalogRGB に設定すると DVI ビデオ入力を強制的に AnalogRGB にします。

AnalogYPbPr: コンポーネント (YPbPr) の信号を自動検出できないため、AnalogYPbPr に設定して DVI ビデオ入力を強制的にアナログ YPbPr にします。

デフォルト値:

AutoDetect

xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode

適用対象: *CodecPro Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) サポート: ビデオ システムの 2 番目の HDMI 入力 (Connector 3) を設定して HDCP 保護コンテンツをサポートできます。このため Google ChromeCast、AppleTV、または HDTV デコーダなどのデバイスを接続してビデオ システムの画面を再利用できます。コール中または外部の画面が接続されている場合、このタイプのコンテンツは共有できません。

HDCP をサポートするようにコネクタを設定すると、この種類のコンテンツのために予約されます。つまり、何が接続されているかに関係なく、コール中にこの特定のコネクタから任意のコンテンツを共有することはできません。

Room 55: Video Input Connector 3 (HDMI 2) には HDCP のサポートはありません。Video Input Connector 2 には HDCP のサポートはありません。

Codec Pro: このバージョンではサポートされていません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] HDCP Mode: Mode

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room 55*]

Mode:

コネクタ *n*: *Off* [*CodecPro*]

コネクタ 2: *Off*, コネクタ 3: *Off/On* [*Room55*]

Off: ビデオ入力コネクタ上の HDCP 保護コンテンツのサポートを無効にします。

On: ビデオ入力コネクタ上の HDCP 保護コンテンツのサポートを有効にします。

デフォルト値:

Off

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力に接続された入力ソースのタイプを選択します。

ビデオ システムが 1 台の内蔵カメラを備えている場合、コネクタ 1 は内蔵カメラを指します。ビデオ システムが 2 台の統合カメラ (デュアル カメラ) を備えている場合、コネクタ 1 とコネクタ 2 は内蔵カメラを指します。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] InputSourceType: InputSourceType

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit]

範囲: 1 ~ 5 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

InputSourceType:

コネクタ n: PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other [SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1: camera コネクタ 2: PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other [DX70/DX80 RoomKit]

コネクタ 1: camera その他のコネクタ: PC/camera/document_camera/mediaplayer/whiteboard/other [SX10 MX200G2/MX300G2 Room55]

PC: コンピュータがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

camera: カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

document_camera: ドキュメント カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

mediaplayer: メディア プレーヤーがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

whiteboard: ホワイトボード カメラがビデオ入力に接続されている場合に使用します。

other: 他のオプションが当てはまらない場合に使用します。

デフォルト値:

コネクタ 1, 2, 6: camera コネクタ 3, 4, 5: PC [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: camera その他のコネクタ: PC [SX10 MX200G2/MX300G2 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

コネクタ 1: camera コネクタ 2: PC [DX70/DX80 SX20 RoomKit]

コネクタ 1, 2: camera コネクタ 3, 4: PC コネクタ 5: other [SX80 MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力コネクタの名前を定義します。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Name: "Name"

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit]

範囲: 1 ~ 5 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Name:

文字列 (0, 50)

ビデオ入力コネクタの名前。

デフォルト値:

コネクタ 1: "Camera 1" コネクタ 2: "Camera 2" コネクタ 3: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 4: "PC 2 (HDMI)" コネクタ 5: "PC 3 (HDMI)" コネクタ 6: "Camera 3 (SDI)" [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC 1 (HDMI)" コネクタ 3: "PC 2 (HDMI)" [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2,3: "" [Room55]

コネクタ 1: "Camera" コネクタ 2: "PC" [RoomKit]

コネクタ n: "" [DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2]

コネクタ 1: "Camera 1" コネクタ 2: (シングル カメラ システムの場合)、"Camera 2" (デュアル カメラ システムの場合) コネクタ 3: "PC (HDMI)" コネクタ 4: "PC (VGA)" コネクタ 5: "" [MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ システムに HDMI 経由でシステムに接続したソース デバイス (例: ラップトップ) の推奨解像度として通知されている画面の解像度とリフレッシュ レートを定義します。ソース デバイス (例、ラップトップのディスプレイ構成ソフトウェア) によって手動でオーバーライドされない限り、ソース側の解像度の選択するためのロジックは、自動的にこの解像度とリフレッシュ レートを選択します。

2560_1440_60 と 3840_2160_30 のフォーマットは、1920_1080_60 フォーマットと比較すると約 2 倍の量のデータを使用し、HDMI 1.4b データレート以上に対応したプレゼンテーション ケーブル (またはアダプタ) を必要とします。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] PreferredResolution: PreferredResolution

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 5 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 2 ~ 3 [*Room 55*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 2 [*Room Kit*]

PreferredResolution:

コネクタ 1, 2: 1920_1080_60 コネクタ 3, 4, 5: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [*CodecPro Room70G2*]

コネクタ 1: 1920_1080_60 コネクタ 2, 3: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

コネクタ *n*: 1920_1080_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [*RoomKit Room55*]

1920_1080_60: 解像度は 1920 X 1080、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 X 1440、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 X 2160、リフレッシュ レートは 30 Hz です。

デフォルト値:

コネクタ 1, 2: 1920_1080_60 コネクタ 3, 4, 5: 3840_2160_3 [*CodecPro Room70G2*]

コネクタ *n*: 1920_1080_60 [*RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D*]

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ入力にプレゼンテーション ソースを接続するときの、ビデオ システムの動作を定義します。ビデオ システムがスタンバイ モードである場合、プレゼンテーション ソースを接続すると起動します。遠端とプレゼンテーションを共有するには、この設定が AutoShare に設定されていないければ、追加操作 (ユーザ インターフェイスで [共有 (Share)] を選択) が必要です。

複数のカメラを備えたシステムの場合: どの入力ソースでもプレゼンテーション ソースとして使用できません。通常、メイン カメラはプレゼンテーション ソースとして使用されません。

内蔵カメラを備えたシステムの場合: 内蔵カメラはプレゼンテーション ソースとして利用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] PresentationSelection: PresentationSelection

PresentationSelection

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [*CodecPro Room70G2*]

範囲: 1 ~ 3 [*CodecPlus Room70/Room55D*]

範囲: 2 ~ 2 [*DX70/DX80 Room Kit*]

範囲: 2 ~ 3 [*SX10 Room55*]

範囲: 1 ~ 2 [*SX20*]

範囲: 1 ~ 4 [*SX80 MX700/MX800/MX800D*]

範囲: 2 ~ 4 [*MX200G2/MX300G2*]

PresentationSelection:

コネクタ *n*: *AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect* [*DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*]

コネクタ 1: *Manual* コネクタ 2: *AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect* (シングル カメラ システムの場合)、*Manual* (デュアル カメラ システムの場合) コネクタ 3, 4: *AutoShare/Desktop/Manual/OnConnect* [*MX700/MX800/MX800D*]

AutoShare: 通話時に、ビデオ入力のコンテンツは、ケーブルを接続するかまたはソースが有効になると (たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど)、自動的に遠端とローカル画面に表示されます。ユーザ インターフェイス上で [共有 (Share)] を選択する必要はありません。コールの発信時または応答時にプレゼンテーション ソースがすでに接続されている場合は、ユーザ インターフェイス上で [共有 (Share)] を手動で選択する必要があります。

Desktop: ビデオ入力のコンテンツは、ケーブルを接続するかまたはソースが有効になると (たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど)、画面に表示されます。こ

れは、アイドル状態のときと通話中のときの両方に適用されます。また、ビデオ入力の内容は、通話の終了時にアクティブ入力であれば、画面に表示されたままとなります。

Manual: ユーザ インターフェイスで [共有 (Share)] を選択するまでビデオ入力の内容は画面に表示されません。

OnConnect: ビデオ入力の内容は、ケーブルを接続するかまたはソースが起動すると (たとえば接続されているコンピュータがスリープ モードから復帰するなど)、画面に表示されます。それ以外の場合は、Manual モードと同じ動作です。

デフォルト値:

コネクタ 1、2、6: Manual コネクタ 3、4、5: OnConnect [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: Manual その他のコネクタ: OnConnect [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ n: Desktop [DX70/DX80]

コネクタ n: OnConnect [SX10 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

コネクタ 1、2: Manual コネクタ 3、4: OnConnect [SX80 MX700/MX800/MX800D]

コネクタ 1: Manual コネクタ 2: OnConnect [SX20]

xConfiguration Video Input Connector [n] Quality

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオのエンコーディングと送信のときには、高解像度と高フレーム レートとの間にトレード オフが存在します。一部のビデオ ソースでは、高フレーム レートが高解像度より重要である場合や、逆の場合もあります。この設定で、高フレーム レートと高解像度のどちらを優先するかを指定します。

ビデオ システムにより、クアッド カメラ、SpeakerTrack 60 カメラ、または Precision 60 が検出されると、この設定は自動的に Motion に設定されます。ユーザが手動でこの設定を変更した場合、再起動後またはカメラの再接続後に、Motion に戻ります。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Quality: Quality

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [CodecPlus Room70/Room55D]

範囲: 2 ~ 2 [DX70/DX80 Room Kit]

範囲: 2 ~ 3 [SX10 Room55]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 1 ~ 5 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

範囲: 2 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Quality:

コネクタ n: Motion/Sharpness

Motion: できるだけ高いフレーム レートにします。通常、多数の参加者がいる場合や画像の動きが激しい場合など、高フレーム レートが必要なときに使用されます。

Sharpness: できるだけ高い解像度にします。詳細なイメージやグラフィックに高い品質が必要な場合に使用されます。

デフォルト値:

コネクタ 1、2、6: Motion コネクタ 3、4、5: Sharpness [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: Motion コネクタ 2、3: Sharpness [CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ n: Sharpness [DX70/DX80 SX10 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

コネクタ 1: Motion コネクタ 2: Sharpness [SX20]

コネクタ 1、2、5: Motion コネクタ 3、4: Sharpness [SX80 MX700/MX800/MX800D]

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ユーザ インターフェイスのメニューにあるビデオ入力コネクタの表示を定義します。
内蔵カメラを備えたシステムの場合: コネクタ 1 はシステムの内蔵カメラであり、プレゼンテーション ソースとしては利用できません。

使用方法:

xConfiguration Video Input Connector [n] Visibility: [Visibility](#)

説明:

n: ビデオ入力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 6 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 3 [SX10 CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 2 [DX70/DX80 SX20 RoomKit]

範囲: 1 ~ 5 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 4 [MX200G2/MX300G2]

Visibility:

コネクタ *n*: Always/IfSignal/Never [SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always/IfSignal/Never [DX70/DX80 RoomKit]

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: Always/IfSignal/Never [SX10 MX200G2/MX300G2]

Always: ビデオ入力コネクタ用メニュー選択は、ユーザ インターフェイスに常に表示されます。

IfSignal: ビデオ入力コネクタ用メニュー選択は、ビデオ入力に何か接続されている場合のみ表示されます。

Never: 入力の送信元はプレゼンテーション ソースとして使用されないため、ユーザ インターフェイスに表示されません。

デフォルト値:

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: IfSignal [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: Never その他のコネクタ: Always [CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always [RoomKit]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: IfSignal [DX70/DX80]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always コネクタ 3: IfSignal [SX10]

コネクタ 1: Never コネクタ 2: Always コネクタ 3, 4: IfSignal [MX200G2/MX300G2]

コネクタ 1, 2, 3: IfSignal コネクタ 4: Always コネクタ 5: Never [SX80 MX700/MX800/MX800D]

コネクタ 1: IfSignal コネクタ 2: Always [SX20]

xConfiguration Video Monitors

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

各画面/出力にはモニタ ロールが割り当てられます。1 画面のみをサポートする DX70、DX80、および SX10のモニタ ロールは First です。MX200 G2 および MX300 G2 の内蔵画面のモニタ ロールは First です。オプションの外部画面のモニタ ロールは Second です。その他の製品のモニタ ロールは、Video Output Connector [n] MonitorRole 設定を使用して設定されます。

モニタ ロールによって、画面上に表示されるレイアウト (コールの参加者とプレゼンテーション) が決定されます。モニタ ロールが異なる画面のレイアウトは異なります。モニター ロールが同じ画面は同じレイアウトになります (SX20 を除く)。SX20 は 2 つの画面で同じレイアウトをサポートしていません。

Video Monitors で設定するモニタ レイアウト モードには、部屋のセットアップで利用する各レイアウト数を反映させてください。いくつかの画面がプレゼンテーション用に確保できることに注意してください。

使用方法:

xConfiguration Video Monitors: [Monitors](#)

説明:

Monitors:

Auto/Single/Dual/DualPresentationOnly [SX20 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

Auto/Single/Dual/DualPresentationOnly/TriplePresentationOnly/Triple [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

Auto/DualPresentationOnly [MX200G2/MX300G2]

Single [DX70/DX80 SX10]

Auto: ビデオ システムに接続された画面数は自動的に検出され、レイアウトはモニタ ロールの設定に従って画面に割り振られます。

Single: レイアウトは、ビデオ システムの画面に表示されます。ビデオ システムが複数の画面を備えている場合、すべての画面に同じレイアウトが表示されます (SX20 を除く)。2 つの画面を備えた SX20 の場合、1 つの画面が無効になります。

Dual: レイアウトはモニタ ロールが First および Second である画面に配信されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、コールの参加者はすべてモニタ ロールが First である画面に表示され、プレゼンテーションはモニタ ロールが Second である画面に表示されます。

DualPresentationOnly: コールのすべての参加者がモニタ ロールが First である画面に表示されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションはモニタ ロールが Second である画面に表示されます。

Triple: レイアウトはモニタ ロールが First、Second、Third である画面に配信されます。Second のモニタ ロールがある画面がまず使用され、次に First、最後に Third が使用されます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、コールの参加者はすべてモニタ ロールが First および Second である画面に表示され、プレゼンテーションはモニタ ロールが Third の画面に表示されます。

TriplePresentationOnly: コールのすべての参加者がモニタ ロール First および Second の画面に配信されます。Second のモニタ ロールがある画面がまず使用され、次に First の画面が使用され

ます。プレゼンテーションがレイアウトの一部である場合、プレゼンテーションはモニター ロールが Third の画面に表示されます。

デフォルト値:

Auto [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

Single [DX70/DX80 SX10]

xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ出力 (HDMI) は、Consumer Electronics Control (CEC) をサポートします。

この設定が On の場合、システムはシステム自体がスタンバイに移行する際、画面をスタンバイ状態に設定するために CEC を使用します。同様に、システムがスタンバイから復帰するとき、システム自身が画面を起動します。

画面のアクティブなビデオ入力ユーザによって変更されることがあります。発信が開始されると、ビデオシステムはアクティブなビデオ入力画面の別の入力に切り替えられたかどうかを検出します。すると、ビデオシステムは入力を切り戻すため、ビデオシステムがアクティブなビデオ入力ソースになります (SX20、SX80、および MX シリーズではサポートされません)。

ビデオシステムがスタンバイ状態に入るときにビデオシステムがアクティブな入力ソースでない場合、画面はスタンバイに設定されません (SX20、SX80、および MX シリーズではサポートされません)。

出力に接続した画面に CEC 互換性があること、および CEC が画面上で有効であることが必須条件です。

CEC については、製造業者によって異なるマーケティング名称が使用されていることに注意してください。例: Anynet+ (Samsung)、Aquos Link (シャープ)、BRAVIA Sync (Sony)、HDMI-CEC (日立)、Kuro Link (パイオニア)、CE-Link および Regza Link (東芝)、RIHD (オンキヨー)、HDAVI Control、EZ-Sync、VIERA Link (Panasonic)、EasyLink (Philips)、NetCommand for HDMI (三菱)。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode: Mode

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [CodecPro Room70G2]

範囲: 1 ~ 1 [SX10]

範囲: 2 ~ 2 [MX200G2/MX300G2 Room55]

範囲: 2 ~ 2 MX800 Single の場合 [MX700/MX800/MX800D]

範囲: 1 ~ 2 [SX20 SX80 RoomKit CodecPlus]

Mode:

Off/On

Off: CEC が無効です。

On: CEC が有効になります。

デフォルト値:

On [SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55]

Off [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D Room70G2]

xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole

適用対象: SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

モニタ ロールは、ビデオ出力に接続された画面にどのビデオ ストリームを表示するかを示します。すべての出力用の Video Monitors 設定および MonitorRole 設定とともに、各画面に表示されるレイアウト (ビデオ ストリーム) を定義します。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] MonitorRole: MonitorRole

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 3 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

範囲: 2 ~ 2 [Room 55]

範囲: 1 ~ 2 [SX20 RoomKit CodecPlus Room70/Room55D]

MonitorRole:

Auto/First/Second/PresentationOnly [SX20 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

Auto/First/Second/Third/PresentationOnly/Recorder [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

Auto: 画面が接続されたときにシステムが検知し、Video Monitors 設定に対応するモニタ ロール (First、Second、Third) を自動的に割り当てます。

First/Second/Third: マルチ画面設定での画面の役割を定義します。シングル画面設定では、First、Second、Third の間に相違はありません。

PresentationOnly: アクティブな場合プレゼンテーション ビデオ ストリームを表示し、他のものは表示しません。このモニタ ロールの画面および出力は Video Monitors 設定によって無視されます。

Recorder: ローカル メイン ビデオ (セルフビュー) を含むすべての参加者を表示します。アクティブであれば、プレゼンテーションも表示されます。このモニタ ロールの画面および出力は Video Monitors 設定によって無視されます。

デフォルト値:

コネクタ *n*: Auto [SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70G2]

デュアル: コネクタ 1、2: Auto; シングル: コネクタ 1: Auto コネクタ 2: PresentationOnly [Room70/Room55D]

コネクタ 1: First コネクタ 2: Second [SX20]

xConfiguration Video Output Connector [n] OverscanLevel

適用対象: SX10 SX20 MX200G2/MX300G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタによっては、画像全体を表示できない可能性があります。これはモニタに表示したときに、ビデオシステムから送信される画像の外側が、切断されることを意味します。

ビデオ システムに使用可能なフレームの外部を使用しないように指示するには、この設定を使用します。この部分はモニタによって切断されている可能性があります。この場合、画面上のビデオとメッセージの両方が拡大縮小されます。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] OverscanLevel: OverscanLevel

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [SX10]

範囲: 1 ~ 2 [SX20]

範囲: 2 ~ 2 [MX200G2/MX300G2]

OverscanLevel:

なし (None) / 中 (Medium) / 高 (High)

None: ビデオ システムは出力解像度すべてを使用します。

Medium: ビデオ システムは出力解像度の外側 3 % を使用しません。

High: ビデオ システムは出力解像度の外側 6 % を使用しません。

デフォルト値:

なし

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続している画面の解像度とリフレッシュ レートを定義します。

1920_1200_60 より大きなフォーマットには、高品質なディスプレイ ケーブルを使用する必要があります。動作が保証されている範囲については、3840_2160_60 でシスコが事前に選定したディスプレイ ケーブルを使用するか、または「プレミアム HDMI 認証」プログラムに合格したケーブルを使用します。

UHD テレビおよび画面には、3840_2160_30 (30 Hz) のみしか使用できないものもありますが、3840_2160_60 (60 Hz) はデフォルト設定ではありません。このような場合、テレビと画面の関連設定で、ビデオ システムが接続されている HDMI 入力として 3840_2160_60 を許可するように再設定する必要があります。

使用方法:

xConfiguration Video Output Connector [n] Resolution: Resolution

説明:

n: ビデオ出力コネクタを識別する固有 ID。

範囲: 1 ~ 1 [DX70/DX80 SX10]

範囲: 1 ~ 2 [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

範囲: 1 ~ 3 [SX80 CodecPro Room70G2]

範囲: 2 ~ 3 MX800 Single の場合 [MX700/MX800/MX800D]

Resolution:

コネクタ 1, 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 コネクタ 3: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30 [CodecPro Room70G2]

コネクタ 1: 1920_1080_60 [DX70/DX80]

コネクタ 1: 3840_2160_60 コネクタ 2: Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [Room55]

Auto/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60/2560_1440_60/3840_2160_30/3840_2160_60 [RoomKit CodecPlus Room70/Room55D]

コネクタ n: Auto [SX10]

コネクタ n: Auto/1280/72001 50/12801080(60/1920) 1080(50/1920) (SX20)

コネクタ n: Auto/1280_720_50/1280_720_60/1920_1080_50/1920_1080_60/1920_1200_50/1920_1200_60 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

コネクタ 1: 1920_1080_60 コネクタ 2: Auto/1024_768_60/1280_1024_60/1280_720_50/1280_720_60/1920_1080_50/1920_1080_60/1280_768_60/1360_768_60/1366_768_60 [MX200G2/MX300G2]

Auto: システムは接続されたモニタのネゴシエーションに基づいて自動的に最適な解像度の設定を試行します。

1280_720_50: 解像度は 1280 X 720、リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1280_720_60: 解像度は 1280 X 720、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

1920_1080_50: 解像度は 1920 X 1080、リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1920_1080_60: 解像度は 1920 X 1080、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

1920_1200_50: 解像度は 1920 X 1200、リフレッシュ レートは 50 Hz です。

1920_1200_60: 解像度は 1920 X 1200、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

2560_1440_60: 解像度は 2560 X 1440、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

3840_2160_30: 解像度は 3840 X 2160、リフレッシュ レートは 30 Hz です。

3840_2160_60: 解像度は 3840 x 2160、リフレッシュ レートは 60 Hz です。

デフォルト値:

コネクタ 1: 1920_1080_60 [DX70/DX80]

コネクタ 1: 3840_2160_60 コネクタ 2: Auto [Room55]

コネクタ n: Auto [SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

コネクタ 1: 1920_1080_60 コネクタ 2: Auto [MX200G2/MX300G2]

xConfiguration Video Presentation DefaultSource

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソースを定義します。この設定は、API およびサードパーティのユーザ インターフェイスで使用できます。シスコが提供するユーザ インターフェイスを使用する場合は無関係です。

使用方法:

xConfiguration Video Presentation DefaultSource: DefaultSource

説明:

DefaultSource:

1/2/3/4/5 [CodecPro Room70G2]

1/2/3/4 [SX80 MX700/MX800/MX800D]

1/2/3 [CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

1/2 [SX20 RoomKit]

2 [DX70/DX80 SX10 MX200G2/MX300G2]

デフォルトのプレゼンテーション ソースとして使用するビデオ入力ソース。

デフォルト値:

3 [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

2 [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コール終了後に、メイン ビデオ ソース (セルフビュー) を全画面表示するか、小さいピクチャインピクチャ (PiP) として表示するかを定義します。この設定はセルフビューがオンになっている場合にのみ有効です (Video Selfview Default Mode の設定を参照)。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default FullscreenMode: FullscreenMode

説明:

FullscreenMode:

Off/Current/On

Off: セルフビューは PiP として表示されます。

Current: セルフビューの画像のサイズはコール終了時に未変更の状態に保たれます。つまりコール中に PiP であった場合はコール終了後も PiP のままであり、コール中に全画面であった場合はコール終了後も全画面のままです。

On: セルフビューの画像は全画面表示されます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コール終了後にメイン ビデオ ソース (セルフビュー) を画面に表示するかどうかを定義します。セルフビュー ウィンドウの位置とサイズはそれぞれ、Video Selfview Default PIPPosition と Video Selfview Default FullscreenMode の設定によって決まります。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Current/On

Off: セルフビューはコール退出時にオフにされます。

Current: セルフビューはそのままの状態が残ります。つまりコール中にオンであった場合はコール終了後もオンのままであり、コール中にオフであった場合はコール終了後もオフのままです。

On: セルフビューはコール退出時にオンにされます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コールの後にメイン ビデオ ソース (セルフビュー) を表示する画面/出力を設定します。この値は、さまざまな出力のモニタ ロールを反映します。

各画面にはモニタ ロールが割り当てられます。DX70 と DX80 のモニタ ロールは First です (外部画面をサポートしません)。MX200 G2 および MX300 G2 の内蔵画面のモニタ ロールは First です。オプションの外部画面のモニタ ロールは Second です。その他の製品のモニタ ロールは、Video Output Connector [n] MonitorRole 設定を使用して設定されます。

OnMonitorRole 設定は、セルフ ビューが全画面で表示されたとき、およびセルフビューがピクチャインピクチャ (PiP) で表示されたときの両方に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default OnMonitorRole: OnMonitorRole

説明:

OnMonitorRole:

Current/First/Second [SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus Room55 Room70/Room55D]

Current/First/Second/Third [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2]

First [DX70/DX80]

Current: コールを中止すると、セルフビュー画像がコール中と同じ出力上に維持されます。

First: モニタ ロールが First である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

Second: モニタ ロールが Second である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

Third: モニタ ロールが Third である出力で、セルフビュー画像が表示されます。

デフォルト値:

Current [SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2]

First [DX70/DX80]

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コール終了後に小さいセルフビュー ピクチャインピクチャ (PiP) を表示する画面上の位置を定義します。この設定は、セルフビューがオンになっており (Video Selfview Default Mode 設定を参照)、全画面表示がオフになっている場合 (Video Selfview Default FullscreenMode 設定を参照) にのみ有効です。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Default PIPPosition: PIPPosition

説明:

PIPPosition:

Current/UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

Current: セルフビュー PiP の位置はコール終了後にも変更されません。

UpperLeft: セルフビュー PiP が画面の左上隅に表示されます。

UpperCenter: セルフビュー PiP が画面の上部中央に表示されます。

UpperRight: セルフビュー PiP が画面の右上隅に表示されます。

CenterLeft: セルフビュー PiP が画面の左中央に表示されます。

CenterRight: セルフビュー PiP が画面の右中央に表示されます。

LowerLeft: セルフビュー PiP が画面の左下隅に表示されます。

LowerRight: セルフビュー PiP が画面の右下隅に表示されます。

デフォルト値:

Current

xConfiguration Video Selfview Mirrored

適用対象: DX70/DX80

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

ビデオ システムを設定して、実際に相手に見えるように、または自分自身を鏡で見るように、セルフビューを表示することができます。

この設定は相手に送信されるビデオには影響しません。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview Mirrored: Mirrored

説明:

Mirrored:

Off/On

Off: 他人から見えている自分のようにセルフビューを表示します。

On: 鏡に映っている自分のようにセルフビューを表示します。

デフォルト値:

On

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

コールをセットアップする短い間、この設定を使用してセルフ ビューがオンにされます。セルフビューをオンのままにしておく時間の長さは、Video Selfview OnCall Duration 設定で定義します。これは一般にセルフ ビューがオフの場合に適用されます。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview OnCall Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/On

Off: セルフ ビューはコール セットアップ中に自動的に表示されません。

On: セルフ ビューはコール セットアップ中に自動的に表示されます。

デフォルト値:

On

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

この設定は Video Selfview OnCall Mode 設定がオンになっている場合にのみ有効です。この場合、ここで設定された秒数により、自動的にオフにされる前にセルフ ビューが表示される期間が決まります。

使用方法:

xConfiguration Video Selfview OnCall Duration: Duration

説明:

期間:

整数 (1 ~ 60)

範囲: セルフ ビューをオンにする期間を選択します。有効な範囲は、1 ~ 60 秒です。

デフォルト値:

10

第 4 章

xCommand コマンド

xCommand コマンドの説明

この章では、すべての xCommand タイプ コマンドとパラメータの完全なリストを示します。

マニュアルの更新バージョンがないか、定期的に Web サイトにアクセスすることを推奨します。

移動先: <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

Audio コマンド	171	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play	184
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay	171	xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop.....	184
xCommand Audio LocalInput Add.....	172	xCommand Audio Volume Decrease	185
xCommand Audio LocalInput AddConnector.....	173	xCommand Audio Volume Increase	185
xCommand Audio LocalInput Remove	173	xCommand Audio Volume Mute.....	185
xCommand Audio LocalInput RemoveConnector	174	xCommand Audio Volume Set	186
xCommand Audio LocalInput Update	174	xCommand Audio Volume SetToDefault	186
xCommand Audio LocalOutput Add.....	175	xCommand Audio Volume ToggleMute.....	186
xCommand Audio LocalOutput AddConnector	176	xCommand Audio Volume Unmute	186
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput	177	xCommand Audio VuMeter Start	187
xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput	178	xCommand Audio VuMeter Stop.....	188
xCommand Audio LocalOutput Remove	178	xCommand Audio VuMeter StopAll.....	188
xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector	179		
xCommand Audio LocalOutput Update	179	Bookings コマンド	189
xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain	180	xCommand Bookings Clear.....	189
xCommand Audio Microphones Mute.....	181	xCommand Bookings Get	189
xCommand Audio Microphones ToggleMute.....	181	xCommand Bookings List	189
xCommand Audio Microphones Unmute	181	xCommand Bookings NotificationSnooze.....	190
xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput	181		
xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput	182	Call コマンド	190
xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain	182	xCommand Call Accept.....	190
xCommand Audio Select	183	xCommand Call Disconnect.....	190
xCommand Audio Setup Clear.....	183	xCommand Call DTMFSend	191
xCommand Audio Sound Play.....	183	xCommand Call FarEndControl Camera Move	191
xCommand Audio Sound Stop.....	183	xCommand Call FarEndControl Camera Stop.....	191
xCommand Audio SpeakerCheck.....	184	xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate.....	192
xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List	184	xCommand Call FarEndControl Source Select.....	192
		xCommand Call FarEndMessage Send.....	193

xCommand Call FarEndMessage SStringSend.....	193	xCommand Cameras PresenterTrack Set.....	204
xCommand Call FarEndMessage TStringSend.....	193	xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition.....	205
xCommand Call Forward.....	194	xCommand Cameras SpeakerTrack Activate.....	205
xCommand Call Hold.....	194	xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate.....	205
xCommand Call Ignore.....	194	xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start.....	205
xCommand Call Join.....	194	xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop.....	206
xCommand Call Reject.....	195	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition.....	206
xCommand Call Resume.....	195	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition.....	206
xCommand Call UnattendedTransfer.....	195	xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance.....	207
		xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition.....	207
CallHistory コマンド	196	Conference コマンド	208
xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls.....	196	xCommand Conference DoNotDisturb Activate.....	208
xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall.....	196	xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate.....	208
xCommand CallHistory DeleteAll.....	196	xCommand Conference SpeakerLock Release.....	208
xCommand CallHistory DeleteEntry.....	196	xCommand Conference SpeakerLock Set.....	208
xCommand CallHistory Get.....	197		
xCommand CallHistory Recents.....	197	Diagnostics コマンド	209
		xCommand Diagnostics Run.....	209
Camera コマンド	198	Dial コマンド	209
xCommand Camera PositionReset.....	198	xCommand Dial.....	209
xCommand Camera PositionSet.....	199		
xCommand Camera Preset Activate.....	199	GPIO コマンド	210
xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition.....	199	xCommand GPIO ManualState Set.....	210
xCommand Camera Preset Edit.....	200		
xCommand Camera Preset List.....	200	HttpFeedback コマンド	211
xCommand Camera Preset Remove.....	201	xCommand HttpFeedback Deregister.....	211
xCommand Camera Preset Show.....	201	xCommand HttpFeedback を有効にする.....	211
xCommand Camera Preset Store.....	201	xCommand HttpFeedback Register.....	211
xCommand Camera Ramp.....	202		
xCommand Camera TriggerAutofocus.....	203	Macros コマンド	212
		xCommand Macros Log Clear.....	212
Cameras コマンド	203	xCommand Macros Log Get.....	212
xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start.....	203	xCommand Macros Macro Activate.....	212
xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop.....	203		
xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition.....	204		

xCommand Macros Macro Deactivate.....	212	Presentation コマンド	223
xCommand Macros Macro Get.....	213	xCommand Presentation Start.....	223
xCommand Macros Macro Remove.....	213	xCommand Presentation Stop.....	224
xCommand Macros Macro RemoveAll.....	213	Provisioning コマンド	224
xCommand Macros Macro Rename.....	213	xCommand Provisioning CompleteUpgrade.....	224
xCommand Macros Macro Roles Set.....	214	xCommand Provisioning PostponeUpgrade.....	224
xCommand Macros Macro Save.....	214	xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login.....	225
xCommand Macros Runtime Restart.....	214	xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout.....	225
xCommand Macros Runtime Start.....	215	xCommand Provisioning RoomType Activate.....	225
xCommand Macros Runtime Status.....	215	xCommand Provisioning Service Fetch.....	226
xCommand Macros Runtime Stop.....	215	Proximity コマンド	227
Message コマンド	215	xCommand Proximity Services Activate.....	227
xCommand Message Send.....	215	xCommand Proximity Services Deactivate.....	227
Peripherals コマンド	216	RoomPreset コマンド	227
xCommand Peripherals Connect.....	216	xCommand RoomPreset Activate.....	227
xCommand Peripherals HeartBeat.....	216	xCommand RoomPreset Clear.....	227
xCommand Peripherals List.....	217	xCommand RoomPreset Store.....	228
xCommand Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start.....	217	Security コマンド	228
xCommand Peripherals Pairing Pair.....	217	xCommand Security Certificates CA Add.....	228
xCommand Peripherals Pairing Unpair.....	218	xCommand Security Certificates CA Delete.....	228
xCommand Peripherals Purge.....	218	xCommand Security Certificates CA Show.....	229
Phonebook コマンド	218	xCommand Security Certificates Services Activate.....	229
xCommand Phonebook Contact Add.....	218	xCommand Security Certificates Services Add.....	229
xCommand Phonebook Contact Delete.....	219	xCommand Security Certificates Services Deactivate.....	229
xCommand Phonebook Contact Modify.....	219	xCommand Security Certificates Services Delete.....	230
xCommand Phonebook ContactMethod Add.....	220	xCommand Security Certificates Services Show.....	230
xCommand Phonebook ContactMethod Delete.....	220	xCommand xCommand Security FIPSMODE Activate.....	230
xCommand Phonebook ContactMethod Modify.....	221	xCommand Security Persistency.....	231
xCommand Phonebook Folder Add.....	221	xCommand Security Session List.....	231
xCommand Phonebook Folder Delete.....	221	xCommand Security Session Terminate.....	231
xCommand Phonebook Folder Modify.....	222		
xCommand Phonebook Search.....	222		

Standby コマンド	232	xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked.....	239
xCommand Standby Activate.....	232	xCommand UserInterface Extensions Panel Remove	239
xCommand Standby Deactivate.....	232	xCommand UserInterface Extensions Panel Save.....	239
xCommand Standby Halfwake	232	xCommand UserInterface Extensions Set	239
xCommand Standby ResetHalfwakeTimer.....	232	xCommand UserInterface Extensions Widget Action.....	240
xCommand Standby ResetTimer.....	232	xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue.....	240
		xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue.....	240
SystemUnit コマンド	233	xCommand UserInterface Message Alert Clear	241
xCommand SystemUnit Boot.....	233	xCommand UserInterface Message Alert Display	241
xCommand SystemUnit FactoryReset	233	xCommand UserInterface Message Prompt Clear	242
xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop	234	xCommand UserInterface Message Prompt Display	242
xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll	234	xCommand UserInterface Message Prompt Response	243
xCommand SystemUnit OptionKey Add	234	xCommand UserInterface Message TextInput Clear	243
xCommand SystemUnit OptionKey List	234	xCommand UserInterface Message TextInput Display	244
xCommand SystemUnit OptionKey Remove.....	235	xCommand UserInterface Message TextInput Clear	244
xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll.....	235	xCommand UserInterface Message TextLine Clear	244
xCommand SystemUnit ProductPlatform Set.....	235	xCommand UserInterface Message TextLine Display	245
xCommand SystemUnit SignInBanner Clear	235	xCommand UserInterface OSD Key Click.....	245
xCommand SystemUnit SignInBanner Get	235	xCommand UserInterface OSD Key Press.....	245
xCommand SystemUnit SignInBanner Set.....	236	xCommand UserInterface OSD Key Release	246
xCommand SystemUnit SoftReset.....	236	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add.....	246
xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade.....	236	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List.....	247
		xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove.....	247
		xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll.....	247
Time コマンド	237	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select.....	247
xCommand Time DateTime Get	237	xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set	248
xCommand Time DateTime Set	237		
UserInterface コマンド	237	UserManagement コマンド	248
xCommand UserInterface Branding Clear	237	xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create	248
xCommand UserInterface Branding Delete	237	xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete.....	248
xCommand UserInterface Branding Get.....	238	xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently.....	249
xCommand UserInterface Branding Updated.....	238	xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState.....	249
xCommand UserInterface Branding Upload	238	xCommand UserManagement User Add.....	249
xCommand UserInterface Extensions Clear	238	xCommand UserManagement User Delete	250
xCommand UserInterface Extensions List.....	238	xCommand UserManagement User Get.....	250
		xCommand UserManagement User List.....	250

xCommand UserManagement User Modify.....	251	xCommand Video Matrix Unassign.....	257
xCommand UserManagement User Passphrase Change.....	251	xCommand Video Output Monitor Backlight Set.....	257
xCommand UserManagement User Passphrase Set.....	252	xCommand Video Output Monitor Brightness Set.....	257
Video コマンド	252	xCommand Video Output Monitor Color Blue Set.....	258
xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set.....	252	xCommand Video Output Monitor Color Green Set.....	258
xCommand Video CEC Input KeyClick.....	253	xCommand Video Output Monitor Color Red Set.....	258
xCommand Video CEC Output KeyClick.....	253	xCommand Video Output Monitor Color Select.....	258
xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest.....	254	xCommand Video Output Monitor Contrast Set.....	259
xCommand Video Input SetMainVideoSource.....	254	xCommand Video Output Monitor CSC Select.....	259
xCommand Video Input Source SetActiveConnector.....	255	xCommand Video Output Monitor Gamma Set.....	259
xCommand Video Layout LayoutFamily Set.....	255	xCommand Video Output Monitor Reset.....	259
xCommand Video Matrix Assign.....	256	xCommand Video Output Monitor Sharpness Set.....	260
xCommand Video Matrix Reset.....	256	xCommand Video PresentationPIP Set.....	260
xCommand Video Matrix Swap.....	256	xCommand Video PresentationView Set.....	260
		xCommand Video Selfview Set.....	261

Audio コマンド

xCommand Audio LocalInput, xCommand Audio LocalOutput, xCommand Audio RemoteOutput コマンドは、主に現在 SX80 のみに使用できる CE コンソール アプリケーションによる内部使用向けです。CE コンソールは、オーディオ チェーンの設定と構成のためのグラフィカル インターフェイスを提供します。

オーディオ チェーンは、仮想ローカル入力に割り当てられた物理入力コネクタで構成されます。仮想ローカル入力は、仮想ローカル出力に接続されます。仮想ローカル出力には、物理出力コネクタが割り当てられます。上記のコマンドは、物理コネクタと仮想入出力間の論理接続を定義します。また、仮想入力が、ゲイン、均等化、チャンネル ミックスなどを信号に加える方法を定義します。

コールの発信時に、(遠端側からの)リモート入力信号がすべてのローカル出力に自動的に追加されます。同様に、すべてのローカル入力は(遠端側への)リモート出力ゲートに自動的に追加されます。

xCommand は再起動すると保持されないことに注意してください。したがって、オーディオ チェーンの設定を保持するには、起動スクリプトにコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。オーディオ チェーンのセットアップに CE コンソールを使用している場合、スタートアップ スクリプトが自動的に生成され、アクティブ化されます。

スタートアップ スクリプトと CE コンソールについて詳しくは、『ビデオ システムの管理者ガイド』と『CE コンソール ユーザ ガイド』を参照してください。

xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドは、ビデオ システムに接続されているデバイスの音声遅延やレイテンシを測定します。一般的には、HDMI コネクタを介してビデオ システムに接続されているテレビの遅延を測定する目的で使用します。テレビで大きな遅延が発生すると、ビデオ通話のリアルタイム エクスペリエンスがかなり劣化します。遅延が 50 ミリ秒を超える場合、遅延が短くなるようなテレビ設定を見つけることをお勧めします。遅延を減らすことができる一般的なテレビ設定には、ゲーム モードと PC モードがあります。

このコマンドは、出力と入力 (マイク) の間の遅延を測定します。つまり、外部の音響エコーキャンセラやオーディオ ミキサーを使用している場合、このコマンドはそれらのデバイスの遅延も測定します。

使用方法:

```
xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength: MeasurementLength]
[Output: Output] [Volume: Volume]
```

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 100)

測定時間の長さ (秒数)。ノイズの多い環境では、測定時間が長いほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 6

出力:

HDMI/Line/Internal/All

HDMI: HDMI 出力に接続されているデバイスの遅延を測定します。

Line: ライン出力に接続されているデバイスの遅延を測定します (ライン出力のあるビデオ システムでのみ利用可能)。

Internal: 内部スピーカーの遅延を測定します (内部スピーカーのあるビデオ システムでのみ利用可能)。

All: すべての出力の遅延の最大値を測定します。

デフォルト値: HDMI

音量:

Integer (0..50)

テスト信号の音量。ノイズの多い環境では、音量が大きいほど信頼性の高い堅牢な結果が得られます。

デフォルト値: 20

xCommand Audio LocalInput Add

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

仮想のローカル出力を作成し、その識別子 (InputID) を生成します。ローカルの入力は一連の入力コネクタに関連付けられており、ローカル入力の名前、関連付けられた入力コネクタから信号をミキシングする方法、Automatic Gain Control (AGC) とミュートの使用、モノラルとステレオのいずれの信号を発信するか、および Direct モードを使用して入力処理をバイパスするかどうかを指定できます。

ローカルの入力モジュールの最大数は 8 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalInput Add [InputId: InputId] [Name: "Name"] [AGC: AGC]
[Channels: Channels] [Direct: Direct] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute]
```

説明:

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の一意的識別子。InputID を指定しない場合、システムによって自動的に作成されます。後でローカル入力を参照する場合に備えて、InputId を指定することをお勧めします。

Name: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

文字列 (0、255)

ローカル入力を記述する名前を選択します。名前を指定しない場合、文字列は空になります。

AGC: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 音声レベルが一定に維持されるように、ゲインが連続して調整されます (デフォルト)。

Off: オートゲイン コントロール (AGC) なし。

Channels: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 2)

1: 入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします (デフォルト)。

2: 入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Direct: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます (デフォルト)。

MixerMode: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が特に強い場合、他のすべてのコネクタの信号がそれぞれ 20 dB 減衰されます。

Fixed: 入力信号はすべて同じ重みがあり、結果として合わせて同等ゲインでミキシングされます (デフォルト)。

GainShared: 1 つまたは少数の入力信号が特に強い場合、ミキシング後の信号の合計ゲインが常時同じになるように、他の入力信号が数 dB 減衰されます。

Auto と GainShared はマイク入力用です。ライン入力と HDMI 入力には Fixed をお勧めします。

Mute: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします (デフォルト)。

Off: ミュートなし。

xCommand Audio LocalInput AddConnector

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力に入力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル入力にのみ接続できます。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

入力 ID で示されるローカル入力に入力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル入力にのみ接続できます。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput AddConnector InputId: InputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI/Line/Microphone

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 3)、Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 4)、Microphone コネクタの場合は整数 (1 ~ 8) [SX80、MX700/MX800/MX800D]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalInput Remove

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力を削除します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

入力 ID で示されるローカル入力を削除します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput Remove InputId: InputId

説明:

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalInput RemoveConnector

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力から入力コネクタを取り出します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を入力する必要があります。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

入力 ID で示されるローカル入力から入力コネクタを取り出します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を入力する必要があります。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput RemoveConnector InputId: InputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力を示す固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI/Line/Microphone

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 3)、Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 4)、Microphone コネクタの場合は整数 (1 ~ 8) [SX80、MX700/MX800/MX800D]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalInput Update

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

入力 ID で示されるローカル入力の設定を更新します。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalInput Update InputId: InputId [Name: "Name"] [AGC: AGC] [Channels: Channels] [Direct: Direct] [MixerMode: MixerMode] [Mute: Mute]

説明:

InputId:

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力を示す固有識別子。これは、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。

Name:

文字列 (0、255)

ローカル入力を記述する名前を選択します。

AGC:

On/Off

On: 音声レベルが一定に維持されるように、ゲインが連続して調整されます。

Off: オートゲイン コントロール (AGC) なし。

チャンネル:

整数 (1 ~ 2)

1: 入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: 入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Direct:

On/Off

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます。

MixerMode (ミキサーモード):

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 1 つの入力信号が特に強い場合、他のすべてのコネクタの信号がそれぞれ 20 dB 減衰されます。

Fixed: 入力信号のウェイトがすべて同じになります。その結果、同じゲインで混合されます。

GainShared: 1 つまたは少数の入力信号が特に強い場合、ミキシング後の信号の合計ゲインが常時同じになるように、他の入力信号が数 dB 減衰されます。

Auto と GainShared はマイク向けです。ライン入力や HDMI 入力には Fixed をお勧めします。

Mute:

On/Off

On: 入力信号のミックスをミュートします。

Off: ミュートなし。

xCommand Audio LocalOutput Add

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

仮想ローカル出力を作成し、それに対する識別子 (OutputId) を生成します。ローカル出力は、ローカル入力信号とリモート入力信号をミックスしたものです。xCommand Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、含めるローカル入力を指定します。コール中に (遠端側からの) リモート入力信号が、すべてのローカル出力に自動的に追加されます。ローカル出力は、出力コネクタのセットに関連付けられ、それらはすべて同じ信号を受信します。

ローカル出力モジュールの最大数は 6 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

仮想ローカル出力を作成し、それに対する識別子 (OutputId) を生成します。ローカル出力は、ローカル入力信号とリモート入力信号をミックスしたものです。xCommand Audio LocalOutput ConnectInput コマンドを使用して、含めるローカル入力を指定します。コール中に (遠端側からの) リモート入力信号が、すべてのローカル出力に自動的に追加されます。ローカル出力は、出力コネクタのセットに関連付けられ、それらはすべて同じ信号を受信します。

ローカル出力モジュールの最大数は 6 です。制限を超えると、エラー メッセージを受け取ります。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput Add [OutputId: OutputId] [Name: "Name"] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Channels: Channels] [VolumeControlled: VolumeControlled]

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の一意の識別子。OutputID を指定しない場合、システムによって自動的に作成されます。後でローカル出力モジュールを参照する場合に備えて、OutputId を指定することをお勧めします。

Default value: 0

Name: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

文字列 (0、255)

ローカル出力を記述した名前を選択します。

デフォルト値: ""

Loudspeaker: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 関連付けられたコネクタの少なくとも 1 つがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これにより、エコー キャンセラがこの信号を参照信号として使用するようになるので、この設定は重要です。

Off: 関連付けられたコネクタに 1 つもスピーカーが接続されていない場合、Off を選択します。スピーカーを接続できるローカル出力は 1 つのみであることにご注意ください。

デフォルト値: Off

Channels: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 2)

1: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。

2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

Default value: 1

VolumeControlled: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールで設定したレベル、または xCommand Audio Volume コマンドで設定したレベルに応じて変化します。

Off: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールにも xCommand Audio Volume コマンドにも影響されません。

xCommand Audio LocalOutput AddConnector

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力に出力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル出力にのみ接続できます。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

出力 ID で示されるローカル出力に出力コネクタを接続します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。コネクタは、1 つのローカル出力にのみ接続できます。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput AddConnector OutputId: OutputId ConnectorType:

ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI/Line [SX80、CodecPro]

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 2)、Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 6) [SX80、MX700/MX800/MX800D]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalOutput ConnectInput

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、ローカル入力またはリモート入力をローカル出力に接続します。ローカル入力は、任意の数のローカル出力に接続できます。同様に、任意の数のローカル入力を各ローカル出力に接続することができます。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

パラメータとして ID を指定して、ローカル入力またはリモート入力をローカル出力に接続します。ローカル入力は、任意の数のローカル出力に接続できます。同様に、任意の数のローカル入力を各ローカル出力に接続することができます。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

```
xCommand Audio LocalOutput ConnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId
[InputGain: InputGain]
```

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio

LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputGain: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

Default value: 0

xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

ローカル入力またはリモート入力をローカル出力から切断します。コールの終了時に (遠端側からの) リモート入力信号は自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

ローカル入力またはリモート入力をローカル出力から切断します。コールの終了時に (遠端側からの) リモート入力信号は自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput DisconnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput Remove

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力を削除します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

出力 ID で示されるローカル出力を削除します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput Remove OutputId: OutputId

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力から出力コネクタを取り外します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を入力する必要があります。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

出力 ID で示されるローカル出力から出力コネクタを取り外します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を入力する必要があります。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput RemoveConnector OutputId: OutputId ConnectorType: ConnectorType ConnectorId: ConnectorId

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

ConnectorType: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI/Line [SX80、CodecPro]

コネクタのタイプを選択します。

ConnectorId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

HDMI コネクタの場合は整数 (1 ~ 2)、Line コネクタの場合は整数 (1 ~ 6) [SX80、MX700/MX800/MX800D]

コネクタを選択します。コネクタの番号はコーデックのコネクタ パネルに印字されています。

xCommand Audio LocalOutput Update

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

出力 ID で示されるローカル出力の設定を更新します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

出力 ID で示されるローカル出力の設定を更新します。

すべてのローカル出力の概要を取得するには、xStatus Audio Output LocalOutput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput Update OutputId: OutputId [Name: "Name"] [Loudspeaker: Loudspeaker] [Channels: Channels] [VolumeControlled: VolumeControlled]

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

Name: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

文字列 (0、255)

ローカル出力を記述した名前を選択します。

Loudspeaker: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 関連付けられたコネクタの少なくとも 1 つがスピーカーに接続されている場合、On を選択します。これにより、エコー キャンセラがこの信号を参照信号として使用するようになるので、この設定は重要です。

Off: 関連付けられたコネクタに 1 つもスピーカーが接続されていない場合、Off を選択します。スピーカーを接続できるローカル出力は 1 つのみであることにご注意ください。

Channels: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 2)

- 1: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのモノラル信号にします。
- 2: ローカルおよびリモートの入力信号をミックスして 1 つのステレオ信号にします。

VolumeControlled: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

On/Off

On: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量制御または xCommand Audio Volume コマンドによって設定されたレベルに従って変化します。

Off: 音量 (ボリューム) は、ユーザ インターフェイスの音量コントロールにも xCommand Audio Volume コマンドにも影響されません。

xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ローカル出力に接続されているローカルまたはリモート入力のゲインを更新します。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

ローカル出力に接続されているローカルまたはリモート入力のゲインを更新します。(遠端側からの) リモート入力信号が、コールの発信時にすべてのローカル出力に自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル出力の概要を取得するには xStatus Audio Output LocalOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput、リモート入力の詳細を表示するには xStatus Audio Input RemoteInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。CE コンソールを使用しない場合、再起動しても定義が保持されるようにするには、起動スクリプトに手動でコマンドを追加するか、マクロ フレームワークを使用します。

使用方法:

xCommand Audio LocalOutput UpdateInputGain OutputId: OutputId InputId: InputId
[InputGain: InputGain]

説明:

OutputId: *[SX80 MX700/MX800/MX800D]*

整数 (0 ~ 65534)

ローカル出力の固有識別子。これは、xCommand Audio LocalOutput Add コマンドを使用してローカル出力が作成されたときに生成されたものです。

InputId: *[SX80 MX700/MX800/MX800D]*

整数 (0 ~ 65534)

ローカル入力またはリモート入力の固有識別子。ローカル入力の ID は、xCommand Audio LocalInput Add コマンドを使用してローカル入力を作成されたときに生成されたものです。リモート入力の ID は、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputGain: *[SX80 MX700/MX800/MX800D]*

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

Default value: 0

xCommand Audio Microphones Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべてのマイクロフォンをミュートにします。

使用方法:

xCommand Audio Microphones Mute

xCommand Audio Microphones ToggleMute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

マイクのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

xCommand Audio Microphones ToggleMute

xCommand Audio Microphones Unmute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべてのマイクのミュートを解除します。

使用方法:

xCommand Audio Microphones Unmute

xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、入力をローカル出力に接続します。入力は任意の数のリモート出力ゲートに接続でき、任意の数の入力を 1 つのリモート出力ゲートに接続できます。コールの発信時にすべてのローカル入力ですべてのリモート出力ゲートに自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。コール中にのみ適用されます。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

パラメータとして ID を指定して、入力をローカル出力に接続します。入力は任意の数のリモート出力ゲートに接続でき、任意の数の入力を 1 つのリモート出力ゲートに接続できます。コールの発信時にすべてのローカル入力ですべてのリモート出力ゲートに自動的に追加され、コールの終了時に自動的に切断されることに注意してください。

すべてのローカル入力の概要を取得するには、xStatus Audio Input LocalInput を実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。これは通話中にのみ適用されます。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput ConnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId
[InputGain: InputGain]

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

InputGain: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

Default value: 0

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

パラメータとして ID を指定して、入力をリモート出力から切断します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。コール中のみ適用されます。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

パラメータとして ID を指定して、入力をリモート出力から切断します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。これは通話中のみ適用されます。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput DisconnectInput OutputId: OutputId InputId: InputId
説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート出力に接続されている入力のゲインを更新します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。コール中のみ適用されます。Codec Pro、Room 70 G2 には適用されません。

リモート出力に接続されている入力のゲインを更新します。リモート出力はコールの終了時に自動的に削除されることにご注意ください。

リモート出力の概要を取得するには xStatus Audio Output RemoteOutput、すべてのローカル入力の概要を取得するには xStatus Audio Input LocalInput をそれぞれ実行します。

このコマンドは、主に、現在 SX80 のみに使用できる CE コンソールでの内部使用を目的としています。これは通話中のみ適用されます。

使用方法:

xCommand Audio RemoteOutput UpdateInputGain OutputId: OutputId InputId: InputId
[InputGain: InputGain]

説明:

OutputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

リモート出力の固有識別子。これは、コールが発信されたときに自動的に生成されたものです。

InputId: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 65534)

入力の固有識別子。これは、xCommand Audio Local Input Add コマンドを使用して入力を作成されるか、コールがセットアップされたとき (リモート入力) に生成されたものです。

InputGain: [SX80 MX700/MX800/MX800D]

整数 (-54 ~ 15)

入力信号のゲインを設定します。ゲインを負の値 (減衰) にすることもできます。値 -54 dB は Off と同等です。

Default value: 0

xCommand Audio Select

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

使用するオーディオ デバイスのタイプを選択します (内蔵のスピーカーとマイク、ヘッドセット、ハンドセット)。

使用方法:

xCommand Audio Select Device: Device

説明:

デバイス:

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカーと内蔵マイク、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットのいずれを使用するかを選択します。

xCommand Audio Setup Clear

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのローカル入力およびローカル出力を削除します。

使用方法:

xCommand Audio Setup Clear

xCommand Audio Sound Play

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

指定したオーディオ サウンドを再生します。

使用方法:

xCommand Audio Sound Play [Loop: Loop] Sound: Sound

説明:

Loop:

Off/On

オーディオ サウンドの再生をループするかどうかを指定します。デフォルトでは、サウンドがループされます。このパラメータの設定に関係なく、一部の音声 (Busy, CallWaiting, Dial, Ringing, および SpecialInfo) は Audio Sound Stop コマンドが発行されるまで再生されます。

デフォルト値: Off

Sound:

Alert/Bump/Busy/CallDisconnect/CallInitiate/CallWaiting/Dial/KeyInput/KeyInputDelete/KeyTone/Nav/NavBack/Notification/OK/Pairing/PresentationConnect/Ringing/SignIn/SpecialInfo/StartListening/TelephoneCall/VideoCall/VolumeAdjust/WakeUp

再生する着信音を選択します。

xCommand Audio Sound Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

オーディオ サウンドを停止します。

使用方法:

xCommand Audio Sound Stop

xCommand Audio SpeakerCheck

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

すべての内蔵スピーカーが正しく接続されていることを確認するためのテストを実行します。左から右への順序でテスト トーンが各スピーカーから発されます。スピーカーが正しい順序で再生されない場合は、スピーカー ケーブルを再接続して、正しいシーケンスを取得してください。すべてのスピーカーはテスト シーケンスの一部です。テスト シーケンスが正しく実行されていることを確認するため、ビデオ システムと同じ部屋にいる必要があります。

ビデオ システムは、接続されたマイクロフォンを使用して、テスト信号をリッスンします。テストの結果は API に返されます。

使用方法:

xCommand Audio Diagnostics MeasureDelay [MeasurementLength: MeasurementLength]
[Output: Output] [Volume: Volume]

説明:

MeasurementLength:

整数 (1 ~ 5)

各スピーカーのテスト信号の継続時間 (秒単位)。

Default value: 1

音量:

整数 (1 ~ 30)

テスト信号レベル。

Default value: 1

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

利用可能なすべての着信音を表示します。着信音を選択するには、xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingTone 設定を使用します。

使用方法:

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

使用可能な着信音のうちの 1 つを再生します。利用可能な着信音の一覧を取得するには、xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone List コマンドを使用します。

使用方法:

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play [Loop: Loop] RingTone: "RingTone"

説明:

Loop:

On/Off

選択した着信音をループで繰り返します。オーディオをオフにするには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop xCommand を使用します。

デフォルト値: Off

RingTone:

文字列 (1, 100)

呼出音の名前。

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

選択した着信音の再生を停止します。着信音の再生をもう一度始めるには、Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play xCommand を使用します。

使用方法:

xCommand Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop

xCommand Audio Volume Decrease

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントの音量を下げます。デフォルトで、音量は 5 ステップずつ減少します (各ステップは 0.5 dB)。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、Steps パラメータを使用します。

DX70 と DX80 には複数のオーディオ デバイス (内蔵スピーカー、ヘッドセット、およびハンドセット) があることに注意してください。このコマンドは一度に 1 つのデバイスにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となるデバイスを指定できます。デバイスを指定しない場合、最後に選択したデバイスが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Decrease [Device: Device] [Steps: Steps]

説明:

Device: [DX70/DX80]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を下げるかを選択します。

Steps:

整数 (1 ~ 10)

音量を下げる際のステップ数を選択します。1 ステップは 0.5 dB です。

デフォルト値: 5

xCommand Audio Volume Increase

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントの音量を上げます。デフォルトで、音量は 5 ステップずつ増加します (各ステップは 0.5 dB)。デフォルトの動作をオーバーライドする場合は、Steps パラメータを使用します。

DX70 と DX80 には複数のオーディオ デバイス (内蔵スピーカー、ヘッドセット、およびハンドセット) があることに注意してください。このコマンドは一度に 1 つのデバイスにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となるデバイスを指定できます。デバイスを指定しない場合、最後に選択したデバイスが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Increase [Device: Device] [Steps: Steps]

説明:

Device: [DX70/DX80]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を上げるかを選択します。

Steps:

整数 (1 ~ 10)

音量を上げる際のステップ数を選択します。1 ステップは 0.5 dB です。

デフォルト値: 5

xCommand Audio Volume Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントの音量をミュートにします。

DX70 と DX80 には複数のオーディオ デバイス (内蔵スピーカー、ヘッドセット、およびハンドセット) があることに注意してください。このコマンドは選択したデバイスだけに影響します。選択したデバイスの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Mute

xCommand Audio Volume Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントの音量を指定されたレベルに設定します。

DX70 と DX80 には複数のオーディオ デバイス (内蔵スピーカー、ヘッドセット、およびハンドセット) があることに注意してください。このコマンドは一度に 1 つのデバイスにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となるデバイスを指定できます。デバイスを指定しない場合、最後に選択したデバイスが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume Set [Device: Device] Level: Level

説明:

Device: [DX70/DX80]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を設定するかを選択します。

Level:

整数 (0 ~ 100)

ゲイン レベルを選択します。70 は 0 dB ゲインに等しく、100 は 15 dB ゲインに等しくなります。

xCommand Audio Volume SetToDefault

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xConfiguration Audio DefaultVolume 設定で定義されているデフォルトのレベルに音量を設定します。

DX70 と DX80 には複数のオーディオ デバイス (内蔵スピーカー、ヘッドセット、およびハンドセット) があることに注意してください。このコマンドは一度に 1 つのデバイスにのみ影響します。オプションの Device パラメータを使用して、対象となるデバイスを指定できます。デバイスを指定しない場合、最後に選択したデバイスが選択されます (xStatus Audio SelectedDevice をご覧ください)。xCommand Audio Select もご覧ください。

使用方法:

xCommand Audio Volume SetToDefault [Device: Device]

説明:

Device: [DX70/DX80]

Internal/HeadsetBluetooth/HeadsetAnalog/HeadsetUSB/HandsetUSB

内蔵スピーカー、Bluetooth ヘッドセット、アナログ ヘッドセット (DX70 のみ)、USB ヘッドセット、または USB ハンドセットの、いずれの音量を設定するかを選択します。

xCommand Audio Volume ToggleMute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スピーカーのミュートとミュート解除を切り替えます。

使用方法:

xCommand Audio Volume ToggleMute

xCommand Audio Volume Unmute

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ミュート後にエンドポイントの音量を元に戻します。

使用方法:

xCommand Audio Volume Unmute

xCommand Audio VuMeter Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

VU メーターを起動して、指定したコネクタのオーディオ信号レベルを表示します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。VU メーターは、20 kHz 未満の周波数の入力レベルを測定します。

使用方法:

xCommand Audio VuMeter Start ConnectorID: *ConnectorID* ConnectorType: *ConnectorType* [IncludePairingQuality: *IncludePairingQuality*]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8)、Line の場合は整数 (1 ~ 4)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 3)
[SX80、MX700/MX800/MX800D]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 5) [CodecPro、Room70G2]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2)、Line の場合は整数 (1 ~ 1) [SX20]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 1) [SX10、RoomKit、CodecPlus、Room55、Room70/Room55D]

マイクの場合は整数 (1 ~ 3)、ラインの場合は整数 (1 ~ 1)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 2)
[MX200G2/MX300G2]

整数 (1 ~ 1 [DX70/DX80])

コネクタの番号を選択します。

ConnectorType がマイクの場合は以下に注意してください。ビデオ システムに内蔵マイクがある場合、そのマイクは Microphone [1] となります。入力コネクタに接続されている外部マイクは Microphone [2] から開始します。DX70 および DX80 については、Microphone [1] は選択されているオーディオ デバイスを指し、これは内蔵マイク、または接続されているヘッドセットやハンドセットのいずれかとなります。選択したデバイスの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

ConnectorType:

HDMI/Line/Microphone [SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

Line/Microphone [SX20]

HDMI/Microphone [DX70/DX80、SX10、RoomKit、CodecPlus、Room55、Room70/Room55D]

コネクタのタイプを選択します。

IncludePairingQuality:

Off/On

システムはペアリング品質を測定できます (値 0~100)。同じ部屋に他の超音波源がない場合は

この値は高くなりますが、同じ部屋に他の超音波源がある場合はこの値は低くなります。ペアリング品質をモニタリングするには、ビデオ システムの Web インターフェイスにサインインし、[設定 (Setup)] > [周辺機器 (Peripherals)] > [マイク (Microphones)] に移動し、[ペアリング レートの表示 (Show Pairing Rate)] チェックボックスをオンにします。または、xFeedback コマンドと xEvents コマンドを使用して値をモニタリングします。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドと xEvents コマンドに関する説明を参照してください。

デフォルト値: Off

xCommand Audio VuMeter Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

指定されたコネクタの VU メーターを停止します。コネクタを一意に識別するには、コネクタの種類と番号の両方 (ConnectorType、ConnectorId) を指定する必要があります。

使用方法:

xCommand Audio VuMeter Stop ConnectorID: ConnectorID ConnectorType: ConnectorType

説明:

ConnectorID (コネクタID):

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8)、Line の場合は整数 (1 ~ 4)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 3)
[SX80、MX700/MX800/MX800D]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 8)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 5) [CodecPro、Room70G2]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2)、Line の場合は整数 (1 ~ 1) [SX20]

Microphone の場合は整数 (1 ~ 2)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 1) [SX10、RoomKit、CodecPlus、Room55、Room70/Room55D]

マイクの場合は整数 (1 ~ 3)、ラインの場合は整数 (1 ~ 1)、HDMI の場合は整数 (1 ~ 2) [MX200G2/MX300G2]

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80]

コネクタの番号を選択します。

ConnectorType がマイクの場合は以下に注意してください。ビデオ システムに内蔵マイクがある場合、そのマイクは Microphone [1] となります。入力コネクタに接続されている外部マイクは Microphone [2] から開始します。DX70 および DX80 については、Microphone [1] は選択されているオーディオ デバイスを指し、これは内蔵マイク、または接続されているヘッドセットやハンドセットのいずれかとなります。選択したデバイスの詳細については、xStatus Audio SelectedDevice コマンドと xCommand Audio Select コマンドをご覧ください。

ConnectorType:

HDMI/Line/Microphone [SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

Line/Microphone [SX20]

HDMI/Microphone [DX70/DX80、SX10、RoomKit、CodecPlus、Room55、Room70/Room55D]

コネクタのタイプを選択します。

xCommand Audio VuMeter StopAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

すべての VU メーターを停止します。

使用方法:

xCommand Audio VuMeter StopAll

Bookings コマンド

xCommand Bookings Clear

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在の予約の保存されたリストを消去します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Clear
```

xCommand Bookings Get

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

特定の ID の予約情報を表示します。

使用方法:

```
xCommand Bookings Get Id: "Id"
```

説明:

Id:

文字列 (0、128)

通話または電話会議の予約 ID。

xCommand Bookings List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムに保存された予約を表示します。予約の詳細のリストは管理システムから受信されます。すべてのパラメータはオプションで、検索結果を制限するために使用できます。

パラメータを設定しない場合、過去、現在、将来の予約がすべて表示されます。昨日より前の予約をリストしないようにするには、DayOffset = 0 を使用します。

使用方法:

```
xCommand Bookings List [Days: Days] [DayOffset: DayOffset] [Limit: Limit]  
[Offset: Offset]
```

説明:

Days:

整数 (1 ~ 365)

予約を取得する日数。

DayOffset:

整数 (0 ~ 365)

検索を開始する日 (今日: 0、明日: 1、...)。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (1 ~ 65534)

一覧表示する予約の最大数。

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

この検索用の予約のオフセット番号。

デフォルト値: 0

xCommand Bookings NotificationSnooze

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このルーム システムに保存されている予約の通知をスヌーズに設定します。

使用方法:

```
xCommand Bookings NotificationSnooze [Id: "Id"] [SecondsToSnooze: SecondsToSnooze]
```

説明:

Id:

文字列 (0, 128)

通知のスヌーズ設定の ID。

SecondsToSnooze:

整数 (1 ~ 3600)

秒数で表されたスヌーズの期間。

デフォルト値: 300

Call コマンド

xCommand Call Accept

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信コールを承認します。CallId を指定しない場合、すべての着信コールが受け入れられます。

使用方法:

```
xCommand Call Accept [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Disconnect

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コールを切断します。

使用方法:

```
xCommand Call Disconnect [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call DTMFSend

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端に DTMF トーンを送信します。

使用方法:

```
xCommand Call DTMFSend [CallId: CallId] DTMFString: "DTMFString"
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値:-1

DTMFString:

文字列 (0, 32)

DTMF 文字列を入力します。

xCommand Call FarEndControl Camera Move

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端カメラ (リモート カメラ) を動かします。

注: 遠端カメラは停止コマンド (参照: xCommand FarEndControl Camera Stop) が発行されるまで、指定された方向に移動を続けます。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Stop [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値:-1

値:

Left/Right/Up/Down/ZoomIn/ZoomOut

カメラを動かすアクションを選択します。

xCommand Call FarEndControl Camera Stop

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand FarEndControl Camera Move が発行された後に相手先カメラを停止します。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Camera Stop [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値:-1

xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コール中は、このコマンドを使用して遠端コーデックのプリセットをアクティブにします。プリセットには、遠端コーデックのカメラの位置と入力ビデオ スイッチャ設定が含まれます。

遠端コーデックでローカルに xCommand Preset Store コマンドを使用するか、リモート コーデックから xCommand FarEndControl Preset Store コマンドを使用することによって、事前にプリセットを遠端コーデックに保存しておく必要があります。

注: FarEndControl コマンドが機能するためには、遠端コーデックの xConfiguration Conference FarEndControl Mode 設定をオンに切り替える必要があります。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl RoomPreset Activate [CallId: CallId] PresetId: PresetId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

遠端コーデックの識別に CallId が必要になるのは、マルチポイント コール時のみです。xCommand ダイヤルコマンドを発行すると CallId が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値:-1

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

遠端コーデックに保存されたプリセットの ID。

xCommand Call FarEndControl Source Select

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

遠端システムの主なソースとして使用するビデオ入力ソースを選択します。

使用方法:

```
xCommand Call FarEndControl Source Select [CallId: CallId] SourceId: SourceId
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイヤルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値:-1

SourceId:

整数 (0 ~ 15)

遠端のビデオ入力ソースを選択します。

xCommand Call FarEndMessage Send

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。SIP コールでのみ動作します。Conference FarEndMessage Mode が On に設定されている必要があります。

使用方法:

xCommand Call FarEndMessage Send Text: "Text" Type: "Type" [CallId: CallId]

説明:

Text:

文字列 (1, 1450)

遠端に送信するメッセージを入力します。

Type:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージ タイプを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call FarEndMessage SStringSend

適用対象: *SX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。H.323 コールおよび SIP コールで機能します。H.224 データ チャンネル (UDP) を使用します。新しいバージョンのコマンド (xCommand CallFarEndMessage Send) の使用をお勧めします。

使用方法:

xCommand Call FarEndMessage SStringSend Message: "Message" [CallId: CallId]

説明:

メッセージ:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call FarEndMessage TStringSend

適用対象: *SX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

制御システムまたはマクロと併用するための、ポイントツーポイント通話における 2 種のコーデック間のデータを送信します。H.323 コールでのみ動作します。H.245 データ チャンネル (TCP) を使用します。

使用方法:

xCommand Call FarEndMessage TStringSend Message: "Message" CallId: CallId

説明:

メッセージ:

文字列 (0, 255)

遠端に送信するメッセージを入力します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call Forward

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールの転送先となる番号または URI を指定します。表示名は、転送先のローカル参照です。すべてのコールを転送するようにシステムを構成した場合、このローカル参照とともにメッセージが画面に表示されます。

使用方法:

xCommand Call Forward DisplayName: "DisplayName" Number: "Number"

説明:

DisplayName:

文字列 (0, 255)

転送先のローカル参照。

番号:

文字列 (0, 255)

着信コールの転送先となる電話番号または URI。

xCommand Call Hold

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールを保留にします。

使用方法:

xCommand Call Hold [CallId: CallId] [Reason: Reason]

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

Reason:

Conference/Transfer/Other

内部使用に限定されます。

デフォルト値: Other

xCommand Call Ignore

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールの呼出音をオフにします。コールへの応答は可能です。

使用方法:

xCommand Call Ignore CallId: CallId

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand ダイアルコマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

xCommand Call Join

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

内部使用に限定されます。

使用方法:

xCommand Call Join [CallId: CallId]

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

同じコマンドに 1 ~ 10 個の CallId パラメータを設定できます。

xCommand Call Reject

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信コールの拒否。CallId を指定しない場合、すべての着信コールが拒否されます。

使用方法:

```
xCommand Call Reject [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand Dial コマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call Resume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

保留されていたコールを再開します。

使用方法:

```
xCommand Call Resume [CallId: CallId]
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand Dial コマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

デフォルト値: 0

xCommand Call UnattendedTransfer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

進行中のコールを他の参加者に転送します。SIP コールの場合にのみ完全にサポートされます。

使用方法:

```
xCommand Call UnattendedTransfer CallId: CallId Number: "Number"
```

説明:

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

xCommand Dial コマンドを実行すると CallID が返されます。コール中の場合は xStatus Call コマンドを実行して CallId を表示できます。

番号:

文字列 (0, 255)

コールの転送先の番号。

CallHistory コマンド

xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

すべての不在着信に対して、タッチ コントローラの不在着信インジケータをオフにします。

使用方法:

```
xCommand CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls
```

xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

指定したコールを対象に、タッチ コントローラの不在着信インジケータをオフにします。

使用方法:

```
xCommand CallHistory AcknowledgeMissedCall CallHistoryId: CallHistoryId  
[AcknowledgeConsecutiveDuplicates: AcknowledgeConsecutiveDuplicates]
```

説明:

CallHistoryId:

整数 (1 ~ 2147483647)

該当するコールの CallHistoryId。ID 番号を取得するには xCommand CallHistory Get を実行します。

AcknowledgeConsecutiveDuplicates:

False/True

情報が重複しているすべてのコールを含めるか除外することができます。

デフォルト値: False

xCommand CallHistory DeleteAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

以前のコールに関するすべての情報を削除します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory DeleteAll [Filter: Filter]
```

説明:

Filter:

All/Missed/Placed/Received

削除するコールをフィルタリングできます。

デフォルト値: All

xCommand CallHistory DeleteEntry

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

指定したコールに関するすべての情報を削除します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory DeleteEntry CallHistoryId: CallHistoryId  
[DeleteConsecutiveDuplicates: DeleteConsecutiveDuplicates]
```

説明:

CallHistoryId:

整数 (1 ~ 2147483647)

該当するコールの CallHistoryId。ID 番号を取得するには xCommand CallHistory Get を実行します。

DeleteConsecutiveDuplicates:

False/True

重複する情報を持つ周囲のコールを削除するかどうかを選択できます。

デフォルト値: False

xCommand CallHistory Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ システムで行った以前のコールに関するすべての情報を取得します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory Get [Filter: Filter] [Offset: Offset] [Limit: Limit]  
[DetailLevel: DetailLevel] [SearchString: "SearchString"] [CallHistoryId:  
CallHistoryId]
```

説明:

Filter:

All/Missed/AnsweredElse説明:/Forwarded/Placed/NoAnswer/Received/Rejected/
UnacknowledgedMissed

取得するコールをフィルタリングできます。

デフォルト値: All

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

起点となるコールを設定します。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

出力内のコールの量を定義します。

デフォルト値: 65534

DetailLevel:

Basic/Full

これらのコールの情報の詳細レベルを設定します。

デフォルト値: Basic

SearchString:

文字列 (0, 255)

指定した表示名またはコールバック番号にコマンドが適用されるように設定できます。

デフォルト値: ""

CallHistoryId:

整数 (0 ~ 65534)

該当するコールの CallHistoryId。

xCommand CallHistory Recents

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ システムで行った以前のコールに関する集約情報を取得します。

使用方法:

```
xCommand CallHistory Recents [Filter: Filter] [Offset: Offset] [Limit: Limit]  
[DetailLevel: DetailLevel] [SearchString: "SearchString"] [Order: Order]
```

説明:

Filter:

All/Missed/AnsweredElse説明:/Forwarded/Placed/NoAnswer/Received/Rejected/
UnacknowledgedMissed

取得するコールをフィルタリングできます。

デフォルト値: All

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

起点となるコールを設定します。

デフォルト値: 0

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

出力内のコールの量を定義します。

デフォルト値: 65534

DetailLevel:

Basic/Full

これらのコールの情報の詳細レベルを設定します。

デフォルト値: Basic

SearchString:

文字列 (0, 255)

指定した表示名またはコールバック番号にコマンドが適用されるように設定できます。

デフォルト値: ""

発注:

OccurrenceTime/OccurrenceFrequency

以前のコールを表示する順序を定義します。

デフォルト値: OccurrenceTime

Camera コマンド

xCommand Camera PositionReset

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus
CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの位置をデフォルトの位置にリセットします。

使用方法:

xCommand Camera PositionReset [Axis: Axis] CameraId: CameraId

説明:

Axis:

All/Focus/PanTilt/Zoom

リセットする機能を選択します。指定しない場合は、すべてがリセットされます。

デフォルト値: All

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

整数 (1 ~ 7) [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

リセットするカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera PositionSet

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

カメラの位置を設定します。

使用方法:

xCommand Camera PositionSet CameraId: CameraId [Focus: Focus] [Lens: Lens] [Pan: Pan] [Tilt: Tilt] [Zoom: Zoom]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

整数 (1 ~ 7) [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

リセットするカメラ プリセットの ID。

焦点:

整数 (0 ~ 65535)

カメラの焦点を近くまたは遠くに合わせます。

Lens:

Wide/Center/Left/Right

カメラのレンズ位置を設定します。

パン:

整数 (-10000 ~ 10000)

カメラを左または右に向けます。

チルト:

整数 (-2500 ~ 2500)

カメラを上または下に向けます。

ズーム:

整数 (0 ~ 11800)

ズームインまたはズームアウトします。

xCommand Camera Preset Activate

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

保存したカメラ プリセットの 1 つをアクティブ化します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。これは、接続カメラすべてとビデオ入力スイッチャの設定を単一のプリセットに含める xCommand Preset コマンドとは対照的です。

使用方法:

xCommand Camera Preset Activate PresetId: PresetId

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

アクティブ化するカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

デフォルト位置が定義されている場合、カメラをその位置に設定します。デフォルト位置は、xCommand Camera Preset Store または xCommand Camera Preset Edit で定義します。各カメラに定義できるデフォルト位置は 1 つのみです。

使用方法:

xCommand Camera Preset ActivateDefaultPosition [CameraId: CameraId]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80 SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit Room55]

整数 (1 ~ 7) [SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2]

アクティブ化するカメラ プリセットの ID。CameraId を指定しない場合、すべてのカメラがそれぞれのデフォルト位置 (定義されている場合) に設定されます。

xCommand Camera Preset Edit

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

保存されているカメラ プリセットを編集します。xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内のカメラ プリセットの名前と位置を変更できます。このプリセットが関連付けられたカメラのデフォルト位置であるかどうかを変更することもできます。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。これは、接続カメラすべてとビデオ入力スイッチャの設定を単一のプリセットに含める xCommand Preset コマンドとは対照的です。

使用方法:

xCommand Camera Preset Edit PresetId: PresetId [ListPosition: ListPosition]
[Name: "Name"] [DefaultPosition: DefaultPosition]

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

編集するカメラ プリセットの ID。

ListPosition:

整数 (1 ~ 35)

xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内の位置。

Name:

文字列 (0, 255)

カメラ プリセットの名前。これは xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリストで使用されます。

DefaultPosition:

False/True

このプリセットが関連付けられたカメラのデフォルト位置であるかどうかを定義します。各カメラに定義できるデフォルト位置は 1 つのみです。したがって設定した場合は、古いデフォルトのプリセットが自動的にデフォルトとしてマークされなくなることに注意してください。

xCommand Camera Preset List

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

使用可能なカメラ プリセットに関する情報を一覧表示します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。これは、接続カメラすべてとビデオ入力スイッチャの設定を単一のプリセットに含める xCommand Preset コマンドとは対照的です。

使用方法:

xCommand Camera Preset List [CameraId: CameraId] [DefaultPosition: DefaultPosition]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80, SX10, SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, Room55]

整数 (1 ~ 7) [SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPlus, CodecPro, Room70/Room55D, Room70G2]

指定したカメラのプリセットのみをリストします。

DefaultPosition:

False/True

デフォルト位置のみ、またはデフォルト以外の位置のみをリストします。

xCommand Camera Preset Remove

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

カメラ プリセットを削除します。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。これは、接続カメラすべてとビデオ入力スイッチャの設定を単一のプリセットに含める xCommand Preset コマンドとは対照的です。

使用方法:

xCommand Camera Preset Remove PresetId: PresetId

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

削除するカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera Preset Show

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

要求した PresetId のプリセットの詳細を示します。

使用方法:

xCommand Camera Preset Show PresetId: PresetId

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

確認するカメラ プリセットの ID。

xCommand Camera Preset Store

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択したカメラの現在の位置 (パンおよびチルト)、ズームおよび焦点を保存します。カメラは CameraId パラメータによって識別されます。

xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラに適用されることに注意してください。これは、接続カメラすべてとビデオ入力スイッチャの設定を単一のプリセットに含める xCommand Preset コマンドとは対照的です。xCommand Camera Preset コマンドは、全カメラの位置をまとめて処理するのではなく、複数のカメラ位置をカメラごとに個別に処理する場合に役立ちます。個々のカメラ プリセットは遠端制御では使用できません。

使用方法:

xCommand Camera Preset Store [PresetId: PresetId] CameraId: CameraId
[ListPosition: ListPosition] [Name: "Name"] [TakeSnapshot: TakeSnapshot]
[DefaultPosition: DefaultPosition]

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 35)

このカメラ プリセットの ID。明示的に設定しなかった場合、コーデックがプリセット ID を自動的に割り当てます。

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80, SX10, SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit, Room55]

整数 (1 ~ 7) [SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPlus, CodecPro, Room70/Room55D, Room70G2]

プリセットの位置を保存するカメラを選択します。

ListPosition:

整数 (1 ~ 35)

xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリスト内の新しいカメラ プリセットの位置。

Name:

文字列 (0, 255)

新しいカメラ プリセットの名前。これは xCommand Camera Preset List コマンドによって返されるリストで使用されます。

TakeSnapshot:

False/True

プレビューのスナップショットを許可または禁止します。

DefaultPosition:

False/True

このプリセットを関連付けられたカメラのデフォルト位置にするかどうかを定義します。各カメラが維持できるデフォルト位置は 1 つのみです。したがって設定した場合は、古いデフォルトのプリセットが自動的にデフォルトとしてマークされなくなることに注意してください。

xCommand Camera Ramp

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

指定した方向にカメラを移動します。停止コマンドが発行されるまで、カメラは指定された速度で動きます。デイジー チェーンでは、指定するカメラの CameraId を知っておく必要があります。パンとチルトは同時に操作できますが、その他の組み合わせでは不可能であることに注意してください。後者の場合、指定した最初の操作のみが実行されます。たとえば、ズームとパンを同時に実行しようとすると、ズームだけが実行されます。

注: カメラを停止するには、停止コマンドを実行する必要があります。下の例を参照してください。

使用方法:

xCommand Camera Ramp CameraId: CameraId [Pan: Pan] [PanSpeed: PanSpeed] [Tilt: Tilt] [TiltSpeed: TiltSpeed] [Zoom: Zoom] [ZoomSpeed: ZoomSpeed] [Focus: Focus]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 7) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPlus、CodecPro、Room70/Room55D、Room70G2]

整数 (1 ~ 1) [SX10、SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、Room55]

カメラを選択します。

パン:

Left/Right/Stop

カメラを左 (Left) または右 (Right) に向けます (その後、Stop (停止) を指定します)。

PanSpeed:

整数 (1 ~ 15)

パン速度を設定します。

チルト:

Down/Up/Stop

カメラを上 (Up) または下 (Down) に向けます (その後、停止 (Stop) を指定します)。

TiltSpeed:

整数 (1 ~ 15)

チルト速度を設定します。

ズーム:

In/Out/Stop

カメラをズームイン (In) またはズームアウト (Out) させます (その後、停止 (Stop) を指定します)。

ZoomSpeed:

整数 (1 ~ 15)

ズーム速度を設定します。

焦点

Far/Near/Stop

カメラの焦点を遠距離 (Far) または近距離 (Near) に合わせます (その後、Stop (停止) を指定します)。

xCommand Camera TriggerAutofocus

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

オートフォーカス機能をトリガーします。カメラが、オートフォーカス機能をサポートしている必要があります。カメラがデジタイズ チェーン接続されている場合は、チェーン内での位置に応じて CameraId が指定されます。

使用方法:

xCommand Camera TriggerAutofocus CameraId: CameraId

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 7) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPlus、CodecPro、Room70/Room55D、Room70G2]

整数 (1 ~ 1) [DX70/DX80、SX10、SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、Room55]

オートフォーカスにするカメラを選択します。

Cameras コマンド

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オート フォーカスの診断を開始します。

使用方法:

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Start CameraId: CameraId

説明:

CameraId:

1 ~ 7 [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPlus、CodecPro、Room70/Room55D、Room70G2]

1 ~ 1 [Room Kit、Room 55]

診断するカメラを選択します。

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

オート フォーカスの診断を停止します。

使用方法:

xCommand Cameras AutoFocus Diagnostics Stop CameraId: CameraId

説明:

CameraId:

1 ~ 7 [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPlus、CodecPro、Room70/Room55D、Room70G2]

1 ~ 1 [Room Kit、Room 55]

診断するカメラを選択します。

xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ステージの概観画像用に保存してあるプレゼンター トラッキング カメラ位置をクリアします。カメラ位置をクリアした後も PresenterTrack 機能は作動しますが、アクティブ化したときにカメラは定義済みの位置を表示しなくなります。

SX80 および Codec Pro: この設定は、Precision 60 カメラまたは SpeakerTrack 60 カメラの使用時にのみ適用されます。

使用方法:

xCommand Cameras PresenterTrack ClearPosition

xCommand Cameras PresenterTrack Set

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

プレゼンター トラッキング モードを設定します。

このコマンドは、PresenterTrack 機能が有効な場合にのみ効果があります。ビデオ システムの Web インターフェイスにログインして Cameras PresenterTrack Enabled 設定を使用することにより、機能を有効または無効にできます。

SX80 および Codec Pro: この設定は、Precision 60 カメラまたは SpeakerTrack 60 カメラの使用時にのみ適用されます。

使用方法:

xCommand Cameras PresenterTrack Set Mode: Mode

説明:

Mode:

Off/Follow/Diagnostic/Background/Setup/Persistent

Off: プレゼンタ トラッキングをオフにします。

Follow: プレゼンタ トラッキングをオンにします。これは機能がタッチ ユーザ インターフェイスから起動された場合のデフォルト モードです。カメラが異なる事前設定に移動した場合、別のカメラが選択された場合、またはスタンバイ状態がアクティブになった場合、プレゼンタ トラッキングは自動的にオフになります。

Diagnostic: プレゼンタ トラッキングのトラブルシューティングを行う、またはビデオ システム画面で何か起きているかを正確に確認するには診断モードをオンにします。診断モードでは、画面にいくつかのアクティビティがあります。画面には、概要画像、および次に示す矩形/正方形が表示されます。

*赤色: トリガー ゾーン。

*黄色: プレゼンタのクロップ イメージ。面をトラッキングしている間のみ表示されます。

*緑色: 顔が検出され、追跡されることを示します。

*緑色に点滅: 有効な顔検出を示します。追跡対象の人物の顔が有効でないと判別されると、この正方形は赤色になります。

*赤色に点滅: 無効な顔検出を示します。数秒後、追跡を停止します。

*青色: 顔が検出されましたが、この顔は追跡されません。

Background: この設定はコーデックの内部スクリプトで使用されます。イメージのクロップなしでのプレゼンタ追跡をオンにします。

Setup: この設定は、PresenterTrack 機能の設定時にビデオ システム画面上にトリガー ゾーンを表示するためにコーデックの Web インターフェイスで使用されます。

Persistent: この設定はコーデックの内部スクリプトで使用されます。プレゼンター トラッキングを永続的模式でオンにします。カメラが別のプリセットに移ると、永続モードは自動的にオフになります。

xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ステージの概観画像用に、プレゼンター トラッキング カメラの現在の位置を保存します。機能がアクティブになると、プレゼンター トラッキング カメラがこの位置に移動します。

SX80 および Codec Pro: この設定は、Precision 60 カメラまたは SpeakerTrack 60 カメラの使用時にのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand Cameras PresenterTrack StorePosition
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Activate

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

SpeakerTrack モードをアクティブ化します。xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode を Auto (デフォルト) に設定する必要があります。

この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 のカメラを使用する場合にのみ適用されます。

SpeakerTrack 60 のカメラ アセンブリは、2 台のカメラで構成され、アクティブ スピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Activate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

SpeakerTrack モードを非アクティブ化します。

この設定は、Cisco TelePresence SpeakerTrack 60 のカメラを使用する場合にのみ適用されます。

SpeakerTrack 60 のカメラ アセンブリは、2 台のカメラで構成され、アクティブ スピーカーのクローズアップを検索してキャプチャするオーディオ トラッキング技術を使用します。スピーカーの変更が検出された場合、最適なカメラのビューが常に適用されるように、2 台のカメラを自動的に切り替えることができます。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Deactivate
```

xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

SpeakerTrack カメラのトラッキングの診断を開始します。

使用方法:

```
xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start Tracking: Tracking
```

説明:

トラッキング:

On/Off

On: 両方のカメラの診断が同時に表示されます。このモードでは、SpeakerTrack の標準動作と同一のルーム内で誰が話しているかによってトラッキングが決まります。

Off: 一度に 1 台のカメラの診断を表示します。15 秒間隔で一方のカメラからもう一方のカメラに診断が切り替えられ、アクティブなカメラに関連する診断が表示されます。カメラは両方ともフル ワイドの位置を維持します。一度に 1 台のカメラのトラッキング診断を表示する場合は、Tracking: Off を使用します。

デフォルト値: On

xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

SpeakerTrack カメラの診断を停止します。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

指定したカメラを、xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition で保存した位置まで移動します。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition CameraId: CameraId
[WhiteboardId: WhiteboardId]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [*RoomKit, Room55, Room70/Room55D*]

整数 (1 ~ 2) [*Codec Plus*]

整数 (1 ~ 7) [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2*]

位置指定されるカメラの ID。

WhiteboardId:

整数 (1 ~ 8)

ホワイトボードへのスナップ機能に使用するカメラ位置用に設定された ID。現在は ID 1 のみを使用できます。

デフォルト値: 1

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

デュアル カメラを備えた MX700 および MX800、SpeakerTrack 60 カメラを備えた SX80 および Codec Pro にのみ適用されます。その他の製品には適用されません。

2 台目のカメラの位置を最初のカメラの保存された位置に合わせます。また、ホワイトボードまでの距離も設定する必要があります。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition CameraId: CameraId
Distance: Distance

説明:

CameraId: [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2*]

整数 (1 ~ 7)

位置指定されるカメラの ID。

Distance: [*SX80, MX700/MX800/MX800D, CodecPro, Room70G2*]

整数 (300 ~ 1500)

ホワイトボードまでの距離をセンチメートル単位で設定します。機能がシームレスに動作するように、正確な測定値を使用してください。

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ホワイトボードまでのカメラの距離を設定します。カメラがホワイトボードを自動的にフレーミングするには、この情報が必要です。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance Distance: Distance
[WhiteboardId: WhiteboardId]

説明:

Distance:

整数 (0 ~ 65534)

ホワイトボードまでの距離をセンチメートル単位で設定します。機能がシームレスに動作するように、正確な測定値を使用してください。

WhiteboardId:

整数 (1 ~ 8)

ホワイトボードへのスナップ機能に使用するカメラ位置用に設定された ID。現在は ID 1 のみを使用できます。

デフォルト値: 1

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

指定したカメラの位置を、ホワイトボードへのスナップ位置として保存します。ホワイトボードの周囲に発言者用のスペースの余裕があるようにイメージを組み立てます。ホワイトボードへのスナップ機能を使用するには、xConfiguration Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode で機能を有効にして、xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode でトラッキングを有効にする必要があります。

注: デュアル カメラを備えた MX700 および MX800、SpeakerTrack 60 カメラを備えた SX80 および Codec Pro の場合、両方のカメラにホワイトボードへのスナップの位置を保存する必要があります。

使用方法:

xCommand Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition CameraId: CameraId
[WhiteboardId: WhiteboardId]

説明:

CameraId:

整数 (1 ~ 1) [RoomKit、Room55、Room70/Room55D]

整数 (1 ~ 2) [Codec Plus]

整数 (1 ~ 7) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

位置指定されるカメラの ID。

WhiteboardId:

整数 (1 ~ 8)

位置に ID 番号を付与できます。現在使用できる ID は 1 のみです。

デフォルト値: 1

Conference コマンド

xCommand Conference DoNotDisturb Activate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このコマンドはサイレント モードをオンにし、Timeout パラメータを使用することで再度オフにする時期を制御できます。サイレントがオンになると、すべての着信コールは拒否されて不在着信として登録されます。発信者はビジー信号を受信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Activate [Timeout: Timeout]
```

説明:

タイムアウト:

整数 (1 ~ 1440)

サイレントがオフになるまでの分数を設定します。設定しなかった場合、サイレントは 1440 分 (24 時間) 後にタイムアウトします。

xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

サイレント モードをオフにします。サイレントがオフになると、着信コールは通常どおり着信します。

使用方法:

```
xCommand Conference DoNotDisturb Deactivate
```

xCommand Conference SpeakerLock Release

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

xCommand Conference SpeakerLock Set によって設定されたロック中のスピーカーを解除します。デフォルトの音声スイッチングがオンに戻ります。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Release
```

xCommand Conference SpeakerLock Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

手でいずれかのスピーカーを重要スピーカーの位置にロックする場合に使用します。これによってデフォルトの音声スイッチングは上書きされます。

使用方法:

```
xCommand Conference SpeakerLock Set Target: Target [CallId: CallId]
```

説明:

ターゲット:

ローカル/リモート

ローカル参加者かリモート参加者かを特定します。

CallId:

整数 (0 ~ 65534)

リモート参加者の CallID を識別します。Target が「remote」に設定されている場合にのみ該当します。

デフォルト値: 0

Diagnositics コマンド

xCommand Diagnostics Run

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, TOUCHUSER

このコマンドは、システム上で自己診断コマンドを実行します。

使用方法:

xCommand Diagnostics Run [ResultSet: ResultSet]

説明:

ResultSet:

Alerts/All/None

診断結果を「アラート」、「すべて」、または「なし」にフィルタリングできます。設定しなかった場合は、すべての結果が表示されます。

デフォルト値: Alerts

ダイヤル コマンド

xCommand Dial

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

システムからダイヤルします。他の一部のコマンドに必要な CallId および ConferencId に関する情報を返します。

使用方法:

xCommand Dial Number: "Number" [Protocol: Protocol] [CallRate: CallRate] [CallType: CallType] [BookingId: "BookingId"] [Appearance: Appearance] [DisplayName: "DisplayName"] [TrackingData: "TrackingData"]

説明:

番号:

文字列 (0, 255)

番号またはアドレスを入力します。

Protocol:

H320/H323/Sip/Spark

コール プロトコルを選択します。

コール レート:

整数 (64 ~ 6000) [SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2]

整数 (64 ~ 3072) [DX70/DX80 SX10]

コール レートを設定します。

CallType:

Audio/Video

コール タイプを選択します。

BookingId:

文字列 (0, 255)

外部予約システム (TMS, CTS-MAN など) が、発信コールと予約システムの会議用内部 ID を照合する自己参照に使用できる ID。これはどのような文字列にすることもできます (GUID など)。予約 ID はコールのコール ログ、コール イベントなどで提供されます。

デフォルト値: ""

外観:

整数 (1 ~ 999999999)

内部使用に限定されます。

DisplayName:

文字列 (0, 255)

リモート参加者の表示名

デフォルト値: ""

TrackingData:

文字列 (0, 255)

コールにタグを追加して、通話履歴の中で識別できるようにします。

デフォルト値:

GPIO コマンド

xCommand GPIO ManualState Set

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

OutputManualState モードに設定された GPIO ピンの状態を設定します (参照: xConfiguration GPIO Pin [1..4] Mode)。

使用方法:

xCommand GPIO ManualState Set [Pin1: Pin1] [Pin2: Pin2] [Pin3: Pin3] [Pin4: Pin4]

説明:

Pin1:

High/Low

Pin2:

High/Low

Pin3:

High/Low

Pin4:

High/Low

HttpFeedback コマンド

xCommand HttpFeedback Deregister

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

HTTP(S) を介した HTTP フィードバックを登録解除します。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot
```

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

xCommand HttpFeedback Register コマンドを使用して登録されたフィードバック スロットを登録解除します。

xCommand HttpFeedback を有効にする

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

以前に登録したフィードバック スロットが、障害により無効化された後で、再度有効化します。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Deregister FeedbackSlot: FeedbackSlot
```

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

有効化するフィードバック スロットを指定します。

xCommand HttpFeedback Register

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

特定の URL に HTTP (S) を介して XML フィードバックを返すため、HTTP (S) サーバにシステムを登録します。

使用方法:

```
xCommand HttpFeedback Register FeedbackSlot: FeedbackSlot [Format: Format]
```

```
ServerUrl: "ServerUrl" [Expression: "Expression"]
```

説明:

FeedbackSlot:

整数 (1 ~ 4)

このコーデックは、HTTP フィードバックを要求する最大 4 つのサーバ スロットを登録できます。それらの 1 つに登録を設定します。

注: Cisco TelePresence Management Suite (TMS) は表現式の登録に FeedbackSlot 3 を使用するので、TMS を使用している環境では FeedbackSlot 3 の使用を避けてください。

Format:

XML/JSON

HTTP サーバからのフィードバックのフォーマットを XML または JSON に設定します。

デフォルト値: XML

ServerUrl:

文字列 (1, 2048)

コーデックで HTTP フィードバック メッセージの送信先となる HTTP サーバの URL。

Expression:

文字列 (1, 255)

ステータス、コンフィギュレーション、またはイベント XML ドキュメントのどの部分をモニタするかを XPath 式で指定します。同じコマンドで 0 ~ 15 個の XPath 式を指定できます。

Macros コマンド

xCommand Macros Log Clear

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロ ログをクリアします。

使用方法:

```
xCommand Macros Log Clear
```

xCommand Macros Log Get

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

実行中のすべてのマクロのログ、およびランタイム自体のログを表示します。

使用方法:

```
xCommand Macros Log Get [Offset: Offset]
```

説明:

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

提供された以上のオフセットを含む行を表示します。

デフォルト値: 0

xCommand Macros Macro Activate

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このビデオ システム上に作成されたマクロをアクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Activate Name: "Name"
```

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

アクティブ化するマクロの名前を指定します。

xCommand Macros Macro Deactivate

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このビデオ システムで現在実行中のマクロを非アクティブ化します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Deactivate Name: "Name"
```

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

非アクティブ化するマクロの名前を指定します。

xCommand Macros Macro Get

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このビデオ システム上に作成されているマクロの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Get [Content: Content] [Name: "Name"]
```

説明:

本文:

False/True

指定したマクロの内容を表示するかどうかを指定します。

デフォルト値: False

Name:

文字列 (0, 255)

マクロの名前。

xCommand Macros Macro Remove

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このビデオ システム上に作成されたマクロを削除します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Remove Name: "Name"
```

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

削除するマクロの名前。

xCommand Macros Macro RemoveAll

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このビデオ システム上に作成されたすべてのマクロを削除します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro RemoveAll
```

xCommand Macros Macro Rename

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このビデオ システム上に作成されたマクロの名前を変更します。

使用方法:

```
xCommand Macros Macro Rename Name: "Name" NewName: "NewName" [Overwrite: Overwrite]
```

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

名前変更するマクロの名前。

NewName:

文字列 (0, 255)

マクロの新しい名前。

Overwrite:

False/True

既存の内容を上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: False

xCommand Macros Macro Roles Set

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロのロールを設定します。

使用方法:

xCommand Macros Macro Roles Set Name: "Name" [Role: Role]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

設定されるマクロの名前。

権限:

Admin/Audit/User/Integrator/RoomControl

このマクロに設定されているロール。

デフォルト値: Admin

xCommand Macros Macro Save

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

マクロの詳細を保存します。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand Macros Macro Save Name: "Name" [Overwrite: Overwrite] [Transpile: Transpile]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

保存されるマクロの名前。

Overwrite:

False/True

既存の内容を上書きするかどうかを指定します。

デフォルト値: True

Transpile:

False/True

現在の JavaScript 言語機能を EcmaScript 5.0/5.1 に変換します。

デフォルト値: True

xCommand Macros Runtime Restart

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを再起動します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Restart

xCommand Macros Runtime Start

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを開始します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Start

xCommand Macros Runtime Status

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のマクロ ランタイムの現在の状態を表示します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Status

xCommand Macros Runtime Stop

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上で設定されているすべてのマクロを停止します。

使用方法:

xCommand Macros Runtime Stop

Message コマンド

xCommand Message Send

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

リッスンしているクライアントにテキストを送信する Message Send イベントをトリガーします。

使用方法:

xcommand Message Send Text: "Text"

説明:

Text:

文字列 (0, 255)

メッセージに含まれるテキスト。

Peripherals コマンド

xCommand Peripherals Connect

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

コーデックに接続された、制御システムやタッチ パネルなどの周辺機器を登録します。登録済みの周辺機器は、Web インターフェイスの Configuration > Peripherals に表示されます。

周辺機器をコーデックに初めて接続する場合、または周辺機器のソフトウェア バージョンを変更した場合は、このコマンドを使用する必要があります。接続デバイスのリストは、コマンド xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status を使用して入手できます。

使用方法:

```
xCommand Peripherals Connect [HardwareInfo: "HardwareInfo"] ID: "ID" [Name: "Name"] [NetworkAddress: "NetworkAddress"] [SerialNumber: "SerialNumber"] [SoftwareInfo: "SoftwareInfo"] Type: Type
```

説明:

HardwareInfo:

文字列 (0, 100)

デバイスのハードウェア番号。

デフォルト値: ""

ID:

文字列 (1, 100)

接続しているデバイスの一意の ID (通常は MAC アドレス)。

Name:

文字列 (0, 100)

デバイスの名前を設定します。

デフォルト値: ""

NetworkAddress:

文字列 (0, 100)

接続しているデバイスのネットワーク アドレス。

デフォルト値: ""

シリアル番号:

文字列 (0, 100)

デバイスのシリアル番号。

デフォルト値: ""

SoftwareInfo:

文字列 (0, 100)

デバイスで実行されているソフトウェア バージョン。

デフォルト値: ""

Type:

Byod/ControlSystem/Other/TouchPanel

接続しているデバイスのタイプを定義します。

xCommand Peripherals HeartBeat

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

接続デバイスとして登録した周辺機器は、コーデックにハートビートを送信して、現在も接続されていることをコーデックに通知するように設定できます。

これにより、デバイスは xStatus Peripherals ConnectedDevice リストに保持されるようになります。ハートビートを送信するように周辺機器が設定されていない場合、デバイスはしばらくするとリストから消えます。

注: カメラには適用されません。

使用方法:

```
xCommand Peripherals HeartBeat ID: "ID" [Timeout: Timeout]
```

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

接続しているデバイスの一意の ID (通常は MAC アドレス)。

タイムアウト:

整数 (1 ~ 65535)

デバイスがハートビートを送信する時間を設定します。

デフォルト値: 60

xCommand Peripherals List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

現在接続中および過去に接続されていた周辺機器をすべてリストします。

使用方法:

xCommand Peripherals List [Connected: Connected] [Type: Type]

説明:

接続中:

False/True

検索対象を現在接続中のデバイスに制限します。

Type:

All/ControlSystem/ISDNLink/Other/TouchPanel

デバイス タイプによって検索を制限します。

デフォルト値: All

xCommand Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

同じネットワーク内の ISDN リンクを検出するデバイス検出を開始します。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start [AutoPairing: AutoPairing]
[DeviceType: DeviceType] [Timeout: Timeout]

説明:

AutoPairing:

On/Off

検出されたデバイスが自動的にエンドポイントとペアリングされるように選択できます。

デフォルト値: Off

DeviceType:

ISDNLink

ISDN リンクの検索のみ。

タイムアウト:

整数 (3 ~ 60)

検索の最大時間を 3 ~ 60 秒の範囲で設定します。

デフォルト値: 10

xCommand Peripherals Pairing Pair

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

ISDN リンクをエンドポイントにペアリングします。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing Pair MacAddress: "MacAddress"

説明:

MacAddress:

文字列 (1, 1450)

エンドポイントにペアリングする ISDN リンクの MAC アドレスを入力します。

xCommand Peripherals Pairing Unpair

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ISDN リンクとエンドポイントが通信したら、エンドポイントをペアリング解除します。

使用方法:

xCommand Peripherals Pairing Pair MacAddress: "MacAddress"

説明:

MacAddress:

文字列 (1, 100)

エンドポイントとのペアリングを解除する ISDN リンクの MAC アドレスを入力します。

xCommand Peripherals Purge

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

接続が失われたときに、強制的に ISDN リンクからエンドポイントをペアリング解除します。注: 別のエンドポイントとペアリングできるように、ISDN リンクもペアリング解除する必要があります。

使用方法:

xCommand Peripherals Purge ID: "ID"

説明:

ID:

文字列 (1, 100)

「xx: xx: xx: xx: xx: xx」形式の ISDN リンクの MAC アドレス。

Phonebook コマンド

xCommand Phonebook Contact Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳に新しい連絡先を追加します。このコマンドが返す ContactId は連絡先を識別する一意の文字列で、通常の形式は「localContactId-n」です。

xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを使用して、1 件の連絡先に複数の連絡方法を追加できます。最初の連絡方法だけが Cisco TelePresence タッチ コントローラのお気に入りリストに表示されることに注意してください。すべての連絡方法は、その他の UI で使用できます。

使用方法:

xCommand Phonebook Contact Add Name: "Name" [Number: "Number"] [CallRate: CallRate] [CallType: CallType] [Device: Device] [FolderId: "FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] [Protocol: Protocol] [Tag: Tag] [Title: "Title"]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の電話番号または住所。

コール レート:

文字列 (0 ~ 6000)

コール レートを設定します。

デフォルト値: 0

CallType:

Audio/Video

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。

デバイス:

Mobile/Other/Telephone/Video

デバイス タイプを選択します。

FolderId:

文字列 (0, 255)

連絡先を保存するフォルダの一意の識別子です。この識別子は、xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

ImageURL:

文字列 (0, 255)

現在は使用されていません。

Protocol:

Auto/H320/H323/SIP/Spark

Auto, Spark, SIP, H323, または H320 プロトコルを選択します。

Tag:

Untagged/Favorite

連絡先をお気に入りとしてタグ付けするか、すでにタグ付けされた連絡先のタグを解除します。

Title:

文字列 (0, 255)

連絡先の役職。

xCommand Phonebook Contact Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳から既存の連絡先を削除します。

使用方法:

xCommand Phonebook Contact Delete ContactId: "ContactId"

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されません。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Contact Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の連絡先情報を変更します。Name、FolderId、ImageURL、および Title パラメータは、このコマンドを使用して変更できます。その他の Number、Protocol、CallRate、CallType、および Device パラメータを変更するには、xCommand Phonebook ContactMethod Modify コマンドを使用する必要があります。

使用方法:

xCommand Phonebook Contact Modify ContactId: "ContactId" [Name: "Name"] [FolderId: "FolderId"] [ImageURL: "ImageURL"] [Tag: Tag] [Title: "Title"]

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

Name:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前。

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されません。xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行した場合も返されます。

ImageURL:

文字列 (0, 255)

現在は使用されていません。

Tag:

Untagged/Favorite

連絡先をお気に入りとしてタグ付けするか、すでにタグ付けされた連絡先のタグを解除します。

Title:

文字列 (0, 255)

連絡先の役職。

xCommand Phonebook ContactMethod Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先の連絡先情報を追加します。このコマンドが返す ContactMethodId は連絡方法を識別する一意の文字列で、通常の形式は「n」です。

1 件の連絡先に複数の連絡方法を追加できます。最初の連絡方法だけがビデオ システムのユーザ インターフェイスのお気に入りリストに表示されることに注意してください。最初の連絡方法は、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときに作成されている場合があります。すべての連絡方法は、API および Web インターフェイスで利用できます。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Add ContactId: "ContactId" [CallRate: CallRate]
[CallType: CallType] [Device: Device] Number: "Number" [Protocol: Protocol]
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡方法を追加する連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

コール レート:

文字列 (0 ~ 6000)

コール レートを設定します。

Default value: 0

CallType:

Audio/Video

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。

デバイス:

Mobile/Other/Telephone/Video

コール先のデバイスのタイプを設定します。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の電話番号または住所。

Protocol:

Auto/H320/H323/SIP/Spark

プロトコルを選択します。

xCommand Phonebook ContactMethod Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存の連絡先から連絡方法を削除します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook ContactMethod Delete ContactId: "ContactId" ContactMethodId:
"ContactMethodId"
```

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡先の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

削除する連絡方法の一意的識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook ContactMethod Add コマンドを発行して連絡方法を作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook ContactMethod Modify

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳の既存連絡先の連絡方法に関する詳細を修正します。

使用方法:

xCommand Phonebook ContactMethod Modify ContactId: "ContactId" ContactMethodId: "ContactMethodId" [Device: Device] [Number: "Number"] [Protocol: Protocol] [CallRate: CallRate] [CallType: CallType]

説明:

ContactId:

文字列 (0, 255)

連絡先の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡先を作成したときにも返されます。

ContactMethodId:

文字列 (0, 255)

変更する連絡方法の一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook ContactMethod Add または xCommand Phonebook Contact Add コマンドを発行して連絡方法を作成したときにも返されます。

デバイス:

Mobile/Other/Telephone/Video

コール先のデバイスのタイプを設定します。

番号:

文字列 (0, 255)

連絡先の電話番号または住所。

Protocol:

Auto/H320/H323/SIP/Spark

プロトコルを選択します。

コール レート:

文字列 (0 ~ 6000)

コール レートを設定します。

デフォルト値: 0

CallType:

Audio/Video

コール タイプを選択します (オーディオまたはビデオ)。

xCommand Phonebook Folder Add

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

電話帳エントリはフォルダに保存できます。このコマンドを使用して、ローカル電話帳にフォルダを追加します。このコマンドが返す FolderId はフォルダを識別する一意の文字列で、通常の形式は「local-Groupid-n」です。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Add Name: "Name" [ParentFolderId: "ParentFolderId"]

説明:

Name:

文字列 (0, 255)

フォルダの名前。

ParentFolderId:

文字列 (0, 255)

親フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行して親フォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Delete

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル電話帳から既存のフォルダを削除します。

使用方法:

xCommand Phonebook Folder Delete FolderId: "FolderId"

説明:

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Folder Modify

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

既存の電話帳フォルダを修正します。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Folder Modify FolderId: "FolderId" [Name: "Name"]  
[ParentFolderId: "ParentFolderId"]
```

説明:

FolderId:

文字列 (0, 255)

フォルダの一意の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行してフォルダを作成したときにも返されます。

Name:

文字列 (0, 255)

連絡先の名前。

ParentFolderId:

文字列 (0, 255) 親フォルダ固有の識別子。この ID は xCommand Phonebook Search コマンドによって返されます。また、xCommand Phonebook Folder Add コマンドを発行して親フォルダを作成したときにも返されます。

xCommand Phonebook Search

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

検索コマンドで、ローカルおよび社内電話帳のどちらでも検索することができます。検索によって ResultSet が提供されます。

ローカル電話帳を検索した場合、結果セットには常にフォルダと連絡先の総数 (TotalRows) が含まれています。社内電話帳の検索時には、フォルダおよび連絡先の合計数が含まれない場合があります。この合計数が含まれるかどうかは、社内電話帳のバックエンド サービス (CUCM、VCS、TMS など) とそのバージョンによって決まります。

使用方法:

```
xCommand Phonebook Search [PhonebookId: "PhonebookId"] [PhonebookType:  
PhonebookType] [SearchString: "SearchString"] [SearchField: SearchField]  
[ContactType: ContactType] [Offset: Offset] [FolderId: "FolderId"] [Limit: Limit]  
[ContactMethodLimit: ContactMethodLimit] [Recursive: Recursive] [Tag: Tag]
```

説明:

PhonebookId:

文字列 (0, 255)

検索する電話帳サーバの ID。xConfiguration Phonebook Server ID 設定を参照してください。

PhonebookType:

Corporate/Local

検索対象がローカル電話帳か社内電話帳かを定義します。

デフォルト値: Local

SearchString:

文字列 (0, 255)

この文字列を含むエントリを検索します (エントリの先頭がこの文字列である必要はありません)。
FolderId を指定しない場合、すべてのフォルダおよび電話帳ディレクトリが検索されます。

SearchField:

名前/番号

現在は使用されていません。

ContactType:

Any/Folder/Contact

すべての連絡先タイプを検索するか、検索対象をフォルダまたは個々の連絡先に制限します。

デフォルト値: Any

Offset:

整数 (0 ~ 65534)

検索のこのオフセットで始まるレコードを取得します。デフォルト値は 0 です。Offset は、ページングをサポートするために Limit とともに使用されます。

デフォルト値: 0

FolderId:

文字列 (0, 255)

指定したフォルダのみを検索します。FolderId (文字列) は、フォルダを含む検索結果の ResultSet にリストされています。

Limit:

整数 (0 ~ 65534)

結果セットのレコード数をこの数値に制限します。たとえば制限を 10 に設定すると、ヒットの総数がそれ以上であっても、ResultSet に含まれるのは 10 エントリ (連絡先およびフォルダ) のみです。最大制限数は 1000 です。

デフォルト値: 50

ContactMethodLimit:

整数 (0 ~ 10)

結果セットのレコード数をこの数値に制限します。たとえば、Limit を 2 に設定した場合、ResultSet には、ヒットの総数が 2 より多くても、2 エントリだけが含まれます。

デフォルト値: 0

Recursive:

False/True

このパラメータは、ローカル電話帳を検索する場合にのみ有効です。ローカル電話帳検索を特定の FolderId に制限するか、またはそのサブフォルダも再帰的に検索するかどうかを決定します。指定しない場合は、再帰検索になります。

どのパラメータも指定せずにコマンドを発行すると、ローカル電話帳のすべてのフォルダ、連絡先、および連絡方法が返されます。

デフォルト値: True

Tag:

Untagged/Favorite

検索対象を、お気に入りとしてタグ付けされた連絡先またはタグなしの連絡先のいずれかに制限します。

Presentation コマンド

xCommand Presentation Start

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択されたプレゼンテーション ソースからのメディア ストリームを開きます。

使用方法:

xCommand Presentation Start [ConnectorId: ConnectorId] [Instance: Instance] [PresentationSource: PresentationSource] [SendingMode: SendingMode]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 5) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 4) [MX200G2/MX300G2]

整数 (1 ~ 2) [DX70/DX80, SX20, Room Kit]

整数 (1 ~ 3) [CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

整数 (2 ~ 3) [SX10]

プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソース (connectorId で識別) を選択します。

インスタンス:

New/1/2/3/4/5/6

開始するローカル プレゼンテーション インスタンスを選択します。

PresentationSource:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 4) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 2) [DX70/DX80, SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit]

整数 (1 ~ 3) [CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

整数 (2 ~ 2) [SX10]

プレゼンテーションに使用するビデオ入力ソース (ソース番号で識別) を選択します。

SendingMode:

LocalRemote/LocalOnly

プレゼンテーションをローカルに表示するか、ローカルおよびリモートで表示するかを選択します。

デフォルト値: LocalRemote

xCommand Presentation Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プレゼンテーション ソースからのメディア ストリームを停止します。

使用方法:

xCommand Presentation Stop [Instance: Instance] [PresentationSource: PresentationSource]

説明:

インスタンス:

1/2/3/4/5/6

停止するローカル プレゼンテーション (プレゼンテーション インスタンスで識別) を選択します。

PresentationSource:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro, Room70G2]

整数 (1 ~ 4) [SX80, MX700/MX800/MX800D]

整数 (1 ~ 2) [DX70/DX80, SX20, MX200G2/MX300G2, RoomKit]

整数 (1 ~ 3) [CodecPlus, Room55, Room70/Room55D]

整数 (2 ~ 2) [SX10]

停止するローカル プレゼンテーション (ソース番号で識別) を選択します。

Provisioning コマンド

xCommand Provisioning CompleteUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェアのアップグレードを設定する前にアップグレードをインストールする必要がある場合に、アップグレードのインストールを開始します。

使用方法:

xCommand Provisioning CompleteUpgrade

xCommand Provisioning PostponeUpgrade

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのインストールを延期します。

使用方法:

xCommand Provisioning PostponeUpgrade SecondsToPostpone: SecondsToPostpone

説明:

SecondsToPostpone:

整数 (0 ~ 65534)

アップグレードを延期する時間を設定します。値は秒単位です。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エクステンション モビリティ サービス用のログイン コマンド。エクステンション モビリティ サービスにログインするには、ユーザ名 (UserId) と暗証番号 (Pin) を使用します。このユーザ名と暗証番号は CUCM で設定されます。CUCM では、1 ユーザに対して複数のプロファイルを使用することもできます。

複数のプロファイルを持つユーザが、ユーザ名と暗証番号のみを指定してログイン コマンドを送信すると、CUCM は使用可能なプロファイルのリストをビデオ システムに戻します。ビデオ システムは、これに対応する ExtensionMobilityProfileSelection Profile イベントを作成します。その結果、ユーザ名と暗証番号に加えて Profile パラメータも含む新しいログイン コマンドを送信できるようになります。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Login UserId: "UserId" Pin: "Pin"  
[Profile: "Profile"]
```

説明:

UserId:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている正しいユーザ名。

Pin:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている、そのユーザの正しい暗証番号。

プロファイル:

文字列 (1, 255)

CUCM で設定されている、そのユーザの正しいプロファイル。このパラメータは、ユーザが複数のプロファイルを持っている場合のみ該当します。

xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドを使用すると、エクステンション モビリティからユーザがログアウトされます。

使用方法:

```
xCommand Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout
```

xCommand Provisioning RoomType Activate

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

Web インターフェイスから構成されているルーム タイプのテンプレートを有効にします。

使用方法:

```
xCommand Provisioning RoomType Activate Name: Name
```

説明:

Name:

Briefing/Classroom/Standard

Briefing: ブリーフィング ルーム テンプレートを有効化します。

Classroom: 適用されません。

Standard: ルーム テンプレートをオフにします。

xCommand Provisioning Service Fetch

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスで使用されているサービスの詳細を記述する、一括カスタマイズ ファイルを更新します。

使用方法:

```
xCommand Provisioning Service Fetch [Checksum: "Checksum"] [ChecksumType: ChecksumType] [Mode: Mode] [Origin: Origin] URL: "URL"
```

説明:

Checksum:

文字列 (0, 128)

これは、ダウンロードした一括カスタマイズ ファイルを確認するために使用されます。このチェックは HTTP および HTTP(S) のダウンロードに必須です。HTTP については、これに署名なしと自己署名ありのいずれかの証明書を持つものが含まれます。

ただし、エンドポイントが信頼する自己署名付きの証明書では、HTTP(S) はチェックサムを必要とせず、署名なしの証明書のみが必要とします。

ChecksumType:

SHA512

チェックサムで使用されるアルゴリズム。

デフォルト値: SHA512

Mode:

Add/Replace

モードが Add に設定されている場合、アップロードされたファイルに記載されている項目はすべて既存の一括カスタマイズ ファイルに追加されます。

モードが Replace に設定されている場合、アップロードされた新しい一括カスタマイズ ファイルが以前にアップロードされたファイルと比較されます。新しいファイルに存在しない項目は削除されます。その他の新しい項目はすべて追加されます。

デフォルト値: Add

Origin:

Other/Provisioning

サービスをプロビジョニング用に使用するか、別の目的用に使用するかを指定します。

デフォルト値: Other

URL:

文字列 (0, 128)

一括カスタマイズ ファイルのURL。

Proximity コマンド

xCommand Proximity Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Proximity Services Deactivate によって非アクティブ化されたプロキシミティ サービスを再びアクティブにします。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Activate
```

xCommand Proximity Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このコマンドはエンドポイント上のすべての Proximity サービスを非アクティブ化します。Proximity サービスを再アクティブ化するには、コマンド xCommand Proximity Services Activate を使用します。

使用方法:

```
xCommand Proximity Services Deactivate
```

RoomPreset コマンド

xCommand RoomPreset Activate

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカルに保存されたプリセットの 1 つをアクティブ化します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Activate PresetId: PresetId
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

アクティブ化するプリセットの ID。

xCommand RoomPreset Clear

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プリセットを削除します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

使用方法:

```
xCommand RoomPreset Clear PresetId: PresetId
```

説明:

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

削除するプリセットの ID。

xCommand RoomPreset Store

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

すべてのビデオ入力ソースに対するコネクタの選択、およびすべてのカメラの現在の位置 (パンとチルト)、ズーム、フォーカスに関する値を保存します。

すべてのビデオ入力ソースに関する情報と、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、および焦点の値が同じプリセットに含まれることに注意してください。システムは、このような事前定義されたビデオ入力のプリセットを 15 個保持できます。これらのプリセットは遠端制御に使用できます (プリセットは xCommand FarEndControl Preset Activate コマンドの PresetId パラメータで参照されます)。これに対して、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。これらのプリセットは遠端制御に使用できません。

使用方法:

xCommand RoomPreset Store [Description: "Description"] PresetId: PresetId Type: Type

説明:

説明:

文字列 (0, 255)

カメラ プリセットの説明を入力します。

PresetId:

整数 (1 ~ 15)

このプリセットの ID。

Type:

All/Camera

適用なしカメラ位置に対してのみプリセットが有効になるようにするには、Camera を選択することを推奨します。

セキュリティ コマンド

xCommand Security Certificates CA Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスに CA セキュリティ証明書をアップロードします。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand Security Certificates CA Add

xCommand Security Certificates CA Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスから CA セキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

xCommand Security Certificates CA Delete Fingerprint: "Fingerprint"

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates CA Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates CA Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このデバイス上の CA セキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

xCommand Security Certificates CA Show [Format: Format]

説明:

Format:

PEM/Text

結果のフォーマットを指定します。

デフォルト値: Text

xCommand Security Certificates Services Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のセキュリティ証明書を有効化します。

使用方法:

xCommand Security Certificates Services Activate Fingerprint: "Fingerprint"

Purpose: Purpose

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

有効化される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

目的:

802.1X/HTTPS/Audit/SIP)

この証明書に適用されるタイプ オブ サービス (ToS)。

xCommand Security Certificates Services Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスにセキュリティ証明書をアップロードします。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand Security Certificates Services Add [PrivateKeyPassword: "PrivateKeyPassword"]

説明:

PrivateKeyPassword:

文字列 (0, 128)

パスワードの秘密キーの詳細を保存します。

デフォルト値: ""

xCommand Security Certificates Services Deactivate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のセキュリティ証明書を非アクティブ化します。

使用方法:

xCommand Security Certificates Services Deactivate Fingerprint: "Fingerprint"

Purpose: Purpose

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

非アクティブ化される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

目的:

802.1X/HTTPS/Audit/SIP)

この証明書に適用されるタイプ オブ サービス (ToS)。

xCommand Security Certificates Services Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスからセキュリティ証明書を削除します。

使用方法:

xCommand Security Certificates Services Delete Fingerprint: "Fingerprint"

説明:

Fingerprint:

文字列 (0, 128)

削除される証明書の固有識別子。xCommand Security Certificates Services Show を実行することにより、フィンガープリント ID を取得できます。

xCommand Security Certificates Services Show

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

このデバイス上のセキュリティ証明書の詳細を表示します。

使用方法:

xCommand Security Certificates Services Show [Filter: Filter] [Format: Format]

説明:

Filter:

802.1X/HTTPS/Audit/SIP

選択したサービスに基づいて結果をフィルター処理します。

Format:

PEM/Text

結果のフォーマットを指定します。

デフォルト値: Text

xCommand xCommand Security FIPSMODE Activate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

FIPS (140-2) モードをアクティブにします。FIPS モードのアクティブ化は、出荷時のデフォルトのリセットを意味します。

FIPS モード中に次の制限を適用: すべてのコールを暗号化します。Telnet や HTTP などの暗号化されていない通信プロトコルは使用できません。IEEE802.1x と SNMP はディセーブルです。リモート サポート ユーザは使用できません。ビデオ システムと HTTP プロキシの間では、ダイジェスト アクセス認証はサポートされていません。これはダイジェスト アクセス認証では FIPS で許可されていない MD5 暗号化ハッシュを使用するためです。この最後の制限は、Webex 登録ビデオ システムにのみ影響します。これは HTTP プロキシが Webex ソリューションにのみ使用されるためです。

FIPS モードを終了するには、ファクトリ リセットを実行します。

使用方法:

xCommand xCommand Security FIPSMODE Activate Confirm: Confirm

説明:

Confirm:

はい

FIPS モードでビデオ システムの設定を確認します。

xCommand Security Persistency

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

以下の機能を永続モードまたは非永続モードに設定します。非永続モードでは、特定の機能によって収集された情報はシステムの再起動後まで維持されません。デフォルトは永続モードです。このコマンドはシステムをリブートします。

使用方法:

xCommand Security Persistency Configurations: [Configurations](#) CallHistory: [CallHistory](#) InternalLogging: [InternalLogging](#) LocalPhonebook: [LocalPhonebook](#) DHCP: [DHCP](#) ConfirmAndReboot: [ConfirmAndReboot](#)

説明:

構成:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、システムを再起動するとすべての設定がデフォルトに戻ります。

CallHistory:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、システムを再起動すると通話履歴が削除されます。

InternalLogging:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、システムを再起動するとイベントログが削除されます。

LocalPhonebook:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、システムを再起動するとローカル電話帳が削除されます。

DHCP:

NonPersistent/Persistent

非永続モードでは、システムを再起動するとすべての IP 関連の情報が削除されます。

ConfirmAndReboot:

はい

システムをリブートします。

xCommand Security Session List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

アクティブなセッションの一覧を表示します。

使用方法:

xCommand Security Session List

xCommand Security Session Terminate

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

セッションを終了します。

使用方法:

xCommand Security Session Terminate SessionId: "[SessionId](#)"

説明:

SessionId:

文字列 (0, 32)

セッション ID 番号。

Standby コマンド

xCommand Standby Activate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

システムをスタンバイ モードに設定します。つまり、ビデオ出力をオフにして、カメラをスリープ モードにします。

使用方法:

```
xCommand Standby Activate
```

xCommand Standby Deactivate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

システムをスタンバイ モードからウェークアップさせます。

使用方法:

```
xCommand Standby Deactivate
```

xCommand Standby Halfwake

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

システムを「ハーフウェイク」の状態に設定します。この状態から起動するにはリモートをピックアップするかタッチ デバイスをタップするよう、UI からユーザに通知されます。

使用方法:

```
xCommand Standby Halfwake
```

xCommand Standby ResetHalfwakeTimer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

一時的なハーフウェイク タイマー遅延を設定します。リセット タイマーが設定されたときにシステムがハーフウェイク モードである場合、システムはハーフウェイク モードからウェークアップされます。指定された遅延時間だけアイドル状態が続くと、システムはハーフウェイク モードになります。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetHalfwakeTimer Delay: Delay
```

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

遅延を分単位で設定します。

xCommand Standby ResetTimer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

一時的なスタンバイ遅延を設定します。リセット タイマーが設定されているときにシステムがスタンバイ モードになった場合に、システムをスタンバイ モードから復帰させます。アイドル状態のまま指定の遅延時間が経過すると、システムはスタンバイ モードになります。リセット タイマーの設定は、Advanced configuration メニューの Standby Delay (または xConfiguration Standby Delay による設定) に影響しません。次回、この遅延が有効なスタンバイ遅延になります。

使用方法:

```
xCommand Standby ResetTimer Delay: Delay
```

説明:

Delay:

整数 (1 ~ 480)

遅延を分単位で設定します。

SystemUnit コマンド

xCommand SystemUnit Boot

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

システムをリブートします。

使用方法:

xCommand SystemUnit Boot [Action: Action]

説明:

アクション:

再起動/シャットダウン

デフォルトでは、リブート後にシステムが再起動されます。Shutdown を選択すると、システムは再起動しません。

デフォルト値: Restart

xCommand SystemUnit FactoryReset

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

工場出荷時設定にコーデックをリセットします。コールのログは削除され、システム パラメータはすべてデフォルト値にリセットされます。コーデックにアップロードされていたファイルは、すべて削除されます。オプション キーは影響を受けません。システムを工場出荷時状態にリセットするときに保持する設定とファイルを選択するには、Keep パラメータを使用します。

デフォルトでは工場出荷時状態にリセットするとシステムは再起動しますが、別の TrailingAction の選択によって、他の動作を強制できます。

使用方法:

xCommand SystemUnit FactoryReset Confirm: Confirm [Keep: Keep] [TrailingAction: TrailingAction]

説明:

Confirm:

はい

これを含めると、選択内容を確認します。

Keep:

Certificates/HTTP/LocalSetup/Network/Provisioning/SerialPort/Spark

システムを初期設定にリセットする際に、保持する設定とファイルを選択します。同じコマンドに最大 6 個の CallId パラメータを設定できます。

Certificates:

クライアントと CA 証明書。

HTTP

xConfiguration NetworkServices HTTP Mode

xConfiguration NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion

xConfiguration NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate

xConfiguration NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate

LocalSetup:

xConfiguration Audio DefaultVolume

xConfiguration Audio SoundsAndAlerts RingVolume

xConfiguration Time Zone

xConfiguration UserInterface Language

xConfiguration Video Output Connector OverscanLevel

xCommand Camera Preset Store

Network:

xConfiguration Network 1

xConfiguration NetworkServices Wifi Allowed

xConfiguration NetworkServices Wifi Enabled

Provisioning:

xConfiguration Provisioning Mode

SerialPort:

xConfiguration SerialPort Mode

xConfiguration SerialPort BaudRate

xConfiguration SerialPort LoginRequired

Spark:

xConfiguration Spark ServiceOverrides GdsBaseUrl

xConfiguration Spark ServiceOverrides U2CBaseUrl

xConfiguration Spark ServiceOverrides WdmBaseUrl

TrailingAction:

NoAction/Restart/Shutdown

デフォルトの動作 (Restart) を上書きするには、Shutdown または NoAction を選択します。

デフォルト値: Restart

xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

システムを初めて起動したときに表示されるウィザードを停止して、ウィザードを使用せずにシステムをセットアップできるようにします。システムを工場出荷時の設定にリセットした場合にのみ、ウィザードが再び表示されます。

使用方法:

xCommand SystemUnit FirstTimeWizard Stop

xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

xStatus SystemUnit Notifications Text/Type によって報告されたシステム通知のリストをクリアします。

使用方法:

xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll

xCommand SystemUnit OptionKey Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

追加機能をサポートするオプション キーを追加します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey Add Key: "Key"

説明:

凡例:

文字列 (16, 24)

オンにするオプションの受信済みキー。

xCommand SystemUnit OptionKey List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのオプション キーの一覧を表示します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey List

xCommand SystemUnit OptionKey Remove

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定したオプション キーを削除します。

使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey Remove Type: Type

説明:

タイプ:

RemoteMonitoring [DX70/DX80]

Encryption/RemoteMonitoring [SX10]

MultiSite/RemoteMonitoring [SX20]

Encryption/MultiSite/RemoteMonitoring [SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2]

xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

すべてのオプション キーを削除します。 使用方法:

xCommand SystemUnit OptionKey RemoveAll Confirm: Confirm

説明:

Confirm:

はい

xCommand SystemUnit ProductPlatform Set

適用対象: SX80 CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスのコーデックを交換し、これを新しいプラットフォーム タイプに設定します。 SX80 および Codec Pro の場合のみ。 Use with caution.

使用方法:

xCommand SystemUnit ProductPlatform Set Platform: Platform

説明:

プラットフォーム:

ROOM70D/ROOM70S [CodecPro, Room70G2]

ROOM70D/ROOM70S/ROOM55D [SX80]

このデバイスの新しいプラットフォーム コーデックを指定します。

xCommand SystemUnit SignInBanner Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたサインイン バナーをクリアします。

使用方法:

xCommand SystemUnit SignInBanner Clear

xCommand SystemUnit SignInBanner Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

xCommand SystemUnit SignInBanner Set で設定されたカスタム メッセージを取得します。

使用方法:

xCommand SystemUnit SignInBanner Get

xCommand SystemUnit SignInBanner Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

システムのユーザ インターフェイスにカスタム メッセージを使用したサインイン バナーを設定します。

Use:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set <enter>
```

```
Banner text <enter>
```

```
. <enter>
```

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SignInBanner Set
```

xCommand SystemUnit SoftReset

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ほとんどのパラメータをデフォルト値にリセットします。これには、ルーム設定に関連するパラメータ (カメラの位置、言語、音量など) は含まれません。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftReset Confirm: Confirm
```

説明:

Confirm:

はい

xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定の URL からソフトウェアを取得し、ソフトウェア アップグレードを実行します。

使用方法:

```
xCommand SystemUnit SoftwareUpgrade URL: "URL" [Forced: Forced]
```

説明:

URL:

文字列 (0、255)

ソフトウェア パッケージの場所の URL。

Forced:

False/True

更新を確認したり延期したりする機会をユーザに与えることなく、システムでソフトウェア アップグレードを常に即座に受け入れるよう設定できます。

デフォルト値: True

Time コマンド

xCommand Time DateTime Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムから時刻と日付を読み出します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Get
```

xCommand Time DateTime Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

NTP (ネットワーク タイム プロトコル) から取得できない場合に、システムの日時を設定します。

使用方法:

```
xCommand Time DateTime Set [Year: Year] [Month: Month] [Day: Day] [Hour: Hour]  
[Minute: Minute] [Second: Second]
```

説明:

平成 年度
整数 (2015 ~ 2037)

Month:
整数 (1 ~ 12)

Day:
整数 (1 ~ 31)

Hour:
整数 (0 ~ 23)

Minute:
整数 (0 ~ 59)

Second:
整数 (0 ~ 59)

UserInterface コマンド

xCommand UserInterface Branding Clear

適用対象: DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR

このデバイスからすべてのブランディング情報を消去します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Clear
```

xCommand UserInterface Branding Delete

適用対象: DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

選択した画像をこのデバイスから削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Delete Type: Type
```

説明:

Type:
Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding
このデバイスから削除するイメージを指定します。

xCommand UserInterface Branding Get

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

選択した画像を、可能な場合は要求されたサイズの base64/エンコード フォーマットで表示します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Get [Size: Size] Type: Type
```

説明:

サイズ:

Large/Small/Thumbnail

画像を表示するサイズを指定します。

デフォルト値: Large

Type:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

表示する画像を指定します。

xCommand UserInterface Branding Updated

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

選択したブランディング イメージを更新します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Updated Type: Type
```

説明:

タイプ:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

更新する画像を指定します。

xCommand UserInterface Branding Upload

適用対象: DX70/DX80、SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

このデバイスにブランディング イメージをアップロードし、選択したエリアにそれが表示されます。これは複数行コマンドです。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Branding Upload Type: Type
```

説明:

タイプ:

Background/Branding/HalfwakeBackground/HalfwakeBranding

アップロードされた画像を表示するエリアを指定します。

xCommand UserInterface Extensions Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

ビデオ システムからすべてのユーザ インターフェイス拡張機能 (ウィジェット) を削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Clear
```

xCommand UserInterface Extensions List

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ビデオ システムに存在するすべてのユーザ インターフェイス拡張機能 (ウィジェット) を一覧表示します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions List
```

xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ユーザが室内制御パネルをクリックしたときにイベントを作成します。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Clicked PanelId: "PanelId"

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

室内制御パネルの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Remove

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

このルーム システムのユーザ インターフェイスから室内制御パネルを削除します。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Remove PanelId: "PanelId"

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

室内制御パネルの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Panel Save

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

現在の設定に室内制御パネルを追加します。パネルは、設定に追加されますが、同じパネル ID を持つパネルがすでに存在する場合は上書きされます。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Panel Save PanelId: "PanelId"

説明:

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

室内制御パネルの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

ルーム システムのユーザ インターフェイス拡張機能 (ウィジェット) ですでに選択した構成スキームを設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。これは複数行コマンドです。

使用方法:

xCommand UserInterface Extensions Set ConfigId: "ConfigId"

説明:

ConfigId:

文字列 (0, 40)。

その構成の固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget Action

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

特定のウィジェットのアクションを設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget Action [Type: "Type"] [Value: "Value"]  
WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

タイプ:

文字列 (0, 255)

設定されるウィジェットのタイプ。

価値:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値。値の範囲は、ウィジェット タイプによって異なります。

PanelId (ペインID):

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

特定のウィジェットの値を設定します。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新します。値が範囲外の場合は、エラーを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget SetValue Value: "Value" WidgetId:  
"WidgetId"
```

説明:

価値:

文字列 (0, 255)

ウィジェットの値。値の範囲は、ウィジェット タイプによって異なります。

WidgetId (ウィジェットID):

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

特定のウィジェットの値を空にします。UserInterface Extensions ステータス ツリーを更新し、このウィジェットが選択されなくなったことをユーザ インターフェイスに通知します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Extensions Widget UnsetValue WidgetId: "WidgetId"
```

説明:

WidgetId (ウィジェットID):

文字列 (0, 255)

ウィジェットの固有識別子。

xCommand UserInterface Message Alert Clear

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

xCommand Message Alert Display コマンドを使用して表示されたメッセージを削除します。Duration パラメータが設定されていない場合、これは必須です。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Alert Clear
```

xCommand UserInterface Message Alert Display

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

指定した時間 (秒単位) の間、メッセージを画面に表示します。

注: Duration を設定しない場合は、このコマンドの後に xCommand Message Alert Clear コマンドが必要です。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message Alert Display [Title: "Title"] Text: "Text"  
[Duration: Duration]
```

説明:

Title:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

デフォルト値: ""

Text:

文字列 (0, 255)

表示するメッセージを入力します。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

期間:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージが画面に表示される時間 (秒単位) を設定します。0 (ゼロ) に設定すると xCommand Message Alert Clear メッセージが送信されるまでメッセージは消えません。

デフォルト値: 0

xCommand UserInterface Message Prompt Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

xCommand Message Alert Display コマンドを使用して表示されたウィンドウを削除します。ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

xCommand UserInterface Message Prompt Clear [FeedbackId: "FeedbackId"]

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は xCommand Message Prompt Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message Prompt Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

ユーザからの応答のために、画面上で小さなウィンドウにタイトル、テキストおよび最大 5 個のオプションを表示します。メッセージは、ユーザが応答するか、システムが xCommand Message Prompt Clear コマンドを受信するまで画面に表示されます。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

Title:

Text:

FeedbackId:

Option.1 ~ Option.5:

使用方法:

xCommand UserInterface Message Prompt Display [Title: "Title"] Text: "Text" [FeedbackId: "FeedbackId"] [Duration: Duration] [Option.1: "Option.1"] [Option.2: "Option.2"] [Option.3: "Option.3"] [Option.4: "Option.4"] [Option.5: "Option.5"]

説明:

Title:

文字列 (0, 255)

メッセージのタイトルを入力します。

Text:

文字列 (0, 255)

表示されるテキスト行を入力します。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

期間:

整数 (0, 3600)

メッセージ ウィンドウを画面に表示する時間の長さを設定します (秒単位)。0 (ゼロ) に設定すると、xCommand UserInterface Message Prompt Clear コマンドが送信される時点までウィンドウが表示されます。

デフォルト値: 0

Option.1:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプションに表示するテキストを入力します。

Option.2:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプションに表示するテキストを入力します。

Option.3:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプションに表示するテキストを入力します。

Option.4:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプションに表示するテキストを入力します。

Option.5:

文字列 (0, 255)

フィードバック オプションに表示するテキストを入力します。

xCommand UserInterface Message Prompt Response

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

xCommand Message Prompt Display への応答を提供します。

ユーザからのフィードバックを監視するには、xFeedback コマンドを使用します。このマニュアルの API の概要セクションの xFeedback コマンドに関する説明を参照してください。

使用方法:

xCommand UserInterface Message Prompt Response [FeedbackId: "FeedbackId"]

OptionId: OptionId

説明:

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

FeedbackId は xCommand Message Prompt Display コマンドによって指定された FeedbackId に対応します。

デフォルト値: ""

OptionId:

整数 (1 ~ 5)

OptionId は xCommand Message Prompt Display コマンドで可能な応答として指定した OptionId に対応します。

xCommand UserInterface Message TextInput Clear

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

テキスト入力メッセージを削除します。

使用方法:

xCommand UserInterface Message TextInput Clear

xCommand UserInterface Message TextInput Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

ユーザが応答できる入力ダイアログボックスを、Cisco TelePresence Touch 10、および Cisco DX80 メインスクリーンに表示します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextInput Display [Duration: Duration]
FeedbackId: "FeedbackId" [InputType: InputType] [KeyboardState: KeyboardState]
[Placeholder: "Placeholder"] [SubmitText: "SubmitText"] Text: "Text" [Title:
"Title"]
```

説明:

期間:

整数 (0 ~ 3600)

メッセージが画面に表示される時間 (秒単位) を設定します。0 (ゼロ) に設定すると、xCommand UserInterface Message TextInput Clear メッセージが送信される時点までメッセージは消えません。

デフォルト値: 0

FeedbackId:

文字列 (0, 255)

フィードバックを識別するには、FeedbackId を入力します。

InputType:

SingleLine/Numeric/Password/PIN

表示されるテキスト入力ダイアログボックスの種類を設定します。これにより、表示されるキーボード レイアウトも決定されます。

デフォルト値: SingleLine

KeyboardState:

Open/Closed

テキスト入力メッセージが表示されるときにデバイスのキーボードを開くかどうかを指定します。

デフォルト値: Open

Placeholder:

文字列 (0, 255)

フォーカスされる前の入力ダイアログボックスに表示されるプレースホルダ テキストを格納します。

デフォルト値: ""

SubmitText:

文字列 (0, 32)

キーボード上の緑色の「送信」ボタンに表示されるテキスト。

デフォルト値: "OK"

Text:

文字列 (0, 128)

ユーザに表示されるメッセージ。

Title:

文字列 (0, 40)

入力ダイアログボックスのタイトル。

デフォルト値: ""

xCommand UserInterface Message TextLine Clear

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

xCommand Message TextLine Display コマンドで定義されたテキスト行をクリアします。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Message TextLine Clear
```

xCommand UserInterface Message TextLine Display

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

画面上にテキスト行を表示します。オプションとして、指定した場所に、指定した時間 (秒単位) テキスト行を表示できます。

注: Duration を設定しない場合は、このコマンドの後に xCommand Message TextLine Clear コマンドが必要です。

使用方法:

xCommand UserInterface Message TextLine Display Text: "Text" [X: X] [Y: Y]
[Duration: Duration]

説明:

Text:

文字列 (0, 140)

表示されるテキスト行を入力します。<p> および
 HTML タグを使用すると、通常どおり改行されます。他のタグはプレーン テキストとして表示されます。

X:

整数 (1 ~ 10000)

画面上的 X 座標 (水平) を入力します。X=0 では左上隅に表示されます。

デフォルト値: 0

Y:

整数 (1 ~ 10000)

画面上的 Y 座標 (垂直) を入力します。Y=0 では左上隅に表示されます。

デフォルト値: 0

期間:

整数 (0 ~ 3600)

テキスト行が画面に表示される時間 (秒単位) を設定します。0 (ゼロ) に設定すると、xCommand Message TextLine Clear が送信されるまでテキスト行が表示されます。

デフォルト値: 0

xCommand UserInterface OSD Key Click

適用対象: DX70/DX80、SX10、SX20

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート コントロール キー押下と後に続くキー解放をエミュレートします。

使用方法:

xCommand UserInterface OSD Key Click Key: Key

説明:

凡例:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/C/Call/Disconnect/Down/F1/F2/F3/F4/F5/Grab/Home/Layout/Left/Mute/MuteMic/Ok/PhoneBook/Presentation/Right/Selfview/Square/SrcAux/SrcCamera/SrcDocCam/SrcPc/SrcVcr/Star/Up/VolumeDown/VolumeUp/ZoomIn/ZoomOut/+/-

押すリモート キーを定義します。

xCommand UserInterface OSD Key Press

適用対象: DX70/DX80、SX10、SX20

必要なユーザー ロール: ADMIN

リモート コントロール キーを押したままの状態をエミュレートします。キーの解放をエミュレートするには、Key Press コマンドの後に

Key Release コマンドを続けてキー解放をエミュレートする必要があります。

使用方法:

xCommand UserInterface OSD Key Press Key: Key

説明:

凡例:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/C/Call/Disconnect/Down/F1/F2/F3/F4/F5/Grab/Home/Layout/Left/Mute/MuteMic/Ok/PhoneBook/Presentation/Right/Selfview/Square/SrcAux/SrcCamera/SrcDocCam/SrcPc/SrcVcr/Star/Up/VolumeDown/VolumeUp/ZoomIn/ZoomOut/+/-

押すリモート キーを定義します。

xCommand UserInterface OSD Key Release

適用対象: DX70/DX80、SX10、SX20

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート コントロールのキー解放をエミュレートします。Key Release コマンドは Key Press コマンドの後に発行されます。

使用方法:

xCommand UserInterface OSD Key Release Key: Key

説明:

凡例:

0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/C/Call/Disconnect/Down/F1/F2/F3/F4/F5/Grab/Home/Layout/Left/Mute/MuteMic/Ok/PhoneBook/Presentation/Right/Selfview/Square/SrcAux/SrcCamera/SrcDocCam/SrcPc/SrcVcr/Star/Up/VolumeDown/VolumeUp/ZoomIn/ZoomOut/+/-

解放するリモート コントロール キーを定義します。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

外部スイッチ経由でビデオ システムに接続される入力ソースを確立し、設定します。

使用方法:

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Add ConnectorId: ConnectorId
SourceIdentifier: "SourceIdentifier" Name: "Name" Type: Type

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (2 ~ 3) [SX10]

整数 (1 ~ 3) [SX20]

整数 (1 ~ 5) [SX80、MX700/MX800/MX800D]

整数 (0 ~ 5) [RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room55、Room70/Room55D、Room70G2]

整数 (2 ~ 4) [MX200G2/MX300G2]

整数 (2 ~ 2) [DX70/DX80]

外部スイッチに接続されるビデオ システム コネクタの ID。

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0、40)。

入力ソースを識別する一意の文字列。この識別子は、この特定の入力ソースのアドレッシング時に他のコマンドやイベントによって使用されます。

Name:

文字列 (0、40)。

入力ソースの名前。この名前がユーザ インターフェイスに表示されます。

Type:

camera/desktop/document_camera/mediaplayer/PC/whiteboard/other

入力ソースのタイプ。このタイプにより、ユーザ インターフェイスに表示されるアイコンが決まります。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

現在の外部入力ソースのリストを返します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource List
```

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

外部入力ソースのリストから、SourceIdentifier で指定した入力ソースを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Remove SourceIdentifier:  
"SourceIdentifier"
```

説明:

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)。

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

外部入力ソースのリストから、すべての入力ソースを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll
```

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザー ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL、USER

SourceIdentifier で指定した入力ソースが Ready 状態である場合に、そのソースを表示し始めます (UserInterface Presentation ExternalSource State Set コマンドを参照)。入力ソースは、ユーザー インターフェイスの共有トレイに「Presenting」と表示されます。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource Select SourceIdentifier:  
"SourceIdentifier"
```

説明:

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)。

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、ROOMCONTROL

SourceIdentifier で指定された入力ソースの状態を設定または変更します。

使用方法:

```
xCommand UserInterface Presentation ExternalSource State Set SourceIdentifier:  
"SourceIdentifier" State: State [ErrorReason: "ErrorReason"]
```

説明:

SourceIdentifier (ソース識別子):

文字列 (0, 40)。

この入力ソースを識別する一意の文字列。これは、UserInterface Presentation ExternalSource Add コマンドでソースが作成されたときに定義されたものです。

状態:

Hidden/Ready/NotReady/Error

Ready: いずれかのユーザが (ユーザ インターフェイスでタップするか UserInterface Presentation ExternalSource Select コマンドを発行することにより) 入力ソースを選択すると、それが表示されます。

NotReady: 入力ソースの準備ができていないため、選択できません。

Error: 入力ソースが誤った状態です。障害の理由をユーザに通知するために ErrorReason パラメータを使用できます。

Hidden: この入力ソースは、ユーザ インターフェイスの共有トレイに表示されません。

ErrorReason:

文字列 (0, 80)

State パラメータが Error に設定されている場合、この文字列がユーザ インターフェイスの共有トレイに表示されます。

デフォルト値: ""

UserManagement コマンド

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

テクニカル アシスタンス センター (TAC) がトラブルシューティングの際にシステムにアクセスするために使用できる、リモート サポート ユーザ パスフレーズを作成します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create [ExpiryDays: ExpiryDays]
```

説明:

ExpiryDays:

整数 (1 ~ 31)

パスフレーズの有効性の期間を定義します。デフォルトは 7 日間です。

xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

コマンド xCommand UserManagement RemoteSupportUser Create で作成したリモート サポート ユーザを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement RemoteSupportUser Delete
```


xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

新しいリモート サポート ユーザの作成をディセーブルにします。リモート サポート ユーザを再び有効にするには、システムを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。

使用方法:

xCommand UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently Confirm: Confirm

説明:

Confirm:

はい

xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

リモート サポート ユーザが生成されている場合にその状態を取得します。

使用方法:

xCommand UserManagement RemoteSupportUser GetState

xCommand UserManagement User Add

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスに新しいユーザを追加します。

使用方法:

xCommand UserManagement User Add [Active: Active] [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] [Passphrase: "Passphrase"] [PassphraseChangeRequired: PassphraseChangeRequired] [PinChangeRequired: PinChangeRequired] [Role: Role] [ShellLogin: ShellLogin] Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]

説明:

アクティブ:

False/True

このユーザがアクティブ ユーザかどうかを指定します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

パスフレーズ:

文字列 (0, 255)

ユーザのパスフレーズを指定します。

PassphraseChangeRequired:

False/True

ユーザのパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

PinChangeRequired:

False/True

ユーザの暗証番号を変更する必要があるかどうかを指定します。

権限:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

ユーザのロールを設定します。

ShellLogin:

False/True

ユーザがシェル ログインを必要とするかどうかを指定します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザのユーザ名を指定します。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Delete

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイスからユーザを削除します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Delete Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

Username:

文字列 (0, 127)

削除されるユーザのユーザ名を指定します。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

削除されるユーザのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Get

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のユーザの詳細を表示します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Get [ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"]  
[Username: "Username"]
```

説明:

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザ名を指定すると、特定のユーザの詳細を表示します。

xCommand UserManagement User List

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

このデバイス上のユーザの一覧を表示します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User List [Limit: Limit] [Offset: Offset]
```

説明:

Limit:

整数 (0 ~ 65536)

表示される結果の数を制限します。

デフォルト値: 0

Offset:

整数 (0 ~ 65536)

提供された以上のオフセットを含む行を表示します。

デフォルト値: 0

xCommand UserManagement User Modify

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN

特定のユーザの詳細を変更します。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Modify [Active: Active] [AddRole: AddRole]
[ClientCertificateDN: "ClientCertificateDN"] [PassphraseChangeRequired:
PassphraseChangeRequired] [PinChangeRequired: PinChangeRequired] [RemoveRole:
RemoveRole] [ShellLogin: ShellLogin] [Unblock: Unblock] Username: "Username"
[YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

アクティブ:

False/True

このユーザがアクティブ ユーザかどうかを指定します。

AddRole:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

指定したユーザに新しいロールを追加します。

ClientCertificateDN:

文字列 (0, 255)

ユーザ名とパスワードではなくクライアント証明書を使用してログインするユーザを識別します。

PassphraseChangeRequired:

False/True

ユーザのパスフレーズを変更する必要があるかどうかを指定します。

PinChangeRequired:

False/True

ユーザの暗証番号を変更する必要があるかどうかを指定します。

RemoveRole:

Admin/Audit/Integrator/RoomControl/User

指定したユーザからロールを削除します。

ShellLogin:

False/True

ユーザがシェル ログインを必要とするかどうかを指定します。

Unblock:

False/True

ログイン試行回数が多すぎるためにブロックされているユーザのブロックを解除します。

Username:

文字列 (0, 127)

ユーザのユーザ名を指定します。

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

ユーザのパスフレーズ。

xCommand UserManagement User Passphrase Change

適用対象: すべての製品

必要なユーザー ロール: ADMIN, AUDIT, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

ログイン時に使用するユーザのパスフレーズを変更します。管理者としてログインしている場合、これによって管理者パスフレーズが変更されます。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Change NewPassphrase: "NewPassphrase"
OldPassphrase: "OldPassphrase"
```

説明:

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

OldPassphrase:

文字列 (0, 255)

xCommand UserManagement User Passphrase Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN

指定したユーザのユーザ パスフレーズを設定します。ユーザ パスフレーズを設定するには、管理者としてログインする必要があります。

使用方法:

```
xCommand UserManagement User Passphrase Set NewPassphrase: "NewPassphrase"  
Username: "Username" [YourPassphrase: "YourPassphrase"]
```

説明:

NewPassphrase:

文字列 (0, 255)

Username:

文字列 (0, 127)

YourPassphrase:

文字列 (0, 255)

Video コマンド

xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

通話中のスピーカーの PIP (ピクチャ イン ピクチャ) の位置を設定します。

使用方法:

```
xCommand Video ActiveSpeakerPIP Set Position: Position
```

説明:

対象:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

事前定義された位置のいずれか 1 つを選択します。

xCommand Video CEC Input KeyClick

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

入力デバイスからリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

xCommand Video CEC Input KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
[LogicalAddress: LogicalAddress] [NamedKey: NamedKey]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1 ~ 5) [*CodecPro、Room70G2*]

整数 (1 ~ 3) [*RoomKit、CodecPlus、Room55、Room70/Room55D*]

コネクタの固有識別子。

凡例:

整数 (0 ~ 255)

CEC は、リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

LogicalAddress:

整数 (0 ~ 15)

接続デバイスの論理アドレス。

NamedKey:

Up/Down/Right/Left/Ok/Back/Stop/Play)

リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーの名前。

xCommand Video CEC Output KeyClick

適用対象: *SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

このデバイスからのリモート コントロール キー クリック イベントを模倣します。

使用方法:

xCommand Video CEC Output KeyClick ConnectorId: ConnectorId [Key: Key]
LogicalAddress: LogicalAddress [NamedKey: NamedKey]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1 ~ 1) [*SX10*]

整数 (1 ~ 3) [*RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*]

コネクタの固有識別子。

凡例:

整数 (0 ~ 255)

CEC は、リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーのキー コードを指定します。

LogicalAddress:

整数 (0 ~ 15)

接続デバイスの論理アドレス。

NamedKey:

Up/Down/Right/Left/Ok/Back/Stop/Play)

リモート制御で押された場合と同じようにデバイスの論理アドレスに送信されるキーの名前。

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest

適用対象: *SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR

接続されたデバイスがアクティブであるかどうかを検出する、このデバイスからの要求。

使用方法:

xCommand Video CEC Output SendActiveSourceRequest [ConnectorId: ConnectorId]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1 ~ 1) [*SX10*]

整数 (1 ~ 3) [*RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*]

コネクタの固有識別子。

xCommand Video Input SetMainVideoSource

適用対象: *DX70/DX80, SX20, SX80, MX200G2/MX300G2, MX700/MX800/MX800D, RoomKit, CodecPlus, CodecPro, Room55, Room70/Room55D, Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

メイン ビデオ ソースとなる入力ソースを設定します。入力ソースは、接続先の物理コネクタ (ConnectorId) または論理ソース識別子 (SourceId) で識別できます。

同じコマンドで ConnectorId または SourceId を複数追加することにより、単一のメイン ビデオ ストリームに最大 4 つの入力ソースを混合できます (入力ソースの最大数はビデオ システムのタイプによって異なります)。同じコマンドに複数の識別子タイプを混在させることはできません。ConnectorId か SourceId のいずれかを使用してください。DX70 と DX80 は、そのような入力ソースの組み合わせをサポートしていません。

使用方法:

xCommand Video Input SetMainVideoSource [ConnectorId: ConnectorId] [Layout: Layout] [SourceId: SourceId]

説明:

ConnectorID (コネクタID):

整数 (1 ~ n)

コネクタの一意の識別子 (ID)。コネクタ [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Connector を実行します。

レイアウト:

Equal/PIP

メイン ビデオ ソースが複数の入力ソースで構成される場合、メイン ビデオ ソースのレイアウトを設定します。

SourceId:

整数 (1 ~ n)

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Input Source SetActiveConnector

適用対象: *SX10 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

アクティブにするコネクタを選択します。

SX80、MX700、および MX800 では、入力コネクタ 4 (DVI-I) とコネクタ 5 (S ビデオまたはコンポジット) を同時にアクティブにすることはできません。

使用方法:

xCommand Video Input Source SetActiveConnector [ConnectorId: ConnectorId]

説明:

ConnectorId (コネクタID):

整数 (4 ~ 5) [*SX80、MX700/MX800/MX800D*]

整数 (2 ~ 4) [*MX200G2/MX300G2*]

整数 (2 ~ 3) [*SX10*]

コネクタの一意の識別子 (ID)。コネクタ [n] の ID は n です。コネクタ ID を調べるには、Video Input Connector の状態を確認します。SX80 および MX700/MX800 では、コネクタ ID はコーデックのコネクタ パネルにも印字されています。

xCommand Video Layout LayoutFamily Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

画面レイアウト モードを選択します。

使用方法:

xCommand Video Layout LayoutFamily Set [Target: Target] LayoutFamily: LayoutFamily [CustomLayoutName: "CustomLayoutName"]

説明:

ターゲット:

ローカル/リモート

ターゲットがローカル レイアウトかリモート レイアウトかを選択します。

LayoutFamily:

auto/custom/equal/overlay/prominent/single

レイアウト ファミリを選択します。

CustomLayoutName:

文字列 (1, 128)

レイアウトの名前を入力します。

xCommand Video Matrix Assign

適用対象: SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

Video Matrix コマンドは xCommand Video Layout コマンドへのスマート オーバーレイで、シンプルな映像合成を容易にします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Assign [Mode: Mode] Output: Output SourceId: SourceId

説明:

Mode:

Add/Replace

既存のソースをその出力が表示される全画面に戻すか、追加するかを選択します。Add を使用すると、レイアウト エンジンが自動的に複数のソースを再構成します。デフォルトは Replace です。

出力:

整数 (1 ~ 2) [SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

このレイアウトで使用する出力を選択します。

SourceId:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro、Room70G2]

整数 (1 ~ 3) [SX20]

整数 (1 ~ 4) [SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Matrix Reset

適用対象: SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

出力のコンテンツをデフォルト レイアウトにリセットします

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Reset [Output: Output]

説明:

出力:

整数 (1 ~ 2) [SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

リセットする出力を選択します。

xCommand Video Matrix Swap

適用対象: SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

xCommand Video Matrix Assign によって定義したコンテンツを 2 つの出力間でスワップします。

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に行えるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Swap OutputA: OutputA OutputB: OutputB

説明:

OutputA:

整数 (1 ~ 2) [SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

切り替え元の出力。

OutputB:

整数 (1 ~ 2) [SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

スワッピング先の出力。

xCommand Video Matrix Unassign

適用対象: SX20、SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus、CodecPro、Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

出力からソースを削除します。xCommand Video Matrix Assign の場合と同様に、レイアウト エンジンが自動的に残りのソースを再構成します。

xCommand Video Matrix コマンドは、xCommand Video Layout コマンドのスマート オーバーレイです。シンプルなビデオ構成を簡単に実行できるようにします。

使用方法:

xCommand Video Matrix Unassign Output: Output SourceId: SourceId

説明:

出力:

整数 (1 ~ 2) [SX20、MX200G2/MX300G2、RoomKit、CodecPlus]

整数 (1 ~ 3) [SX80、MX700/MX800/MX800D、CodecPro、Room70G2]

ソースを削除する出力を選択します。

SourceId:

整数 (1 ~ 6) [CodecPro、Room70G2]

整数 (1 ~ 3) [SX20]

整数 (1 ~ 4) [SX80、MX200G2/MX300G2、MX700/MX800/MX800D、RoomKit、CodecPlus]

入力ソースの識別子 (ID)。入力ソース [n] には ID n が付いています。ID を検索するには、API コマンド xStatus Video Input Source を実行します。

xCommand Video Output Monitor Backlight Set

適用対象: MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタのバックライトを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Backlight Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Brightness Set

適用対象: MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの明るさを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Brightness Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Blue Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの青のレベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Color Blue Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Green Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの緑のレベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Color Green Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Red Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの赤のレベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Color Red Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Color Select

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの色温度を調整します。

使用方法:

xcommand Video Output Monitor Color Select position: position value: value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

4900K/5500K/6500K/7200K/9300K/10500K/12000K/User [MX700/MX800/MX800D]

4900K/5500K/6500K/7200K/9300K/10500K/12000K [Room70/Room55D, Room70G2]

xCommand Video Output Monitor Contrast Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタのコントラスト レベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Contrast Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

整数 (0 ~ 100)

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor CSC Select

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの色空間を選択します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor CSC Select Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

RGB/YUV

RGB または YUV を選択します。

xCommand Video Output Monitor Gamma Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタのガンマ レベルを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Gamma Set Position: Position Value: Value

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値:

1.5/1.6/1.7/1.8/1.9/2.0/2.1/2.2/2.3/2.4/2.5/2.6/2.7

レベルを選択します。

xCommand Video Output Monitor Reset

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの設定をリセットします (Room 55 Dual では使用できません)。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Reset Position: Position

説明:

対象:

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

xCommand Video Output Monitor Sharpness Set

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN

モニタの画像のシャープさを調整します。

使用方法:

xCommand Video Output Monitor Sharpness Set Position: Position Value: Value

説明:

対象

Left/Right

左側または右側のどちらの統合画面にコマンドを適用するかを選択します。このパラメータは、統合された画面を 2 つ使用するビデオ システム (デュアル スクリーン システム) でのみ表示されます。

価値

Softest/Soft/Normal/Sharp/Sharpest

レベルを選択します。

xCommand Video PresentationPIP Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プレゼンテーションの PIP (ピクチャインピクチャ) の位置を設定します。

使用方法:

xCommand Video PresentationPIP Set Position: Position

説明:

対象

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

事前定義された位置のいずれか 1 つを選択します。

xCommand Video PresentationView Set

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

プレゼンテーション ビュー モードを設定します。

使用方法:

xCommand Video PresentationView Set View: View

説明:

表示

Default/Maximized/Minimized

コーデックのデフォルト設定でプレゼンテーションを表示するには、[デフォルト (Default)] を選択します。プレゼンテーションをフル スクリーンで表示する場合は、Maximized を選択します。選択したプレゼンテーションを小さい画像で画面上に表示するには、[縮小 (Minimized)] を選択します。

xCommand Video Selfview Set

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

セルフビューをオンまたはオフに設定してサイズと位置を指定します。パラメータを指定しない場合は現在の値が使用されます。

使用方法:

```
xCommand Video Selfview Set [Mode: Mode] [FullscreenMode: FullscreenMode]  
[PIPPosition: PIPPosition] [OnMonitorRole: OnMonitorRole]
```

説明:

Mode:

On/Off

セルフビューをオンまたはオフに設定します。

FullscreenMode:

On/Off

セルフビューを全画面表示するか、ピクチャ イン ピクチャで表示するかを選択します。

PIPPosition:

CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight/UpperCenter/UpperLeft/UpperRight

セルフビュー イメージの位置を選択します。

OnMonitorRole:

First/Second/Third

このロールのモニタにセルフビューを表示します。

第 5 章

xStatus コマンド

xStatus コマンドの説明

この章では、すべての xStatus コマンドと応答を示します。ステータス タイプのコマンドは、システムおよびシステム プロセスに関する情報を返します。すべての情報や一部の情報を照会できます。マニュアルの更新バージョンがないか、定期的に Web サイトにアクセスすることを推奨します。

移動先: [▶https://www.cisco.com/go/telepresence/docs](https://www.cisco.com/go/telepresence/docs)

Audio ステータス.....	269	xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs.....	275
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus.....	269	xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode.....	275
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle.....	269	xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus.....	275
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status.....	269	xStatus Audio Output Connectors Line [n] DelayMs.....	275
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone.....	269	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels.....	276
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus.....	270	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n].....	276
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description.....	270	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain.....	276
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer.....	270	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker.....	276
xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] EcReferenceDelay.....	270	xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name.....	277
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus.....	271	xStatus Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled.....	277
xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay.....	271	xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay.....	277
xStatus Audio Input KeyClick Attenuate.....	271	xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay.....	277
xStatus Audio Input KeyClick Detected.....	271	xStatus Audio Output MeasuredHdmiCecDelay.....	278
xStatus Audio Input KeyClick Enabled.....	272	xStatus Audio Output RemoteOutput [n] CallId.....	278
xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC.....	272	xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain.....	278
xStatus Audio Input LocalInput [n] Channels.....	272	xStatus Audio SelectedDevice.....	278
xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector.....	272	xStatus Audio Volume.....	279
xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct.....	273	xStatus Audio VolumeHandsetUsb.....	279
xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode.....	273	xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog.....	279
xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute.....	273	xStatus Audio VolumeHeadsetUsb.....	279
xStatus Audio Input LocalInput [n] Name.....	273	xStatus Audio VolumeInternal.....	280
xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId.....	274	xStatus Audio VolumeMute.....	280
xStatus Audio Microphones Mute.....	274		
xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs.....	274	Bookings ステータス.....	280
xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] Mode.....	274	xStatus Bookings Current Id.....	280

Call ステータス	281	xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom	288
xStatus Call [n] AnswerState	281	xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber.....	289
xStatus Call [n] AttendedTransferFrom.....	281	xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID.....	289
xStatus Call [n] CallbackNumber	281	xStatus Cameras PresenterTrack Availability	289
xStatus Call [n] CallType	281	xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected	289
xStatus Call [n] DeviceType	282	xStatus Cameras PresenterTrack Status.....	290
xStatus Call [n] Direction	282	xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	290
xStatus Call [n] DisplayName.....	282	xStatus Cameras SpeakerTrack Availability	290
xStatus Call [n] Duration	282	xStatus Cameras SpeakerTrack Status	290
xStatus Call [n] Encryption Type.....	283		
xStatus Call [n] FacilityServiceId	283	Capabilities ステータス	291
xStatus Call [n] HoldReason	283	xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls.....	291
xStatus Call [n] PlacedOnHold.....	283	xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls.....	291
xStatus Call [n] Protocol	284	xStatus Capabilities Conference MaxCalls	291
xStatus Call [n] ReceiveCallRate.....	284	xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls.....	291
xStatus Call [n] RemoteNumber	284		
xStatus Call [n] Status.....	284	Conference ステータス	292
xStatus Call [n] TransmitCallRate.....	285	xStatus Conference ActiveSpeaker CallId	292
		xStatus Conference Call [n] BookingId.....	292
Cameras ステータス	285	xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	292
xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options	285	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode.....	292
xStatus Cameras Camera [n] Connected.....	285	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets.....	293
xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector.....	286	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources.....	293
xStatus Cameras Camera [n] Flip.....	286	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	293
xStatus Cameras Camera [n] Framerate	286	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options	293
xStatus Cameras Camera [n] HardwareID.....	286	xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId	294
xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions.....	286	xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold.....	294
xStatus Cameras Camera [n] MacAddress	287	xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status.....	294
xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer	287	xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation.....	294
xStatus Cameras Camera [n] Model.....	287	xStatus Conference Call [n] Manufacturer	295
xStatus Cameras Camera [n] Position Focus.....	287	xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted.....	295
xStatus Cameras Camera [n] Position Lens.....	288	xStatus Conference Call [n] SoftwareID	295
xStatus Cameras Camera [n] Position Pan.....	288	xStatus Conference DoNotDisturb.....	295
xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt.....	288	xStatus Conference Line [n] Mode.....	296

xStatus Conference Multipoint Mode.....	296	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction.....	303
xStatus Conference Presentation CallId	296	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption.....	303
xStatus Conference Presentation LocallInstance [n] SendingMode.....	296	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes.....	304
xStatus Conference Presentation LocallInstance [n] Source.....	297	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate	304
xStatus Conference Presentation Mode	297	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter.....	304
xStatus Conference SpeakerLock CallId	297	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost	304
xStatus Conference SpeakerLock Mode	297	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived	305
Diagnostics ステータス	298	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss	305
xStatus Diagnostics Message [n] Description	298	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter.....	305
xStatus Diagnostics Message [n] Level.....	298	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets.....	305
xStatus Diagnostics Message [n] References	298	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId.....	306
xStatus Diagnostics Message [n] Type.....	299	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type	306
GPIO ステータス	299	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole	306
xStatus GPIO Pin [n] State	299	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate	306
H323 ステータス	300	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol	307
xStatus H323 Gatekeeper Address.....	300	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX	307
xStatus H323 Gatekeeper Port	300	xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY.....	307
xStatus H323 Gatekeeper Reason	300	Network ステータス	308
xStatus H323 Gatekeeper Status.....	300	xStatus Network [n] CDP Address.....	308
xStatus H323 Mode Reason	301	xStatus Network [n] CDP Capabilities	308
xStatus H323 Mode Status	301	xStatus Network [n] CDP Deviceld.....	308
HttpFeedback ステータス	301	xStatus Network [n] CDP Duplex.....	308
xStatus HttpFeedback [n] Expression [n].....	301	xStatus Network [n] CDP Platform	309
xStatus HttpFeedback [n] Format.....	301	xStatus Network [n] CDP PortID	309
xStatus HttpFeedback [n] Status	302	xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress.....	309
xStatus HttpFeedback [n] URL	302	xStatus Network [n] CDP SysName	309
MediaChannels ステータス	302	xStatus Network [n] CDP SysObjectID.....	310
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels.....	302	xStatus Network [n] CDP Version	310
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute.....	302	xStatus Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID.....	310
xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol	303	xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain.....	310
		xStatus Network [n] DNS Domain Name	311
		xStatus Network [n] DNS Server [n] Address	311
		xStatus Network [n] Ethernet MacAddress	311
		xStatus Network [n] Ethernet Speed	311

xStatus Network [n] IPv4 Address	312	xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	320
xStatus Network [n] IPv4 Gateway	312	xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status	320
xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask	312	xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	320
xStatus Network [n] IPv6 Address	312	xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL	320
xStatus Network [n] IPv6 Gateway	313	xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	321
xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	313	xStatus Provisioning Status	321
xStatus Network [n] VLAN Voice VlanId	313		
NetworkServices ステータス	314	Proximity ステータス	321
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress	314	xStatus Proximity Services Availability	321
xStatus NetworkServices NTP Server [n] Address	314		
xStatus NetworkServices NTP Status	314	RoomAnalytics ステータス	322
		xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current	322
Peripherals ステータス	315	xStatus RoomAnalytics PeoplePresence	322
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo	315		
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID	315	RoomPreset ステータス	322
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name	315	xStatus RoomPreset	322
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	315	xStatus RoomPreset [n] Defined	322
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status	316	xStatus RoomPreset [n] Description	322
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type	316	xStatus RoomPreset [n] Type	323
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	316		
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	316	Security ステータス	323
xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	317	xStatus Security FIPS Mode	323
		xStatus Security Persistency CallHistory	323
Provisioning ステータス	317	xStatus Security Persistency Configurations	324
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	317	xStatus Security Persistency DHCP	324
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId	317	xStatus Security Persistency InternalLogging	324
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	318	xStatus Security Persistency LocalPhonebook	324
xStatus Provisioning RoomType	318		
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt	318	SIP ステータス	325
xStatus Provisioning Software Current URL	318	xStatus SIP AlternateURI Alias [n] URI	325
xStatus Provisioning Software Current VersionId	319	xStatus SIP AlternateURI Primary [n] URI	325
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	319	xStatus SIP Authentication	325
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message	319	xStatus SIP CallForward DisplayName	325
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase	319	xStatus SIP CallForward Mode	326
		xStatus SIP CallForward URI	326

xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting	326	xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	334
xStatus SIP Mailbox URI	326	xStatus SystemUnit Uptime	334
xStatus SIP Proxy [n] Address	327	Time ステータス	335
xStatus SIP Proxy [n] Status	327	xStatus Time SystemTime	335
xStatus SIP Registration [n] Authentication	327	UserInterface ステータス	335
xStatus SIP Registration [n] Reason	327	xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	335
xStatus SIP Registration [n] Status	328	xStatus UserInterface ContactInfo Name	335
xStatus SIP Registration [n] URI	328	xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value	336
xStatus SIP Secure	328	xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	336
xStatus SIP Verified	328	Video ステータス	337
Standby ステータス	329	xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition	337
xStatus Standby PowerSave State	329	xStatus Video Input Connector [n] Connected	337
xStatus Standby State	329	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	337
SystemUnit ステータス	329	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	337
xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel	329	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	338
xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber	329	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	338
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status	330	xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	338
xStatus SystemUnit Hardware Temperature	330	xStatus Video Input Connector [n] SignalState	338
xStatus SystemUnit Hardware TemperatureThreshold	330	xStatus Video Input Connector [n] SourceId	339
xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Text	330	xStatus Video Input Connector [n] Type	339
xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type	331	xStatus Video Input MainVideoSource	339
xStatus SystemUnit ProductId	331	xStatus Video Input Source [n] ConnectorId	339
xStatus SystemUnit ProductPlatform	331	xStatus Video Input Source [n] FormatStatus	340
xStatus SystemUnit ProductType	331	xStatus Video Input Source [n] FormatType	340
xStatus SystemUnit Software DisplayName	332	xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId	340
xStatus SystemUnit Software Name	332	xStatus Video Input Source [n] Resolution Height	340
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption	332	xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	341
xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite	332	xStatus Video Input Source [n] Resolution Width	341
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	333	xStatus Video Layout LayoutFamily Local	341
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate	333	xStatus Video Layout LayoutFamily Remote	341
xStatus SystemUnit Software Version	333	xStatus Video Monitors	342
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls	333	xStatus Video Output Connector [n] Connected	342
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	334		

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	342
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress.....	342
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	343
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerControl.....	343
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	343
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	343
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	344
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	344
xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	344
xStatus Video Output Connector [n] MonitorRole	344
xStatus Video Output Connector [n] Resolution Height	345
xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate	345
xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width	345
xStatus Video Output Connector [n] Type.....	345
xStatus Video Output Monitor [n] Backlight.....	346
xStatus Video Output Monitor [n] Brightness	346
xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Blue	346
xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Green	346
xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Red	347
xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected	347
xStatus Video Output Monitor [n] Contrast.....	347
xStatus Video Output Monitor [n] CSCYUV.....	347
xStatus Video Output Monitor [n] FirmwareVersion	348
xStatus Video Output Monitor [n] Gamma.....	348
xStatus Video Output Monitor [n] ModelName.....	348
xStatus Video Output Monitor [n] Position.....	348
xStatus Video Output Monitor [n] SerialNumber	349
xStatus Video Output Monitor [n] Sharpness	349
xStatus Video Output Monitor [n] Temperature.....	349
xStatus Video Presentation PIPPosition.....	349
xStatus Video Selfview FullscreenMode.....	350
xStatus Video Selfview Mode	350
xStatus Video Selfview OnMonitorRole	350
xStatus Video Selfview PIPPosition	350

Audio ステータス

xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

USB ハンドセットが、オンフックか、オフフックかを示します。

返される結果の値スペース:

OnHook/OffHook

例:

```
xStatus Audio Devices HandsetUSB Cradle
*s OnHook
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログ ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。 (*DX70* のみ)

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

アナログ ヘッドセットに内蔵マイクがあるかどうかを示します。 (*DX70* のみ)

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone
*s True
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

USB ヘッドセットが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus
*s Connected
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

接続された USB ヘッドセットに関する説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Description
*s HeadsetUSB Description: "Description of USB headset."
** end
```

xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

USB ヘッドセットの製造者をリストします。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer
*s HeadsetUSB Manufacturer: "CompanyName"
** end
```

xStatus Audio Input Connectors HDMI [n] EcReferenceDelay

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus
CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

マイク入力として HDMI 入力を使用できるシステムのマイク パスに対して各ラウドスピーカーで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Input Connectors HDMI 1 EcReferenceDelay
*s Audio Connectors HDMI 1 EcReferenceDelay: 0
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus

適用対象: *SX10 SX20 MX200G2/MX300G2 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

マイクがマイク入力コネクタで検出されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected/Unknown

Connected: マイクが接続されています。

NotConnected: 何も接続されていません。

Unknown: ビデオ システムはマイクが接続されているかどうかを検出できません。

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone ConnectionStatus
*s Audio Input Connectors Microphone 1 ConnectionStatus: NotConnected
*s Audio Input Connectors Microphone 2 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

マイク パスに対して各ラウドスピーカーで検出された遅延を返します。結果はミリ秒単位です。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio Input Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay
*s Audio Connectors Microphone 1 EcReferenceDelay: 120
** end
```

xStatus Audio Input KeyClick Attenuate

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ビデオ システムが自動的にクリック ノイズを減衰させるかどうかを示します。たとえば、キーボードのタイピングによって発生したマイク信号が検出された場合などです。

返される結果の値スペース:

Off/On

On: マイクの信号の減衰はオンです。

Off: マイクの信号の減衰は無効です。

例:

```
xStatus Audio Input KeyClick Attenuate
*s Audio Input KeyClick Attenuate On
** end
```

xStatus Audio Input KeyClick Detected

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ビデオ システムが検出する減衰の音声信号の種類を示します。キーボードのクリック ノイズが検出された場合、システムによりマイクの信号が減衰されます。音声を検出された場合、または無音の場合、マイクの信号は減衰されません。

返される結果の値スペース:

KeyClick/Voice/Silence

KeyClick: キーのクリックのみが検出されます。

Voice: 音声を検出されています。

Silence: オーディオ信号が検出されませんでした。

例:

```
xStatus Audio Input KeyClick Detected
*s Audio Input KeyClick Detected KeyClick
** end
```

xStatus Audio Input KeyClick Enabled

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

減衰のための、マイク信号の検出が有効になっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: マイクの信号の検出はオンです。

Off: マイク信号の検出は無効です。

例:

```
xStatus Audio Input KeyClick Enabled
*s Audio Input KeyClick Enabled On
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] AGC

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ローカル入力上の AGC (オート ゲイン コントロール) モードを示します。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 AGC
*s Audio Input LocalInput 1 AGC: "On"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Channels

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ローカル入力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) のどちらにミキシングされるかを示します。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 2

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Channels
*s Audio Input LocalInput 1 Channels: 1
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Connector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ローカル入力に接続されたコネクタをリストします。

xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

Microphone.1/./Microphone.4/Line.1/Line.2/HDMI.2

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Connector
*s Audio Input LocalInput 1 Connector: "Microphone.1"
** end
```


xStatus Audio Input LocalInput [n] Direct

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このローカル入力においてアコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理がバイパスされるかどうかを示します。入力処理をバイパスすると、オーディオ入力遅延が減り、ローカルの音声を強化している場合に便利です。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

Off/On

Off: すべての定期的な入力処理が各コネクタの構成に従って実施されます。

On: 接続されている各入力コネクタの設定に関係なく、アコースティック エコー キャンセレーションやノイズ リダクションなどの入力処理をバイパスします。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Direct
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] MixerMode

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力コネクタのミキシング方法を示します。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

Auto/Fixed/GainShared

Auto: 音声が最大のスピーカークのマイクがアクティブになり、他のマイクは著しく減衰されます。

Fixed: 入力コネクタの信号は同等ゲインでミキシングされます。

GainShared: ミキシングの前に、音声が最大のスピーカークに対して正規化されたゲイン ファクタがマイクに提供されます。

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 MixerMode
*s Audio Input LocalInput 1 MixerMode: "Auto"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Mute

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力のミュート モードを表示します。ローカル入力とは入力コネクタのミキシングです。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Mute
*s Audio Input LocalInput 1 Mute: "Off"
** end
```

xStatus Audio Input LocalInput [n] Name

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル入力の名前を表示します。ローカル入力とは入力コネクタのミキシングです。xStatus Audio Input LocalInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Input LocalInput 1 Name
*s Audio Input LocalInput 1 Name: "Microphone"
** end
```

xStatus Audio Input RemoteInput [n] CallId

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

リモート音声入力の CallId を示します。

xStatus Audio Input RemoteInput コマンドを使用して、入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65534

例:

```
xStatus Audio Input RemoteInput 8 CallId
*s Audio Input RemoteInput 8 CallId: 28
** end
```

xStatus Audio Microphones Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

マイクがミュートになっているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Microphones Mute
*s Audio Microphones Mute: Off
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI 出力の遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output Connectors HDMI [n] Mode

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI 出力コネクタの音声チャンネルを有効または無効にするかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors HDMI 1 Mode
*s Audio Output Connectors HDMI 1 Mode: Off
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

内部ラウド スピーカの遅延を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMS
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 DelayMs: 0
** end
```

xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode

適用対象: *CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ システムの統合スピーカが有効か無効かを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode
*s Audio Output Connectors InternalSpeaker 1 Mode: On
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

オーディオ出力回線が接続されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Connected/NotConnected/Unknown

Connected: デバイスが接続されています。

NotConnected: 何も接続されていません。

Unknown: ビデオ システムは何か接続されているかどうかを検出できません。

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus
*s Audio Output Connectors Line 1 ConnectionStatus: Connected
** end
```

xStatus Audio Output Connectors Line [n] DelayMs

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

遅延をミリ秒単位で表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (0 ~ 290)

例:

```
xStatus Audio Output Connectors Line 1 DelayMs
*s Audio Output Connectors Line 1 DelayMs: 60
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Channels

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力チャンネルがモノラル信号 (1) またはステレオ信号 (2) のどちらにミキシングされるかを示します。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 2

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Channels
*s Audio Output LocalOutput 4 Channels: "1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力に接続されたコネクタをリストします。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Connector
*s Audio Output LocalOutput 4 Connector: "Line.1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力に接続している場合に、入力ゲイン (dB) を示します。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力と入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

-54 ~ 15

範囲は -54 dB ~ 15 dB で、-54 dB の場合はオフと同じです。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain
*s Audio Output LocalOutput 4 Input 2 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ローカル出力のラウドスピーカー モードを示します。ローカル出力に接続された 1 つ以上の出力コネクタをラウドスピーカーに接続する場合、この信号がエコー キャンセラの基準信号となるため、ラウドスピーカーを On に設定する必要があります。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker
*s Audio Output LocalOutput 4 Loudspeaker: "Off"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] Name

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ローカル出力の名前を表示します。

xStatus Audio Output LocalOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 4 Name
*s Audio Output LocalOutput 4 Name: "MyLocalOutput1"
** end
```

xStatus Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

この出力の音量がどこから制御されているかを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

Off: この出力の音量はグローバル オーディオ制御によって制御されます。

On: この出力の音量は、xCommand Audio Volume Set で定義されたレベルです。

例:

```
xStatus Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled
*s Audio Output LocalOutput 5 VolumeControlled: "On"
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定されたオーディオ遅延を示します。この遅延は HDMI オーディオ リターン チャネルを介して測定され、オーディオとビデオとの間の適切なリップ同期を確保します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiArcDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiArcDelay: 85
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの測定されたオーディオ遅延を示します。この遅延は HDMI 出力から、いずれかのマイクまで測定されます。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output MeasuredHdmiDelay
*s Audio Output MeasuredHdmiDelay: 134
** end
```

xStatus Audio Output MeasuredHdmiCecDelay

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI コネクタに接続されたデバイスの報告されたビデオ遅延を示します。この遅延は、Consumer Electronics Control (CEC) プロトコルを介して報告され、オーディオとビデオとの間の適切なリップ同期を確保します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

測定されたオーディオ遅延 (ミリ秒)。

例:

```
xStatus Audio Output ReportedHdmiCecDelay
*s Audio Output ReportedHdmiCecDelay: 39
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] CallId

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート音声出力の CallId を示します。

xStatus Audio Output RemoteOutput コマンドを使用して、出力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

1 ~ 65534

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 CallId
*s Audio Output RemoteOutput 9 CallId: 28
** end
```

xStatus Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

リモート出力に接続されている入力ゲイン (dB) を示します。範囲は -54 dB ~ 15 dB で、-54 dB の場合はオフと同じです。

xStatus Audio Output RemoteOutput コマンドを使用して、出力と入力の ID [n] を確認できます。

返される結果の値スペース:

-54 ~ 15

例:

```
xStatus Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain
*s Audio Output RemoteOutput 9 Input 1 Gain: 0
** end
```

xStatus Audio SelectedDevice

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

選択されているオーディオ デバイスを示します。DX70 のみがアナログ ヘッドセットをサポートしています。

返される結果の値スペース:

Internal/HeadsetUSB/HeadsetAnalog/HeadsetBluetooth/HandsetUSB []

例:

```
xStatus Audio SelectedDevice
*s Audio SelectedDevice: Internal
** end
```

xStatus Audio Volume

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

スピーカー出力の音量レベル (dB) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 100

例:

```
xStatus Audio Volume
*s Audio Volume: 70
** end
```

xStatus Audio VolumeHandsetUsb

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

USB ハンドセット音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHandsetUsb
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

アナログ ヘッドセットの音量レベルを示します (*DX70 のみ*)。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetAnalog
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeHeadsetUsb

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

USB ヘッドセット音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeHeadsetUsb
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeInternal

適用対象: *DX70/DX80*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

内部音量レベルを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Audio VolumeInternal
*s6
** end
```

xStatus Audio VolumeMute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

エンドポイントの音量がミュートに設定されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Audio VolumeMute
*s Audio VolumeMute: Off
** end
```

Bookings ステータス

xStatus Bookings Current Id

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

継続中の予約イベントがある場合、その ID。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Bookings Current Id
*s Bookings Current Id: "123"
** end
```


Call ステータス

xStatus Call [n] AnswerState

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールが応答されたのか、無視されたのか、システムによって自動的に応答されたのかを示します。

返される結果の値スペース:

Unanswered/Ignored/Autoanswered/Answered

例:

```
xStatus Call AnswerState
*s Call 5 AnswerState: Answered
** end
```

xStatus Call [n] AttendedTransferFrom

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在のコールの転送先のコールの CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 1 AttendedTransferFrom
*s Call 1 AttendedTransferFrom: 1234
** end
```

xStatus Call [n] CallbackNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールバック用に、着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI とコール プロトコルを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 CallbackNumber
*s Call 27 CallbackNumber: "h323: firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] CallType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信コールのコール タイプを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Video/Audio/AudioCanEscalate/ForwardAllCall/Unknown

例:

```
xStatus Call 27 CallType
*s Call 27 CallType: Video
** end
```

xStatus Call [n] DeviceType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの接続先を示します。

返される結果の値スペース:

Endpoint/MCU

Endpoint: 別のエンドポイントへのポイントツーポイント コールです。

MCU: ネットワーク内のマルチポイント会議ユニット (MCU) へのコール、またはエンドポイントでホストされているマルチサイト通話です。

例:

```
xStatus Call DeviceType
*s Call 4 DeviceType: Endpoint
** end
```

xStatus Call [n] Direction

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールを開始する方向を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus Call 27 Direction
*s Call 27 Direction: Outgoing
** end
```

xStatus Call [n] DisplayName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのリモート (遠端) 参加者の名前を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 DisplayName
*s Call 27 DisplayName: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus Call [n] Duration

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールの継続時間を示します (秒単位)。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 Duration
*s Call 27 Duration: 2354
** end
```

xStatus Call [n] Encryption Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールの暗号化タイプを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

None/Aes-128

例:

```
xStatus Call 27 Encryption Type
*s Call 27 Encryption Type: "None"
** end
```

xStatus Call [n] FacilityServiceId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ファシリティ サービスを呼び出すと、ファシリティ サービス ID が表示されます。それ以外の場合、値 0 が返されます。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Call FacilityServiceId
*s Call 3 FacilityServiceId: 1
** end
```

xStatus Call [n] HoldReason

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在の発信コールが保留されている理由を示します。

返される結果の値スペース:

Conference/Transfer/None

Conference: コールが電話会議にマージされている間、保留になっています。

Transfer: コールが転送されている間、保留になっています。

None: その他のすべての事例。

例:

```
xStatus Call 2 HoldReason
*s Call 2 HoldReason: None
** end
```

xStatus Call [n] PlacedOnHold

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コールの保留中ステータスを表示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Call 27 PlacedOnHold
*s Call 27 PlacedOnHold: False
** end
```

xStatus Call [n] Protocol

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのコール プロトコルを示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

H320/H323/SIP/Spark/Unknown

例:

```
xStatus Call 27 Protocol
*s Call 27 Protocol: "h323"
** end
```

xStatus Call [n] ReceiveCallRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コールの受信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 ReceiveCallRate
*s Call 27 ReceiveCallRate: 4000
** end
```

xStatus Call [n] RemoteNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信コールのリモート (遠端) 番号または URI を示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Call 27 RemoteNumber
*s Call 27 RemoteNumber: "5585232"
** end
```

xStatus Call [n] Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コールのステータスを表示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できません。

返される結果の値スペース:

Idle/Dialling/Ringing/Connecting/Connected/Disconnecting/OnHold/EarlyMedia/Preserved/RemotePreserved

例:

```
xStatus Call 27 Status
*s Call 27 Status: Connected
** end
```

xStatus Call [n] TransmitCallRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コールの送信帯域幅をキロビット/秒 (kbps) で示します。コール ID を検索するためには、xStatus Call コマンドを実行できます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Call 27 TransmitCallRate
*s Call 27 TransmitCallRate: 768
** end
```

Cameras ステータス

xStatus Cameras Camera [n] Capabilities Options

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラ機能 (ptzf = パン、傾斜、ズーム、焦点) を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Capabilities Options
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Connected

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラが接続されているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Connected
*s Camera 1 Connected: True
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] DetectedConnector

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの接続が検出されたコネクタ番号を示します。接続が検出されない場合は 0 を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 DetectedConnector
*s Cameras Camera 1 DetectedConnector: 1
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Flip

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

Flip モード (垂直反転) では、イメージの上下を逆にできます。

返される結果の値スペース:

Off/On

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Flip
*s Camera 1 Flip: "Off"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Framerate

適用対象: *RoomKit Room55*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

xStatus Cameras Camera [n] HardwareID

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのハードウェア ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 HardwareID
*s Camera 1 HardwareID: "50000000"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] LightingConditions

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

カメラが部屋の明るさをどのように認識しているかを示します。

返される結果の値スペース:

Unknown/Good/Dark/Backlight

Unknown: カメラがオフになっているか、この機能をサポートしていません。

Good: 明るさは適切なレベルです。

Dark: 暗すぎます。

Backlight: 画像に高レベルの逆光があります。

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 LightingConditions
*s Camera 1 LightingConditions: Good
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] MacAddress

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 MacAddress
*s Camera 1 MacAddress: ""
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Manufacturer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの製造業者を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Manufacturer
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Model

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラのモデルを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Model
*s Camera 1 Model: "Precision 40"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Focus

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

カメラの現在の焦点位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65535

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Focus
*s Camera 1 Position Focus: 4597
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Lens

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のレンズの位置を示します。

返される結果の値スペース:

Default/Wide/Center/Left/Right

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Lens
*s Cameras Camera 1 Position Lens: Center ** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Pan

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のパン (左右移動) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

-65535 ~ 65535

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Pan
*s Camera 1 Position Pan: 412
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Tilt

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のチルト (上下移動) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

-65535 ~ 65535

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Tilt
*s Camera 1 Position Tilt: 106
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] Position Zoom

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラの現在のズーム (拡大縮小) 位置を示します。値の範囲は、カメラのタイプによって異なります。

返される結果の値スペース:

0 ~ 65535

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 Position Zoom
*s Camera 1 Position Zoom: 828
** end
```


xStatus Cameras Camera [n] SerialNumber

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのシリアル番号を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SerialNumber
*s Camera 1 SerialNumber: "B1AB26B00010"
** end
```

xStatus Cameras Camera [n] SoftwareID

適用対象: *DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

カメラのソフトウェア ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Cameras Camera 1 SoftwareID
*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID: 40063] 2014-10-20"
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Availability

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンター トラッキングが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: プレゼンタ トラッキングは無効です。

Unavailable: プレゼンタ トラッキングが正しく設定されていない、カメラが切断されている、またはマルチサイトまたはマルチストリーム コールが進行中です。

Available: プレゼンター トラッキングが利用可能です。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Availability
*s Cameras PresenterTrack Availability: Available
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンター トラッキングが現在使用中かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack PresenterDetected
*s Cameras PresenterTrack PresenterDetected: False
** end
```

xStatus Cameras PresenterTrack Status

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, ROOMCONTROL, USER

プレゼンター トラッキングの現在の状態を返します。

返される結果の値スペース:

Off/Follow/Diagnostic/Background/Setup/Persistent

Off: 実行されていません。

Follow: トラッキングが進行中で正常に動作しています。

Diagnostics: 診断モードです。このモードは、トラブルシューティングに使用されます。

Background: PresenterTrack カメラがメイン カメラとして選択されていないときに、アルゴリズムが実行されています。これはブリーフィング ルームの設定で、異なるカメラ間の自動切り替えを有効化するために使用されます。

Setup: SpeakerTrack カメラを設定する Web ウィザードがアクティブです。

Persistent: カメラはアクティブで、メイン カメラとして選択されています。

例:

```
xStatus Cameras PresenterTrack Status
*s Cameras PresenterTrack Status: Off
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack ActiveConnector

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

SpeakerTrack で現在選択されているコネクタ番号を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Available
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Availability

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

スピーカー トラッキングが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Off/Unavailable/Available

Off: スピーカー トラッキングは、コマンド xConfiguration Cameras SpeakerTrack Mode: Off によってオフになっています。

Unavailable: スピーカー トラッキング ハードウェアがありません。

Available: スピーカー トラッキング ハードウェアと 2 台のカメラがあり、スピーカー トラッキングのオン/オフを切り替えることができます。

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Availability
*s Cameras SpeakerTrack Availability: Unavailable
** end
```

xStatus Cameras SpeakerTrack Status

適用対象: *SX80 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

スピーカートラッキングがアクティブまたは非アクティブのいずれに設定されているかを示します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

例:

```
xStatus Cameras SpeakerTrack Status
*s Cameras SpeakerTrack Status: Active
** end
```

Capabilities ステータス

xStatus Capabilities Conference MaxActiveCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

同時アクティブ コールの最大数を示します。保留/転送に設定されたコールはアクティブとしてカウントされません。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls
*s Capabilities Conference MaxNumberOfActiveCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

サポートされる同時音声コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxAudioCalls
*s Capabilities Conference MaxAudioCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

同時コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxCalls
*s Capabilities Conference MaxCalls: 3
** end
```

xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

サポートされる同時ビデオ コールの最大数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Capabilities Conference MaxVideoCalls
*s Capabilities Conference MaxVideoCalls: 3
** end
```

Conference ステータス

xStatus Conference ActiveSpeaker CallId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のアクティブなスピーカーの CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus Conference ActiveSpeaker CallId
*s Conference ActiveSpeaker CallId: 3
** end
```

xStatus Conference Call [n] BookingId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の予約 ID を示します (割り当てられている場合)。予約 ID は、コールや会議を簡単に識別するために使用できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 BookingId
*s Conference Call 2 BookingId: "MyConference"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このリリースでは適用外です。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Conference Call Capabilities FarendMessage Mode
*s Conference Call 4 Capabilities FarendMessage Mode: Off
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトの入力ソースを制御する権限があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

On: 遠端入力ソースの制御は許可されています。

Off: 遠端入力ソースの制御は許可されていません。

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Mode
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Mode: On
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトで入力ソースに使用可能なプリセットの数を示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 15

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfPresets: 15
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの数を示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 5

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources
*s Conference Call 2 Capabilities FECC NumberOfSources: 5
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの名前を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Name: "Main camera"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端のサイトに接続できる入力ソースに使用可能なオプションを示します (カメラ用: p=pan, t=tilt, z=zoom, f=focus)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 Options: "ptzf"
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトに接続できる入力ソースの ID を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId
*s Conference Call 2 Capabilities FECC Source 1 SourceId: 6
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Hold

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトを保留にできるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call Capabilities Hold
*s Conference Call 2 Capabilities Hold: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

このリリースでは適用外です。

返される結果の値スペース:

Active/Failed/Off

例:

```
xStatus Conference Call 4 Capabilities IxChannel Status
*s Conference Call 4 Capabilities IxChannel Status: Active
** end
```

xStatus Conference Call [n] Capabilities Presentation

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の他の参加者のプレゼンテーション機能をリストします。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call 2 Capabilities Presentation
*s Conference Call 2 Capabilities Presentation: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] Manufacturer

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトのビデオ システムの製造業者を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 Manufacturer
*s Conference Call 2 Manufacturer: "Cisco"
** end
```

xStatus Conference Call [n] MicrophonesMuted

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

会議の他の参加者の音声ミュート ステータスが表示されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Conference Call 2 MicrophonesMuted
*s Conference Call 2 MicrophonesMuted: True
** end
```

xStatus Conference Call [n] SoftwareID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

遠端サイトのビデオ システムで実行中のソフトウェアの ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Conference Call 2 SoftwareID
*s Conference Call 2 SoftwareID: "CE8"
** end
```

xStatus Conference DoNotDisturb

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

DoNotDisturb モードがオンにされているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Active/Inactive

例:

```
xStatus Conference DoNotDisturb
*s Conference DoNotDisturb: Inactive
** end
```

xStatus Conference Line [n] Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムが CUCM 上でプライベート回線として設定されているのか、共有回線として設定されているかを示します。

返される結果の値スペース:

Shared/Private

例:

```
xStatus Conference Line Mode
*s Conference Line 1 Mode: Private
** end
```

xStatus Conference Multipoint Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

マルチポイント ビデオ会議の処理方法を示します。

返される結果の値スペース:

Auto/CUCMMediaResourceGroupList/MultiSite/Off

Auto: 利用可能なマルチポイント メソッドが自動的に選択されます。利用可能なマルチポイントメソッドがない場合、

マルチポイント モードは自動的に Off に設定されます。MultiWay および MultiSite の両方が利用可能な場合、MultiWay サービスは組み込み MultiSite よりも優先されます。

Off: マルチパーティ会議は許可されません。

MultiSite: 組み込み MultiSite 機能を使用してマルチパーティ会議が設定されます。MultiSite 機能を使用できないときに [多地点接続 (MultiSite)] が選択された場合、[マルチポイント モード (Multipoint Mode)] は自動的に Off に設定されます。

CUCMMediaResourceGroupList: マルチパーティ会議 (アドホック会議) は、CUCM で設定された会議ブリッジによってホストされます。この設定は、CUCM 環境で CUCM によりプロビジョニングされるものであり、ユーザが手動で設定すべきではありません。

例:

```
xStatus Conference Multipoint Mode
*s Conference Multipoint Mode: "Auto"
** end
```

xStatus Conference Presentation CallId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

プレゼンテーションを送信するシステムの ID を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation CallId
*s Conference Presentation CallId: 0
** end
```

xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

プレゼンテーション ソースがローカルで共有されているか、リモート参加者と共有されているかを示します。それぞれが独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションを存在させることができます。

返される結果の値スペース:

LocalOnly/LocalRemote/Off

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode
*s Conference Presentation LocalInstance 1 SendingMode: LocalOnly
** end
```


xStatus Conference Presentation LocalInstance [n] Source

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

現在のプレゼンテーションの SourceId を示します。それぞれが独自のインスタンスを持つ複数のローカル プレゼンテーションを存在させることができます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference Presentation LocalInstance 1 Source
*s Conference Presentation LocalInstance 1 Source: 1
** end
```

xStatus Conference Presentation Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

セカンダリ ビデオ ストリームのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

Off/Sending/Receiving

例:

```
xStatus Conference Presentation Mode
*s Conference Presentation Mode: Off
** end
```

xStatus Conference SpeakerLock CallId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

会議でプロミネント スピーカーとしてロックされた参加者の CallId を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock CallId
*s Conference SpeakerLock CallId: 0
** end
```

xStatus Conference SpeakerLock Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

スピーカー ロックが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Conference SpeakerLock Mode
*s Conference SpeakerLock Mode: Off
** end
```

Diagnostics ステータス

xStatus Diagnostics Message [n] Description

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在の診断アラートに関する説明を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message Description
*s DiagnosticsResult Message 1 Description: "IP configuration incomplete"
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] Level

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

診断メッセージの重要性レベルを表示します。

返される結果の値スペース:

Error/Warning/Critical

Error: システムにエラーがあります。システムは引き続き使用できますが、一部制限される可能性があります。

Warning: 問題が検出され、より具体的なレポートに問題の詳細が示されます。

Critical: 重大な警告レベルです。システムは使用できません。

例:

```
xStatus Diagnostics Message 4 Level
*s Diagnostics Message 4 Level: Warning
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] References

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

診断アラートに関する追加情報 (使用可能な場合)。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Diagnostics Message 10 References
*s Diagnostics Message 10 References: "delay=190"
** end
```

xStatus Diagnostics Message [n] Type

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムでの最新の診断結果に関する情報を表示します。

返される結果の値スペース:

ANATOnVCS/AbnormalCallTermination/AudioInternalSpeakerDisabled/
AudioPairingInterference/AudioPairingNoise/AudioPairingRate/
AudioPairingSNR/AudioPairingTokenDecode/CAPFOperationState/
CTLInstallation/CUCMVendorConfigurationFile/CallProtocolDualStackConfig/
CallProtocolIPStackPlatformCompatibility/CallProtocolVcsProvisioningCompatibility/
CameraDetected/CameraId/CameraPairing/CameraSerial/CameraSoftwareVersion/
CameraStatus/CamerasDetected/CaptivePortalDetected/CertificateExpiry/ConfigurationFile/
ContactInfoMismatch/ControlSystemConnection/DefaultCallProtocolRegistered/
ECReferenceDelay/EthernetDuplexMatches/FanStatus/FirstTimeWizardNotCompleted/
H320GatewayStatus/H323GatekeeperStatus/HasActiveCallProtocol/HasValidReleaseKey/
HdmiCecModeNoSound/HTTPFeedbackFailed/HTTPSModeSecurity/IPv4Assignment/
IPv6Assignment/IPv6Mtu/ISDNLinkCompatibility/ISDNLinkIpStack/ITLInstallation/
InvalidSIPTransportConfig/lpCameraStatus/LockDown/MacrosRuntimeStatus/
MediaBlockingDetected/MediaPortRangeNegative/MediaPortRangeOdd/
MediaPortRangeOverlap/MediaPortRangeTooSmall/MediaPortRangeValueSpace/
MicrophoneReinforcement/MicrophonesConnected/MonitorDelay/NTPStatus/NetLinkStatus/
NetSpeedAutoNegotiated/NetworkQuality/OSDVideoOutput/OutputConnectorLocations/
PeripheralSoftwareVersion/PlatformSanity/PresentationSourceSelection/PresenterTrack/
ProvisioningDeveloperOptions/ProvisioningModeAndStatus/ProvisioningStatus/
RoomControl/SIPEncryption/SIPListenPortAndOutboundMode/SIPListenPortAndRegistration/
SIPProfileRegistration/SIPProfileType/SelectedVideoInputSourceConnected/
SipPceAndAnatConflict/SipOrH323ButNotBothEnabled/SoftwareUpgrade/
SpeakerTrackEthernetConnection/SpeakerTrackFrontPanelMountedCorrectly/
SpeakerTrackMicrophoneConnection/SpeakerTrackVideoInputs/TCPMediaFallback/
TLSVerifyRequiredCerts/TemperatureCheck/TouchPanelConnection/TurnBandwidth/
UltrasoundConfigSettings/UltrasoundSpeakerAvailability/ValidPasswords/
VideoFromInternalCamera/VideoInputSignalQuality/VideoInputStability/
VideoPortRangeNegative/VideoPortRangeOdd/VideoPortRangeTooSmall/
VideoPortRangeValueSpace/MicrophoneOverloaded/WebexActivationRequired/
WebexConnectivity/WebexOffline/WifiCARequired

例:

```
xStatus Diagnostics Message Type
*s Diagnostics Message 1 Type: CamerasDetected
** end
```

GPIO ステータス

xStatus GPIO Pin [n] State

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

4 つの GPIO ピンのそれぞれの現在の状態を示します。

返される結果の値スペース:

High/Low

High:+12V、デフォルト状態。

Low: 0V、有効化時。

例:

```
xStatus GPIO Pin 1 State
*s GPIO Pin 1 State: High
** end
```

H323 ステータス

xStatus H323 Gatekeeper Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムが登録されているゲートキーパーの IP アドレスが表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Address
*s H323 Gatekeeper Address: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Port

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ゲートキーパーに接続するときに使用されるポートを示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Port
*s H323 Gatekeeper Port: 1719
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Reason

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

登録が拒否された理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Reason
*s H323 Gatekeeper Reason: ""
** end
```

xStatus H323 Gatekeeper Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ゲートキーパー登録ステータスが表示されます。

返される結果の値スペース:

*Required/Discovering/Discovered/Authenticated/Authenticated/Registering/Registered/
Inactive/Rejected*

例:

```
xStatus H323 Gatekeeper Status
*s H323 Gatekeeper Status: Registered
** end
```

xStatus H323 Mode Reason

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

H.323 の設定と xStatus H323 Mode Status との間に競合があるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

"": H.323 がオンに設定されており、H.323 モード設定と他のシステム設定の間に競合は発生していません。

SIP is enabled: 2 つを同時にサポートしないシステムで H.323 モードが On に設定され、SIP が有効になっている場合。

"Not available": システムは H.323 をサポートしていません。

例:

```
xStatus H323 Mode Reason
*s H323 Mode Reason: ""
** end
```

xStatus H323 Mode Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

H.323 登録のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Enabled/Disabled

Enabled: 登録はイネーブルです。

Disabled: SIP が有効になっているため、登録は無効です。

例:

```
xStatus H323 Mode Status
*s H323 Mode Status: "Disabled"
** end
```

HttpFeedback ステータス

xStatus HttpFeedback [n] Expression [n]

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバからのフィードバックを示します。HTTP フィードバックを要求するサーバのためのスロットは最大 4 個、各 URL の表現式は最大 15 個まで使用できます。詳細については、xCommand HttpFeedback コマンドを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

xStatus HttpFeedback [n] Format

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバからの HTTP Feedback フィードバックのフォーマットを表示します。

返される結果の値スペース:

XML/JSON

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Format
*s HttpFeedback 1 Format: XML
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバに送信されたフィードバックの状態を示します。

返される結果の値スペース:

OK/Failed

OK: フィードバックが正常に送信されたことを示します。

Failed: フィードバックが正常に送信されていないことを示します。

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 Status
*s HttpFeedback 1 Status: OK
** end
```

xStatus HttpFeedback [n] URL

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

HTTP サーバの URL (ユニフォーム リソース ロケータ) を示します。URL で指定される、最大 3 台の HTTP サーバが存在する場合があります。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus HttpFeedback 1 URL
*s HttpFeedback 1 URL: "http://tms.company.com/tms/public/feedback/code.aspx"
** end
```

MediaChannels ステータス

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信オーディオ チャンネルの数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Channels: 1
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信オーディオの音声ミュートの状態。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Mute: False
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信オーディオのオーディオ アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

AACLD/G711A/G711Mu/G722/G7221/G7221C/G723_1/G728/G729/G729A/G729AB/Off/Opus

AACLD: AAC-LD は MPEG-4 低遅延オーディオコーデック音声圧縮形式です。

G711A: G.711 A-law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G711Mu: G.711 μ -law アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G722: G.722 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221: G.722.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G7221C: G.722.1 Annex C アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G723_1: G.723.1 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G728: G.728 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729: G.729 アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729A: G.729 Annex A アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

G729AB: G.729 Annex A および B アルゴリズムはオーディオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

Off: オーディオなし。

Opus: Opus は著作権使用料無料のオーディオ圧縮用 IETF 標準基準です。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Audio Protocol: AACLD
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

通話の方向を表示します。

返される結果の値スペース:

Incoming/Outgoing

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Direction: Incoming
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信コールまたは発信コールのオーディオまたはビデオの暗号化の状態を表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Encryption: On
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信チャネルまたは発信チャネルのオーディオ、ビデオ、データのバイト数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Bytes
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Bytes: 496640
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信チャネルまたは発信チャネルのオーディオ、ビデオ、データの帯域幅を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat ChannelRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat ChannelRate: 128000
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

RFC 3550 で指定されている、着信または発信チャネルでの現時点のオーディオ、ビデオ、またはデータのジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Jitter
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Jitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または送信チャンネルで最後のインターバル中に失われたオーディオ、ビデオ、またはデータのパケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalLost: 0
** end
```


xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または送信チャンネルで最後のインターバル中に受け取ったオーディオ、ビデオ、またはデータのパケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat LastIntervalReceived: 289
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信チャンネルで失われたオーディオ、ビデオ、またはデータのパケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Loss
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Loss: 0
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

最後のインターバル (約 5 秒) で測定されたオーディオ、ビデオ、またはデータの最大ジッターを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat MaxJitter
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat MaxJitter: 2
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

着信または発信チャンネルで受信または送信されたオーディオ、ビデオ、またはデータのパケット数を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Packets
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 NetStat Packets: 1551
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信オーディオまたはビデオ チャンネル上のアクティブ コントロール参加者の ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 ParticipantId: ""
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信チャンネル上のメディア タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

Audio, Video, Data

Audio: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはオーディオです。

Video: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはビデオです。

Data: 着信または発信チャンネルのメディア タイプはデータです。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Type
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Type: Audio
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのロールを表示します。

返される結果の値スペース:

Main/Presentation

Main: メイン ビデオが着信または発信ビデオ チャンネルに存在します。

Presentation: プレゼンテーションが着信または発信ビデオ チャンネルに存在します。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ChannelRole: Main
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのフレーム レートを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video FrameRate: 30
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオ チャンネルのビデオ アルゴリズムを表示します。

返される結果の値スペース:

H261/H263/H263p/H263pp/H264/HEVC/JPEG/MP4V/Off

H261: H.261 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263: H.263 アルゴリズムはビデオ圧縮の ITU-T 標準です。

H263p: H263p (H.263+) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

H263pp: H263pp (H.263++) アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ITU-T 標準規格です。

H264: H.264 アルゴリズム (MPEG-4 AVC) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。

HEVC: HEVC (H.265) アルゴリズム (MPEG-H Part 2) はビデオ圧縮に関する ITU-T および ISE/IEC 標準規格です。

JPEG: JPEG アルゴリズムはビデオ圧縮に関する ISO/IEC 標準規格です。

MP4V: MP4V フォーマットはビデオ圧縮に関する ISO/IEC ファイル形式です。

Off: ビデオなし。

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video Protocol: H264
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオの幅 (X 方向の解像度) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionX: 1920
** end
```

xStatus MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

着信または発信ビデオの幅 (Y 方向の解像度) を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY
*s MediaChannels Call 27 Channel 327 Video ResolutionY: 1080
** end
```

Network ステータス

xStatus Network [n] CDP Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

受信デバイスと送信デバイスの両方の最初のネットワーク アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Address
*s Network 1 CDP Address: "192.0.1.20"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Capabilities

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

デバイス タイプの形式でスイッチの機能を示します。詳細については、CDP プロトコルのマニュアルを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Capabilities
*s Network 1 CDP Capabilities: "0x0029"
** end
```

xStatus Network [n] CDP DeviceId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

文字列の形式でスイッチの名前を識別します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP DeviceId
*s Network 1 CDP DeviceId: "123456.company.com"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Duplex

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

CDP ブロードキャスト インターフェイスのステータス (デュプレックス設定) を示します。ネットワークオペレータが、隣接するネットワーク要素間の接続の問題を診断するときに使用します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Duplex
*s Network 1 CDP Duplex: "Full"
** end
```

xStatus Network [n] CDP Platform

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

エンドポイントに接続されたスイッチのハードウェア プラットフォーム名を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP Platform
*s Network 1 CDP Platform: "cisco WS-C3750X-48P"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PortID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

スイッチが使用する、エンドポイントの接続先のポートの ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PortID
*s Network 1 CDP PortID: "GigabitEthernet1/0/23"
** end
```

xStatus Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

エンドポイントの接続先のスイッチの設定と監視に使用される管理アドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP PrimaryMgmtAddress
*s Network 1 CDP PrimaryMgmtAddress: "10.1.1.2"
** end
```

xStatus Network [n] CDP SysName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

エンドポイントの接続先のスイッチで設定された SysName を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysName
*s Network 1 CDP SysName: ""
** end
```

xStatus Network [n] CDP SysObjectID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントの接続先のスイッチで設定された SysObjectID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP SysObjectID
*s Network 1 CDP SysObjectID: ""
** end
```

xStatus Network [n] CDP Version

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スイッチが実行しているソフトウェア リリース バージョンに関する情報を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 CDP Version
*s Network 1 CDP Version: "Cisco IOS Software, C3560CX Software (C3560CX-
UNIVERSALK9-M), Version 15.2(3)E, RELEASE SOFTWARE (fc4)*Technical Support:
http://www.cisco.com/techsupport*Copyright (c) 1986-2014 by Cisco Systems,
Inc.*Compiled Sun 07-Dec-14 13: 15 by prod_rel_team"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントからスイッチへの VoIP トラフィックに使用される VLAN を識別します。詳細については、IEEE 802.1Q プロトコルのマニュアルを参照してください。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VoIPApplianceVlanID
*s Network 1 CDP VoIPApplianceVlanID: "300"
** end
```

xStatus Network [n] CDP VTPMgmtDomain

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

スイッチの設定済み VTP 管理ドメイン名の文字列を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network CDP VTPMgmtDomain
*s Network 1 CDP VTPMgmtDomain: "anyplace"
** end
```

xStatus Network [n] DNS Domain Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ドメイン名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Domain Name
*s Network 1 DNS Domain Name: "www.example.com www.example.int"
** end
```

xStatus Network [n] DNS Server [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

DNS サーバの IP アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 DNS Server 1. アドレス (Address)
*s Network 1 DNS Server 1 Address: "192.0.2.60"
** end
```

xStatus Network [n] Ethernet MacAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

イーサネット インターフェイスの MAC (メディア アクセス コントロール) アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet MacAddress
*s Network 1 Ethernet MacAddress: "00: 50: 60: 02: FD: C7"
** end
```

xStatus Network [n] Ethernet Speed

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

イーサネット速度を Mbps 単位で示します。速度は、全二重または半二重の場合があります。

返される結果の値スペース:

10half/10full/100half/100full/1000full

例:

```
xStatus Network 1 Ethernet Speed
*s Network 1 Ethernet Speed: "100full"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

このシステムを一意に識別する IPv4 アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Address
*s Network 1 IPv4 Address: "192.0.2.149"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

IPv4 ゲートウェイのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 Gateway
*s Network 1 IPv4 Gateway: "192.0.2.10"
** end
```

xStatus Network [n] IPv4 SubnetMask

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

IPv4 アドレスが属するサブネットを決定するサブネット マスクを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv4 SubnetMask
*s Network 1 IPv4 SubnetMask: "255.255.255.0"
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

このシステムを一意に識別する IPv6 アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 Address
*s Network 1 IPv6 Address: ""
** end
```


xStatus Network [n] IPv6 Gateway

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

IPv6 ゲートウェイのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 Gateway
*s Network 1 IPv6 Gateway: ""
** end
```

xStatus Network [n] IPv6 LinkLocalAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

プライマリ ユーザ インターフェイスに表示されている IPv6 リンク ローカル アドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Network 1 IPv6 LinkLocalAddress
*s Network 1 IPv6 LinkLocalAddress: "2001: DB8: 0000: 0000: 0000: 0000: 0000:
0001"
** end
```

xStatus Network [n] VLAN Voice VlanId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

フィードバックは、VLAN 音声 ID を示します。

返される結果の値スペース:

Off/1 ~ 4094

Off: VLAN 音声モードは有効になっていません。

1 ~ 4094: VLAN 音声 ID

例:

```
xStatus Network 1 VLAN Voice VlanId
*s Network 1 VLAN Voice VlanId: "Off"
** end
```

NetworkServices ステータス

xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在使用されている NTP サーバのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP CurrentAddress
*s NetworkServices NTP CurrentAddress: "123.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP Server [n] Address

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コーデックが使用している NTP サーバのアドレスを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus NetworkServices NTP Address
*s NetworkServices NTP Address: "12.104.193.12 64.104.222.16 144.254.15.121"
** end
```

xStatus NetworkServices NTP Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

NTP サーバと同期しているエンドポイントのステータスを返します。

返される結果の値スペース:

Discarded/Synced/NotSynced/Unknown/Off

Discarded: NTP の結果が廃棄されました。

Synced: システムは NTP サーバと同期しています。

NotSynced: システムは NTP サーバと同期していません。

Unknown: 同期の状態が不明です。

Off: NTP サーバとの同期なし。

例:

```
xStatus NetworkServices NTP Status
*s NetworkServices NTP Status: Synced
** end
```

Peripherals ステータス

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

接続されたデバイスのハードウェア情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 HardwareInfo: "1122330-0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] ID

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

接続されたデバイスの MAC アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 ID
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 ID: "00: 10: 20: 20: be: 21"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

接続されたデバイスの製品名を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 Name
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 Name: "Cisco TelePresence Touch"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

接続されたデバイス上で実行しているソフトウェア バージョンの情報を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo
*s Peripherals ConnectedDevice 1007 SoftwareInfo: "TI7.2.0"
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

エンドポイントに現在接続されている周辺装置を表示します。

返される結果の値スペース:

Connected/ResponseTimedOut

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Status
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Status: Connected
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

エンドポイントに接続されている周辺機器タイプを示します。

注: 値スペース Camera には Precision 60 カメラのみが表示されます。

返される結果の値スペース:

Byod/Camera/ControlSystem/ISDNLink/Other/SpeakerTrack/TouchPanel

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 Type
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 Type: TouchPanel
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

接続デバイスでアップグレードが失敗したことを示し、理由を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

アップグレードの失敗の理由を示します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeFailureReason: ""
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

現在接続されている周辺装置での前回のソフトウェア アップグレードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

Downloading/Failed/Installing/InstallationReady/None/Succeeded/Rebooting/Retrying/Aborted/Paused

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeStatus: None
** end
```

xStatus Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

接続デバイスのアップグレード URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

URL の全文字列を指定します。

例:

```
xStatus Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL
*s Peripherals ConnectedDevice 1001 UpgradeURL: ""
** end
```

Provisioning ステータス

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

CUCM 登録デバイスに対してエクステンション モビリティが有効かどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled: False
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムに最後にログインしたユーザ ID を返します。CUCM エクステンション モビリティが有効になっており、エンドポイントで最後にログインしたユーザを記録するように CUCM が設定されている場合のみ、これが使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserId: "User 1"
** end
```

xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

エクステンション モビリティに誰かがログインしているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn
*s Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn: False
** end
```

xStatus Provisioning RoomType

適用対象: SX80 MX700/MX800/MX800D CodecPro Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

このデバイスに設定されるルーム タイプの設定を指定します。

返される結果の値スペース:

Briefing/Standard

Briefing: このシステムは、ブリーフィング ルームのセットアップを使用しています。

Standard: このシステムはデフォルトのルーム設定を使用しています。

例:

```
xStatus Provisioning RoomType
*s Provisioning RoomType: Briefing
** end
```

xStatus Provisioning Software Current CompletedAt

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在のソフトウェア アップグレードが完了した日時を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current CompletedAt
*s Provisioning Software Current CompletedAt: "2011-06-07T07: 20: 03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current URL

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在のソフトウェアのアップロード元の URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current URL
*s Provisioning Software Current URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software Current VersionId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在のソフトウェアのバージョン ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software Current VersionId
*s Provisioning Software Current VersionId: "s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

最新のソフトウェア アップグレードの日時を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus LastChange
*s Provisioning Software UpgradeStatus LastChange: "2011-06-07T07: 20: 03Z"
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのシステム メッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Message
*s Provisioning Software UpgradeStatus Message: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ソフトウェア アップグレードのフェーズを示します。

返される結果の値スペース:

None/DownloadPending/FormingHierarchy/Downloading/DownloadPaused/DownloadDone/Seeding/AboutToInstallUpgrade/Postponed/PeripheralsReady/UpgradingPeripherals/Installing/InstallingPeripherals

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Phase
*s Provisioning Software UpgradeStatus Phase: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ソフトウェア アップグレードのセッション ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus SessionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus SessionId: ""
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ソフトウェア アップグレードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

None/InProgress/Failed/InstallationFailed/Succeeded

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Status
*s Provisioning Software UpgradeStatus Status: None
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ソフトウェアのアップグレードの必要性の緊急性を示します。

返される結果の値スペース:

Low/Medium/Critical

ソフトウェア アップグレードの緊急性を指定します。

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus Urgency
*s Provisioning Software UpgradeStatus Urgency: Low
** end
```

xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在アップロードおよびインストール中の新しいソフトウェアのアップロード元/インストール元 URL を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus URL
*s Provisioning Software UpgradeStatus URL: "http://.../s52020ce8_0_0.pkg"
** end
```


xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

現在アップロードおよびインストール中のソフトウェアのバージョン ID を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Provisioning Software UpgradeStatus VersionId
*s Provisioning Software UpgradeStatus VersionId: "s52010ce8_0_0.pkg"
** end
```

xStatus Provisioning Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

プロビジョニングのステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Failed/AuthenticationFailed/Provisioned/Idle/NeedConfig/ConfigError

Failed: プロビジョニングが失敗しました。

AuthenticationFailed: 認証に失敗しました。

Provisioned: エンドポイントはプロビジョニングされています。

Idle: プロビジョニングは非アクティブです。

NeedConfig: エンドポイントを設定する必要があります。

ConfigError: 設定時にエラーが発生しました。

例:

```
xStatus Provisioning Status
*s Provisioning Status: Provisioned
** end
```

Proximity ステータス

xStatus Proximity Services Availability

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

エンドポイントでプロキシミティ サービスが使用可能かどうかを示します。

返される結果の値スペース:

Available/Deactivated/Disabled

Available: xConfiguration Proximity Mode コマンドによってプロキシミティ モードが有効になっており、xConfiguration Proximity Services コマンドによって 1 つ以上のプロキシミティ サービスが有効になっています。

Deactivated: xCommand Proximity Services Deactivate コマンドによって、プロキシミティ サービスが非アクティブになっています。

Disabled: xConfiguration Proximity Mode コマンドによってプロキシミティ モードが無効になっているか、xConfiguration Proximity Services コマンドによって有効になっているプロキシミティ サービスがありません。

例:

```
xStatus Proximity Services Availability
*s Proximity Services Availability: Disabled
** end
```

RoomAnalytics ステータス

xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current

適用対象: *SX80 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

顔検知機能を使用することにより、ルーム内の人数を表示します。信頼できる平均値を得るには、少なくとも 2 分間は通話を継続する必要があります。カメラの方をまだ向いたことがない人はカウントされません。顔として検知される可能性のある物体や絵がルームに存在すると、これらがカウントされることがあります。このビデオ システムでは、ルームに誰がいたかは記録として保持されず、検知された顔の数の平均のみが保持されます。システムがスタンバイ状態の場合、またはこの機能が無効になっている場合、返される数値は -1 です。

SX80 および Codec Plus については、このステータス Cisco Quad Camera がある場合にのみ適用されます。

返される結果の値スペース:

整数 (*Integer*)

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeopleCount Current
*s RoomAnalytics PeopleCount Current: 2
** end
```

xStatus RoomAnalytics PeoplePresence

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

ルーム (室内) に人がいるかどうかを表示します。ルームに人がいるかどうかを検出するには最低 2 分かかります。ルームに人がいなくなってから状態が変更されるまでに、最大 2 分かかることがあります。この機能は、超音波に基づいています。このビデオ システムでは、ルームに誰がいたかは記録として保持されず、ルームに人がいたかどうかのみが保持されます。

返される結果の値スペース:

Yes/No/Unknown

例:

```
xStatus RoomAnalytics PeoplePresence
*s RoomAnalytics PeoplePresence: No
** end
```

RoomPreset ステータス

xStatus RoomPreset

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

カメラ プリセット ステータスのトップ レベルの概要を示します。

xStatus RoomPreset [n] Defined

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

カメラ プリセットがこの位置で保存されるかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Defined
*s RoomPreset 1 Defined: True
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Description

適用対象: *SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

特定のプリセットに設定された名前をリストします。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Description
*s RoomPreset 1 Description: "Zoom in"
** end
```

xStatus RoomPreset [n] Type

適用対象: SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit
CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

カメラ プリセットのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

All/Camera

例:

```
xStatus RoomPreset 1 Type
*s RoomPreset 1 Type: All
** end
```

セキュリティステータス

xStatus Security FIPS Mode

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

FIPS モードのステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Security FIPS Mode
*s Security FIPS Mode: Off
** end
```

xStatus Security Persistency CallHistory

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

通話履歴ロギングが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。
Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency CallHistory
*s Security Persistency CallHistory: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency Configurations

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

すべてのシステム設定が永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency Configurations
*s Security Persistency Configurations: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency DHCP

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

DHCP ログギングが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency DHCP
*s Security Persistency DHCP: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency InternalLogging

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

内部ログギングが永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency InternalLogging
*s Security Persistency InternalLogging: Persistent
** end
```

xStatus Security Persistency LocalPhonebook

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ローカル電話帳が永続モードまたは非永続モードのどちらに設定されているかを示します。Persistent がデフォルト モードです。

返される結果の値スペース:

NonPersistent/Persistent

例:

```
xStatus Security Persistency LocalPhonebook
*s Security Persistency LocalPhonebook: Persistent
** end
```

SIP ステータス

xStatus SIP AlternateURI Alias [n] URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI Alias
*s SIP AlternateURI Alias URI: ""
** end
```

xStatus SIP AlternateURI Primary [n] URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP AlternateURI Primary
*s SIP AlternateURI Primary URI: ""
** end
```

xStatus SIP Authentication

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

SIP プロキシ サーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

Digest/Off

Digest: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方式を使用します。

Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Authentication
*s SIP Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward DisplayName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

転送されたコールのユーザ インターフェイス上に表示される URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward DisplayName
*s SIP CallForward DisplayName: ""
** end
```

xStatus SIP CallForward Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

SIP のコール転送モードがオンに設定されているのか、オフに設定されているのかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus SIP CallForward Mode
*s SIP CallForward Mode: Off
** end
```

xStatus SIP CallForward URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コール転送モードがオンに設定されている場合に着信コールが転送されるアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP CallForward URI
*s SIP CallForward URI: "J"
** end
```

xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

メールボックス内の新しいメッセージの数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus SIP Mailbox MessagesWaiting
*s SIP Mailbox MessagesWaiting: 0
** end
```

xStatus SIP Mailbox URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

SIP メールボックスの URI を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Mailbox URI
*s SIP Mailbox URI: "12345678"
** end
```

xStatus SIP Proxy [n] Address

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムが通信する SIP プロキシのアドレスを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Proxy 1 Address
*s SIP Proxy 1 Address: "192.0.2.50"
** end
```

xStatus SIP Proxy [n] Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

エンドポイントと SIP プロキシ サーバ間の通信のステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Active/DNSFailed/Off/Timeout/UnableTCP/UnableTLS/Unknown/AuthenticationFailed

Active: エンドポイントと SIP プロキシ間の通信はアクティブです。

DNSFailed: DNS サーバとの通信の確立に失敗しました。

Off: エンドポイントと SIP プロキシ間に通信がありません。

Timeout: SIP プロキシとの通信の確立がタイムアウトになりました。

UnableTCP: システムは転送方式として TCP を使用できません。

UnableTLS: システムは転送方式として TLS を使用できません。

Unknown: 通信のステータスが不明です。

AuthenticationFailed: ユーザ名またはパスワードが正しくありません。

例:

```
xStatus SIP Proxy 1 Status
*s SIP Proxy 1 Status: Active
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Authentication

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録時に使用される認証メカニズムを示します。

返される結果の値スペース:

Digest/Off

Digest: RFC 2069 で指定されているダイジェスト アクセス認証方式を使用します。

Off: 認証メカニズムは使用されません。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Authentication
*s SIP Registration 1 Authentication: Off
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Reason

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP 登録が失敗した理由を説明するメッセージを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Reason
*s SIP Registration 1 Reason: "404 Not Found"
** end
```

xStatus SIP Registration [n] Status

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録ステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Deregister/Failed/Inactive/Registered/Registering

Deregister: システムは SIP プロキシへの登録を解除中です。

Failed: システムは SIP プロキシへの登録に失敗しました。

Inactive: システムはどの SIP プロキシにも登録されていません。

Registered: システムは SIP プロキシに登録されています。

Registering: システムは SIP プロキシへの登録処理中です。

例:

```
xStatus SIP Registration 1 Status
*s SIP Registration 1 Status: Registered
** end
```

xStatus SIP Registration [n] URI

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバへの登録に使用する URI を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SIP Registration 1 URI
*s SIP Registration 1 URI: "firstname.lastname@company.com"
** end
```

xStatus SIP Secure

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

SIP プロキシ サーバとのシグナリングの暗号化ステータスを表示します。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

例:

```
xStatus SIP Secure
*s SIP Secure: True
** end
```

xStatus SIP Verified

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ システムまたはコーデックが登録を試行するサーバの SSL 証明書が、コーデックの信頼できる CA リストに含まれているかどうかを示します。サーバは通常、Cisco VCS または CUCM です。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: サーバの SIP 証明書は、コーデックの信頼できる CA リストと照合され、有効であると見なされました。また、サーバの完全修飾ドメイン名は有効な証明書と一致しています。

False: SIP 証明書の検証に失敗したか、ドメイン名が一致しなかったため、TLS 接続がセットアップされていません。TLS が使用されない (xConfiguration SIP DefaultTransport が TLS に設定されていない) 場合や、証明書の検証がオフになっている (SIP TlsVerify: Off。この設定にはお使いの製品の Web インターフェイスからアクセス可能) 場合は、ステータスでも False が返されることに注意してください。

例:

```
xStatus SIP Verified
*s SIP Verified: False
** end
```


Standby ステータス

xStatus Standby PowerSave State

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムが省電力モードになっているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Active/Deactivating/Unavailable/Inactive/Disabled

Active: 就業時間外のため、ビデオシステムは省電力モードになっています。

Deactivating: ビデオ システムでは、省電力モードからの復帰が進行中です。

Inactive: 就業時間中のため、ビデオシステムは省電力モードになっていません。

Disabled: ビデオ システムは、省電力モードを使用しないように設定されています。

例:

```
xStatus Standby PowerSave State
*s Standby PowerSave State: Inactive
** end
```

xStatus Standby State

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

システムがスタンバイ モードになっているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

Standby/EnteringStandby/Halfwake/Off

Standby: システムはスタンバイ状態です。

EnteringStandby: システム スタンバイ状態に移行中です。

Halfwake: システムはスタンバイ状態ですが、モーション (動き) または Proximity ペアリング アプリによって在室が検出されると、ユーザに応答します。DX70 には適用されません。

Off: システムはスタンバイ状態ではありません。

例:

```
xStatus Standby State
*s Standby State: Off
** end
```

SystemUnit ステータス

xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

Cisco TelePresence エンドポイントは、汎用ストレージとして NAND フラッシュ メモリを使用しています。TC ソフトウェアを実行しているエンドポイントには、フラッシュ メモリの新しいバージョンが使用されています。フラッシュ メモリの新しいバージョンを備えたエンドポイントでは、ソフトウェア TC4.2.1 以降を実行する必要があります。以前の TC ソフトウェア バージョンの一部は、新しいフラッシュ メモリをサポートするように更新されています。フラッシュ メモリの新しいバージョンがサポートされているかどうかは、リリース ノートを確認してください。エンドポイントに CompatibilityLevel コマンドがない場合、新しいフラッシュ メモリがインストールされていません。

返される結果の値スペース:

[1/0]

0 = システムには新しいフラッシュ メモリがインストールされていません。

1 = システムには新しいフラッシュ メモリがインストールされています。ダウングレードは、以前の TC ソフトウェア バージョンがフラッシュ メモリの新しいバージョンをサポートしている場合のみ可能です。

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel
*s SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel: 1
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Module SerialNumber

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コーデックのハードウェア モジュールのシリアル番号を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber
*s SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber: "FOC99999999"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

フィードバックには指定したファンの速度 (rpm) が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status
*s SystemUnit Hardware Monitoring Fan 1 Status: "locked on 1096 rpm"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware Temperature

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コーデック/システムで測定された現在の最高温度 (摂氏) を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware Temperature
*s SystemUnit Hardware Temperature: "64.0"
** end
```

xStatus SystemUnit Hardware TemperatureThreshold

適用対象: DX70/DX80 SX10 SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コーデックの最高温度の情報を返します。この温度を超えると、システムが自動的にシャットダウンされます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Hardware TemperatureThreshold
*s SystemUnit Hardware TemperatureThreshold: "85"
** end
```

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Text

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

重要なシステム通知に関連するテキストを一覧表示します。通知は、ソフトウェアのアップグレードのためにシステムが再起動したときや、ファクトリ リセットが実行されたときなどに発行されます。

すべての通知は、xCommand SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行して、リストから削除できます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Text
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Text: "OK"
** end
```

xStatus SystemUnit Notifications Notification [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システム通知のタイプを一覧表示します。通知は、ソフトウェアのアップグレードのためにシステムが再起動したときや、ファクトリ リセットが実行されたときなどに発行されます。

すべての通知は、xCCommand SystemUnit Notifications RemoveAll コマンドを発行して、リストから削除できます。

返される結果の値スペース:

```
FactoryResetOK/FactoryResetFailed/SoftwareUpgradeOK/SoftwareUpgradeFailed/
RebootRequired/Other
```

FactoryResetOK: この値は、ファクトリ リセットの成功後に返されます。

FactoryResetFailed: この値は、ファクトリ リセットの試行失敗後に返されます。

SoftwareUpgradeOK: この値は、ソフトウェア アップグレードの成功後に返されます。

SoftwareUpgradeFailed: この値は、ソフトウェア アップグレードの試行失敗後に返されます。

RebootRequired: この値は、再起動が必要な場合に返されます。

Other: この値は、他のすべての通知に対して返されます。

例:

```
xStatus SystemUnit Notifications Notification 1 Type
*s SystemUnit Notifications Notification 1 Type: SoftwareUpgradeOK
** end
```

xStatus SystemUnit ProductId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

製品の識別情報を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ProductId
*s SystemUnit ProductId: "Cisco TelePresence Codec SX80"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductPlatform

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

製品プラットフォームを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ProductPlatform
*s SystemUnit ProductPlatform: "SX80"
** end
```

xStatus SystemUnit ProductType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

製品タイプを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit ProductType
*s SystemUnit ProductType: "Cisco Codec"
** end
```

xStatus SystemUnit Software DisplayName

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コーデックにインストールされているソフトウェアの名前を、UI に表示されるとおりに示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software DisplayName
*s SystemUnit Software DisplayName: "Display Name"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コーデックにインストールされているソフトウェアの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Name
*s SystemUnit Software Name: "s53200"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムにインストールされたオプション キーまたはソフトウェアが、暗号化機能をサポートしているかどうかを示します。オプション キーは SX10、SX80、MX シリーズで利用できます。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys Encryption
*s SystemUnit Software OptionKeys Encryption: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite

適用対象: *SX20 SX80 MX200G2/MX300G2 MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムにインストールされたオプション キーが、MultiSite 機能をサポートしているかどうかを示します。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys MultiSite
*s SystemUnit Software OptionKeys MultiSite: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

システムにリモート モニタリング オプション キーがインストールされているかどうかを示します。リモート モニタリング オプション キーは、Web インターフェイスと、リモートでペアリングされた Touch 10 からのスナップショットを有効にします。

返される結果の値スペース:

False/True

例:

```
xStatus SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring
*s SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring: "true"
** end
```

xStatus SystemUnit Software ReleaseDate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コーデックにインストールされているソフトウェアのリリース日を示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software ReleaseDate
*s SystemUnit Software ReleaseDate: "2015/05/05"
** end
```

xStatus SystemUnit Software Version

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

コーデックにインストールされたソフトウェアのバージョンを示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus SystemUnit Software Version
*s SystemUnit Software Version: "CE8.0.0"
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER, ROOMCONTROL

アクティブなコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfActiveCalls
*s SystemUnit State NumberOfActiveCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

進行中のコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfInProgressCalls
*s SystemUnit State NumberOfInProgressCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

一時停止中のコールの数を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 5

例:

```
xStatus SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls
*s SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls: 0
** end
```

xStatus SystemUnit Uptime

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コーデックの最後の再起動以降の秒数を示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus SystemUnit Uptime
*s SystemUnit Uptime: 597095
** end
```

Time ステータス

xStatus Time SystemTime

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

システムに設定された日時を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Time SystemTime
*s Time SystemTime: "2014-04-25T10: 04: 03Z"
** end
```

UserInterface ステータス

xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムのアクティブな連絡先の情報を返します。このアドレスは、このエンドポイントに到達するために使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo ContactMethod Number
*s UserInterface ContactInfo ContactMethod 1 Number: "12345678"
** end
```

xStatus UserInterface ContactInfo Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

システムのアクティブな担当者名を返します。システムがプロトコルに登録されている場合は、そのプロトコルに応じて結果が異なります。自動的に設定された連絡先名は、コマンド xConfiguration UserInterface ContactInfo Type によって上書きされている場合があります。その場合は、連絡先の不一致に関する診断警告が表示されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus UserInterface ContactInfo Name
*s UserInterface ContactInfo Name: "MySystem"
** end
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] Value

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

ウィジェットの値を返します。ウィジェットは、ユーザ インターフェイスに追加されるカスタム パネル (室内制御など) で使用されます。値スペースはウィジェット タイプによって異なります。UserInterface Extensions Widget SetValue コマンドを使って値が設定される時点まで、値は空の文字列です。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions Value
*s UserInterface Extensions Widget 1 Value: "on"
*s UserInterface Extensions Widget 2 Value: "255"
*s UserInterface Extensions Widget 3 Value: "Blinds"
*s UserInterface Extensions Widget 4 Value: "inactive"
*s UserInterface Extensions Widget 5 Value: "2"
*s UserInterface Extensions Widget 6 Value: "Projector is ready"
** end []
```

xStatus UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER、ROOMCONTROL

ウィジェットの固有識別子を返します。ウィジェットは、ユーザ インターフェイスに追加されるカスタム パネル (室内制御など) で使用されます。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
UserInterface Extensions WidgetId
*s UserInterface Extensions Widget 1 WidgetId: "togglebutton"
*s UserInterface Extensions Widget 2 WidgetId: "slider"
*s UserInterface Extensions Widget 3 WidgetId: "spinner"
*s UserInterface Extensions Widget 4 WidgetId: "button"
*s UserInterface Extensions Widget 5 WidgetId: "groupbutton"
*s UserInterface Extensions Widget 6 WidgetId: "textfield"
** end []
```


ビデオ ステータス

xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

画面上での通話中のスピーカーの画像の位置を示します。

返される結果の値スペース:

UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

例:

```
xStatus Video ActiveSpeaker PIPPosition
*s Video PIP ActiveSpeaker Position: UpperCenter
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Connected

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

指定したコネクタに接続されているものがあるかどうかを示します。すべての接続を検出することはできません。

返される結果の値スペース:

False/True/Unknown

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Connected
*s Video Input Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続されている入力デバイスの種類を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 DeviceType: "Playback"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続されている入力デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。アドレスは 0 に固定されています。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Input Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 0
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続されている入力デバイスの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 Name: "Device-2"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

HDMI 入力に接続されている CEC 対応デバイスの状態を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 PowerStatus: "Standby"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: *RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

接続されている入力デバイスのベンダー ID を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId
*s Video Input Connector 2 ConnectedDevice CEC 5 VendorId: "20576"
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SignalState

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

特定の入力の信号状態を示します。

返される結果の値スペース:

OK/Unknown/Unsupported

Unknown: 信号フォーマットが不明です。

OK: 信号が検出され、信号フォーマットはサポートされています。

Unsupported: 信号が検出されましたが、信号フォーマットはサポートされていません。

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SignalState
*s Video Input Connector 1 SignalState: OK
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] SourceId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コネクタが関連付けられている入力ソースの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 SourceId
*s Video Input Connector 1 SourceId: 1
** end
```

xStatus Video Input Connector [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コネクタ タイプを表示します。

返される結果の値スペース:

Camera/Composite/DVI/3G-SDI/HD-SDI/HDMI/USB/Unknown/VGA/YC/YPbPr

例:

```
xStatus Video Input Connector 1 Type
*s Video Input Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus Video Input MainVideoSource

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

現在メイン ソースとして使用されているローカル ビデオ入力に戻します。メイン ソースが複数のローカル入力で構成されている場合、値 *Composed* が返されます。デフォルトのメイン ビデオ ソースは `xConfiguration Video DefaultMainSource` コマンドで設定されます。 `xCommand Video Input SetMainVideoSource` を使用して変更できます (このコマンドはSX10、DX70、DX80 には適用されません)。

返される結果の値スペース:

1/2/3/4/5/6/Composed

例:

```
xStatus Video Input MainVideoSource
*s Video Input MainVideoSource: 1
** end
```

xStatus Video Input Source [n] ConnectorId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

入力ソースに関連付けられたコネクタの識別子を表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Source 1 ConnectorId
*s Video Input Source 1 ConnectorId: 1
** end
```

xStatus Video Input Source [n] FormatStatus

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度フォーマットのステータスを示します。

返される結果の値スペース:

Ok/OutOfRange/NotFound/Interlaced/Error/Unknown

例:

```
xStatus Video Input Source 1 FormatStatus
*s Video Input Source 1 Resolution FormatStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Input Source [n] FormatType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度フォーマットのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

*Unknown/AnalogCVTBlanking/AnalogCVTReducedBlanking/AnalogGTFDefault/
AnalogGTFSecondary/AnalogDiscreteTiming/AnalogDMTBlanking/AnalogCEABlanking/Digital*

例:

```
xStatus Video Input Source 1 FormatType
*s Video Input Source 1 Resolution FormatType: Digital
** end
```

xStatus Video Input Source [n] MediaChannelId

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

内部使用専用。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Input Source MediaChannelId
*s Video Input Source 1 MediaChannelId: 2
*s Video Input Source 2 MediaChannelId: 3
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Height

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度の高さ (ピクセル単位) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 3000

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Height
*s Video Input Source 1 Resolution Height: 1080
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution RefreshRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度のリフレッシュ レート (Hz) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 300

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution RefreshRate
*s Video Input Source 1 Resolution RefreshRate: 50
** end
```

xStatus Video Input Source [n] Resolution Width

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

ビデオ入力ソースの解像度の幅 (ピクセル単位) を示します。

返される結果の値スペース:

0 ~ 4000

例:

```
xStatus Video Input Source 1 Resolution Width
*s Video Input Source 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Local

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ローカルの画面レイアウト ファミリを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Local
*s Video Layout LayoutFamily Local: "equal"
** end
```

xStatus Video Layout LayoutFamily Remote

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

リモートの画面レイアウト ファミリを表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Layout LayoutFamily Remote
*s Video Layout LayoutFamily Remote: "equal"
** end
```

xStatus Video Monitors

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのレイアウト モードを返します。

返される結果の値スペース:

Single/Dual/DualPresentationOnly/Triple/TriplePresentationOnly

Single: 同じレイアウトがすべてのモニタに表示されます。

Dual: レイアウトは 2 台のモニタに分散されます。

DualPresentationOnly: 最初のモニタにはコールのすべての参加者、2 番目のモニタにはプレゼンテーション (存在する場合) が表示されます。

Triple: レイアウトは 3 台のモニタに分散されます。

TriplePresentationOnly: 1 番目と 2 番目のモニタにはコールのすべての参加者が、3 番目のモニタにはプレゼンテーション (存在する場合) が表示されます。

例:

```
xStatus Video Monitors
*s Video Monitors: Single
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Connected

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイス (ディスプレイなど) が出力コネクタに接続されているかどうかを示します。ディスプレイがスタンバイ モードになると、エンドポイントでは検出できない可能性があります。ディスプレイが物理的に接続されていても、コネクタのステータスでは False または Unknown が返されます。

返される結果の値スペース:

true/false (True/False)

True: デバイスはビデオ出力コネクタに接続されています。

False: ビデオ出力コネクタには何も接続されていません。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Connected
*s Video Output Connector 1 Connected: True
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

コーデックが検出した、HDMI に接続されている CEC 対応デバイスのタイプを示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されたデバイスで CEC 機能が設定されており、コーデックの構成で xConfiguration Video Output Connector [n] CEC Mode が on に設定されている場合にのみ入手できます。

返される結果の値スペース:

Unknown/TV/Reserved/Recorder/Tuner/Playback/Audio

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC DeviceType: TV
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

デバイスの CEC 論理アドレスを表示します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 LogicalAddress: 4
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続デバイスの名前を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 Name: "LG SIGNAGE TV"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerControl

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 出力に接続している CEC 対応デバイスをコーデックが操作しているかを示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されているデバイスで CEC 機能が設定されており、かつコーデックで xConfiguration Video Output Connector CEC Mode 設定がオンに設定されている場合にのみ使用可能です。

返される結果の値スペース:

Unknown/Ok/In progress/Failed to power on/Failed to standby

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerControl
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerControl: Ok
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI 出力に接続している CEC 対応デバイスのステータスを示します。

この情報は、HDMI 出力に接続されているデバイスで CEC 機能が設定されており、かつコーデックで xConfiguration Video Output Connector CEC Mode 設定がオンに設定されている場合にのみ使用可能です。

返される結果の値スペース:

Unknown/Ok/In progress/Failed to power on/Failed to standby

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC PowerStatus: Ok
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId

適用対象: すべての製品

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

接続デバイスのベンダー ID を返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC VendorId
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice CEC 1 VendorId: "57489"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

モニタ EDID で定義された HDMI ポートに接続されたモニタの名前を表示します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice Name: "G2420HDBL"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, INTEGRATOR, USER

HDMI ポートに接続されているモニタの優先入力形式 (モニタ EDID で定義) を示します。これは、必ずしもコーデックが送信している形式ではありません。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice PreferredFormat: "1920x1080@60Hz"
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

接続デバイスの画面サイズをインチ単位で表示します。この情報を入手できない場合、デフォルト値は 0 に設定されます。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize
*s Video Output Connector 1 ConnectedDevice ScreenSize: 55
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] MonitorRole

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

ビデオ出力コネクタに接続しているデバイスで表示するビデオ ストリームを示します。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third/PresentationOnly/Recorder

First/Second/Third: マルチモニタ設定でのモニタのロール。シングルモニタ設定では、First、Second、および Third の間に違いはありません。

PresentationOnly: プレゼンテーション ビデオ ストリーム (アクティブな場合) を表示します。

Recorder: ローカル メイン ビデオを含めて、すべての参加者を表示します。アクティブであれば、プレゼンテーションも表示されます。

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 MonitorRole
*s Video Output Connector 1 MonitorRole: First
** end
```


xStatus Video Output Connector [n] Resolution Height

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度の高さ (ピクセル単位) を表示します。

返される結果の値スペース:

120 ~ 3000

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Height
*s Video Output Connector 1 Resolution Height: 1080
** en
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER ビデオ出力コネクタの解像度のリフレッシュ レート (Hz) を表示します。

返される結果の値スペース:

1 ~ 300

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate
*s Video Output Connector 1 Resolution RefreshRate: 60
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Resolution Width

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

ビデオ出力コネクタの解像度の幅 (ピクセル単位) を表示します。

返される結果の値スペース:

176 ~ 4000

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Resolution Width
*s Video Output Connector 1 Resolution Width: 1920
** end
```

xStatus Video Output Connector [n] Type

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

コネクタのタイプを示します。

返される結果の値スペース:

HDMI/DVI

例:

```
xStatus Video Output Connector 1 Type
*s Video Output Connector 1 Type: HDMI
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Backlight

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Backlight Set で設定された、モニタのバックライト レベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Backlight
*s Video Output Monitor 1 Backlight: 80
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Brightness

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor brightness Set で設定された、モニタの明るさレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Brightness
*s Video Output Monitor 1 Brightness: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Blue

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Blue Set で設定された、モニタの青のレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Blue
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Blue: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Green

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Green Set で設定された、モニタの緑のレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Green
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Green: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Red

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Red Set で設定された、モニタの赤のレベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Red
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Red: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected

適用対象: *MX700/MX800/MX800D Room70/Room55D Room70G2*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor Color Select で設定された、モニタの色温度を返します。

返される結果の値スペース:

4900/5500/6500/7200/9300/10500/12000/User

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected
*s Video Output Monitor 1 ColorTemperature Selected: 6500
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Contrast

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] Contrast で設定された、モニタのコントラスト レベルを返します。

返される結果の値スペース:

整数 (Integer)

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Contrast
*s Video Output Monitor 1 Contrast: 50
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] CSCYUV

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*

必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] CSC Select で設定された、モニタの選択された色空間を返します。

返される結果の値スペース:

RGB/YUV

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 CSCYUV
*s Video Output Monitor 1 CSCYUV: RGB
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] FirmwareVersion

適用対象: *SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*
 必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのファームウェア バージョンを示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列
 モニタのファームウェア バージョン。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 FirmwareVersion
*s Video Output Monitor 1 FirmwareVersion: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Gamma

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*
 必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

xCommand Video Output Monitor[n] Gamma で設定された、モニタのガンマ レベルを返します。

返される結果の値スペース:

文字列

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Gamma
*s Video Output Monitor 1 Gamma: "2.2"
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] ModelName

適用対象: *SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*
 必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタのモデル名を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列
 モニタのモデル名。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 ModelName
*s Video Output Monitor 1 ModelName: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Position

適用対象: *MX700/MX800/MX800D RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*
 必要なユーザ ロール: ADMIN, USER

モニタが左右どちらに配置されているかを示します。デュアル スクリーン システムのみに適用されません。

返される結果の値スペース:

Left/Right

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Position
*s Video Output Monitor 1 Position: Left
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] SerialNumber

適用対象: *SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*
 必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

モニタのシリアル番号を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

文字列
 モニタのシリアル番号。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 SerialNumber
*s Video Output Monitor 1 SerialNumber: ""
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Sharpness

適用対象: *MX700/MX800/MX800D*
 必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

xCommand Video Output Monitor[n] Sharpness で設定された、モニタの選択されたシャープさを返します。

返される結果の値スペース:

Softest/Soft/Normal/Sharp/Sharpest

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Sharpness
*s Video Output Monitor 1 Sharpness: Normal
** end
```

xStatus Video Output Monitor [n] Temperature

適用対象: *SX10 RoomKit CodecPlus CodecPro Room55 Room70/Room55D Room70G2*
 必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

モニタの温度を示します。このステータス フィールドは、サポートされている LG モニタに接続しているときのみ入力されます。

返される結果の値スペース:

Normal/High

Normal: モニタの温度は正常です。
High: モニタの温度が高すぎます。

例:

```
xStatus Video Output Monitor 1 Temperature
*s Video Output Monitor 1 Temperature: Normal
** end
```

xStatus Video Presentation PIPPosition

適用対象: *すべての製品*
 必要なユーザ ロール: ADMIN、USER

画面上のプレゼンテーション画像の位置を表示します。

返される結果の値スペース:

UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

例:

```
xStatus Video Presentation PIPPosition
*s Video PIP Presentation Position: CenterLeft
** end
```

xStatus Video Selfview FullscreenMode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

セルフビューがフル スクリーン モードで設定されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview FullscreenMode
*s Video Selfview FullscreenMode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview Mode

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

セルフビュー モードがオンに設定されているかどうかを表示します。

返される結果の値スペース:

On/Off

例:

```
xStatus Video Selfview Mode
*s Video Selfview Mode: Off
** end
```

xStatus Video Selfview OnMonitorRole

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

セルフビューを含むモニタ (存在する場合) を識別します。

返される結果の値スペース:

First/Second/Third

例:

```
xStatus Video Selfview OnMonitorRole
*s Video Selfview OnMonitorRole: First
** end
```

xStatus Video Selfview PIPPosition

適用対象: *すべての製品*

必要なユーザ ロール: ADMIN、INTEGRATOR、USER

画面上のセルフビュー画像の位置を表示します。

返される結果の値スペース:

UpperLeft/UpperCenter/UpperRight/CenterLeft/CenterRight/LowerLeft/LowerRight

例:

```
xStatus Video Selfview PIPPosition
*s Video Selfview PIPPosition: LowerRight
** end
```



第 6 章 付録

サポートされているコマンド マトリックス

ここでは CE9.4 を実行するビデオ システムでサポートされている設定、ステータス、およびコマンドの完全なリストを示したテーブルを確認できます。

テーブルの詳細について

1. 設定、ステータス、またはコマンドをサポートしているビデオ システム

すべてのタイプのビデオ システムでサポートされているエントリもあれば、より小さいサブセットについてのみ存在するエントリもあります。

次のビデオ システムが対象となります。

- DX シリーズ: DX80、DX70
- MX シリーズ: MX800、MX700、MX300 G2、MX200 G2
- Room シリーズ: Codec Pro、Codec Plus、Room Kit、Room 70、Room 70 G2、Room 55 Dual、Room 55
- SX シリーズ: SX80、SX20、SX10

2. 設定、ステータス、またはコマンドをサポートしているコール サービス

ビデオ システムが、たとえば Expressway 経由で Cisco UCM、VCS、または Cisco UCM に登録されているオンプレミスであればすべてのエントリがサポートされています。デバイスが Cisco Webex クラウド サービスに登録されている場合は、サブセットのみがサポートされます。

3. 各設定、ステータス、またはコマンドにアクセスする方法

ビデオ システムの Web インターフェイスからすべての設定とステータスにアクセスできます。サブセットは、ビデオ システムの API の一部でもあります。コマンドは、ビデオ システムの API からのみ実行できます。

4. 設定、ステータス、またはコマンドを使用するために必要なユーザー ロール

1 つのユーザー アカウントは、以下の 1 つのユーザー ロールまたは複数の組み合わせを保持できます。

- ADMIN
- AUDIT
- INTEGRATOR
- ROOMCONTROL
- USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio DefaultVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Input HDMI [n] Level	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input HDMI [n] Mode	x	-	-	X	-	-	-	X	X	-	-	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input HDMI [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	x	-	-	X	-	-	-	X	X	-	-	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Equalizer ID	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Equalizer Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] VideoAssociation VideoInputSource	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Channel	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Level	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Line [n] Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Mode	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl Dereverberation	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] EchoControl NoiseReduction	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Equalizer ID	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Equalizer Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Level	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Mode	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] Type	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] PhantomPower	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation MuteOnInactiveVideo	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input Microphone [n] VideoAssociation VideoInputSource	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Input MicrophoneMode	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio KeyClickDetector Attenuate	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio KeyClickDetector Enabled	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Microphones Mute Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Audio MicrophoneReinforcement Input Microphone [n] Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio MicrophoneReinforcement Output Line [n] Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio MicrophoneReinforcement Gain	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay DelayMs	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Delay Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Level	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output HDMI [n] Mode	x	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output InternalSpeaker Mode	-	-	-	-	X	-	X	X	X	-	-	X	OP	Web, API	A
Audio Output Line [n] Channel	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Delay DelayMs	X	X	X	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Delay Mode	X	X	X	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Equalizer ID	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Equalizer Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Level	x	-	-	X	-	-	-	-	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] Mode	x	-	-	X	-	-	X	-	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Audio Output Line [n] OutputType	-	-	-	-	-	-	X	-	-	X	-	-	OP, C	Web, API	A I
Audio SoundsAndAlerts RingTone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio SoundsAndAlerts RingVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Ultrasound Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Audio Ultrasound MaxVolume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Bluetooth Allowed	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A
Bluetooth Enabled	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
CallHistory Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Cameras Camera [n] AssignedSerialNumber	x	-	-	X	-	-	-	X	X	X	-	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Backlight DefaultMode	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Brightness Mode	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Brightness DefaultLevel	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Flip	X	X	X	X	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Focus Mode	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Gamma Mode	X	X	-	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Gamma Level	X	X	-	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] IrSensor	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Cameras Camera [n] Mirror	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] MotorMoveDetection	X	X	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	OP, C	Web	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Mode	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera [n] Whitebalance Level	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras Camera Framerate	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	X	OP	Web, API	A
Cameras PowerLine Frequency	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Pan	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Tilt	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack CameraPosition Zoom	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack Connector	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack Enabled	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack PresenterDetectedStatus	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras PresenterTrack TriggerZone	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Cameras Preset TriggerAutofocus	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A
Cameras SpeakerTrack Mode	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Cameras SpeakerTrack Closeup	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Cameras SpeakerTrack TrackingMode	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraLeft	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack ConnectorDetection CameraRight	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
Cameras SpeakerTrack Whiteboard Mode	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Conference ActiveControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference AutoAnswer Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference AutoAnswer Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference AutoAnswer Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference CallProtocolIPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference DefaultCall Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference DefaultCall Rate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Conference DoNotDisturb DefaultTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Conference Encryption Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference FarEndControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference FarEndControl SignalCapability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference FarEndMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference MaxReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference MaxTransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference MaxTotalReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference MaxTotalTransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Conference MicUnmuteOnDisconnect Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference Multipoint Mode	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference MultiStream Mode	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Conference IncomingMultisiteCall Mode	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference Presentation OnPlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference Presentation RelayQuality	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Conference VideoBandwidth Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
FacilityService Service [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
FacilityService Service [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
FacilityService Service [n] Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
FacilityService Service [n] CallType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
GPIO Pin [n] Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I
H323 Authentication Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 Authentication LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 Authentication Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 CallSetup Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 Encryption KeySize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 Gatekeeper Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 H323Alias E164	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 H323Alias ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 NAT Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 NAT Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
H323 PortAllocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Logging External Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Logging External Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Logging External Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Logging External Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Logging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Macros Mode	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Macros AutoStart	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Network [n] DNS DNSSEC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Network [n] DNS Domain Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] DNS Server [m] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X UseClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Identity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X AnonymousIdentity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Md5	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Tls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Tls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IEEE8021X Eap Peap	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPStack	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Assignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv4 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv4 SubnetMask	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Assignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv6 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] IPv6 DHCPOptions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] MTU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Network [n] QoS Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Audio	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Video	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Data	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv Signalling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv ICMPv6	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] QoS Diffserv NTP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] RemoteAccess Allow	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Network [n] TrafficControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] VLAN Voice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] VLAN Voice VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkPort [n] Mode	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A
NetworkServices CDP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices H323 Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices HTTP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices HTTP Proxy LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices HTTP Proxy PACUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices HTTPS OCSP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
NetworkServices HTTPS OCSP URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
NetworkServices HTTPS Server MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices HTTPS StrictTransportSecurity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
NetworkServices HTTPS VerifyServerCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices HTTPS VerifyClientCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices NTP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices NTP Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices SIP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices SNMP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
NetworkServices SNMP Host [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
NetworkServices SNMP CommunityName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
NetworkServices SNMP SystemContact	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
NetworkServices SNMP SystemLocation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
NetworkServices SSH Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices SSH AllowPublicKey	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
NetworkServices Telnet Mode	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A
NetworkServices UPnP Mode	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices UPnP Timeout	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
NetworkServices WelcomeText	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
NetworkServices Wifi Allowed	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
NetworkServices Wifi Enabled	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
NetworkServices XMLAPI Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels EmcResilience	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Peripherals Pairing CiscoTouchPanels RemotePairing	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A
Peripherals Profile Cameras	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Peripherals Profile ControlSystems	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Peripherals Profile TouchPanels	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Phonebook Server [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Phonebook Server [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Phonebook Server [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Provisioning Connectivity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager AlternateAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Path	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning ExternalManager Domain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning LoginName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning RoomType ClassroomEnabled	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web	A I
Proximity Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Proximity Services CallControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Proximity Services ContentShare FromClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Proximity Services ContentShare ToClients	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
RoomAnalytics PeopleCountOutOfCall	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
RoomAnalytics PeoplePresenceDetector	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
RoomReset Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
RTP Ports Range Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
RTP Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
RTP Video Ports Range Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
RTP Video Ports Range Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Security Audit Logging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	Au
Security Audit OnError Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	Au

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Security Audit Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	Au
Security Audit Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	Au
Security Audit Server PortAssignment	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	Au
Security Session FailedLoginsLockoutTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Security Session InactivityTimeout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Security Session MaxFailedLogins	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Security Session MaxSessionsPerUser	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Security Session MaxTotalSessions	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Security Session ShowLastLogon	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SerialPort Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
SerialPort BaudRate	X	X	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
SerialPort LoginRequired	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP ANAT	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP Authentication UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Authentication Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP DefaultTransport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Ice DefaultCandidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Ice Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Line	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP ListenPort	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Mailbox	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP PreferredIPMedia	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP PreferredIPSignaling	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
SIP Proxy [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP TlsVerify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP Turn DiscoverMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP Turn DropRflx	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP Turn Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Turn UserName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Turn Password	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SIP Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SIP URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Standby BootAction	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Standby Control	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Standby Delay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Standby StandbyAction	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Standby WakeupAction	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Standby WakeupOnMotionDetection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Standby PowerSave	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A
SystemUnit Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SystemUnit CrashReporting Advanced	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
SystemUnit CrashReporting Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SystemUnit CrashReporting Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
SystemUnit IrSensor	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A
Time TimeFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Time DateFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Time Zone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Time WorkDay Start	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Time WorkDay End	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Time WorkWeek FirstDayOfWeek	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Time WorkWeek LastDayOfWeek	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
UserInterface Accessibility IncomingCallNotification	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
UserInterface ContactInfo Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserInterface CustomMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
UserInterface KeyTones Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
UserInterface Language	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
UserInterface OSD EncryptionIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
UserInterface OSD HalfwakeMessage	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
UserInterface Security Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserInterface SettingsMenu Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserInterface Wallpaper	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
UserManagement LDAP Admin Filter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP Admin Group	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP Attribute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP BaseDN	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP MinimumTLSVersion	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP Server Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
UserManagement LDAP VerifyServerCertificate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A
Video ActiveSpeaker DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video DefaultLayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Video DefaultLayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A
Video DefaultMainSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Input Connector [n] CameraControl Camerald	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] CameraControl Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] CEC Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] DviType	X	X	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A
Video Input Connector [n] HDCP Mode	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] InputSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] OptimalDefinition Profile	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Video Input Connector [n] OptimalDefinition Threshold60fps	X	X	-	X	X	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web	A
Video Input Connector [n] PreferredResolution	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] PresentationSelection	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] Quality	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Input Connector [n] RGBQuantizationRange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Video Input Connector [5] SignalType	*	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A
Video Input Connector [n] Visibility	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Brightness	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	X	OP	Web	A U
Video Output Connector [n] CEC Mode	X	X	X	X	X	-	X	X	X	-	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Output Connector [n] Location HorizontalOffset	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Video Output Connector [n] Location VerticalOffset	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	X	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Output Connector [n] OverscanLevel	-	X	X	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

設定 (Configuration)	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video Output Connector [n] Resolution	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] RGBQuantizationRange	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Video Output Connector [n] Whitebalance Level	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	X	OP	Web	A U
Video Presentation DefaultPIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I
Video Presentation DefaultSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Selfview Default FullscreenMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Selfview Default Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Selfview Default OnMonitorRole	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Selfview Default PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Selfview Mirrored	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I
Video Selfview OnCall Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I
Video Selfview OnCall Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio Diagnostics MeasureDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio LocalInput Add	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalInput AddConnector	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalInput Remove	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalInput RemoveConnector	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalInput Update	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput Add	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput AddConnector	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput ConnectInput	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput DisconnectInput	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput Remove	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput RemoveConnector	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput Update	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio LocalOutput UpdateInputGain	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio Microphones ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio Microphones Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio RemoteOutput ConnectInput	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio RemoteOutput DisconnectInput	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio RemoteOutput UpdateInputGain	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Time Zone	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	API	A U
Audio Setup Clear	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
Audio Sound Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio Sound Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio SpeakerCheck	-	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	-	OP, C	API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Audio SoundsAndAlerts Ringtone List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Play	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio SoundsAndAlerts Ringtone Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Audio Volume Decrease	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio Volume Increase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio Volume Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio Volume Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio Volume SetToDefault	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio Volume ToggleMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio Volume Unmute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio VuMeter Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio VuMeter Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Audio VuMeter StopAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Bookings Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Bookings Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Bookings List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Bookings NotificationSnooze	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Accept	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Disconnect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Call DTMFSend	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call FarEndControl Camera Move	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call FarEndControl Camera Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call FarEndControl RoomPreset Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call FarEndControl Source Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Call FarEndMessage Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call FarEndMessage SStringSend	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A U
Call FarEndMessage TStringSend	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A U
Call Forward	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Ignore	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Join	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Reject	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call Resume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Call UnattendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
CallHistory AcknowledgeAllMissedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
CallHistory AcknowledgeMissedCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
CallHistory DeleteAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
CallHistory DeleteEntry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
CallHistory Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
CallHistory Recents	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera PositionReset	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	API	A I U
Camera PositionSet	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Camera Preset Activate	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera Preset ActivateDefaultPosition	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera Preset Edit	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera Preset List	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera Preset Remove	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera Preset Show	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Camera Preset Store	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Camera Ramp	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Camera TriggerAutofocus	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	OP	API	A U
Cameras AutoFocus Diagnostics Start	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I
Cameras AutoFocus Diagnostics Stop	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I
Cameras PresenterTrack ClearPosition	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	API	A I U
Cameras PresenterTrack Set	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	API	A I U
Cameras PresenterTrack StorePosition	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Activate	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Cameras SpeakerTrack Deactivate	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Start	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Diagnostics Stop	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard ActivatePosition	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard AlignPosition	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard SetDistance	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard StorePosition	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Conference DoNotDisturb Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Conference DoNotDisturb Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Conference SpeakerLock Release	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Conference SpeakerLock Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Diagnostics Run	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Dial	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
GPIO ManualState Set	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A U
HttpFeedback Deregister	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
HttpFeedback Enable	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
HttpFeedback Register	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Macros Log Clear	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Log Get	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Activate	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Deactivate	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Get	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Remove	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro RemoveAll	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Rename	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Roles Set	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Macro Save	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Runtime Restart	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Runtime Start	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Runtime Status	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Macros Runtime Stop	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Message Send	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I
Peripherals Connect	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
Peripherals HeartBeat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
Peripherals List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
Peripherals Pairing DeviceDiscovery Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Peripherals Pairing Pair	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Peripherals Pairing Unpair	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Peripherals Purge	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Contact Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Contact Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Contact Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Phonebook ContactMethod Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook ContactMethod Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook ContactMethod Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Folder Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Folder Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Folder Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Phonebook Search	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Presentation Start	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Presentation Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Provisioning CompleteUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Provisioning PostponeUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Login	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Logout	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Provisioning RoomType Activate	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	API	A I
Provisioning Service Fetch	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Proximity Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Proximity Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
RoomPreset Activate	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
RoomPreset Clear	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
RoomPreset Store	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Security Certificates CA Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Certificates CA Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Certificates CA Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Security Certificates Services Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Certificates Services Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Security Certificates Services Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Certificates Services Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Certificates Services Show	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
xCommand Security FIPMode Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Persistency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Session List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Security Session Terminate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Standby Activate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Standby Deactivate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
Standby Halfwake	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I
Standby ResetHalfwakeTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Standby ResetTimer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
SystemUnit Boot	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
SystemUnit FactoryReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
SystemUnit FirstTimeWizard Stop	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
SystemUnit Notifications RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit OptionKey Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit OptionKey List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit OptionKey Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit OptionKey RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit ProductPlatform Set	*	-	-	-	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	API	A
SystemUnit SignInBanner Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit SignInBanner Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
SystemUnit SignInBanner Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
SystemUnit SoftReset	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
SystemUnit SoftwareUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Time DateTime Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Time DateTime Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
UserInterface Branding Clear	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I
UserInterface Branding Delete	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
UserInterface Branding Get	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
UserInterface Branding Updated	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
UserInterface Branding Upload	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I U
UserInterface Extensions Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Extensions List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	I R U
UserInterface Extensions Panel Clicked	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Extensions Panel Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Extensions Panel Save	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Extensions Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Extensions Widget Action	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Extensions Widget SetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Extensions Widget UnsetValue	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Message Alert Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Message Alert Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Message Prompt Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Message Prompt Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Message Prompt Response	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Message TextInput Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Message TextInput Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Message TextLine Clear	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
UserInterface Message TextLine Display	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface OSD Key Click	-	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
UserInterface OSD Key Press	-	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
UserInterface OSD Key Release	-	X	X	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
UserInterface Presentation ExternalSource Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Remove	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource RemoveAll	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserInterface Presentation ExternalSource Select	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R U
UserInterface Presentation ExternalSource State Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I R
UserManagement RemoteSupportUser Create	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement RemoteSupportUser Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement RemoteSupportUser DisablePermanently	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement RemoteSupportUser GetState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement User Add	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement User Delete	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement User Get	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement User List	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement User Modify	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
UserManagement User Passphrase Change	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A Au I R U
UserManagement User Passphrase Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A
Video ActiveSpeakerPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Video CEC Input KeyClick	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I
Video CEC Output KeyClick	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	API	A I

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

コマンド	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたはクラウド	Web インターフェイスまたは API	ユーザーロール
Video CEC Output SendActiveSourceRequest	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP、C	API	A I
Video Input SetMainVideoSource	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	API	A I U
Video Input Source SetActiveConnector	x	-	X	X	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A U
Video Layout LayoutFamily Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Video Matrix Assign	X	X	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	OP	API	A U
Video Matrix Reset	X	X	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	OP	API	A U
Video Matrix Swap	X	X	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	OP	API	A U
Video Matrix Unassign	X	X	-	X	X	-	X	X	X	-	X	-	OP	API	A U
Video Output Monitor Backlight Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	-	OP	API	A
Video Output Monitor Brightness Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor Color Blue Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor Color Green Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor Color Red Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor Color Select	-	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	-	OP	API	A
Video Output Monitor Contrast Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor CSC Select	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor Gamma Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video Output Monitor Reset	-	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	-	OP	API	A
Video Output Monitor Sharpness Set	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	API	A
Video PresentationPIP Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Video PresentationView Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U
Video Selfview Set	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Devices Bluetooth ActiveProfile	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Audio Devices HandsetUSB ConnectionStatus	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Devices HandsetUSB Cradle	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetAnalog Connection Status	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetAnalog HasMicrophone	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB ConnectionStatus	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB Description	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Devices HeadsetUSB Manufacturer	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Input Connectors HDMI [n] EcReferenceDelay	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionStatus	-	X	X	-	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Input Connectors Microphone [n] ConnectionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Audio Input Connectors Microphone [n] EcReferenceDelay	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input KeyClick Attenuate	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Audio Input KeyClick Detected	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Audio Input KeyClick Enabled	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] AGC	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Channels	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Connector	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Direct	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] MixerMode	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Mute	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input LocalInput [n] Name	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Input RemoteInput [n] CallId	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Audio Microphones LedIndicator	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Audio Microphones Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio Module [n] Connector	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Audio Module [n] HardwareID	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Audio Module [n] SoftwareID	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Audio Module [n] Type	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Audio Output Connectors HDMI [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output Connectors HDMI [n] Mode	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] DelayMs	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output Connectors InternalSpeaker [n] Mode	-	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] ConnectionStatus	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output Connectors Line [n] DelayMs	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output LocalOutput [n] Channels	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Connector [n]	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Input [n] Gain	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Loudspeaker	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] Name	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output LocalOutput [n] VolumeControlled	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output MeasuredHdmiArcDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output MeasuredHdmiCecDelay	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Audio Output RemoteOutput [n] CallId	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio Output RemoteOutput [n] Input [n] Gain	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Audio SelectedDevice	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio Ultrasound Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Audio Volume	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Audio VolumeHandsetUsb	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio VolumeHeadsetAnalog	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio VolumeHeadsetBluetooth	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Audio VolumeHeadsetUsb	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio VolumeInternal	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Audio VolumeKeyStepSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Audio VolumeMute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Bluetooth Capabilities Advertising	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bluetooth Capabilities Headset	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bluetooth DeviceName	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Address	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Connected	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Name	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bluetooth Devices [n] Paired	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Bookings Current Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] AnswerState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] AttendedTransferFrom	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] CallbackNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] CallType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] Duration	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] Encryption Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Call [n] FacilityServiceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Call [n] HoldReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Call [n] PlacedOnHold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Call [n] Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Call [n] ReceiveCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I U
Call [n] RemoteNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Call [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Call [n] TransmitCallRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingAudioChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingDataChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels IncomingVideoChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingAudioChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingDataChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
CallDiagnostics[n] Channels OutgoingVideoChannel[n] Netstat[n] Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Cameras Camera [n] Capabilities Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] DetectedConnector	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] DownloadProgress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Cameras Camera [n] Flip	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Framerate	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] HardwareID	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] IpAddress	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Cameras Camera [n] LightingConditions	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] MacAddress	X	X	X	X	-	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Model	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Cameras Camera [n] Position Focus	X	X	X	X	X	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Lens	x	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Pan	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Tilt	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Position Zoom	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] Role	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Cameras Camera [n] SerialNumber	X	X	X	X	-	X	-	X	X	X	X	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] SoftwareID	X	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras Camera [n] State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Cameras Camera [n] UpgradeStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Cameras PresenterTrack Availability	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras PresenterTrack PresenterDetected	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras PresenterTrack Status	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack ActiveConnector	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Availability	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Status	x	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Defined	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Pan	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Tilt	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Camera [n] Zoom	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web	A I R U
Cameras SpeakerTrack Whiteboard [n] Distance	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP, C	Web	A I R U
Capabilities Conference MaxActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Capabilities Conference MaxAudioCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Capabilities Conference MaxCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Capabilities Conference MaxVideoCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference ActiveSpeaker CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Appearance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] AttendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] BookingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] CALText	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities DTMF	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities FarendMessage Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfPresets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC NumberOfSources	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] Options	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities FECC Source [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Hold	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities IxChannel Encryption Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities IxChannel Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Capabilities Mari Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Capabilities Presentation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] GCI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] InfoScreen	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Manufacturer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] MicrophonesMuted	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Multistream Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Preserved	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Call [n] ProximityCall	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] RemoteRenderSiteNames	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] SecurityStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] SessionType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] SoftwareID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Call [n] Spark CorrelationId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] Spark TrackingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Call [n] UnattendedTransfer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference DoNotDisturb	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I U
Conference Line [n] Appearance [n] DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Line [n] Appearance [n] GCI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Line [n] Appearance [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Line [n] Appearance [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web	A I U
Conference Line [n] Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference LoudestSite	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference Multipoint Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Conference Presentation CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I R U
Conference Presentation LastLocalSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] SendingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I R U
Conference Presentation LocalInstance [n] Source	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I R U
Conference Presentation LocalSendingMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web	A I R U
Conference Presentation LocalSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web	A I R U
Conference Presentation Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web、API	A I R U
Conference Presentation Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web	A I R U
Conference Presentation Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP、C	Web	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Conference Presentation Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Conference Presentation Whiteboard BoardSessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference SelectedCallProtocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Conference SpeakerLock CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Conference SpeakerLock Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Diagnostics LastRun	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Diagnostics Message [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] Level	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] References	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Diagnostics Message [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Facerec IdentifiedPeople [n] Name	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Facerec IdentifiedPeople [n] UID	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Facerec IdentifiedPeople [n] UserFeedback	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
GPIO Pin [n] State	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP, C	Web, API	A I U
H320 Gateway Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
H320 Gateway Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
H320 Gateway Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
H320 Gateway Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
H320 Gateway Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
H320 Gateway Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
H323 Gatekeeper Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
H323 Gatekeeper Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
H323 Mode Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
H323 Mode Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Expression [n]	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Format	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
HttpFeedback [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
HttpFeedback [n] URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Local Transport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote Candidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] MediaLine [n] Remote XtlsFqdnHost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] NegotiationTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Call [n] Result	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Configured	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Defaultcandidate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Turn Bandwidth	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Turn Discovermode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Turn Hostname	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Turn IP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Turn Transport	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
ICE Turn Username	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Logging ExtendedLogging Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Logging ExtendedLogging PacketDump	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Channels	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Mute	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
MediaChannels Call [n] Channel [n] Audio Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Direction	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] LastCsi	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Bytes	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat ChannelRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Jitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalLost	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat LastIntervalReceived	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Loss	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat MaxJitter	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] NetStat Packets	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Local IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Local Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Local Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Remote IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Remote Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTCP Remote Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Local IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Local Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Local Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Remote IpAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Remote Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Transport RTP Remote Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ChannelRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video FrameRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video Protocol	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
MediaChannels Call [n] Channel [n] Video ResolutionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] ActiveInterface	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] CDP Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP Capabilities	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP Deviceld	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP Duplex	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP Platform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP PortID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP PrimaryMgmtAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Network [n] CDP SysName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Network [n] CDP SysObjectID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] CDP Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] CDP VoIPApplianceVlanID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] CDP VTPMgmtDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] DNS Domain Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] DNS Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] Ethernet MacAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] Ethernet Speed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] IPv4 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] IPv4 DHCP ProvisioningDomain	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP ProvisioningServer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP TftpServer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP TftpServerAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] IPv4 DHCP TmsServer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] IPv4 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] IPv4 SubnetMask	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] IPv6 Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] IPv6 DHCP TftpServerAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] IPv6 Gateway	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] IPv6 LinkLocalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] MTU	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] VLAN Voice VlanId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Network [n] Wifi BSSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Channel	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Frequency	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイまたは API	ユーザ ロール
Network [n] Wifi MacAddress	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Phase2Method	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi RawSSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Reason	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Region	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi RSSI	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] Flags	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] RawSSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] SignalLevel	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi ScanResult [n] SSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Speed	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi SSID	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Status	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Network [n] Wifi Type	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
NetworkServices NTP CurrentAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices NTP Server [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
NetworkServices NTP Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Peripherals ConnectedDevice [n] HardwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] ID	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] SoftwareInfo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeFailureReason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイまたは API	ユーザ ロール
Peripherals ConnectedDevice [n] UpgradeURL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
Peripherals ConnectedProgress [n] Ident	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Peripherals ConnectedProgress [n] Progress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I R U
Provisioning CUCM CAPF LSC	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF OperationResult	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF OperationState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF ServerName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM CAPF ServerPort	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM CTL State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM Customization Checksum	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility Enabled	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility LastLoggedInUserld	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning CUCM ExtensionMobility LoggedIn	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning CUCM ITL State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM Phonebook URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM ProvisionSecurity	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] IPv6Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] Priority	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM TVS Proxy [n] Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning CUCM Userld	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Discovered	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning NextRetry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Provisioning RoomType	x	-	-	X	-	-	-	-	X	-	X	-	OP	Web, API	A U
Provisioning Server	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software Current CompletedAt	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software Current URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software Current VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade Changed	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade Message	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software PreviousUpgrade VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software UpgradeStatus LastChange	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Message	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Phase	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus PostponedUntil	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software UpgradeStatus SecondsUntilUpgrade	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Provisioning Software UpgradeStatus SessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus Urgency	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Software UpgradeStatus VersionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Provisioning Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Proximity Services Availability	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
RoomAnalytics PeopleCount Current	x	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
RoomAnalytics PeoplePresence	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
RoomPreset	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
RoomPreset [n] Defined	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
RoomPreset [n] Description	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
RoomPreset [n] Type	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Security Audit Server Port	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A Au U
Security FIPS Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Security Persistency CallHistory	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Security Persistency Configurations	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Security Persistency DHCP	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Security Persistency InternalLogging	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Security Persistency LocalPhonebook	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web、API	A U
Spark Access Token	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account Email	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account ExternalPhoneNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account InternalPhoneNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account OrganizationDisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account OrganizationId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account SipAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Account Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark ActiveToken	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark BoardSession [n] BoardUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark BoardSession [n] BoardType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark BoardSession [n] BridgeState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイまたは API	ユーザ ロール
Spark BoardSession [n] CallId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark BoardSession [n] ClientState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark BoardSession [n] Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark BoardSession [n] SocketPath	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark DeviceRoles CallControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark CallTrackingId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark DeviceRoles MainAudio	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark DeviceRoles MainVideo	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark DeviceRoles Presentation	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark ExplicitBinding DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark ExplicitBinding Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark ExplicitBinding URL	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark PairedDevice [n] Id	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark PairedDevice [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark PairedDevice [n] UserId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Assistant Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Assistant LastUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Assistant Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Assistant TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity PinChallenge Pin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Token Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイまたは API	ユーザ ロール
Spark Services Configuration Proximity Token NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Token Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Proximity Token TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Settings Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Settings Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Settings TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Space Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Space Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Space TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Space TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Configuration TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken Expiry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken LastRefresh Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken LastRefresh NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken LastRefresh TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials AccessToken Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials RefreshToken Expiry	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Credentials RefreshToken Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Encryption Alias	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Encryption Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイまたは API	ユーザ ロール
Spark Services Encryption Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Encryption TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Encryption Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation ClientAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation CountryCode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation RegionCode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation TimeZone	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services GeoLocation Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services IdBrokerBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services IdStoreBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services LogUpload Details	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services LogUpload Error	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services LogUpload LogId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services LogUpload RequestOrigin	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services LogUpload Result	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services LogUpload TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Metrics Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Metrics Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Metrics TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Metrics Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Alias	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Spark Services Notifications ApplicationPing Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications ApplicationPing TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications KeepAlive TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications MessageReceived Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications MessageReceived Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications MessageReceived TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications MessageSent TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications RemoteAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Servers ActiveUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] Priority	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Servers HAEntry [n] Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Notifications TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Spark Services Phonebook BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Phonebook Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Phonebook Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Phonebook TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Registration Alias	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Registration BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Registration Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Registration NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Registration Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services Registration TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade ManifestUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade ServiceUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SoftwareUpgrade TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager BaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager Description	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager LastUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager NextRequest	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services SpeechServicesManager TimeStamp	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services TrustAnchorService LastRefresh	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services TrustAnchorService Url	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services U2CBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Services WdmBaseUrl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Spark Space Opened	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Spark Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SIP AlternateURI Alias [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP AlternateURI Primary [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Authentication	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP CallForward DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP CallForward Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP CallForward URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Mailbox MessagesWaiting	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Mailbox URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Proxy [n] Address	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Proxy [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Registration [n] Authentication	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Registration [n] Reason	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Registration [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Registration [n] URI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Secure	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SIP Verified	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Standby PowerSave State	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Standby State	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
SystemUnit Hardware BootSoftware	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware HasWiFi	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware MainBoard Revision	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware MainBoard SerialNumber	X	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware Module CompatibilityLevel	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit Hardware Module Identifier	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware Module SerialNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Hardware Monitoring Fan [n] Status	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Hardware MonitoringSoftware	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware Monitoring Temperature Status	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Hardware Temperature	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
SystemUnit Hardware TemperatureThreshold	X	X	X	X	X	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
SystemUnit Hardware UDI	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Text	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Notifications Notification [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit ProductId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit ProductPlatform	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit ProductType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software DisplayName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys Encryption	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys MultiSite	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software OptionKeys RemoteMonitoring	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software ReleaseDate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit Software ReleaseKey	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
SystemUnit Software Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit State CameraLid	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
SystemUnit State CameraTilt	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
SystemUnit State NumberOfActiveCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
SystemUnit State NumberOfInProgressCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
SystemUnit State NumberOfSuspendedCalls	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
SystemUnit State Subsystem Application	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit State System	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
SystemUnit Uptime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Time SystemTime	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
UserInterface ContactInfo ContactMethod [n] Number	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
UserInterface ContactInfo Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
UserInterface Extensions Widget [n] Value	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
UserInterface Extensions Widget [n] WidgetId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I R U
UserInterface OSD Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video ActiveSpeaker PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] SignalState	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] SourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input LastConnectedSource	X	X	X	X	-	X	X	-	-	-	-	X	OP	Web	A U
Video Input MainVideoSource	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Input Source [n] ConnectorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Source [n] FormatStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Source [n] FormatType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Source [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Input Source [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Input Source [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Source [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Source [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Input Source [n] TmdsClockPresent	-	-	-	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Engine Version	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout LayoutFamily Local	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Layout LayoutFamily Remote	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Layout Local Height	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Video Layout Local PositionX	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Video Layout Local PositionY	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Video Layout Local Type	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Video Layout Local Width	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Video Layout Mode	x	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] DiffFromActive	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] FamilyName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] InputNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] Layer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family[n] OutputRole [n] Frame[n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceContent	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame[n] VideoSourceInstance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] VideoSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] GraphicName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] RoleName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] FrameContainer OutputRole [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Output [1..2] Frame [1..6] MediaChannelId	-	X	X	-	X	X	X	-	-	-	-	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family[n] OutputRole [n] Frame[n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] Family [n] OutputRole [n] Frame[n] VideoSourceInstance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] StatusIndex Family [n] Hidden	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] StatusIndex Family [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Prediction Site [n] StatusIndex OutputRole [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout PresentationView	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] BoardSessionId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Cropping Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] FrameContainerId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] InputNumber	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Layer	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] MediaChannelId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Media Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイまたは API	ユーザ ロール
Video Layout Site [n] Frame [n] Media Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] MsctrlId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Output	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] ParticipantId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceContent	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceInstance	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] VideoSourceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Frame [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] Content	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] PositionX	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] PositionY	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FrameContainer [n] Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Layout Site [n] Output [n] FullFamilyName	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web	A U
Video Monitors	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Connected	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] DeviceType	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] LogicalAddress	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerControl	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] PowerStatus	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice CEC [n] VendorId	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice Name	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice PreferredFormat	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice ScreenSize	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_50	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1080_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_50	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_1920_1200_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_2560_1440_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_30	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] ConnectedDevice SupportedFormat Res_3840_2160_60	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web	A I U
Video Output Connector [n] MonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Height	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution RefreshRate	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Connector [n] Resolution Width	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

Status	SX80	SX20	SX10	MX800/MX700	MX300G2/ MX200G2	DX80/DX70	Room Kit	Codec Plus	Codec Pro	Room 70 / Room 55 Dual	Room 70 G2	Room 55	オンプレミスまたは クラウド	Web インターフ ェイスまたは API	ユーザ ロール
Video Output Connector [n] Type	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Backlight	-	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Brightness	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Blue	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Green	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Red	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ColorTemperature Selected	-	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Contrast	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] CSCYUV	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] FirmwareVersion	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Gamma	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] ModelName	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Position	-	-	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] SerialNumber	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Sharpness	-	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	-	OP	Web, API	A U
Video Output Monitor [n] Temperature	-	-	X	-	-	-	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Presentation PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP	Web, API	A U
Video Selfview FullscreenMode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Selfview Mode	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Selfview OnMonitorRole	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U
Video Selfview PIPPosition	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	OP, C	Web, API	A I U

X: サポートされます -: サポートされません OP: オンプレミス C: クラウド A: ADMIN Au: AUDIT I: INTEGRATOR R: ROOMCONTROL U: USER

起動スクリプト

コーデックに 1 つ以上のスタートアップ スクリプトを追加できます。起動スクリプトには、コーデックを起動するたびに起動手順の一部として実行されるコマンド (xCommand) および構成 (xConfiguration) が含まれます。xCommand SystemUnit Boot など、いくつかのコマンドと設定はスタートアップ スクリプトに組み込むことができません。

起動スクリプトを作成および管理するには、コーデックの Web インターフェイスを使用します。

Web インターフェイスと起動スクリプトの詳細については、ご使用の製品のアドミニストレータ ガイドを参照してください。

SystemTools コマンド

注: systemtools コマンドはコーデックの管理制御に使用され、コマンドライン インターフェイスからのみ使用できます。systemtools はコーデックのプログラミングに使用しないでください。

必須パラメータ (山カッコ) :<text>

オプション パラメータ (角カッコ) :[text]

サポートされているコマンド タイプの概要を確認するには、“systemtools ?” と入力します。

例:

```
systemtools ?
rootsettings
selectsw
whoami
license
network
ntp
passwd
pki
ps
securitysettings
securitystatus
sudo
idefixversion
pairing
```

コマンドの使用方法を知るには、コマンドの末尾に疑問符を追加します。

例:

```
systemtools network ?
usage: network ping <hostname> | traceroute
<hostname> | netstat | addr | ifconfig
```

systemtools idefixversion (DX70 および DX80 以外)

接続されたタッチ コントローラに必要なソフトウェアのバージョンを返します。TC7.3 以前にダウングレードする場合に使用されます。

systemtools license list

コーデックのすべてのライセンスを示します。

systemtools license show <name>

名前によって定義されたライセンス ファイルの内容を示します。

<name>: ライセンス ファイルの名前。

systemtools network ping <hostname>

Network デバッグ コマンド。

<hostname>: ホストの IP アドレスまたは URL。

systemtools network traceroute <hostname>

Network デバッグ コマンド。

<hostname>: ホストの IP アドレスまたは URL。

systemtools network netstat

Network デバッグ コマンド。

systemtools network addr

システムの IP アドレスを示します。

systemtools network ifconfig

Network デバッグ コマンド。

systemtools ntp

NTP ステータスを表示します。

systemtools pairing unpair

Cisco TelePresence Touch コントローラとのアソシエーションを削除します。

systemtools passwd

ログイン ユーザのパスワードを変更します。

systemtools pki list

存在する場合、コーデックの証明書および CA リストを一覧表示します。

systemtools pki delete <cert-name>

存在する場合、コーデックの証明書および CA リストを削除します。

<cert-name>: 証明書の名前。

systemtools securitysettings jitc

セキュリティ要件をセットアップして JITC に合わせます。

コーデックで適用するパスワードおよび PIN ポリシーを設定します。

systemtools securitysettings isjitc

現在の設定が JITC に準拠しているかを確認します。

systemtools securitysettings default

セキュリティ設定をデフォルトに戻します。

systemtools securitysettings ask

個別のコンフィギュレーションを照会します。このコマンドを発行すると、各ポリシーを個別に確認できます。

- ・ 現在の値を保持するには、Enter キーを押します。
- ・ 特定のポリシーを変更するには、番号を入力して Enter キーを押します。

- デフォルト値「0」は、制限がないことを示します。

Max failed login attempts [0]?

- ユーザが非アクティブに設定されるログイン失敗回数。

Suspend-time after max failed login attempts (minutes) [0]?

- ログイン試行の失敗回数が最大数を超えてから、ユーザが非アクティブ化されるまでの分数。

Max simultaneous sessions total [0]?

- Web に同時にログインできるユーザの最大数、および ssh/Telnet に同時にログインできるユーザの最大数。

ユーザ[0] 1 人あたりの最大同時セッション数?

- ユーザ 1 人あたりの最大同時セッション数。

Number of passwords to remember [0]?

- 新しいパスワードが異ならなければならない、以前のパスワードの数。

Number of PINs to remember [0]?

- 新しい PIN が異ならなければならない、以前の PIN の数。

Maximum time between password renewals (days) [0]?

- ユーザが更新期間内にパスワードを変更しなかった場合、そのユーザは非アクティブ化されます。

Minimum time between password renewals (hours) [0]?

- ユーザはこの制限内でパスワードを一度だけ変更できます。

Maximum time between PIN renewals (days) [0]?

- ユーザが更新期間内に PIN を変更しなかった場合、そのユーザは非アクティブ化されます。

Minimum time between PIN renewals (hours) [0]?

- ユーザはこの制限内で PIN を一度だけ変更できます。

Maximum time between logins (days) [0]?

- ユーザがこの制限内にログインしていない場合、ユーザは非アクティブに設定されます。

Max consecutive equal digits in PINs [0]?

- PIN における同一数字の最大連続桁数。

Minimum number of digits in PINs [0]?

- PIN の桁の最小数。

Maximum number of digits in PINs [0]?

- PIN の桁の最大数。

Max consecutive identical characters in passwords [0]?

- パスワードにおける同一文字の最大連続数。

Minimum number of characters in passwords [0]?

- パスワードの最小文字数。

Maximum number of characters in passwords [0]?

- パスワードの最大文字数。

Minimum number of lower-case letters in passwords [0]?

- パスワードの小文字の最小数。

Minimum number of upper-case letters in passwords [0]?

- パスワードの大文字の最小数。

Minimum number of numerical characters in passwords [0]?

- パスワードの数値文字の最小数。

Minimum number of special characters in passwords [0]?

- パスワードの特殊文字の最小数。

Minimum number of character groups in passwords [0]?

- パスワードの文字グループの最小数。

Minimum number of character changed from previous password [0]?

- 以前のパスワードから変更する最小文字数。

systemtools securitystatus

コーデックのセキュリティ ステータスを表示します。

systemtools selectsw

使用するソフトウェア イメージを選択します。ソフトウェア イメージを変更すると、コーデックが再起動されます。

引数を指定しない場合: 使用できるソフトウェア イメージのバージョンをリストし、アクティブになっているバージョンを示します。

image name: この名前のソフトウェアに切り替えます。

systemtools sudo on

現在のセッションのユーザ ロールを指定のユーザ ロールに変更します。

<username>: sudo ユーザの名前。

<password>: sudo ユーザのパスワード。

systemtools sudo off

サインインしているユーザのユーザ ロールに戻します。

systemtools whoami

サインインしているユーザの名前と ID、およびこのユーザが保持しているユーザ ロールをリストします。

接続解除原因タイプ

コールが切断された場合、次のパラメータが記録されます。接続解除原因タイプは、接続解除イベント (xEvent) で使用されます。

CauseValue	独自仕様。CauseType および CauseCode の使用を推奨します。
CauseType	コールが切断された理由を示します。値スペースは {OtherLocal, LocalDisconnect, UnknownRemoteSite, LocalBusy, LocalReject, InsufficientSecurity, OtherRemote, RemoteDisconnect, RemoteBusy, RemoteRejected, RemoteNoAnswer, CallForwarded, NetworkRejected} です。
CauseString	原因コードを記録します。
CauseCode	接続解除の原因コードは SIP および Q.850 で定義されています。
CauseOrigin	SIP, Q.850、internal。

例:

```
xEvent DisconnectEvent

*e CallDisconnect CauseValue: 1
  CauseType: "LocalDisconnect"
  CauseString: ""
  OrigCallDirection: "outgoing"
  RemoteURI: "firstname.lastname@company.com"
  CallId: 89
  CauseCode: 0
  CauseOrigin: SIP
** end
```

Cisco web site 内のユーザ マニュアル

Cisco TelePresence 製品のユーザ マニュアルは、
▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs>
で入手できます。

リストから「コラボレーション エンドポイント」の製品カテゴリ
を選択し、次に製品シリーズを選択します。

- TelePresence MX シリーズ
- TelePresence SX シリーズ
- Webex DX シリーズ
- Webex Room シリーズ

または、次のショートリンクを使用します。

- ▶ <https://www.cisco.com/go/dx-docs>
- ▶ <https://www.cisco.com/go/mx-docs>
- ▶ <https://www.cisco.com/go/roomkit-docs>
- ▶ <https://www.cisco.com/go/sx-docs>

インストールおよびアップグレード

インストール ガイドおよびアップグレード ガイド

- インストール ガイド: 製品のインストール方法
- スタートアップ ガイド: システムを稼働させるために必要な初期設定
- RCSI ガイド: 法規制の遵守および安全に関する情報

管理および運用

メンテナンスおよび操作ガイド

- スタートアップ ガイド: システムを稼働させるために必要な初期設定
- 管理者ガイド: 製品の管理に必要な情報
- CUCM での CE エンドポイントの管理: 製品を Cisco Unified Communications Manager (CUCM) とともに使用開始するために実行するタスク

エンドユーザ ガイド

- ユーザ ガイド: 製品の使用方法
- クイック リファレンス ガイド: 製品の使用方法
- 物理インターフェイス ガイド: コネクタ パネルや LED など、製品の物理インターフェイスに関する詳細情報 (SX80 のみ)

設定

コンフィギュレーション ガイド

- 室内制御ガイド: 室内制御パネルをデザインする方法と、室内コントロールをプログラミングするためにビデオ システムの API を使用する方法
- 室内制御エディタ: 室内制御エディタのダウンロード
- CE および TC コンソール: CE および TC コンソールを使用してオーディオの音声とビデオを設定する方法。

リファレンス

コマンド リファレンス

- API リファレンス ガイド: アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) のリファレンス ガイド

テクニカル リファレンス

- CAD 図面: 測定値付き 2D CAD 図面

設計

設計ガイド

- ビデオ会議室に関するガイドライン: 会議室の設計とベストプラクティスに関する一般的なガイドライン
- ビデオ会議室のガイドライン: 音質を向上させるための対策

ソフトウェアのダウンロード、リリース、および一般 的 情 報

リリースノート

- リリース ノートおよび延期の通知

ライセンス情報

- オープン ソース ライセンス: この製品で使用されているオープン ソース ソフトウェアのライセンスおよび通知

Intellectual property rights

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

Ciscoが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルとソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、Ciscoおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がCiscoまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図とその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

ハード コピーおよびソフト コピーの複製は公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

Ciscoは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

CiscoおよびCiscoのロゴは、米国およびその他の国におけるCiscoおよびその関連会社の商標を示します。Ciscoの商標の一覧については、<http://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. 「パートナー」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

Ciscoのお問い合わせ先

Ciscoのウェブサイトでは、Ciscoの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

Go to: ▶ <https://www.cisco.com/go/offices>

本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Dr.

San Jose, CA 95134 USA